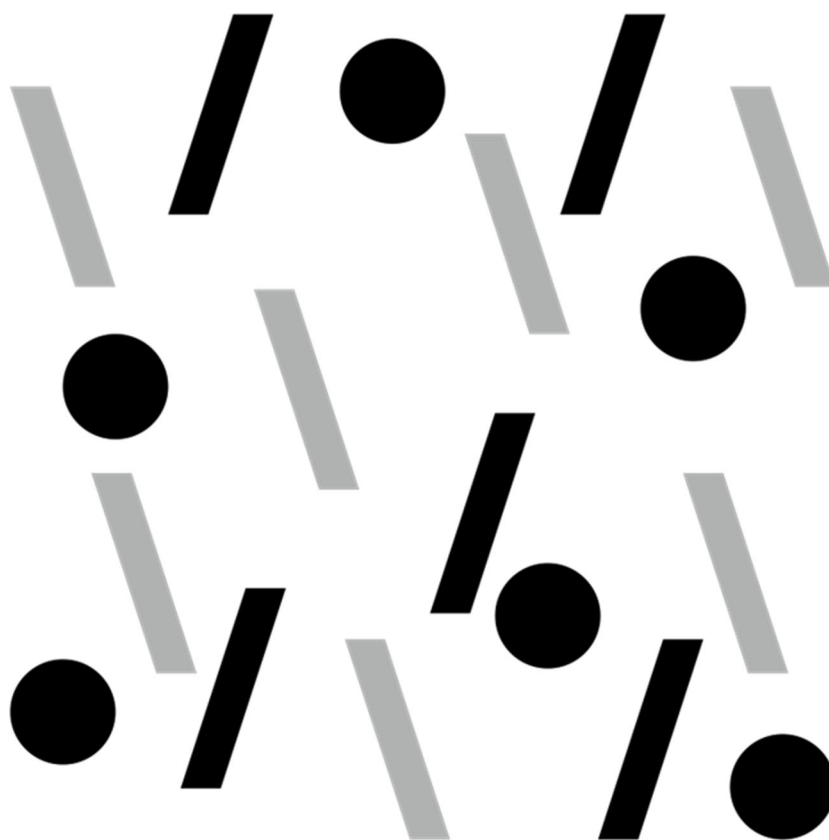


Ⅱ 調査結果の項目別分析



Ⅱ 調査結果の項目別分析

Ⅱ－１ 旭川市に暮らしていて日頃感じること

１ 旭川市の活気とにぎわい

問１ 旭川市は活気とにぎわいのあるまちだと思いますか。(○は１つ)

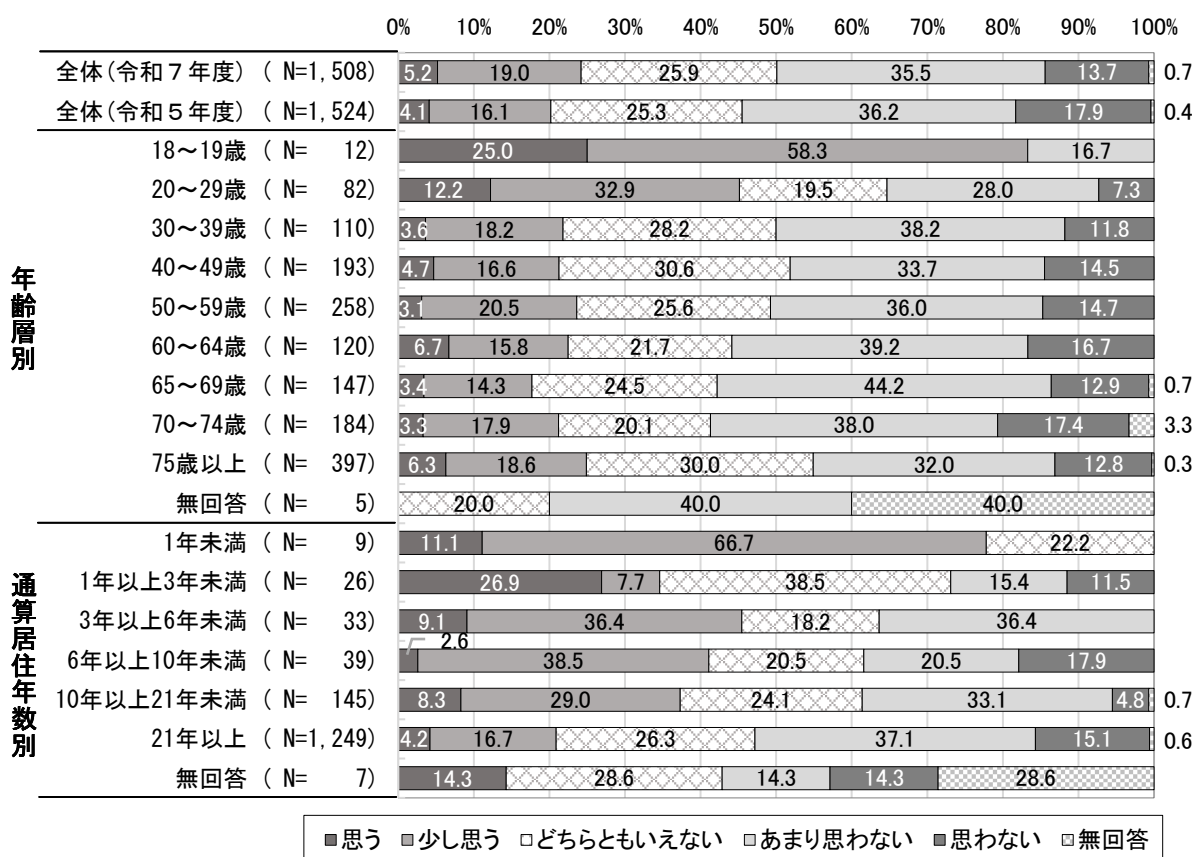
活気とにぎわいについて、全体では、「思う」が５．２％、「少し思う」が１９．０％で、合わせると２４．２％となっている。一方、「あまり思わない」が３５．５％、「思わない」が１３．７％で、合わせると４９．２％となっている。

年齢層別で「思う」と「少し思う」を合わせると、１８～１９歳が８３．３％と最も高く、次いで２０～２９歳が４５．１％となっている。

通算居住年数別にみると、「思う」と「少し思う」を合わせると、１年未満が７７．８％と最も高く、次いで３年以上６年未満が４５．５％となっている。

今回の結果を令和５年度調査と比較すると、「思う」が１．１ポイント高くなっており、「思う」と「少し思う」を合わせた割合も４．０ポイント高くなっている。

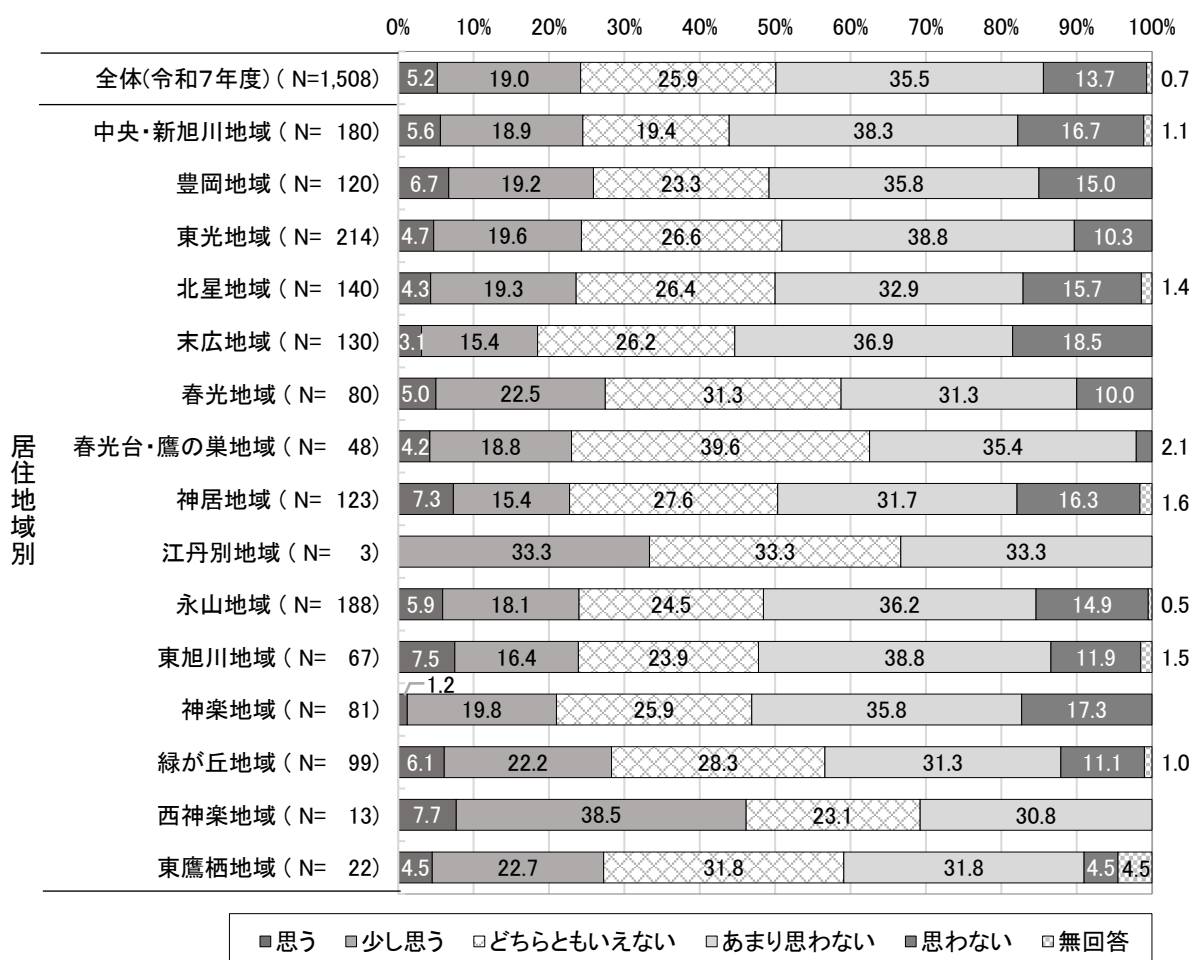
【活気とにぎわい】（前回〔令和５年度調査〕との比較、年齢層別、通算居住年数別）



居住地域別にみると、「思う」と「少し思う」を合わせると、西神楽地域が46.2%と最も高く、次いで江丹別地域が33.3%、緑が丘地域が28.3%の順となっている。

また、江丹別地域と西神楽地域を除く全ての地域において、「思う」と「少し思う」を合わせた割合よりも、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合の方が高くなっている。

【活気とにぎわい】（居住地域別）



2 旭川市の暮らしやすさ

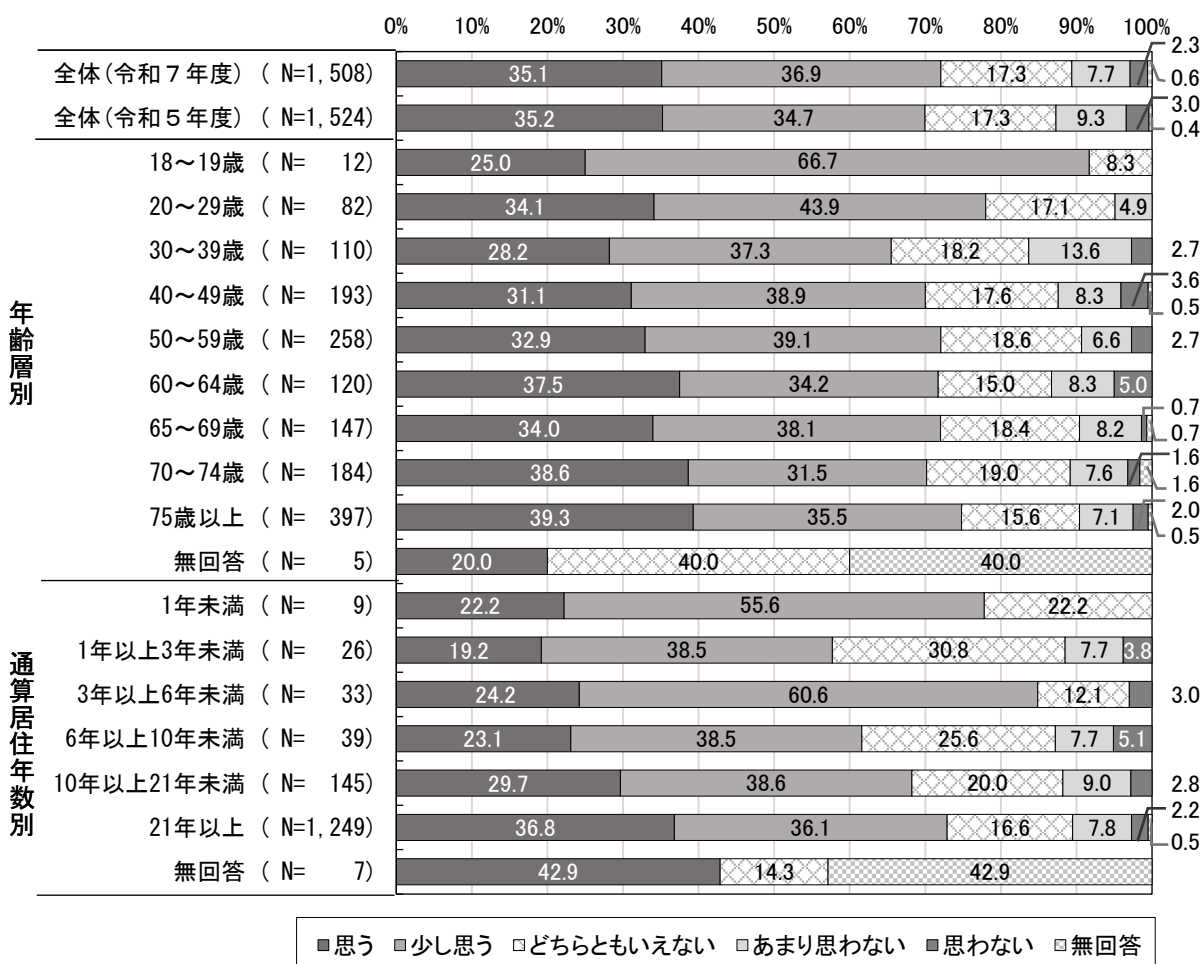
問2 旭川市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

暮らしやすさについて、全体では、「思う」が35.1%、「少し思う」が36.9%で、合わせて72.0%となっている。

年齢層別でみると、「思う」は75歳以上が39.3%と最も高く、次いで70～74歳が38.6%、60～64歳が37.5%となっている。「思う」と「少し思う」を合わせると、18～19歳が66.7%と最も高くなっている。

通算居住年数別にみると、「思う」は21年以上が36.8%と最も高く、次いで10年以上21年未満が38.6%となっている。「思う」と「少し思う」を合わせると、3年以上6年未満が60.6%と最も高くなっている。

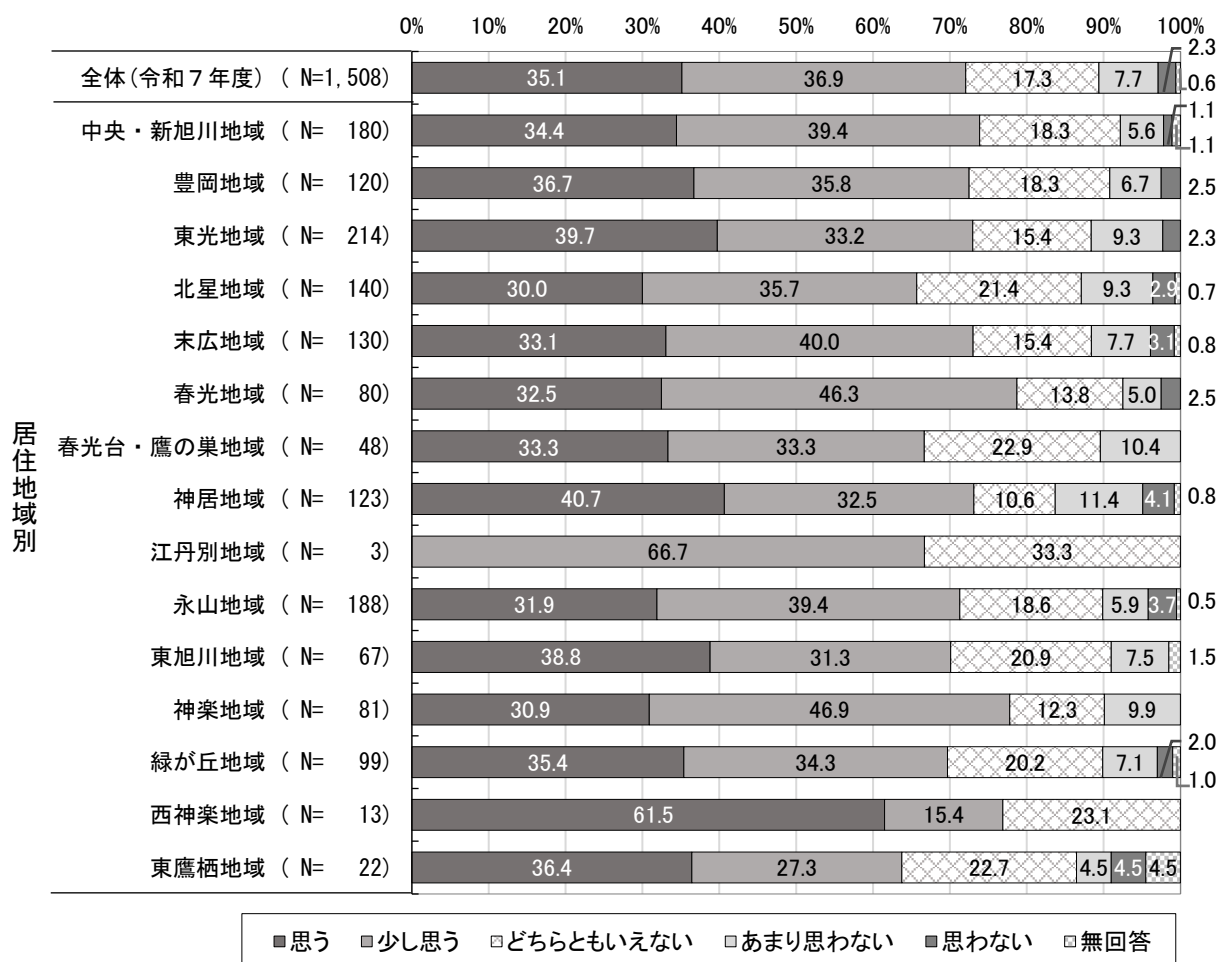
【暮らしやすさ】(前回〔令和5年度調査〕との比較、年齢層別、通算居住年数別)



居住地域別にみると、「思う」は西神楽地域が61.5%と最も高く、次いで神居地域が40.7%、東光地域が39.7%、東旭川地域が38.8%の順となっている。

「思う」と「少し思う」を合わせると、春光地域が78.8%と最も高く、次いで神楽地域が77.8%、西神楽地域が76.9%となっている。

【暮らしやすさ】（居住地域別）



3 旭川市に対する愛着や親しみ

問3 旭川市に愛着や親しみを感じていますか。(○は1つ)

愛着や親しみについて、全体では、「感じている」が42.9%、「少し感じている」が34.9%で、合わせると77.8%となっている。

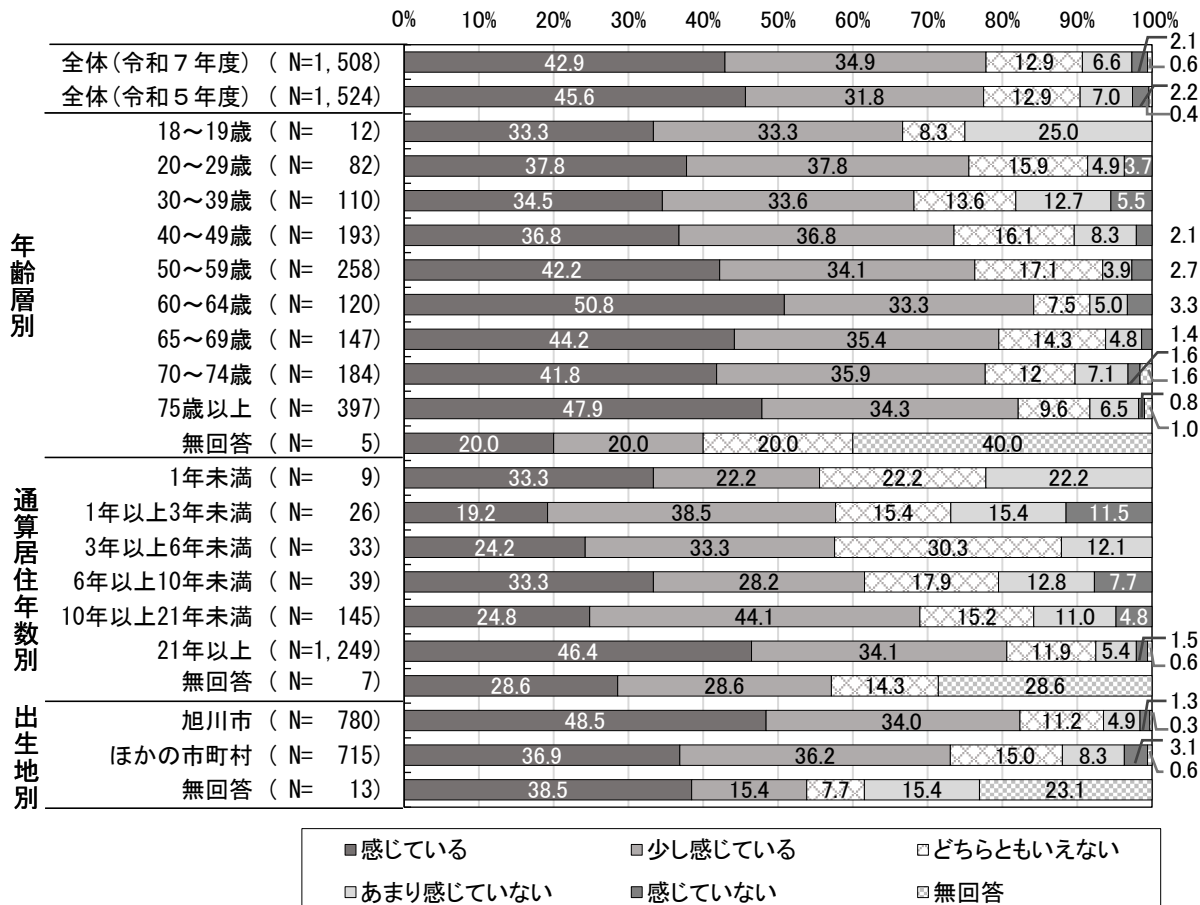
年齢層別にみると、「感じている」は60～64歳が50.8%と最も高く、次いで75歳以上が47.9%となっている。「感じている」と「少し感じている」を合わせると、60～64歳が84.1%と最も高くなっている。

通算居住年数別にみると、「感じている」は21年以上が46.4%と最も高く、次いで1年未満と6年以上10年未満がともに33.3%となっている。「感じている」と「少し感じている」を合わせると、21年以上が80.5%と最も高くなっている。

出生地別にみると、「感じている」は、旭川市が48.5%と、ほかの市町村より11.6ポイント高くなっている。

今回の結果を令和5年度調査と比較すると、「感じている」は2.7ポイント低くなっている。また、「感じている」と「少し感じている」を合わせた割合は0.4ポイント高くなっている。

【愛着や親しみ】（前回〔令和5年度調査〕との比較、年齢層別、通算居住年数別、出生地別）



4 旭川市への定住の意向

問4 これからも旭川市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

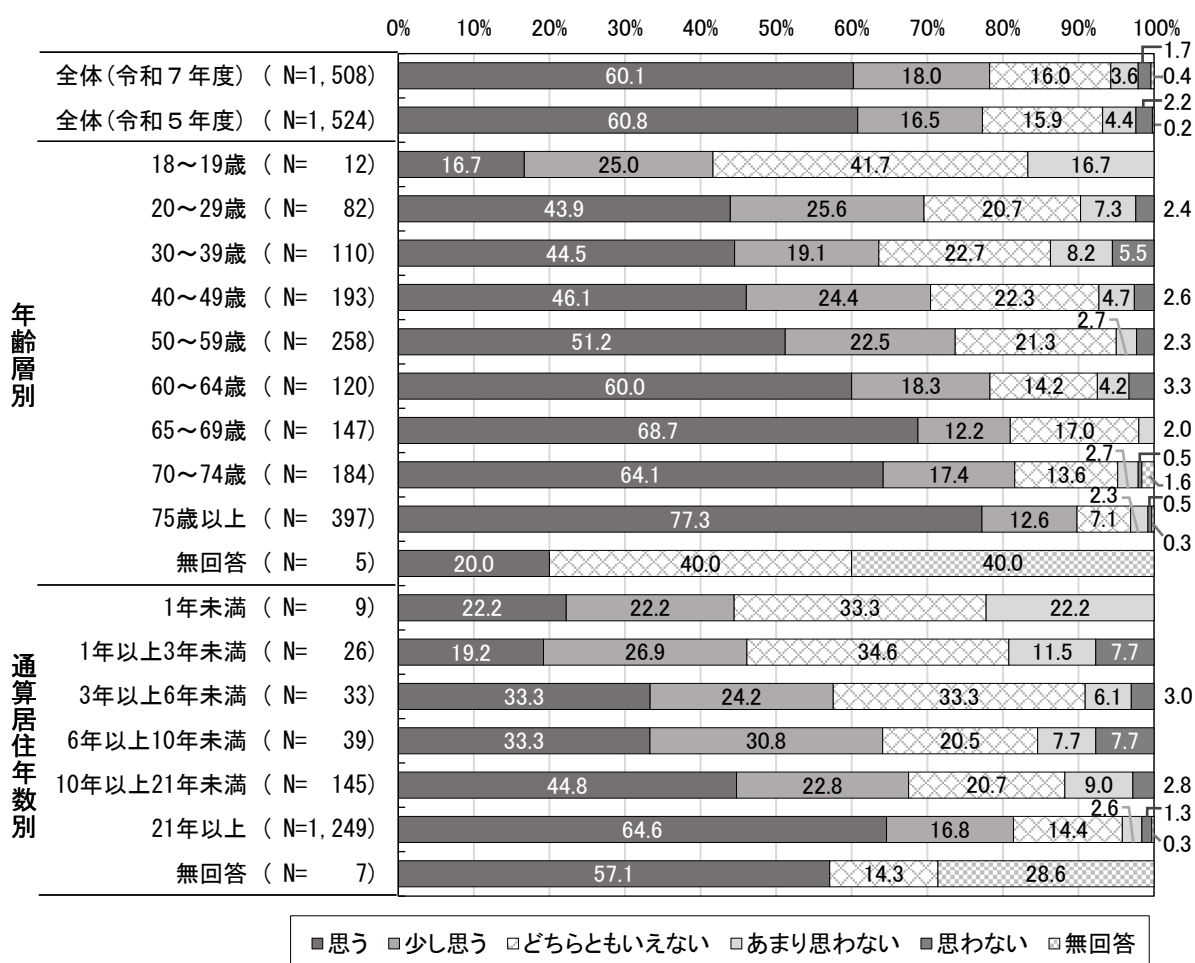
定住の意向について、全体では、住みたいと「思う」が60.1%、「少し思う」が18.0%で、合わせて78.1%が定住の意向を持っている。

年齢層別にみると、「思う」はおおむね年代が上がるにつれ高くなっていく傾向を示しており、75歳以上が77.3%と最も高くなっている。

通算居住年数別にみると、「思う」は21年以上が64.6%と最も高く、次いで10年以上21年未満が44.8%、3年以上6年未満と6年以上10年未満がともに、33.3%となっている。「思う」と「少し思う」を合わせると21年以上が81.4%と最も高くなっている。

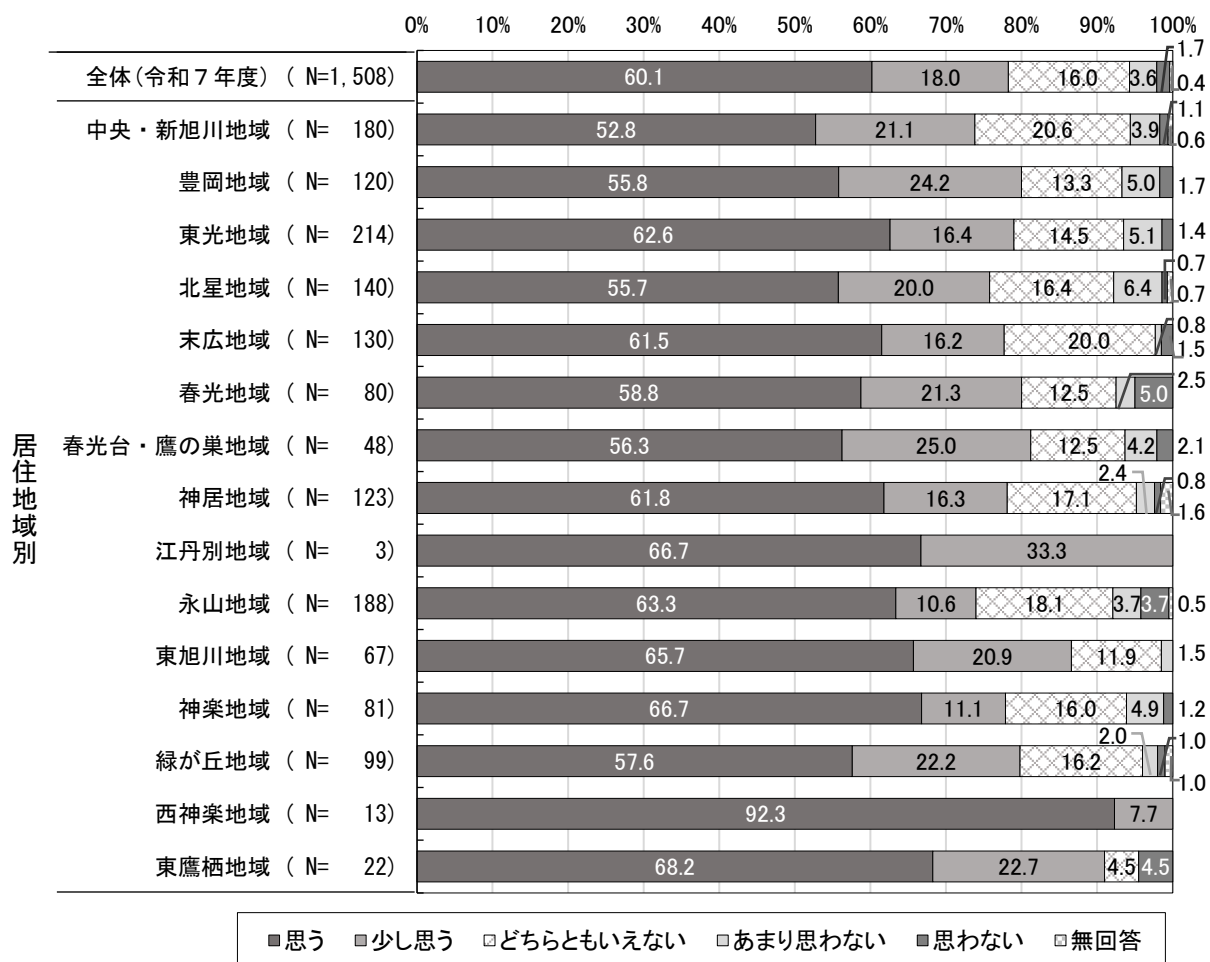
今回の結果を令和5年度調査と比較すると、住みたいと「思う」が0.7ポイント低くなっており、「思う」と「少し思う」を合わせた割合は0.8ポイント高くなっている。

【定住の意向】（前回〔令和5年度調査〕との比較、年齢層別、通算居住年数別）



居住地域別にみると、住みたいと「思う」は西神楽地域が92.3%と最も高く、次いで東鷹栖地域が68.2%となっている。「思う」と「少し思う」を合わせると、江丹別地域と西神楽地域が100.0%と最も高くなっている。

【定住の意向】（居住地域別）



5 まちづくりへの関心度

問5 旭川市のまちづくりに関心がありますか。(○は1つ)

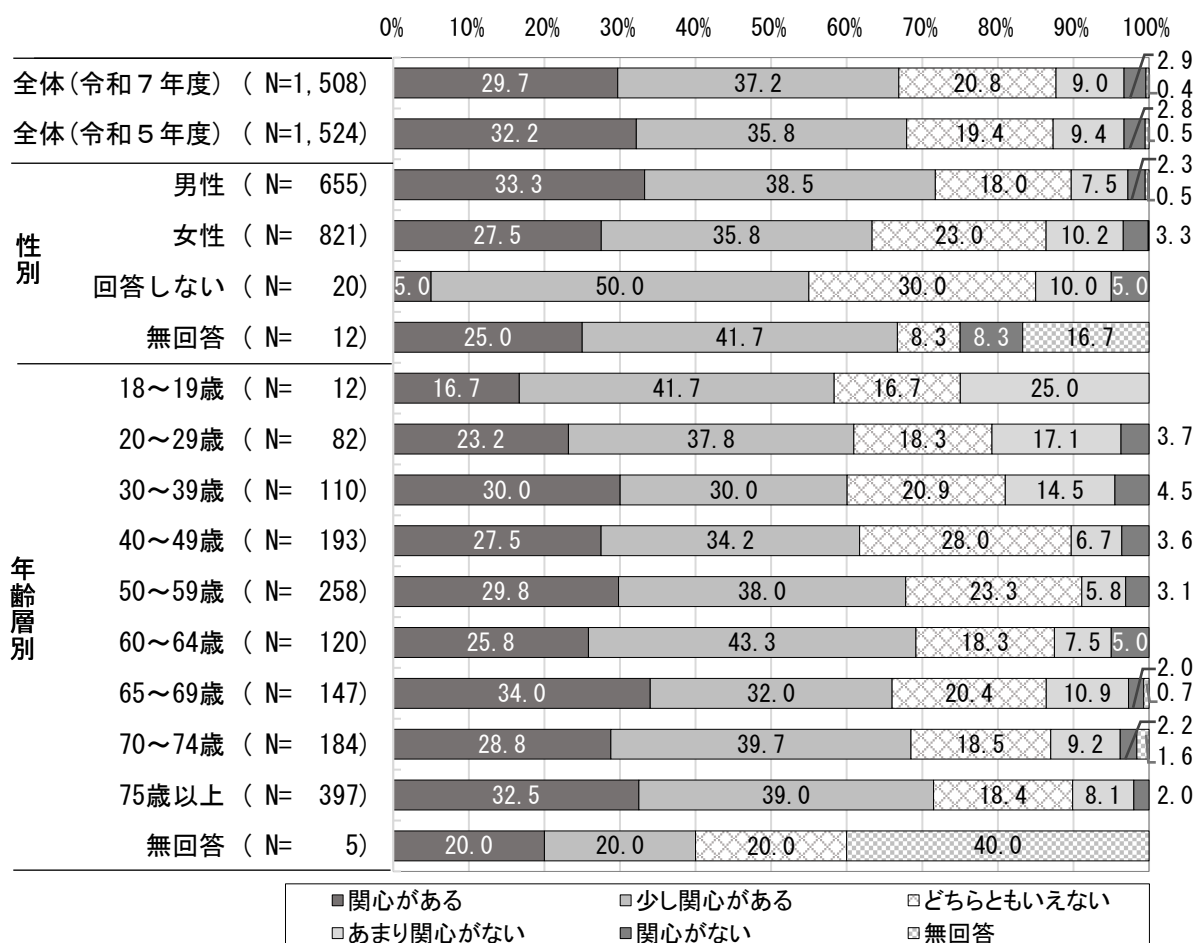
まちづくりへの関心度について、全体では、「関心がある」が29.7%、「少し関心がある」が37.2%、合わせて66.9%となっている。

性別にみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた割合は男性が71.8%、女性が63.3%と、男性が8.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた割合は75歳以上が71.5%と最も高く、次いで60～64歳が69.1%となっている。

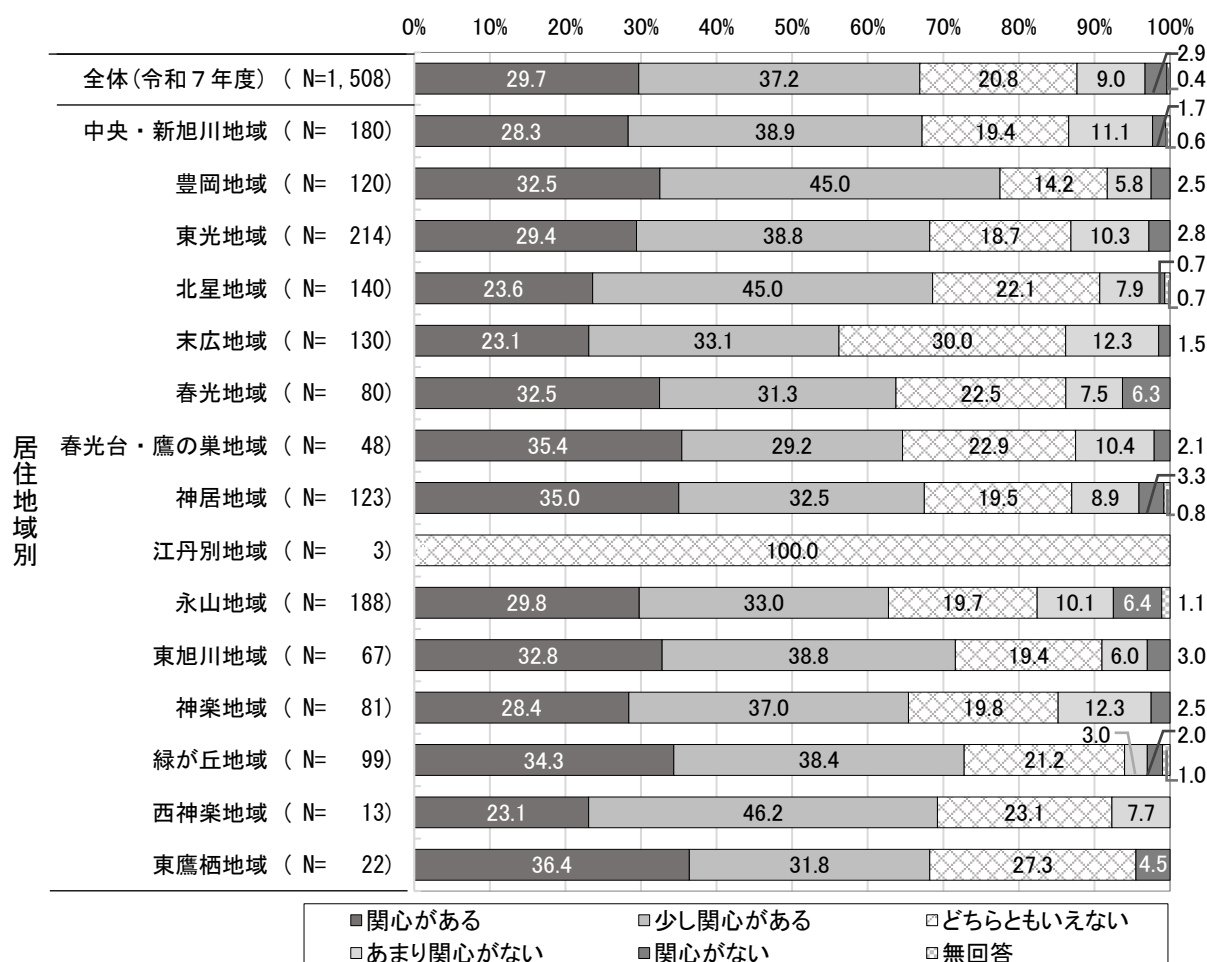
今回の結果を令和5年度調査と比較すると、「関心がある」は2.5ポイント低くなっており「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた割合は1.1ポイント低くなっている。

【まちづくりへの関心】（前回〔令和5年度調査〕との比較、性別、年齢層別）



居住地域別にみると、「関心がある」は東鷹栖地域が36.4%と最も高く、次いで春光台・鷹の巣地域が35.4%、となっている。「関心がある」と「少し関心がある」を合わせると、豊岡地域が77.5%と最も高く、次いで緑が丘地域が72.7%となっている。

【まちづくりへの関心】（居住地域別）



6 ふだんの生活で感じること

問6 次の(1)～(18)の項目について、日頃どのように感じていますか。
項目ごとにあてはまる番号(数字1～5)に○を1つ付けてください。

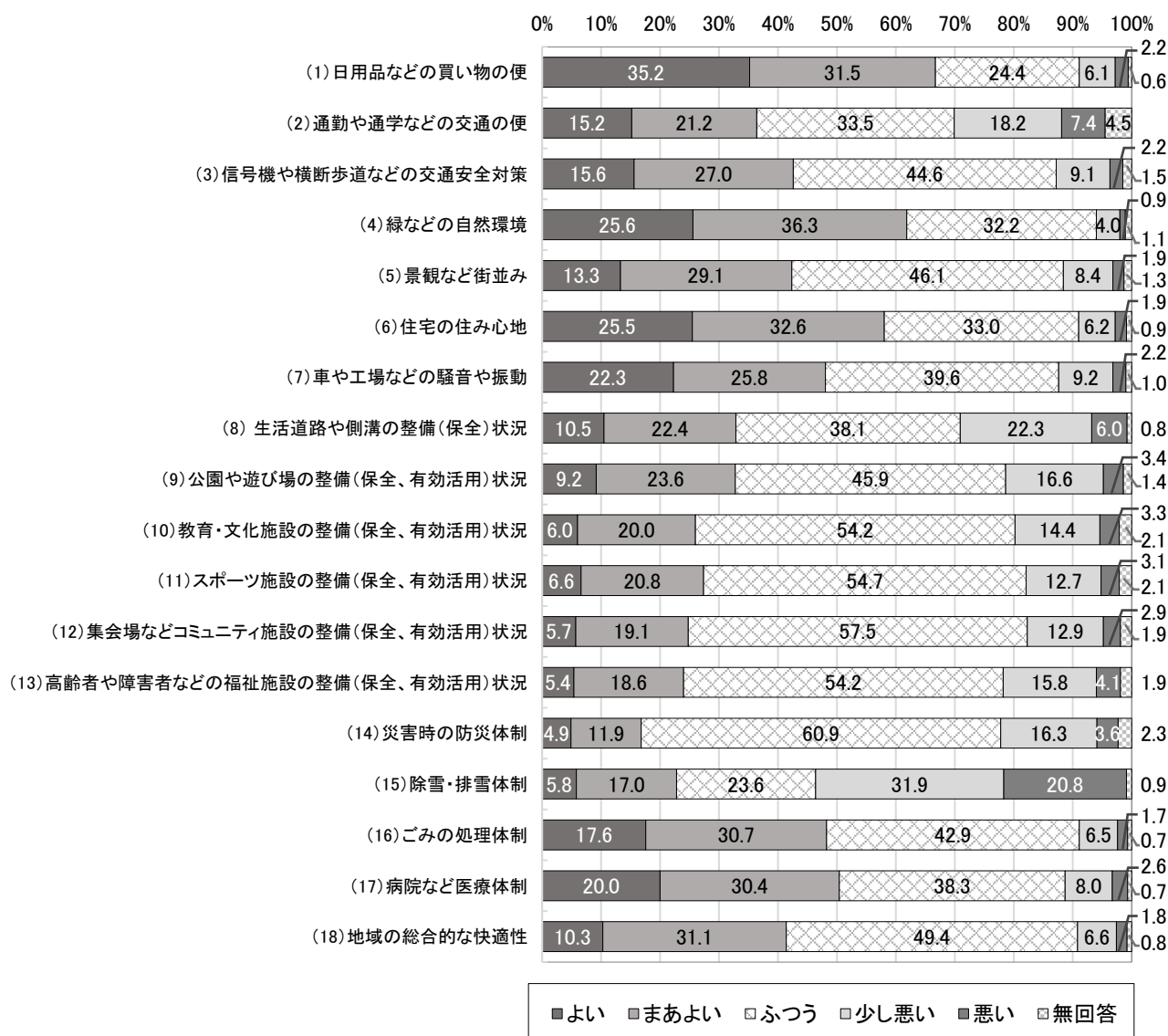
(1) 生活環境項目の全体的評価

ア 項目別の評価

評価が高い項目は、「(1) 日用品などの買い物の便」、「(4) 緑などの自然環境」、「(6) 住宅の住み心地」であり、これらの項目と「(17) 病院など医療体制」は、「よい」と「まあよい」を合わせた「良い方」の回答が50%を超えている。

一方、評価が低い項目は、「(15) 除雪・排雪体制」で、「少し悪い」と「悪い」を合わせた「悪い方」の回答が52.7%と他の項目と比べて割合が高くなっている。

【ふだんの生活で感じること】



各項目を評価で分類すると、以下のとおりとなる。

【ふだんの生活で感じること】

(単位: %)

分類	項目	良い方	ふつう	悪い方
評価が高い項目 「良い方」が第1位	(1) 日用品などの買い物の便	66.7	24.4	8.3
	(4) 緑などの自然環境	61.9	32.2	4.9
	(6) 住宅の住み心地	58.1	33.0	8.1
	(17) 病院など医療体制	50.4	38.3	10.6
	(16) ごみの処理体制	48.3	42.9	8.2
	(7) 車や工場などの騒音や振動	48.1	39.6	11.4
	(2) 通勤や通学などの交通の便	36.4	33.5	25.6
評価がやや高い項目 「ふつう」が第1位で 「良い方」が第2位	(12) 集会場などコミュニティ施設の整備 (保全、有効活用) 状況	24.8	57.5	15.8
	(11) スポーツ施設の整備 (保全、有効活用) 状況	27.4	54.7	15.8
	(10) 教育・文化施設の整備 (保全、有効活用) 状況	26.0	54.2	17.7
	(13) 高齢者や障害者などの福祉施設 の整備(保全、有効活用) 状況	24.0	54.2	19.9
	(18) 地域の総合的な快適性	41.4	49.4	8.4
	(5) 景観など街並み	42.4	46.1	10.3
	(9) 公園や遊び場の整備 (保全、有効活用) 状況	32.8	45.9	20.0
	(3) 信号機や横断歩道などの 交通安全対策	42.6	44.6	11.3
	(8) 生活道路や側溝の整備 (保全) 状況	32.9	38.1	28.3
評価がやや低い項目 「ふつう」が第1位で 「悪い方」が第2位	(14) 災害時の防災体制	16.8	60.9	19.9
評価が低い項目 「悪い方」が第1位	(15) 除雪・排雪体制	22.8	23.6	52.7

- 各項目の中で最も高い割合
- 各項目の中で2番目に高い割合
- 各項目の中で3番目に高い割合

イ 評価点分析

項目ごとの評価点を算出した。算出に当たっては「よい」を2点、「まあよい」を1点、「ふつう」を0点、「少し悪い」を-1点、「悪い」-2点として各回答を点数化し、合計した点数を全回答数（無回答を除く。）で除して得た平均値とした。

項目ごとの評価点を見ると、16項目で評価がプラスとなり、評価点の高い項目は、「(1) 日用品などの買い物の便」、「(4) 緑などの自然環境」、「(6) 住宅の住み心地」であった。

一方、評価点の低い項目は、「(14) 災害時の防災体制」、「(15) 除雪・排雪体制」の2項目で、評価点はマイナスとなった。

【ふだんの生活で感じること】（項目別の評価点）

評価	項目	評価点
評価点が プラスの項目	(1) 日用品などの買い物の便	0.92
	(4) 緑などの自然環境	0.83
	(6) 住宅の住み心地	0.74
	(17) 病院など医療体制	0.58
	(7) 車や工場などの騒音や振動	0.57
	(16) ごみの処理体制	0.56
	(3) 信号機や横断歩道などの交通安全対策	0.45
	(5) 景観など街並み	0.44
	(18) 地域の総合的な快適性	0.42
	(2) 通勤や通学などの交通の便	0.19
	(9) 公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況	0.19
	(11) スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況	0.15
	(12) 集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況	0.12
	(10) 教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況	0.11
	(8) 生活道路や側溝の整備（保全）状況	0.09
	(13) 高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況	0.05
評価点が マイナスの項目	(14) 災害時の防災体制	-0.02
	(15) 除雪・排雪体制	-0.45

ウ 令和5年度調査との比較

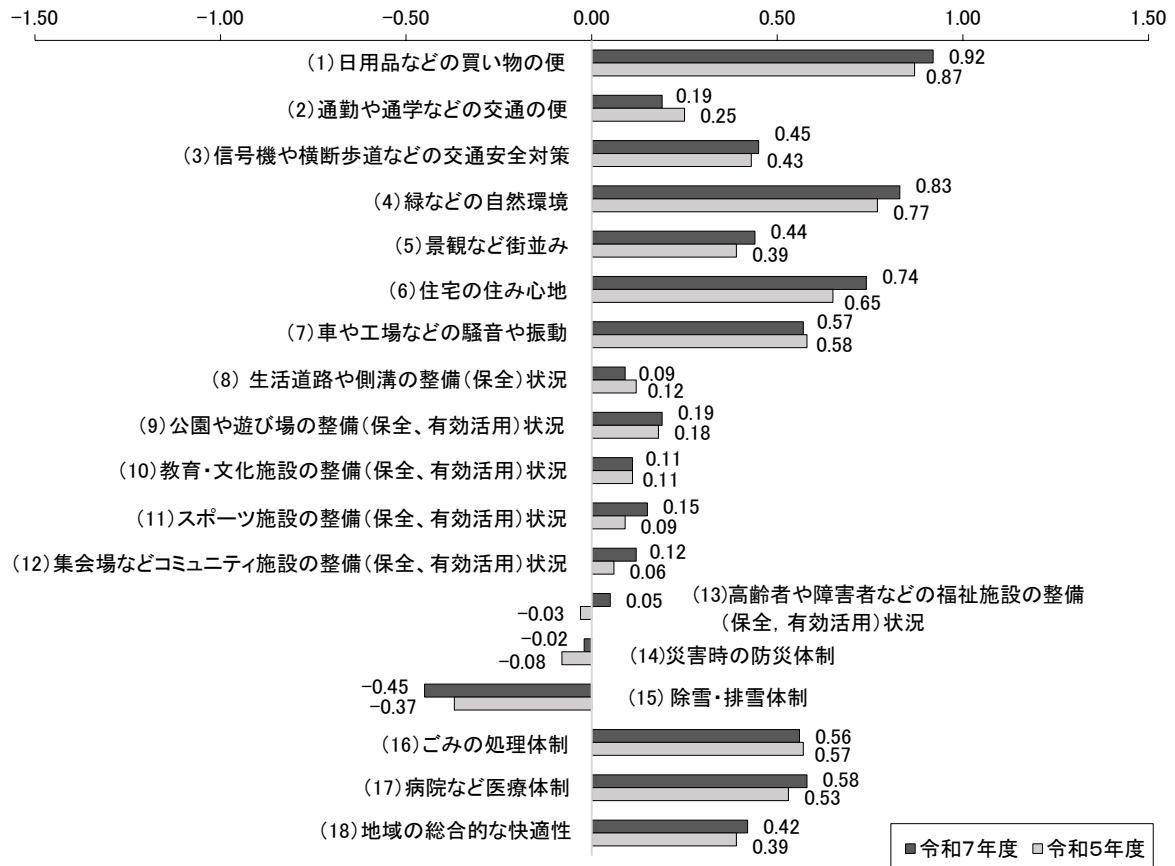
各項目の評価点を令和5年度調査と比較すると、12項目で評価点が上がっているが、5項目で評価点が下がっている。また、1項目で評価が変わらない。

評価点が最も上がっている項目は「(6) 住宅の住み心地」で、0.09ポイント上昇している。一方で、評価点が最も下がっている項目は「(15) 除雪・排雪体制」で、0.08ポイント下降している。

【ふだんの生活で感じること】（評価点、前回〔令和5年度調査〕との比較）

評価の変化		項目	令和7年度(b)	令和5年度(a)	増減(b-a)
評価が 上昇	令和7年度(+) 令和5年度(+)	(6) 住宅の住み心地	0.74	0.65	0.09
		(11) スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況	0.15	0.09	0.06
		(12) 集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況	0.12	0.06	0.06
		(4) 緑などの自然環境	0.83	0.77	0.06
		(1) 日用品などの買い物の便	0.92	0.87	0.05
		(5) 景観など街並み	0.44	0.39	0.05
		(17) 病院など医療体制	0.58	0.53	0.05
		(18) 地域の総合的な快適性	0.42	0.39	0.03
		(3) 信号機や横断歩道などの交通安全対策	0.45	0.43	0.02
		(9) 公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況	0.19	0.18	0.01
	令和7年度(+) 令和5年度(-)	(13) 高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況	0.05	-0.03	0.08
	令和7年度(-) 令和5年度(-)	(14) 災害時の防災体制	-0.02	-0.08	0.06
評価が 変わらない	令和7年度(+) 令和5年度(+)	(10) 教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況	0.11	0.11	0.00
評価が 下降	令和7年度(+) 令和5年度(+)	(16) ごみの処理体制	0.56	0.57	-0.01
		(7) 車や工場などの騒音や振動	0.57	0.58	-0.01
		(8) 生活道路や側溝の整備（保全）状況	0.09	0.12	-0.03
		(2) 通勤や通学などの交通の便	0.19	0.25	-0.06
	令和7年度(-) 令和5年度(-)	(15) 除雪・排雪体制	-0.45	-0.37	-0.08

【ふだんの生活で感じること】（評価点、前回〔令和5年度調査〕との比較）



(2) 項目別の評価

(1) 日用品などの買い物の便

日用品などの買い物の便について、全体では、「よい」が35.2%で、「まあよい」の31.5%と合わせて66.7%が「良い方」と評価している。

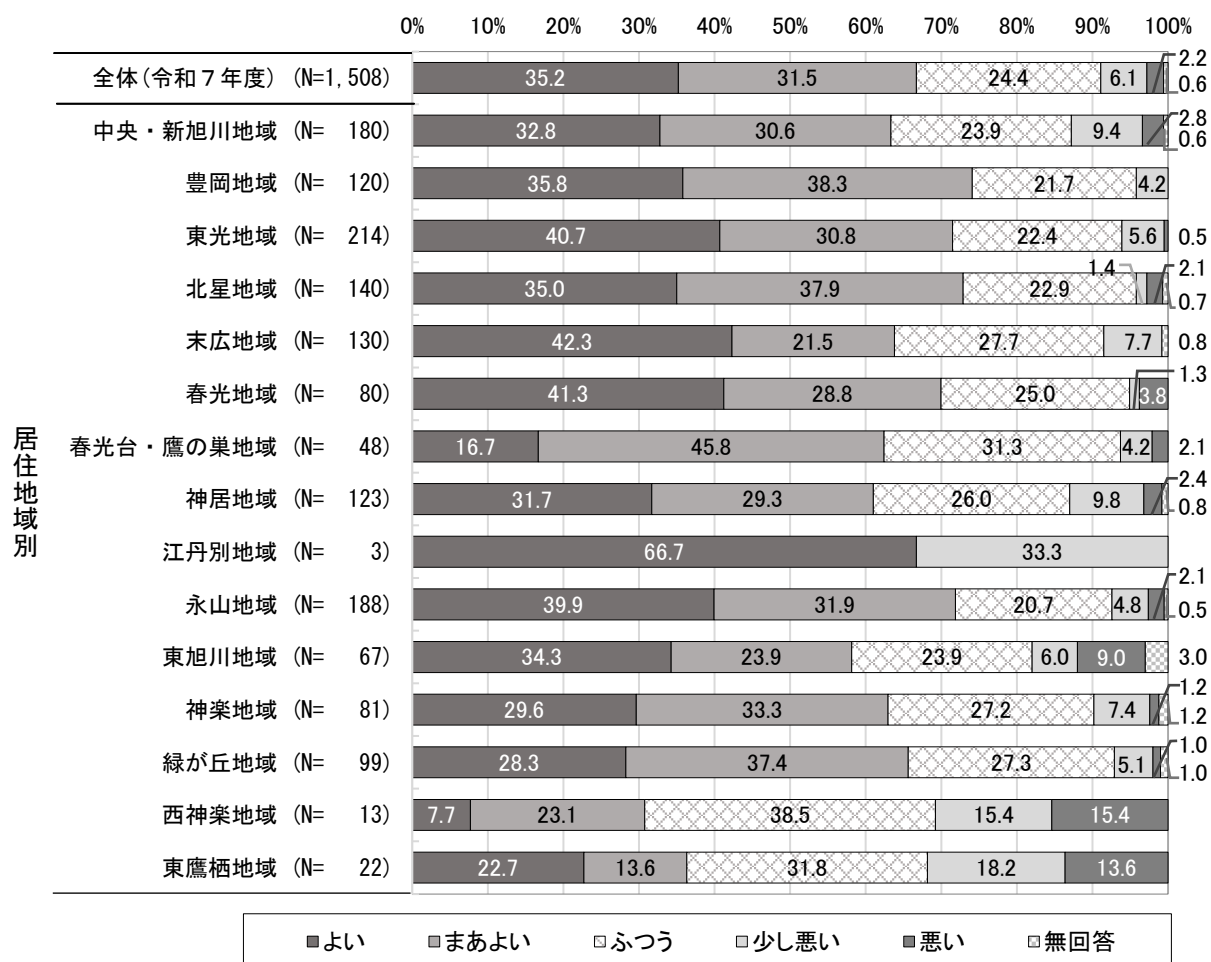
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、豊岡地域が74.1%、北星地域が72.9%、永山地域が71.8%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査の結果と比較すると、全体では、「良い方」は1.9ポイント増加し、「悪い方」は1.7ポイント減少している。

【(1) 日用品などの買い物の便】(居住地域別)



【(1) 日用品などの買い物の便】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：%)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	35.2	31.5	66.7	24.4	6.1	2.2	8.3	0.6
	令和5年度 (N=1,524)	34.7	30.1	64.8	25.0	7.0	3.0	10.0	0.3
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	32.8	30.6	63.4	23.9	9.4	2.8	12.2	0.6
	令和5年度 (N= 166)	33.7	21.7	55.4	29.5	9.0	6.0	15.0	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	35.8	38.3	74.1	21.7	4.2	0.0	4.2	0.0
	令和5年度 (N= 93)	33.3	36.6	69.9	24.7	5.4	0.0	5.4	0.0
東光地域	令和7年度 (N= 214)	40.7	30.8	71.5	22.4	5.6	0.5	6.1	0.0
	令和5年度 (N= 241)	39.8	32.4	72.2	22.8	5.0	0.0	5.0	0.0
北星地域	令和7年度 (N= 140)	35.0	37.9	72.9	22.9	1.4	2.1	3.5	0.7
	令和5年度 (N= 164)	39.6	26.8	66.4	23.8	4.3	4.3	8.6	1.2
末広地域	令和7年度 (N= 130)	42.3	21.5	63.8	27.7	7.7	0.0	7.7	0.8
	令和5年度 (N= 130)	34.6	31.5	66.1	26.2	5.4	2.3	7.7	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	41.3	28.8	70.1	25.0	1.3	3.8	5.1	0.0
	令和5年度 (N= 73)	37.0	20.5	57.5	23.3	12.3	6.8	19.1	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	16.7	45.8	62.5	31.3	4.2	2.1	6.3	0.0
	令和5年度 (N= 51)	17.6	23.5	41.1	41.2	11.8	3.9	15.7	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	31.7	29.3	61.0	26.0	9.8	2.4	12.2	0.8
	令和5年度 (N= 140)	30.7	29.3	60.0	27.9	7.1	4.3	11.4	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	令和5年度 (N= 6)	16.7	16.7	33.4	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	39.9	31.9	71.8	20.7	4.8	2.1	6.9	0.5
	令和5年度 (N= 194)	40.2	35.6	75.8	17.5	6.2	0.5	6.7	0.0
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	34.3	23.9	58.2	23.9	6.0	9.0	15.0	3.0
	令和5年度 (N= 59)	30.5	22.0	52.5	33.9	8.5	3.4	11.9	1.7
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	29.6	33.3	62.9	27.2	7.4	1.2	8.6	1.2
	令和5年度 (N= 76)	28.9	43.4	72.3	19.7	7.9	0.0	7.9	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	28.3	37.4	65.7	27.3	5.1	1.0	6.1	1.0
	令和5年度 (N= 92)	37.0	32.6	69.6	23.9	2.2	4.3	6.5	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	7.7	23.1	30.8	38.5	15.4	15.4	30.8	0.0
	令和5年度 (N= 14)	0.0	35.7	35.7	28.6	21.4	14.3	35.7	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	22.7	13.6	36.3	31.8	18.2	13.6	31.8	0.0
	令和5年度 (N= 25)	16.0	24.0	40.0	32.0	24.0	4.0	28.0	0.0

(2) 通勤や通学などの交通の便

通勤や通学などの交通の便について、全体では、「よい」が15.2%で、「まあよい」の21.2%と合わせて36.4%が「良い方」と評価している。

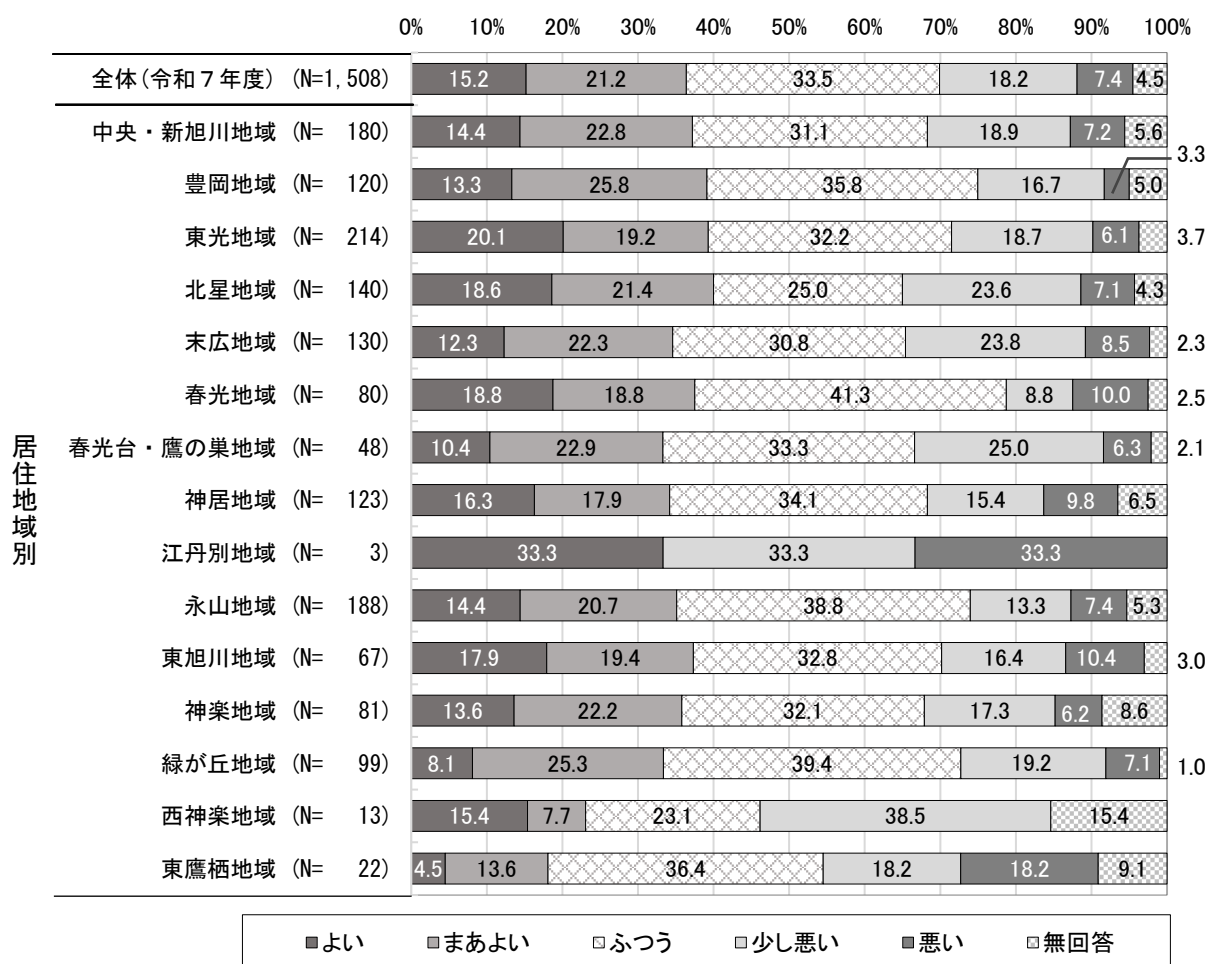
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、北星地域が40.0%、東光地域が39.3%、豊岡地域が39.1%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.2ポイント減少し、「悪い方」は2.1ポイント増加している。

【(2) 通勤や通学などの交通の便】(居住地域別)



【(2) 通勤や通学などの交通の便】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：％)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	15.2	21.2	36.4	33.5	18.2	7.4	25.6	4.5
	令和5年度 (N=1,524)	16.0	22.6	38.6	33.8	16.7	6.8	23.5	4.1
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	14.4	22.8	37.2	31.1	18.9	7.2	26.1	5.6
	令和5年度 (N= 166)	16.3	18.7	35.0	39.2	16.9	4.8	21.7	4.2
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	13.3	25.8	39.1	35.8	16.7	3.3	20.0	5.0
	令和5年度 (N= 93)	12.9	23.7	36.6	37.6	12.9	5.4	18.3	7.5
東光地域	令和7年度 (N= 214)	20.1	19.2	39.3	32.2	18.7	6.1	24.8	3.7
	令和5年度 (N= 241)	19.9	22.0	41.9	31.5	17.0	7.1	24.1	2.5
北星地域	令和7年度 (N= 140)	18.6	21.4	40.0	25.0	23.6	7.1	30.7	4.3
	令和5年度 (N= 164)	19.5	21.3	40.8	31.1	13.4	7.9	21.3	6.7
末広地域	令和7年度 (N= 130)	12.3	22.3	34.6	30.8	23.8	8.5	32.3	2.3
	令和5年度 (N= 130)	14.6	21.5	36.1	36.9	20.0	3.1	23.1	3.8
春光地域	令和7年度 (N= 80)	18.8	18.8	37.6	41.3	8.8	10.0	18.8	2.5
	令和5年度 (N= 73)	11.0	26.0	37.0	41.1	15.1	2.7	17.8	4.1
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	10.4	22.9	33.3	33.3	25.0	6.3	31.3	2.1
	令和5年度 (N= 51)	9.8	13.7	23.5	47.1	15.7	9.8	25.5	3.9
神居地域	令和7年度 (N= 123)	16.3	17.9	34.2	34.1	15.4	9.8	25.2	6.5
	令和5年度 (N= 140)	16.4	23.6	40.0	27.1	20.0	7.9	27.9	5.0
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	66.6	0.0
	令和5年度 (N= 6)	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	66.7	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	14.4	20.7	35.1	38.8	13.3	7.4	20.7	5.3
	令和5年度 (N= 194)	17.0	30.4	47.4	29.9	12.4	7.2	19.6	3.1
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	17.9	19.4	37.3	32.8	16.4	10.4	26.8	3.0
	令和5年度 (N= 59)	10.2	22.0	32.2	37.3	23.7	5.1	28.8	1.7
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	13.6	22.2	35.8	32.1	17.3	6.2	23.5	8.6
	令和5年度 (N= 76)	13.2	27.6	40.8	28.9	18.4	9.2	27.6	2.6
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	8.1	25.3	33.4	39.4	19.2	7.1	26.3	1.0
	令和5年度 (N= 92)	18.5	22.8	41.3	32.6	13.0	7.6	20.6	5.4
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	15.4	7.7	23.1	23.1	38.5	0.0	38.5	15.4
	令和5年度 (N= 14)	7.1	7.1	14.2	14.3	57.1	14.3	71.4	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	4.5	13.6	18.1	36.4	18.2	18.2	36.4	9.1
	令和5年度 (N= 25)	8.0	8.0	16.0	52.0	24.0	8.0	32.0	0.0

(3) 信号機や横断歩道などの交通安全対策

信号機や横断歩道などの交通安全対策について、全体では「ふつう」の評価が44.6%と最も高く、「よい」が15.6%で、「まあよい」の27.0%と合わせた「良い方」は42.6%となっている。

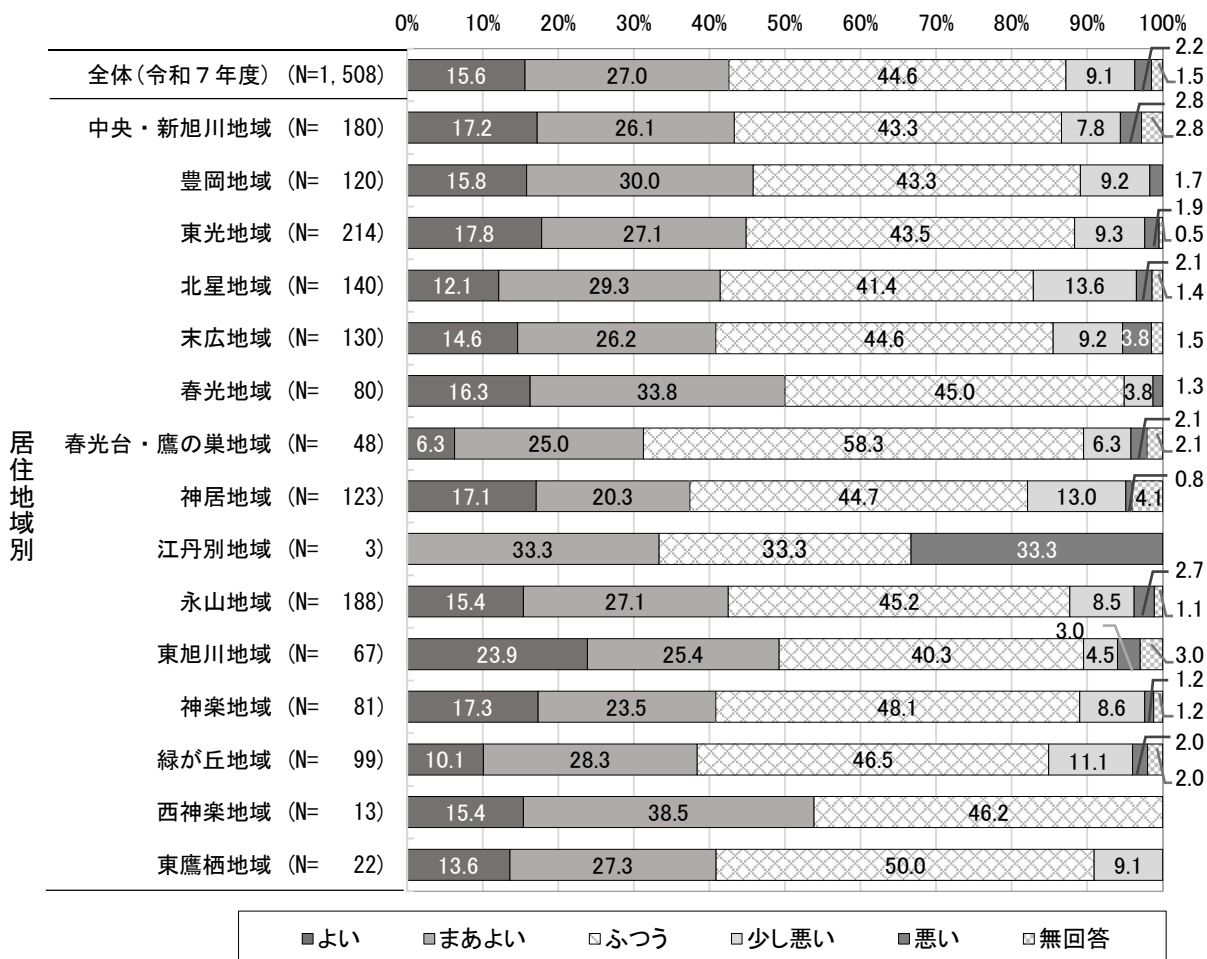
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が53.9%、春光地域が50.1%、東旭川地域が49.3%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は1.4ポイント増加し、「悪い方」は同じ数値となっている。

【(3) 信号機や横断歩道などの交通安全対策】(居住地域別)



【(3) 信号機や横断歩道などの交通安全対策】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位: %)

		よい	まあよい	良い方 (よい+ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い+ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	15.6	27.0	42.6	44.6	9.1	2.2	11.3	1.5
	令和5年度 (N=1,524)	15.1	26.1	41.2	46.8	9.3	2.0	11.3	0.7
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	17.2	26.1	43.3	43.3	7.8	2.8	10.6	2.8
	令和5年度 (N= 166)	16.3	22.9	39.2	46.4	12.0	1.8	13.8	0.6
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	15.8	30.0	45.8	43.3	9.2	1.7	10.9	0.0
	令和5年度 (N= 93)	16.1	33.3	49.4	43.0	6.5	0.0	6.5	1.1
東光地域	令和7年度 (N= 214)	17.8	27.1	44.9	43.5	9.3	1.9	11.2	0.5
	令和5年度 (N= 241)	16.6	23.2	39.8	45.2	11.2	3.3	14.5	0.4
北星地域	令和7年度 (N= 140)	12.1	29.3	41.4	41.4	13.6	2.1	15.7	1.4
	令和5年度 (N= 164)	12.8	29.3	42.1	47.0	4.9	4.3	9.2	1.8
末広地域	令和7年度 (N= 130)	14.6	26.2	40.8	44.6	9.2	3.8	13.0	1.5
	令和5年度 (N= 130)	15.4	26.9	42.3	46.9	9.2	1.5	10.7	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	16.3	33.8	50.1	45.0	3.8	1.3	5.1	0.0
	令和5年度 (N= 73)	20.5	28.8	49.3	43.8	4.1	1.4	5.5	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	6.3	25.0	31.3	58.3	6.3	2.1	8.4	2.1
	令和5年度 (N= 51)	15.7	25.5	41.2	47.1	5.9	3.9	9.8	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	17.1	20.3	37.4	44.7	13.0	0.8	13.8	4.1
	令和5年度 (N= 140)	14.3	27.9	42.2	47.9	8.6	0.7	9.3	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	令和5年度 (N= 6)	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	15.4	27.1	42.5	45.2	8.5	2.7	11.2	1.1
	令和5年度 (N= 194)	14.4	25.3	39.7	47.4	11.9	0.5	12.4	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	23.9	25.4	49.3	40.3	4.5	3.0	7.5	3.0
	令和5年度 (N= 59)	16.9	18.6	35.5	61.0	3.4	0.0	3.4	0.0
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	17.3	23.5	40.8	48.1	8.6	1.2	9.8	1.2
	令和5年度 (N= 76)	9.2	22.4	31.6	55.3	10.5	2.6	13.1	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	10.1	28.3	38.4	46.5	11.1	2.0	13.1	2.0
	令和5年度 (N= 92)	16.3	33.7	50.0	32.6	13.0	4.3	17.3	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	15.4	38.5	53.9	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 14)	7.1	0.0	7.1	64.3	28.6	0.0	28.6	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	13.6	27.3	40.9	50.0	9.1	0.0	9.1	0.0
	令和5年度 (N= 25)	8.0	28.0	36.0	60.0	4.0	0.0	4.0	0.0

(4) 緑などの自然環境

緑などの自然環境について、全体では、「よい」が25.6%で、「まあよい」の36.3%と合わせて61.9%が「良い方」と評価している。

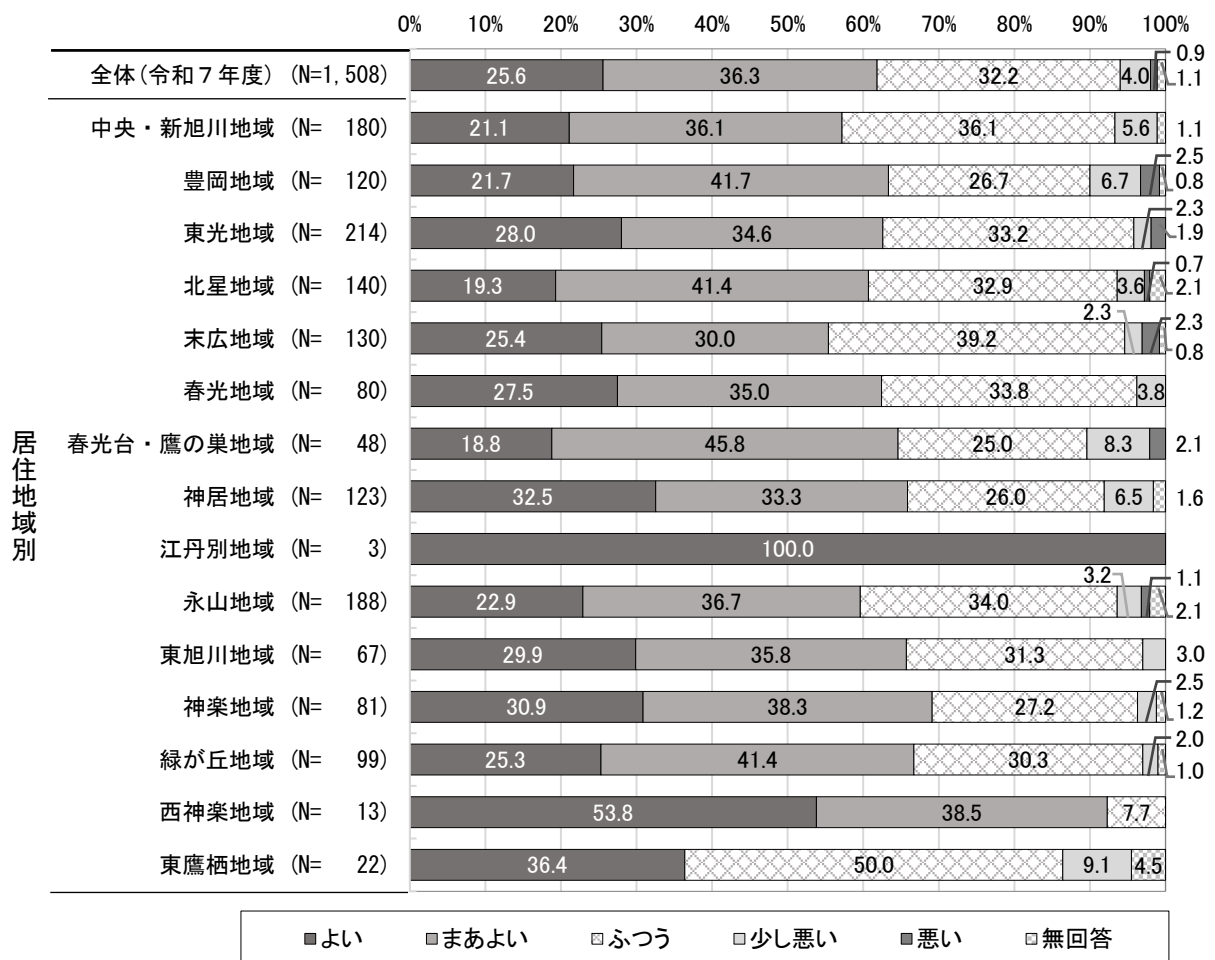
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が100.0%、西神楽地域が92.3%、神楽地域が69.2%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.5ポイント増加し、「悪い方」は1.2ポイント減少している。

【(4) 緑などの自然環境】(居住地域別)



【(4) 緑などの自然環境】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：%)

		よい	まあよい	良い方 (よい+ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い+ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	25.6	36.3	61.9	32.2	4.0	0.9	4.9	1.1
	令和5年度 (N=1,524)	24.1	35.3	59.4	33.8	4.7	1.4	6.1	0.8
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	21.1	36.1	57.2	36.1	5.6	0.0	5.6	1.1
	令和5年度 (N= 166)	21.1	34.3	55.4	37.3	5.4	1.2	6.6	0.6
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	21.7	41.7	63.4	26.7	6.7	2.5	9.2	0.8
	令和5年度 (N= 93)	20.4	34.4	54.8	34.4	5.4	3.2	8.6	2.2
東光地域	令和7年度 (N= 214)	28.0	34.6	62.6	33.2	2.3	1.9	4.2	0.0
	令和5年度 (N= 241)	24.5	32.8	57.3	36.1	5.8	0.4	6.2	0.4
北星地域	令和7年度 (N= 140)	19.3	41.4	60.7	32.9	3.6	0.7	4.3	2.1
	令和5年度 (N= 164)	26.2	28.0	54.2	36.6	4.9	2.4	7.3	1.8
末広地域	令和7年度 (N= 130)	25.4	30.0	55.4	39.2	2.3	2.3	4.6	0.8
	令和5年度 (N= 130)	19.2	32.3	51.5	43.1	4.6	0.8	5.4	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	27.5	35.0	62.5	33.8	3.8	0.0	3.8	0.0
	令和5年度 (N= 73)	24.7	37.0	61.7	32.9	2.7	1.4	4.1	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	18.8	45.8	64.6	25.0	8.3	2.1	10.4	0.0
	令和5年度 (N= 51)	31.4	37.3	68.7	21.6	5.9	2.0	7.9	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	32.5	33.3	65.8	26.0	6.5	0.0	6.5	1.6
	令和5年度 (N= 140)	25.0	46.4	71.4	22.9	3.6	1.4	5.0	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	22.9	36.7	59.6	34.0	3.2	1.1	4.3	2.1
	令和5年度 (N= 194)	22.2	33.5	55.7	36.1	5.7	2.1	7.8	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	29.9	35.8	65.7	31.3	3.0	0.0	3.0	0.0
	令和5年度 (N= 59)	20.3	40.7	61.0	27.1	8.5	1.7	10.2	1.7
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	30.9	38.3	69.2	27.2	2.5	0.0	2.5	1.2
	令和5年度 (N= 76)	26.3	36.8	63.1	35.5	1.3	0.0	1.3	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	25.3	41.4	66.7	30.3	2.0	0.0	2.0	1.0
	令和5年度 (N= 92)	29.3	44.6	73.9	25.0	1.1	0.0	1.1	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	53.8	38.5	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 14)	28.6	21.4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	36.4	0.0	36.4	50.0	9.1	0.0	9.1	4.5
	令和5年度 (N= 25)	32.0	28.0	60.0	32.0	4.0	4.0	8.0	0.0

(5) 景観など街並み

景観など街並みについて、全体では、「ふつう」の評価が46.1%と最も高く、「よい」が13.3%、「まあよい」が29.1%と合わせて「良い方」は42.4%となっている。

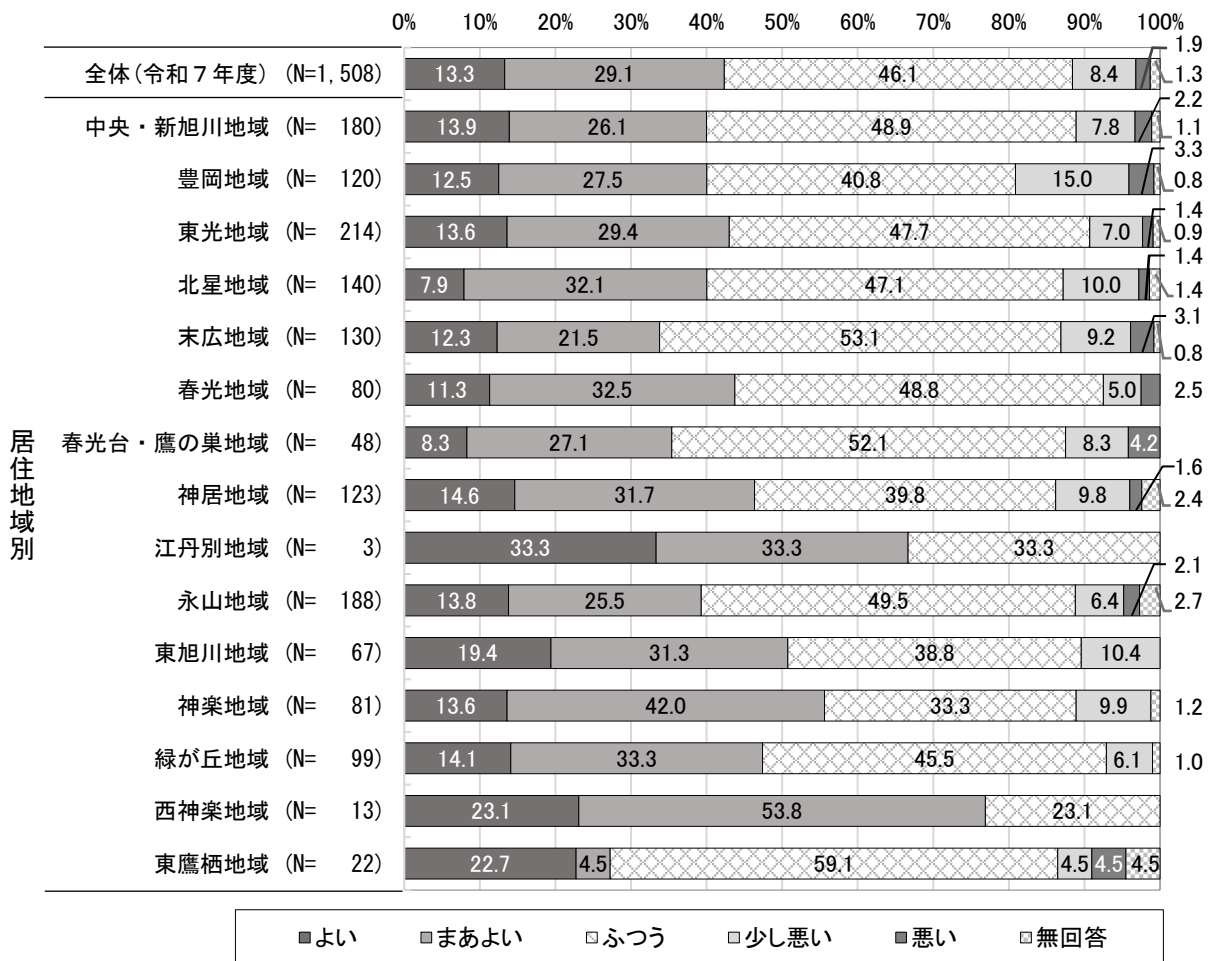
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が76.9%、江丹別地域が66.6%、神楽地域が55.6%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.7ポイント増加し、「悪い方」は1.4ポイント減少している。

【(5) 景観など街並み】(居住地域別)



【(5) 景観など街並み】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：%)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	13.3	29.1	42.4	46.1	8.4	1.9	10.3	1.3
	令和5年度 (N=1,524)	13.3	26.4	39.7	47.6	9.3	2.4	11.7	0.9
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	13.9	26.1	40.0	48.9	7.8	2.2	10.0	1.1
	令和5年度 (N= 166)	10.8	25.9	36.7	49.4	10.2	3.6	13.8	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	12.5	27.5	40.0	40.8	15.0	3.3	18.3	0.8
	令和5年度 (N= 93)	11.8	21.5	33.3	51.6	9.7	3.2	12.9	2.2
東光地域	令和7年度 (N= 214)	13.6	29.4	43.0	47.7	7.0	1.4	8.4	0.9
	令和5年度 (N= 241)	16.2	24.9	41.1	47.7	7.9	1.7	9.6	1.7
北星地域	令和7年度 (N= 140)	7.9	32.1	40.0	47.1	10.0	1.4	11.4	1.4
	令和5年度 (N= 164)	12.2	26.2	38.4	48.2	8.5	3.7	12.2	1.2
末広地域	令和7年度 (N= 130)	12.3	21.5	33.8	53.1	9.2	3.1	12.3	0.8
	令和5年度 (N= 130)	13.8	20.8	34.6	52.3	10.8	2.3	13.1	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	11.3	32.5	43.8	48.8	5.0	2.5	7.5	0.0
	令和5年度 (N= 73)	13.7	28.8	42.5	45.2	9.6	1.4	11.0	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	8.3	27.1	35.4	52.1	8.3	4.2	12.5	0.0
	令和5年度 (N= 51)	13.7	29.4	43.1	39.2	9.8	3.9	13.7	3.9
神居地域	令和7年度 (N= 123)	14.6	31.7	46.3	39.8	9.8	1.6	11.4	2.4
	令和5年度 (N= 140)	12.9	31.4	44.3	40.0	12.1	3.6	15.7	0.0
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	33.3	66.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	16.7	16.7	33.4	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	13.8	25.5	39.3	49.5	6.4	2.1	8.5	2.7
	令和5年度 (N= 194)	14.4	24.7	39.1	51.5	7.2	1.0	8.2	1.0
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	19.4	31.3	50.7	38.8	10.4	0.0	10.4	0.0
	令和5年度 (N= 59)	10.2	33.9	44.1	42.4	8.5	5.1	13.6	0.0
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	13.6	42.0	55.6	33.3	9.9	0.0	9.9	1.2
	令和5年度 (N= 76)	14.5	28.9	43.4	44.7	10.5	1.3	11.8	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	14.1	33.3	47.4	45.5	6.1	0.0	6.1	1.0
	令和5年度 (N= 92)	14.1	32.6	46.7	42.4	9.8	0.0	9.8	1.1
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	23.1	53.8	76.9	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 14)	7.1	21.4	28.5	64.3	7.1	0.0	7.1	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	22.7	4.5	27.2	59.1	4.5	4.5	9.0	4.5
	令和5年度 (N= 25)	8.0	24.0	32.0	52.0	12.0	4.0	16.0	0.0

(6) 住宅の住み心地

住宅の住み心地について、全体では、「よい」が25.5%で、「まあよい」の32.6%と合わせて58.1%が「良い方」と評価している。

【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が84.7%、東旭川地域が68.7%、江丹別地域が66.6%となっている。

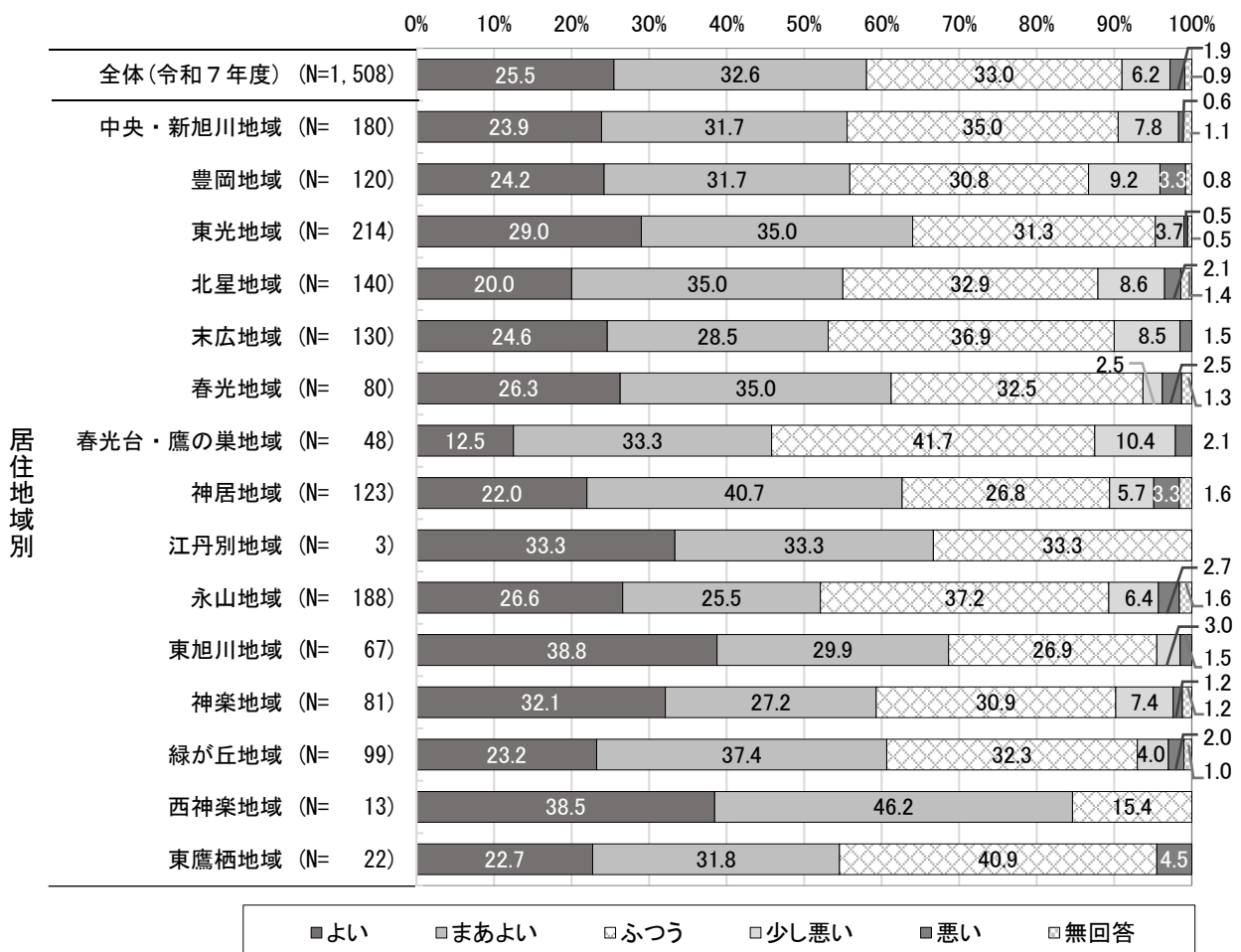
【住宅種別の評価】

住宅種別にみると、「良い方」の割合は、社宅等の給与住宅が77.0%と最も高く、次いで、持ち家（分譲マンション等の集合住宅）が67.9%、持ち家（一戸建）が61.9%の順となっている。

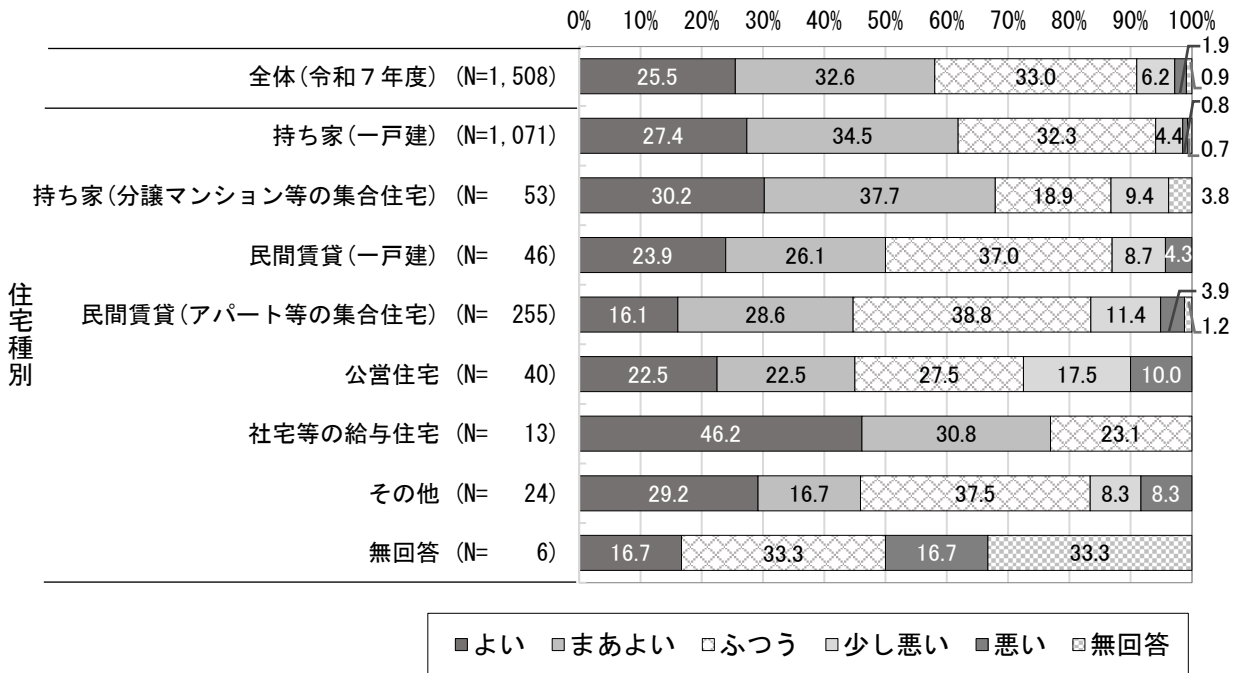
【過去の調査との比較】

令和5年度調査の結果と比較すると、全体では、「良い方」は5.0ポイント増加し、「悪い方」は0.8ポイント減少している。

【(6) 住宅の住み心地】（居住地域別）



【(6) 住宅の住み心地】(住宅種別)



【(6) 住宅の住み心地】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位: %)

		よい	まあよい	良い方 (よい+まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い+少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	25.5	32.6	58.1	33.0	6.2	1.9	8.1	0.9
	令和5年度 (N=1,524)	22.6	30.5	53.1	37.4	6.6	2.3	8.9	0.6
中央・新旭川地域	令和7年度 (N=180)	23.9	31.7	55.6	35.0	7.8	0.6	8.4	1.1
	令和5年度 (N=166)	19.3	32.5	51.8	38.6	7.8	1.8	9.6	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N=120)	24.2	31.7	55.9	30.8	9.2	3.3	12.5	0.8
	令和5年度 (N=93)	16.1	38.7	54.8	35.5	6.5	1.1	7.6	2.2
東光地域	令和7年度 (N=214)	29.0	35.0	64.0	31.3	3.7	0.5	4.2	0.5
	令和5年度 (N=241)	27.0	28.6	55.6	35.7	6.2	2.5	8.7	0.0
北星地域	令和7年度 (N=140)	20.0	35.0	55.0	32.9	8.6	2.1	10.7	1.4
	令和5年度 (N=164)	22.6	25.0	47.6	39.6	7.3	4.3	11.6	1.2
末広地域	令和7年度 (N=130)	24.6	28.5	53.1	36.9	8.5	1.5	10.0	0.0
	令和5年度 (N=130)	20.0	37.7	57.7	36.2	6.2	0.0	6.2	0.0
春光地域	令和7年度 (N=80)	26.3	35.0	61.3	32.5	2.5	2.5	5.0	1.3
	令和5年度 (N=73)	26.0	28.8	54.8	30.1	8.2	4.1	12.3	2.7
春光台・鷹の巣地域	令和7年度 (N=48)	12.5	33.3	45.8	41.7	10.4	2.1	12.5	0.0
	令和5年度 (N=51)	15.7	31.4	47.1	39.2	5.9	5.9	11.8	2.0
神居地域	令和7年度 (N=123)	22.0	40.7	62.7	26.8	5.7	3.3	9.0	1.6
	令和5年度 (N=140)	17.1	30.7	47.8	37.1	11.4	2.9	14.3	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N=3)	33.3	33.3	66.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N=6)	16.7	16.7	33.4	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N=188)	26.6	25.5	52.1	37.2	6.4	2.7	9.1	1.6
	令和5年度 (N=194)	23.7	23.7	47.4	45.9	4.6	1.5	6.1	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N=67)	38.8	29.9	68.7	26.9	3.0	1.5	4.5	0.0
	令和5年度 (N=59)	25.4	33.9	59.3	37.3	1.7	1.7	3.4	0.0
神楽地域	令和7年度 (N=81)	32.1	27.2	59.3	30.9	7.4	1.2	8.6	1.2
	令和5年度 (N=76)	26.3	35.5	61.8	30.3	6.6	1.3	7.9	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N=99)	23.2	37.4	60.6	32.3	4.0	2.0	6.0	1.0
	令和5年度 (N=92)	31.5	34.8	66.3	28.3	4.3	1.1	5.4	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N=13)	38.5	46.2	84.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N=14)	28.6	21.4	50.0	28.6	14.3	7.1	21.4	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N=22)	22.7	31.8	54.5	40.9	0.0	4.5	4.5	0.0
	令和5年度 (N=25)	16.0	28.0	44.0	52.0	0.0	4.0	4.0	0.0

(7) 車や工場などの騒音や振動

車や工場などの騒音や振動について、全体では、「よい」が22.3%で、「まあよい」の25.8%と合わせて48.1%が「良い方」と評価している。

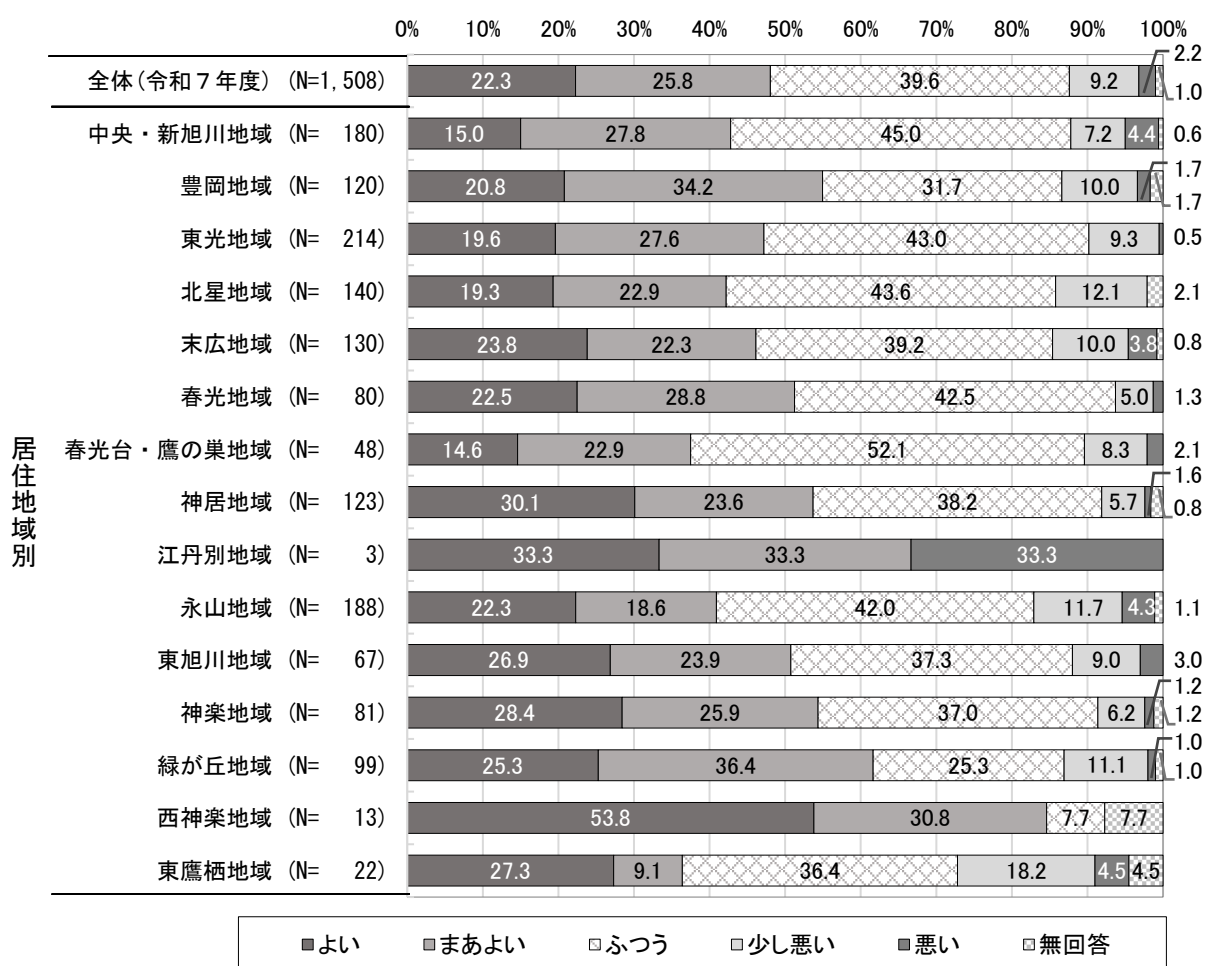
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が84.6%、江丹別地域が66.6%、緑が丘地域が61.7%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は1.4ポイント増加し、「悪い方」も2.3ポイント増加している。

【(7) 車や工場などの騒音や振動】(居住地域別)



【(7) 車や工場などの騒音や振動】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：%)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	22.3	25.8	48.1	39.6	9.2	2.2	11.4	1.0
	令和5年度 (N=1,524)	21.5	25.2	46.7	43.2	7.3	1.8	9.1	1.0
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	15.0	27.8	42.8	45.0	7.2	4.4	11.6	0.6
	令和5年度 (N= 166)	18.1	16.9	35.0	52.4	9.6	3.0	12.6	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	20.8	34.2	55.0	31.7	10.0	1.7	11.7	1.7
	令和5年度 (N= 93)	19.4	22.6	42.0	49.5	6.5	0.0	6.5	2.2
東光地域	令和7年度 (N= 214)	19.6	27.6	47.2	43.0	9.3	0.5	9.8	0.0
	令和5年度 (N= 241)	22.4	28.2	50.6	41.1	7.5	0.8	8.3	0.0
北星地域	令和7年度 (N= 140)	19.3	22.9	42.2	43.6	12.1	0.0	12.1	2.1
	令和5年度 (N= 164)	20.7	23.8	44.5	38.4	11.0	3.0	14.0	3.0
末広地域	令和7年度 (N= 130)	23.8	22.3	46.1	39.2	10.0	3.8	13.8	0.8
	令和5年度 (N= 130)	24.6	26.9	51.5	37.7	6.9	3.1	10.0	0.8
春光地域	令和7年度 (N= 80)	22.5	28.8	51.3	42.5	5.0	1.3	6.3	0.0
	令和5年度 (N= 73)	23.3	30.1	53.4	32.9	9.6	1.4	11.0	2.7
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	14.6	22.9	37.5	52.1	8.3	2.1	10.4	0.0
	令和5年度 (N= 51)	21.6	35.3	56.9	29.4	7.8	3.9	11.7	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	30.1	23.6	53.7	38.2	5.7	0.8	6.5	1.6
	令和5年度 (N= 140)	22.1	20.7	42.8	49.3	5.7	1.4	7.1	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	33.3	66.6	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	令和5年度 (N= 6)	50.0	16.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	22.3	18.6	40.9	42.0	11.7	4.3	16.0	1.1
	令和5年度 (N= 194)	20.6	24.2	44.8	45.9	6.7	2.1	8.8	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	26.9	23.9	50.8	37.3	9.0	3.0	12.0	0.0
	令和5年度 (N= 59)	25.4	28.8	54.2	37.3	6.8	1.7	8.5	0.0
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	28.4	25.9	54.3	37.0	6.2	1.2	7.4	1.2
	令和5年度 (N= 76)	23.7	26.3	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	25.3	36.4	61.7	25.3	11.1	1.0	12.1	1.0
	令和5年度 (N= 92)	22.8	29.3	52.1	41.3	3.3	1.1	4.4	2.2
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	53.8	30.8	84.6	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7
	令和5年度 (N= 14)	7.1	21.4	28.5	50.0	14.3	7.1	21.4	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	27.3	9.1	36.4	36.4	18.2	4.5	22.7	4.5
	令和5年度 (N= 25)	8.0	36.0	44.0	40.0	16.0	0.0	16.0	0.0

(8) 生活道路や側溝の整備（保全）状況

生活道路や側溝の整備（保全）状況について、全体では、「ふつう」の評価が38.1%と最も高く、「よい」が10.5%で、「まあよい」の22.4%と合わせて32.9%が「良い方」と評価している。

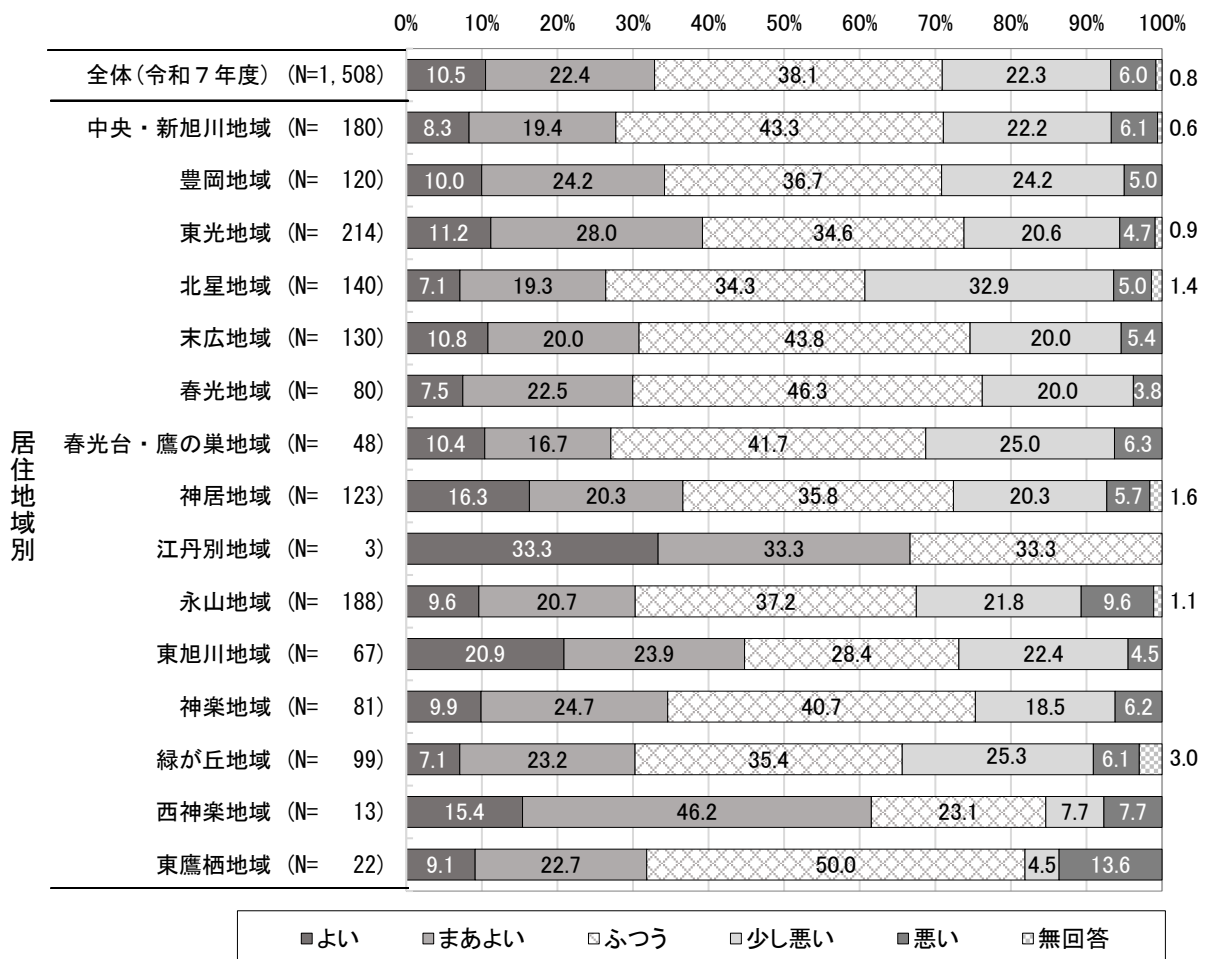
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が66.6%、西神楽地域が61.6%、東旭川地域が44.8%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は0.8ポイント減少し、「悪い方」は2.5ポイント増加している。

【(8) 生活道路や側溝の整備（保全）状況】（居住地域別）



【(8) 生活道路や側溝の整備（保全）状況】（前回〔令和5年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	10.5	22.4	32.9	38.1	22.3	6.0	28.3	0.8
	令和5年度 (N=1,524)	10.7	23.0	33.7	39.9	19.6	6.2	25.8	0.6
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	8.3	19.4	27.7	43.3	22.2	6.1	28.3	0.6
	令和5年度 (N= 166)	11.4	16.3	27.7	50.0	15.1	7.2	22.3	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	10.0	24.2	34.2	36.7	24.2	5.0	29.2	0.0
	令和5年度 (N= 93)	5.4	31.2	36.6	40.9	16.1	5.4	21.5	1.1
東光地域	令和7年度 (N= 214)	11.2	28.0	39.2	34.6	20.6	4.7	25.3	0.9
	令和5年度 (N= 241)	12.9	22.0	34.9	40.7	17.4	7.1	24.5	0.0
北星地域	令和7年度 (N= 140)	7.1	19.3	26.4	34.3	32.9	5.0	37.9	1.4
	令和5年度 (N= 164)	10.4	22.0	32.4	37.8	20.7	6.7	27.4	2.4
末広地域	令和7年度 (N= 130)	10.8	20.0	30.8	43.8	20.0	5.4	25.4	0.0
	令和5年度 (N= 130)	11.5	22.3	33.8	42.3	16.9	6.9	23.8	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	7.5	22.5	30.0	46.3	20.0	3.8	23.8	0.0
	令和5年度 (N= 73)	11.0	31.5	42.5	32.9	20.5	2.7	23.2	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	10.4	16.7	27.1	41.7	25.0	6.3	31.3	0.0
	令和5年度 (N= 51)	11.8	27.5	39.3	27.5	21.6	9.8	31.4	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	16.3	20.3	36.6	35.8	20.3	5.7	26.0	1.6
	令和5年度 (N= 140)	10.0	19.3	29.3	45.0	19.3	5.7	25.0	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	33.3	66.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	9.6	20.7	30.3	37.2	21.8	9.6	31.4	1.1
	令和5年度 (N= 194)	11.3	23.2	34.5	39.7	20.6	4.6	25.2	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	20.9	23.9	44.8	28.4	22.4	4.5	26.9	0.0
	令和5年度 (N= 59)	15.3	18.6	33.9	33.9	25.4	6.8	32.2	0.0
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	9.9	24.7	34.6	40.7	18.5	6.2	24.7	0.0
	令和5年度 (N= 76)	5.3	31.6	36.9	28.9	26.3	7.9	34.2	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	7.1	23.2	30.3	35.4	25.3	6.1	31.4	3.0
	令和5年度 (N= 92)	9.8	23.9	33.7	40.2	23.9	2.2	26.1	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	15.4	46.2	61.6	23.1	7.7	7.7	15.4	0.0
	令和5年度 (N= 14)	7.1	7.1	14.2	35.7	35.7	14.3	50.0	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	9.1	22.7	31.8	50.0	4.5	13.6	18.1	0.0
	令和5年度 (N= 25)	4.0	32.0	36.0	32.0	20.0	12.0	32.0	0.0

【(9) 公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況】

公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況について、全体では、「ふつう」の評価が45.9％と高く、「よい」が9.2％で、「まあよい」の23.6％と合わせた「良い方」は32.8％となっている。

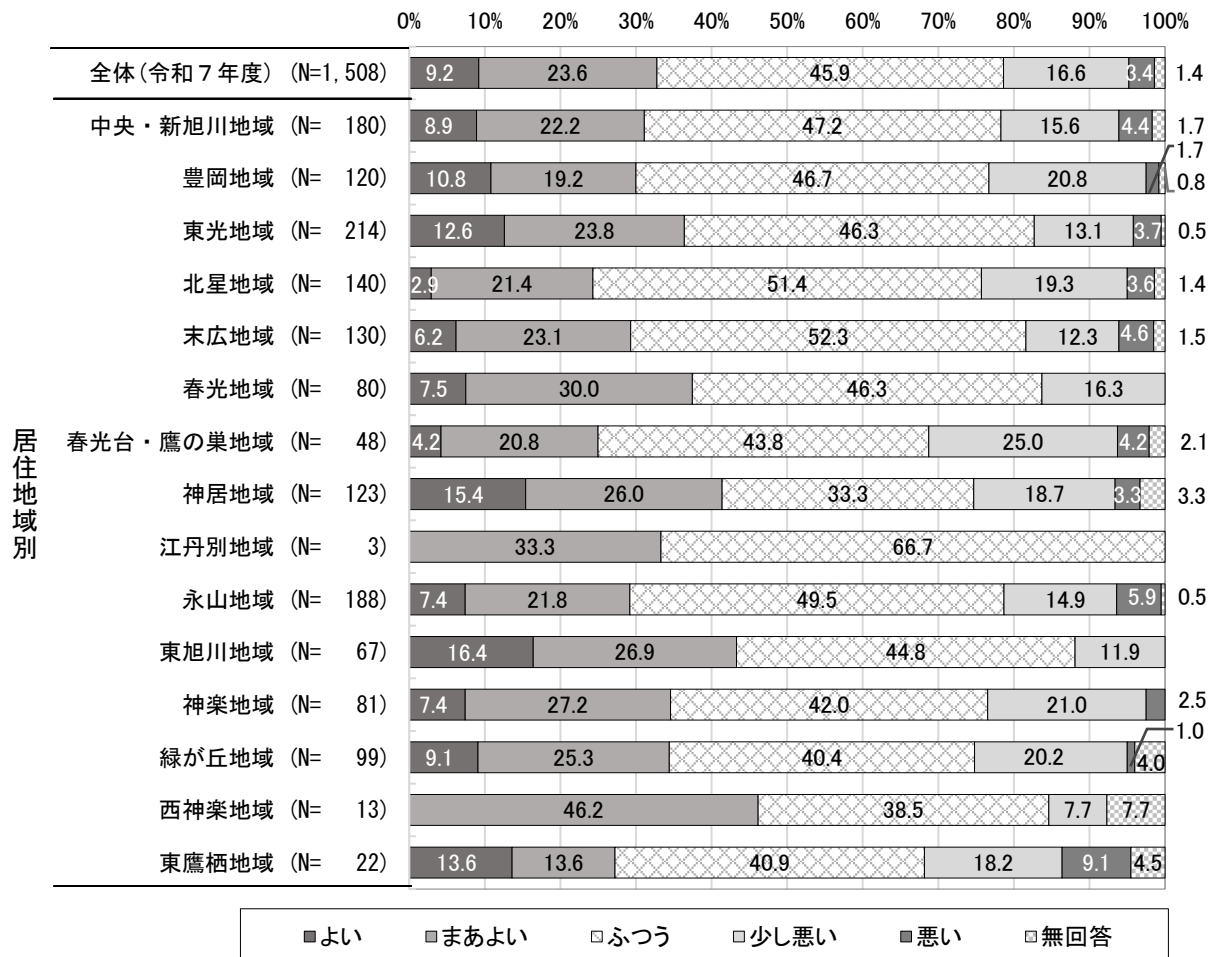
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が46.2％、東旭川地域が43.3％、神居地域が41.4％となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.0ポイント増加しており、「悪い方」も1.5ポイント増加している。

【(9) 公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況】（居住地域別）



【(9) 公園や遊び場の整備（保全、有効活用）状況】（前回〔令和5年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい+ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い+ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	9.2	23.6	32.8	45.9	16.6	3.4	20.0	1.4
	令和5年度 (N=1,524)	8.4	22.4	30.8	49.5	15.2	3.3	18.5	1.2
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	8.9	22.2	31.1	47.2	15.6	4.4	20.0	1.7
	令和5年度 (N= 166)	6.0	20.5	26.5	50.6	18.1	4.8	22.9	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	10.8	19.2	30.0	46.7	20.8	1.7	22.5	0.8
	令和5年度 (N= 93)	6.5	29.0	35.5	50.5	11.8	1.1	12.9	1.1
東光地域	令和7年度 (N= 214)	12.6	23.8	36.4	46.3	13.1	3.7	16.8	0.5
	令和5年度 (N= 241)	10.0	23.2	33.2	47.7	14.5	2.9	17.4	1.7
北星地域	令和7年度 (N= 140)	2.9	21.4	24.3	51.4	19.3	3.6	22.9	1.4
	令和5年度 (N= 164)	6.1	21.3	27.4	50.0	15.9	4.9	20.8	1.8
末広地域	令和7年度 (N= 130)	6.2	23.1	29.3	52.3	12.3	4.6	16.9	1.5
	令和5年度 (N= 130)	10.0	23.8	33.8	44.6	18.5	2.3	20.8	0.8
春光地域	令和7年度 (N= 80)	7.5	30.0	37.5	46.3	16.3	0.0	16.3	0.0
	令和5年度 (N= 73)	8.2	17.8	26.0	58.9	11.0	2.7	13.7	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	4.2	20.8	25.0	43.8	25.0	4.2	29.2	2.1
	令和5年度 (N= 51)	9.8	21.6	31.4	47.1	13.7	5.9	19.6	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	15.4	26.0	41.4	33.3	18.7	3.3	22.0	3.3
	令和5年度 (N= 140)	7.1	22.9	30.0	55.7	11.4	2.1	13.5	0.7
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	16.7	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	7.4	21.8	29.2	49.5	14.9	5.9	20.8	0.5
	令和5年度 (N= 194)	10.3	14.4	24.7	51.0	19.6	3.6	23.2	1.0
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	16.4	26.9	43.3	44.8	11.9	0.0	11.9	0.0
	令和5年度 (N= 59)	10.2	23.7	33.9	39.0	22.0	1.7	23.7	3.4
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	7.4	27.2	34.6	42.0	21.0	2.5	23.5	0.0
	令和5年度 (N= 76)	7.9	31.6	39.5	47.4	7.9	3.9	11.8	1.3
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	9.1	25.3	34.4	40.4	20.2	1.0	21.2	4.0
	令和5年度 (N= 92)	9.8	29.3	39.1	45.7	13.0	2.2	15.2	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	0.0	46.2	46.2	38.5	7.7	0.0	7.7	7.7
	令和5年度 (N= 14)	7.1	7.1	14.2	50.0	21.4	14.3	35.7	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	13.6	13.6	27.2	40.9	18.2	9.1	27.3	4.5
	令和5年度 (N= 25)	4.0	32.0	36.0	48.0	8.0	4.0	12.0	4.0

(10) 教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況

教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況について、全体では、「ふつう」の評価が54.2%と最も高く、「よい」が6.0%で、「まあよい」の20.0%と合わせた「良い方」は26.0%となっている。

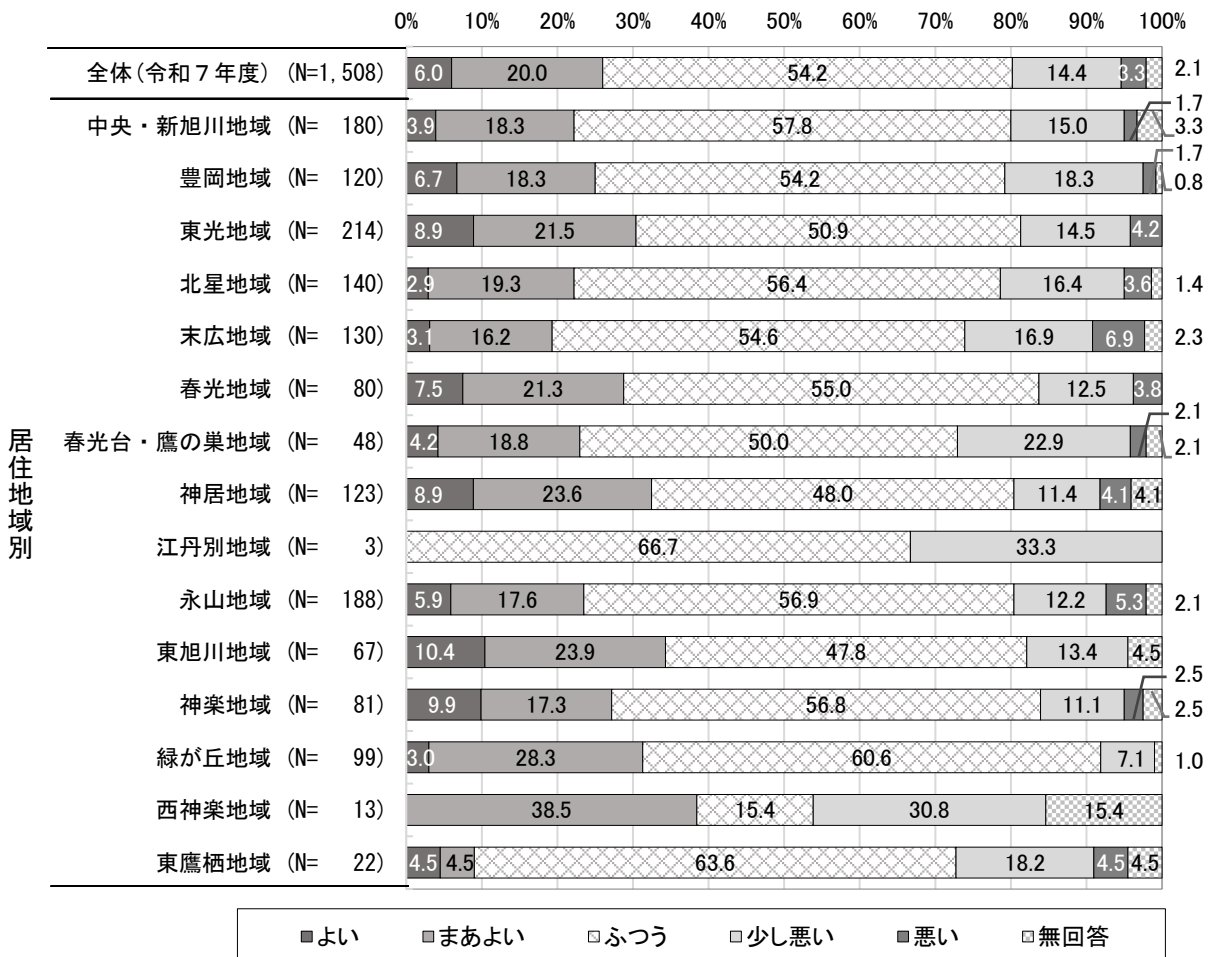
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、西神楽地域が38.5%、東旭川地域が34.3%、神居地域が32.5%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.6ポイント増加し、「悪い方」も1.6ポイント増加している。

【(10) 教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況】（居住地域別）



【(10) 教育・文化施設の整備（保全、有効活用）状況】（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	6.0	20.0	26.0	54.2	14.4	3.3	17.7	2.1
	令和５年度 (N=1,524)	6.2	17.2	23.4	58.5	13.2	2.9	16.1	2.0
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	3.9	18.3	22.2	57.8	15.0	1.7	16.7	3.3
	令和５年度 (N= 166)	5.4	17.5	22.9	60.2	12.0	4.8	16.8	0.0
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	6.7	18.3	25.0	54.2	18.3	1.7	20.0	0.8
	令和５年度 (N= 93)	5.4	20.4	25.8	53.8	15.1	1.1	16.2	4.3
東光地域	令和７年度 (N= 214)	8.9	21.5	30.4	50.9	14.5	4.2	18.7	0.0
	令和５年度 (N= 241)	7.5	15.4	22.9	57.7	13.3	2.9	16.2	3.3
北星地域	令和７年度 (N= 140)	2.9	19.3	22.2	56.4	16.4	3.6	20.0	1.4
	令和５年度 (N= 164)	4.3	15.9	20.2	59.1	13.4	4.3	17.7	3.0
末広地域	令和７年度 (N= 130)	3.1	16.2	19.3	54.6	16.9	6.9	23.8	2.3
	令和５年度 (N= 130)	6.2	19.2	25.4	59.2	8.5	3.8	12.3	3.1
春光地域	令和７年度 (N= 80)	7.5	21.3	28.8	55.0	12.5	3.8	16.3	0.0
	令和５年度 (N= 73)	5.5	20.5	26.0	60.3	9.6	2.7	12.3	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	4.2	18.8	23.0	50.0	22.9	2.1	25.0	2.1
	令和５年度 (N= 51)	5.9	23.5	29.4	47.1	11.8	5.9	17.7	5.9
神居地域	令和７年度 (N= 123)	8.9	23.6	32.5	48.0	11.4	4.1	15.5	4.1
	令和５年度 (N= 140)	7.1	13.6	20.7	66.4	12.9	0.0	12.9	0.0
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
	令和５年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	5.9	17.6	23.5	56.9	12.2	5.3	17.5	2.1
	令和５年度 (N= 194)	6.7	11.9	18.6	64.4	11.9	3.6	15.5	1.5
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	10.4	23.9	34.3	47.8	13.4	0.0	13.4	4.5
	令和５年度 (N= 59)	6.8	22.0	28.8	47.5	18.6	1.7	20.3	3.4
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	9.9	17.3	27.2	56.8	11.1	2.5	13.6	2.5
	令和５年度 (N= 76)	7.9	22.4	30.3	56.6	10.5	2.6	13.1	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	3.0	28.3	31.3	60.6	7.1	0.0	7.1	1.0
	令和５年度 (N= 92)	7.6	22.8	30.4	51.1	17.4	1.1	18.5	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	0.0	38.5	38.5	15.4	30.8	0.0	30.8	15.4
	令和５年度 (N= 14)	0.0	7.1	7.1	57.1	35.7	0.0	35.7	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	4.5	4.5	9.0	63.6	18.2	4.5	22.7	4.5
	令和５年度 (N= 25)	4.0	20.0	24.0	44.0	28.0	0.0	28.0	4.0

(11) スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況

スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況について、全体では、「ふつう」の評価が54.7%と最も高く、「よい」が6.6%で、「まあよい」の20.8%と合わせた「良い方」は27.4%となっている。

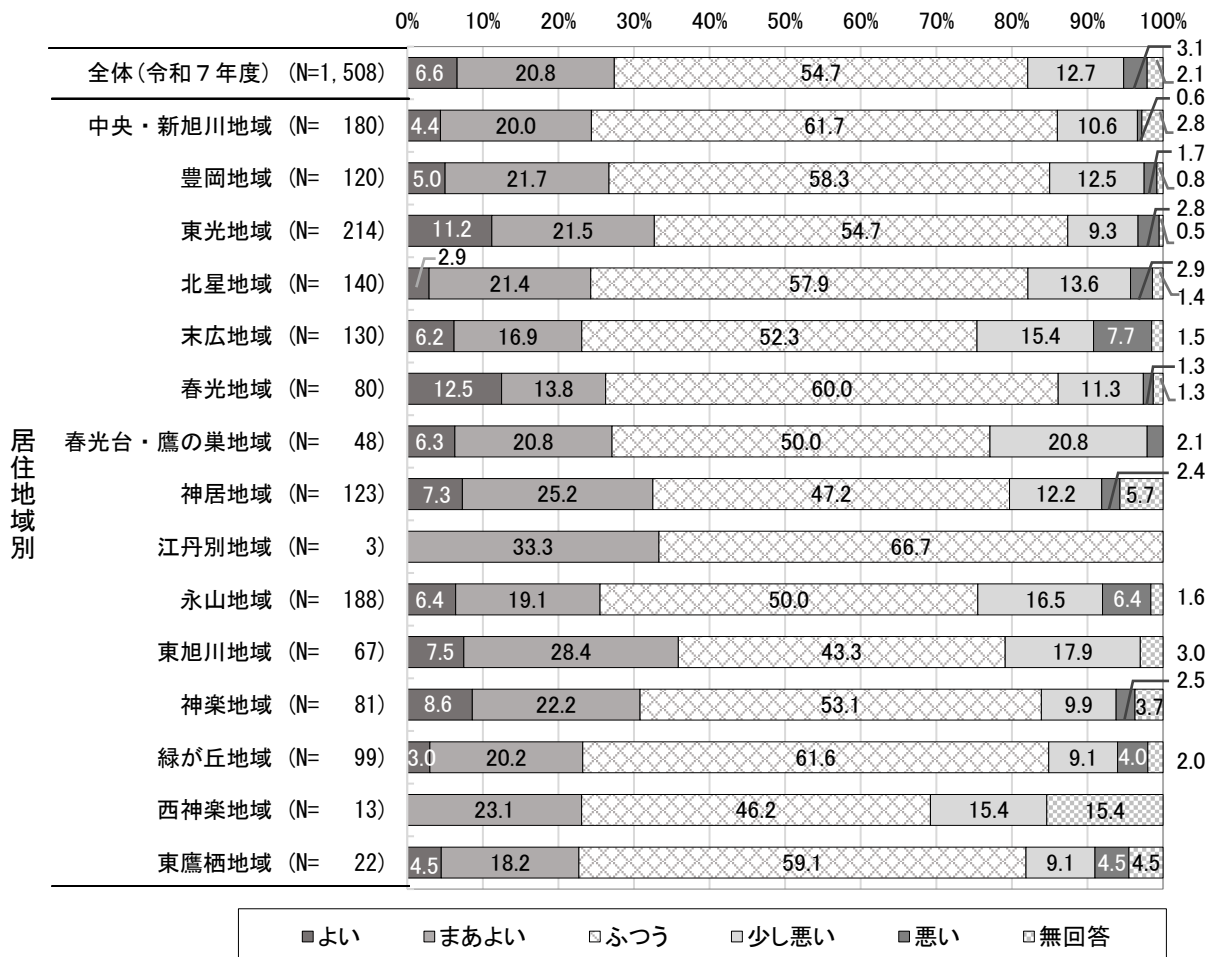
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、東旭川地域が35.9%、江丹別地域が33.3%、東光地域が32.7%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は3.5ポイント増加し、「悪い方」は1.2ポイント減少している。

【(11) スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況】（居住地域別）



【(11) スポーツ施設の整備（保全、有効活用）状況】（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	6.6	20.8	27.4	54.7	12.7	3.1	15.8	2.1
	令和５年度 (N=1,524)	5.5	18.4	23.9	57.3	13.4	3.6	17.0	1.8
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	4.4	20.0	24.4	61.7	10.6	0.6	11.2	2.8
	令和５年度 (N= 166)	6.0	16.3	22.3	57.2	14.5	6.0	20.5	0.0
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	5.0	21.7	26.7	58.3	12.5	1.7	14.2	0.8
	令和５年度 (N= 93)	4.3	18.3	22.6	61.3	11.8	1.1	12.9	3.2
東光地域	令和７年度 (N= 214)	11.2	21.5	32.7	54.7	9.3	2.8	12.1	0.5
	令和５年度 (N= 241)	6.6	22.0	28.6	54.8	12.0	2.9	14.9	1.7
北星地域	令和７年度 (N= 140)	2.9	21.4	24.3	57.9	13.6	2.9	16.5	1.4
	令和５年度 (N= 164)	3.0	16.5	19.5	61.0	11.6	5.5	17.1	2.4
末広地域	令和７年度 (N= 130)	6.2	16.9	23.1	52.3	15.4	7.7	23.1	1.5
	令和５年度 (N= 130)	8.5	18.5	27.0	56.2	10.8	3.8	14.6	2.3
春光地域	令和７年度 (N= 80)	12.5	13.8	26.3	60.0	11.3	1.3	12.6	1.3
	令和５年度 (N= 73)	4.1	17.8	21.9	63.0	13.7	0.0	13.7	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	6.3	20.8	27.1	50.0	20.8	2.1	22.9	0.0
	令和５年度 (N= 51)	5.9	19.6	25.5	47.1	11.8	7.8	19.6	7.8
神居地域	令和７年度 (N= 123)	7.3	25.2	32.5	47.2	12.2	2.4	14.6	5.7
	令和５年度 (N= 140)	3.6	16.4	20.0	67.9	10.7	0.0	10.7	1.4
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	33.4	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	6.4	19.1	25.5	50.0	16.5	6.4	22.9	1.6
	令和５年度 (N= 194)	5.7	12.9	18.6	57.7	16.5	5.2	21.7	2.1
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	7.5	28.4	35.9	43.3	17.9	0.0	17.9	3.0
	令和５年度 (N= 59)	8.5	22.0	30.5	50.8	15.3	1.7	17.0	1.7
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	8.6	22.2	30.8	53.1	9.9	2.5	12.4	3.7
	令和５年度 (N= 76)	3.9	23.7	27.6	59.2	10.5	2.6	13.1	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	3.0	20.2	23.2	61.6	9.1	4.0	13.1	2.0
	令和５年度 (N= 92)	7.6	25.0	32.6	47.8	16.3	3.3	19.6	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	0.0	23.1	23.1	46.2	15.4	0.0	15.4	15.4
	令和５年度 (N= 14)	0.0	7.1	7.1	64.3	28.6	0.0	28.6	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	4.5	18.2	22.7	59.1	9.1	4.5	13.6	4.5
	令和５年度 (N= 25)	4.0	28.0	32.0	28.0	28.0	8.0	36.0	4.0

(12) 集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況

集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況について、全体では、「ふつう」の評価が57.5%と最も高く、「よい」が5.7%で、「まあよい」の19.1%と合わせた「良い方」は24.8%となっている。

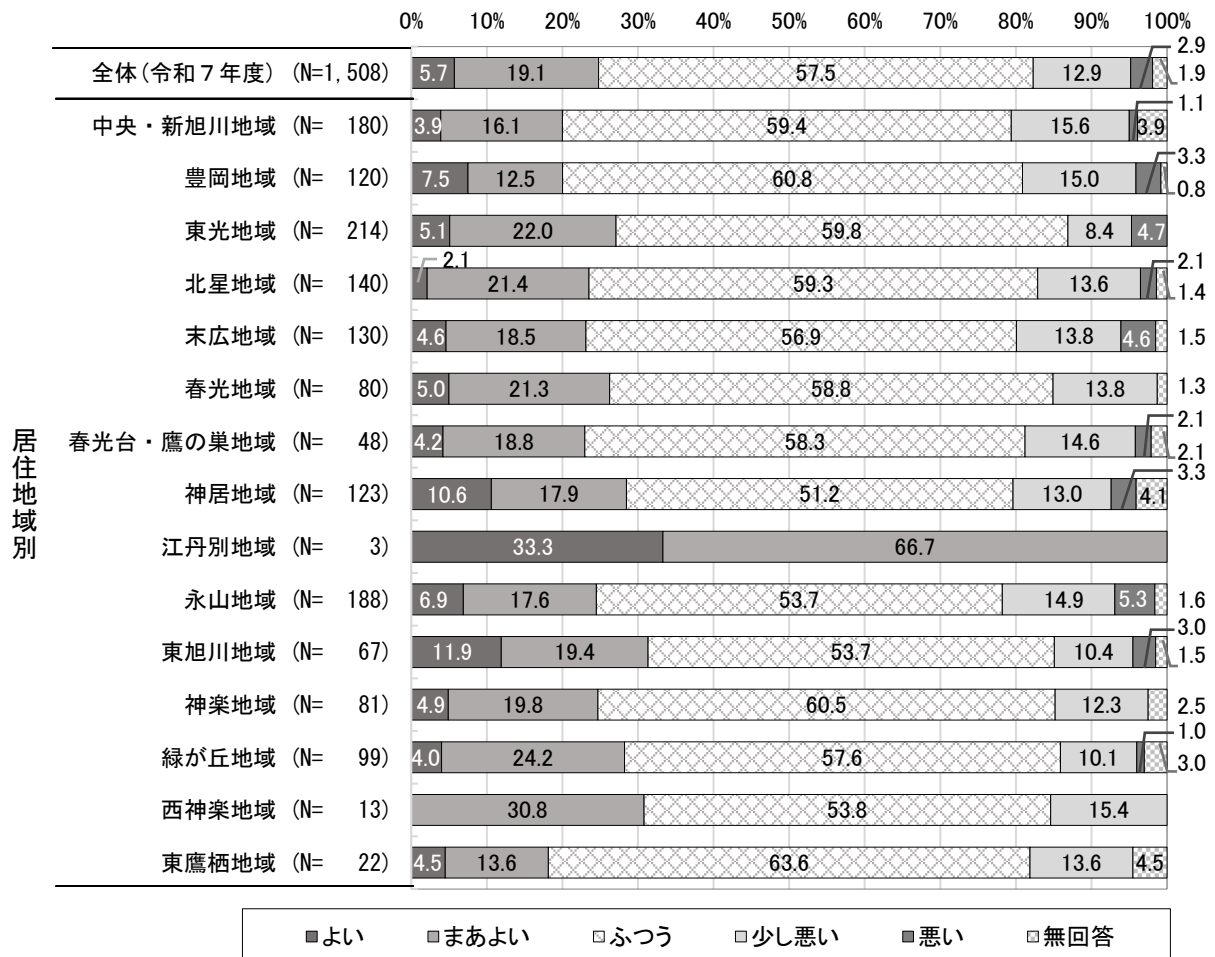
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が100.0%、東旭川地域が31.3%、西神楽地域が30.8%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は4.7ポイント増加し、「悪い方」は0.1ポイント減少している。

【(12) 集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況】（居住地域別）



【(12) 集会場などコミュニティ施設の整備（保全、有効活用）状況】

（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	5.7	19.1	24.8	57.5	12.9	2.9	15.8	1.9
	令和５年度 (N=1,524)	4.7	15.4	20.1	62.0	12.9	3.0	15.9	2.0
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	3.9	16.1	20.0	59.4	15.6	1.1	16.7	3.9
	令和５年度 (N= 166)	3.6	14.5	18.1	61.4	16.9	3.6	20.5	0.0
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	7.5	12.5	20.0	60.8	15.0	3.3	18.3	0.8
	令和５年度 (N= 93)	3.2	17.2	20.4	66.7	11.8	0.0	11.8	1.1
東光地域	令和７年度 (N= 214)	5.1	22.0	27.1	59.8	8.4	4.7	13.1	0.0
	令和５年度 (N= 241)	7.1	14.5	21.6	59.3	12.4	3.3	15.7	3.3
北星地域	令和７年度 (N= 140)	2.1	21.4	23.5	59.3	13.6	2.1	15.7	1.4
	令和５年度 (N= 164)	3.7	14.0	17.7	59.8	13.4	6.7	20.1	2.4
末広地域	令和７年度 (N= 130)	4.6	18.5	23.1	56.9	13.8	4.6	18.4	1.5
	令和５年度 (N= 130)	6.2	16.2	22.4	60.0	10.0	3.8	13.8	3.8
春光地域	令和７年度 (N= 80)	5.0	21.3	26.3	58.8	13.8	0.0	13.8	1.3
	令和５年度 (N= 73)	2.7	15.1	17.8	65.8	12.3	1.4	13.7	2.7
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	4.2	18.8	23.0	58.3	14.6	2.1	16.7	2.1
	令和５年度 (N= 51)	7.8	7.8	15.6	60.8	9.8	7.8	17.6	5.9
神居地域	令和７年度 (N= 123)	10.6	17.9	28.5	51.2	13.0	3.3	16.3	4.1
	令和５年度 (N= 140)	3.6	14.3	17.9	67.9	10.7	1.4	12.1	2.1
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	6.9	17.6	24.5	53.7	14.9	5.3	20.2	1.6
	令和５年度 (N= 194)	3.6	13.4	17.0	68.0	10.3	3.1	13.4	1.5
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	11.9	19.4	31.3	53.7	10.4	3.0	13.4	1.5
	令和５年度 (N= 59)	6.8	20.3	27.1	49.2	20.3	1.7	22.0	1.7
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	4.9	19.8	24.7	60.5	12.3	0.0	12.3	2.5
	令和５年度 (N= 76)	2.6	30.3	32.9	53.9	13.2	0.0	13.2	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	4.0	24.2	28.2	57.6	10.1	1.0	11.1	3.0
	令和５年度 (N= 92)	6.5	18.5	25.0	60.9	14.1	0.0	14.1	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	0.0	30.8	30.8	53.8	15.4	0.0	15.4	0.0
	令和５年度 (N= 14)	7.1	0.0	7.1	64.3	28.6	0.0	28.6	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	4.5	13.6	18.1	63.6	13.6	0.0	13.6	4.5
	令和５年度 (N= 25)	4.0	12.0	16.0	60.0	16.0	4.0	20.0	4.0

(13) 高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況

高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況について、全体では、「ふつう」の評価が54.2%と最も高く、「よい」の5.4%と「まあよい」の18.6%と合わせた「良い方」は24.0%となっている。

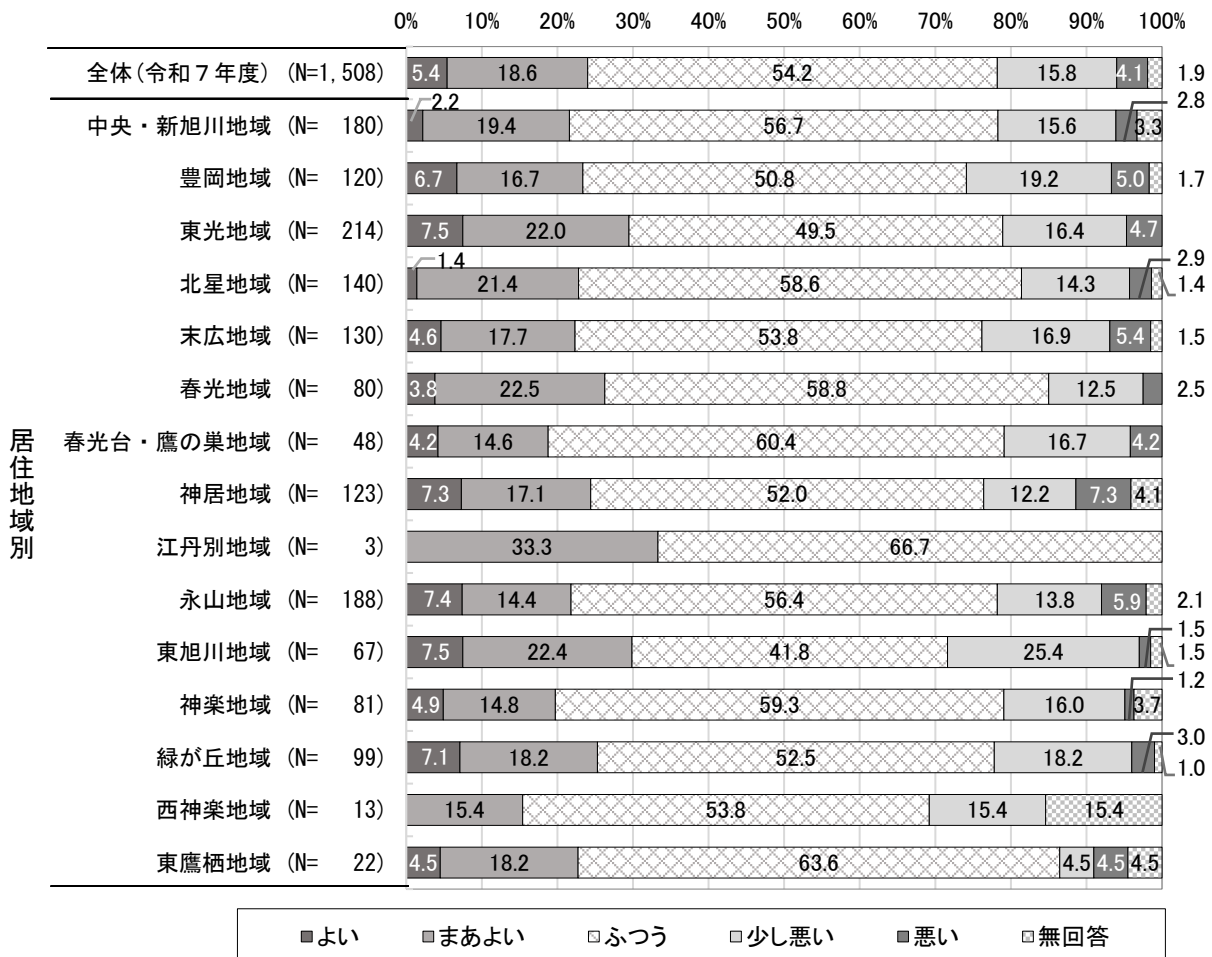
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が33.3%、東旭川地域が29.9%、東光地域が29.5%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は4.8ポイント増加し、「悪い方」は2.1ポイント減少している。

【(13) 高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況】（居住地域別）



【(13) 高齢者や障害者などの福祉施設の整備（保全、有効活用）状況】

（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	5.4	18.6	24.0	54.2	15.8	4.1	19.9	1.9
	令和５年度 (N=1,524)	4.2	15.0	19.2	57.0	17.5	4.5	22.0	1.8
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	2.2	19.4	21.6	56.7	15.6	2.8	18.4	3.3
	令和５年度 (N= 166)	3.0	16.3	19.3	56.0	18.7	4.8	23.5	1.2
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	6.7	16.7	23.4	50.8	19.2	5.0	24.2	1.7
	令和５年度 (N= 93)	3.2	17.2	20.4	57.0	18.3	3.2	21.5	1.1
東光地域	令和７年度 (N= 214)	7.5	22.0	29.5	49.5	16.4	4.7	21.1	0.0
	令和５年度 (N= 241)	5.8	15.8	21.6	51.0	22.0	3.3	25.3	2.1
北星地域	令和７年度 (N= 140)	1.4	21.4	22.8	58.6	14.3	2.9	17.2	1.4
	令和５年度 (N= 164)	3.7	8.5	12.2	56.1	18.9	9.1	28.0	3.7
末広地域	令和７年度 (N= 130)	4.6	17.7	22.3	53.8	16.9	5.4	22.3	1.5
	令和５年度 (N= 130)	6.2	18.5	24.7	53.8	15.4	4.6	20.0	1.5
春光地域	令和７年度 (N= 80)	3.8	22.5	26.3	58.8	12.5	2.5	15.0	0.0
	令和５年度 (N= 73)	0.0	19.2	19.2	57.5	19.2	4.1	23.3	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	4.2	14.6	18.8	60.4	16.7	4.2	20.9	0.0
	令和５年度 (N= 51)	7.8	15.7	23.5	54.9	9.8	3.9	13.7	7.8
神居地域	令和７年度 (N= 123)	7.3	17.1	24.4	52.0	12.2	7.3	19.5	4.1
	令和５年度 (N= 140)	2.1	17.1	19.2	64.3	13.6	2.1	15.7	0.7
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	7.4	14.4	21.8	56.4	13.8	5.9	19.7	2.1
	令和５年度 (N= 194)	5.2	10.8	16.0	62.9	14.4	4.1	18.5	2.6
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	7.5	22.4	29.9	41.8	25.4	1.5	26.9	1.5
	令和５年度 (N= 59)	1.7	11.9	13.6	66.1	15.3	5.1	20.4	0.0
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	4.9	14.8	19.7	59.3	16.0	1.2	17.2	3.7
	令和５年度 (N= 76)	3.9	19.7	23.6	57.9	13.2	5.3	18.5	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	7.1	18.2	25.3	52.5	18.2	3.0	21.2	1.0
	令和５年度 (N= 92)	5.4	16.3	21.7	55.4	19.6	3.3	22.9	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	0.0	15.4	15.4	53.8	15.4	0.0	15.4	15.4
	令和５年度 (N= 14)	7.1	0.0	7.1	42.9	42.9	7.1	50.0	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	4.5	18.2	22.7	63.6	4.5	4.5	9.0	4.5
	令和５年度 (N= 25)	4.0	20.0	24.0	44.0	16.0	8.0	24.0	8.0

(14) 災害時の防災体制

災害時の防災体制について、全体では、「ふつう」の評価が60.9%と最も高く、「よい」の4.9%と「まあよい」の11.9%と合わせた「良い方」は16.8%、「少し悪い」の16.3%と「悪い」の3.6%と合わせた「悪い方」は19.9%となっており、「悪い方」が「良い方」を上回っている。

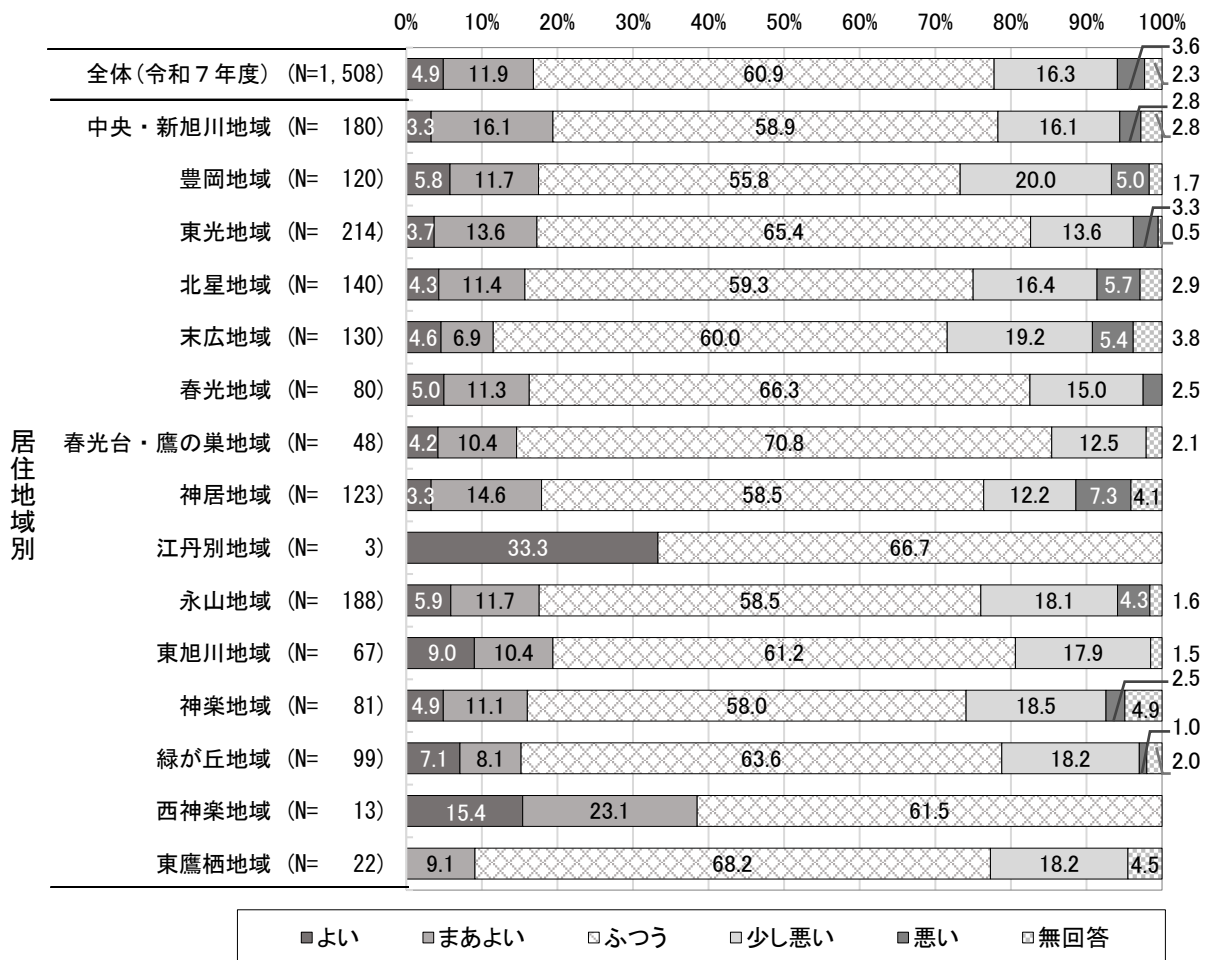
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「悪い方」が高い地域は、豊岡地域が25.0%、末広地域が24.6%、永山地域が22.4%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は1.0ポイント増加し、「悪い方」は2.1ポイント減少している。

【(14) 災害時の防災体制】(居住地域別)



【(14) 災害時の防災体制】（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	4.9	11.9	16.8	60.9	16.3	3.6	19.9	2.3
	令和５年度 (N=1,524)	3.1	12.7	15.8	60.4	17.3	4.7	22.0	1.8
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	3.3	16.1	19.4	58.9	16.1	2.8	18.9	2.8
	令和５年度 (N= 166)	3.6	10.2	13.8	63.3	17.5	4.8	22.3	0.6
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	5.8	11.7	17.5	55.8	20.0	5.0	25.0	1.7
	令和５年度 (N= 93)	2.2	9.7	11.9	74.2	10.8	1.1	11.9	2.2
東光地域	令和７年度 (N= 214)	3.7	13.6	17.3	65.4	13.6	3.3	16.9	0.5
	令和５年度 (N= 241)	2.9	12.4	15.3	61.4	16.2	4.1	20.3	2.9
北星地域	令和７年度 (N= 140)	4.3	11.4	15.7	59.3	16.4	5.7	22.1	2.9
	令和５年度 (N= 164)	3.7	15.2	18.9	54.9	15.9	7.9	23.8	2.4
末広地域	令和７年度 (N= 130)	4.6	6.9	11.5	60.0	19.2	5.4	24.6	3.8
	令和５年度 (N= 130)	3.8	11.5	15.3	58.5	17.7	6.9	24.6	1.5
春光地域	令和７年度 (N= 80)	5.0	11.3	16.3	66.3	15.0	2.5	17.5	0.0
	令和５年度 (N= 73)	1.4	23.3	24.7	57.5	16.4	1.4	17.8	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	4.2	10.4	14.6	70.8	12.5	0.0	12.5	2.1
	令和５年度 (N= 51)	2.0	9.8	11.8	52.9	17.6	7.8	25.4	9.8
神居地域	令和７年度 (N= 123)	3.3	14.6	17.9	58.5	12.2	7.3	19.5	4.1
	令和５年度 (N= 140)	5.0	15.0	20.0	57.9	17.9	3.6	21.5	0.7
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	5.9	11.7	17.6	58.5	18.1	4.3	22.4	1.6
	令和５年度 (N= 194)	4.1	7.2	11.3	61.3	21.6	4.1	25.7	1.5
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	9.0	10.4	19.4	61.2	17.9	0.0	17.9	1.5
	令和５年度 (N= 59)	5.1	16.9	22.0	57.6	16.9	3.4	20.3	0.0
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	4.9	11.1	16.0	58.0	18.5	2.5	21.0	4.9
	令和５年度 (N= 76)	0.0	13.2	13.2	64.5	17.1	5.3	22.4	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	7.1	8.1	15.2	63.6	18.2	1.0	19.2	2.0
	令和５年度 (N= 92)	1.1	16.3	17.4	60.9	17.4	3.3	20.7	1.1
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	15.4	23.1	38.5	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 14)	0.0	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	57.2	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	0.0	9.1	9.1	68.2	18.2	0.0	18.2	4.5
	令和５年度 (N= 25)	4.0	12.0	16.0	64.0	12.0	4.0	16.0	4.0

【(15) 除雪・排雪体制】

除雪・排雪体制について、全体では、「少し悪い」が31.9%で、「悪い」の20.8%と合わせて52.7%が「悪い方」と評価している。

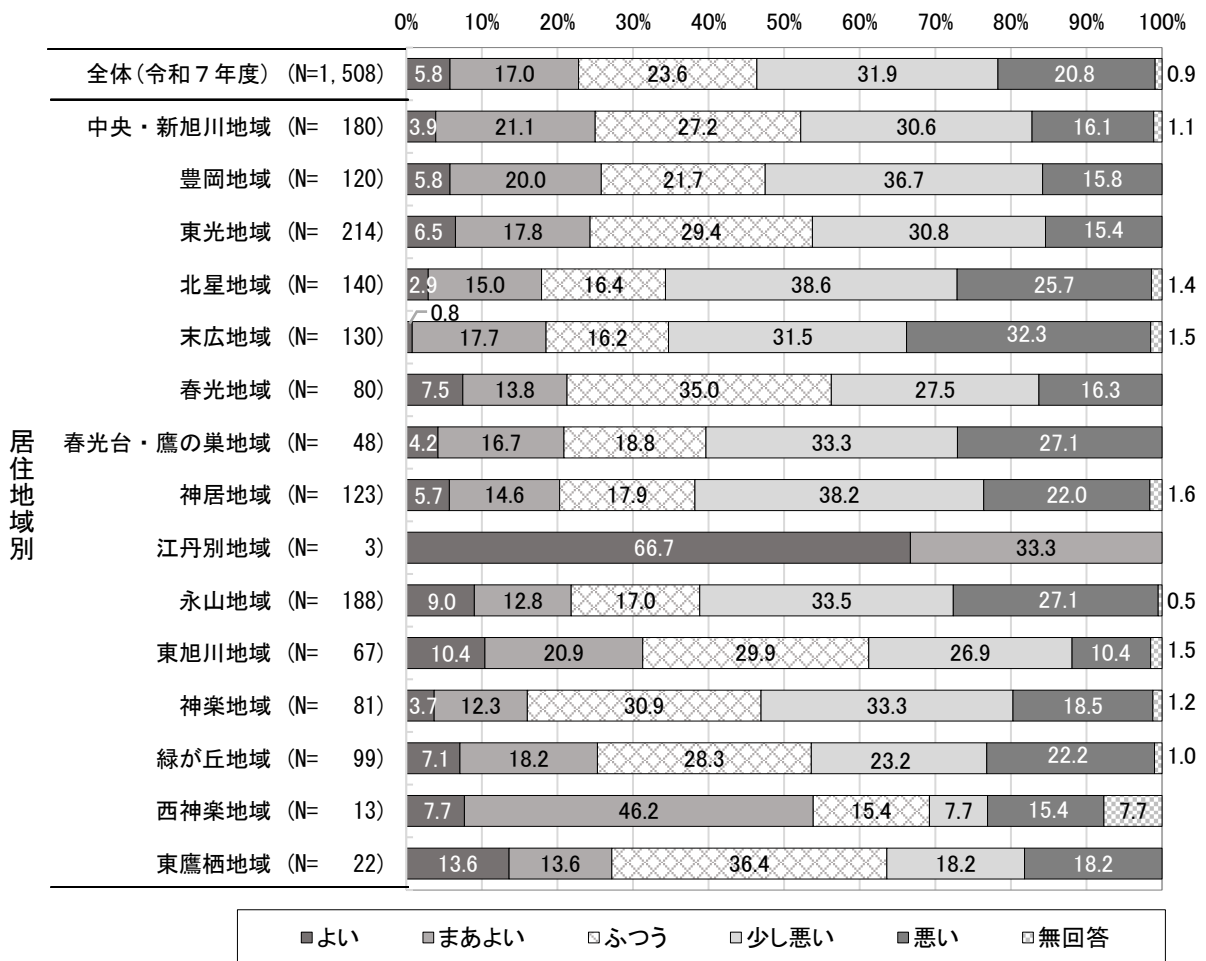
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「悪い方」が高い地域は、北星地域が64.3%、末広地域が63.8%、永山地域が60.6%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は2.0ポイント減少し、「悪い方」は3.2ポイント増加している。

【(15) 除雪・排雪体制】（居住地域別）



【(15) 除雪・排雪体制】（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	5.8	17.0	22.8	23.6	31.9	20.8	52.7	0.9
	令和５年度 (N=1,524)	7.1	17.7	24.8	25.2	29.7	19.8	49.5	0.6
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	3.9	21.1	25.0	27.2	30.6	16.1	46.7	1.1
	令和５年度 (N= 166)	9.0	14.5	23.5	33.1	29.5	13.9	43.4	0.0
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	5.8	20.0	25.8	21.7	36.7	15.8	52.5	0.0
	令和５年度 (N= 93)	3.2	22.6	25.8	28.0	23.7	20.4	44.1	2.2
東光地域	令和７年度 (N= 214)	6.5	17.8	24.3	29.4	30.8	15.4	46.2	0.0
	令和５年度 (N= 241)	7.5	17.4	24.9	31.5	25.3	18.3	43.6	0.0
北星地域	令和７年度 (N= 140)	2.9	15.0	17.9	16.4	38.6	25.7	64.3	1.4
	令和５年度 (N= 164)	4.9	17.7	22.6	23.8	26.8	24.4	51.2	2.4
末広地域	令和７年度 (N= 130)	0.8	17.7	18.5	16.2	31.5	32.3	63.8	1.5
	令和５年度 (N= 130)	7.7	18.5	26.2	23.1	27.7	23.1	50.8	0.0
春光地域	令和７年度 (N= 80)	7.5	13.8	21.3	35.0	27.5	16.3	43.8	0.0
	令和５年度 (N= 73)	6.8	20.5	27.3	26.0	30.1	16.4	46.5	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	4.2	16.7	20.9	18.8	33.3	27.1	60.4	0.0
	令和５年度 (N= 51)	3.9	15.7	19.6	17.6	37.3	23.5	60.8	2.0
神居地域	令和７年度 (N= 123)	5.7	14.6	20.3	17.9	38.2	22.0	60.2	1.6
	令和５年度 (N= 140)	7.9	12.9	20.8	21.4	35.0	22.9	57.9	0.0
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	33.4	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	9.0	12.8	21.8	17.0	33.5	27.1	60.6	0.5
	令和５年度 (N= 194)	7.7	13.9	21.6	22.2	32.5	23.2	55.7	0.5
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	10.4	20.9	31.3	29.9	26.9	10.4	37.3	1.5
	令和５年度 (N= 59)	6.8	28.8	35.6	20.3	25.4	16.9	42.3	1.7
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	3.7	12.3	16.0	30.9	33.3	18.5	51.8	1.2
	令和５年度 (N= 76)	3.9	27.6	31.5	14.5	32.9	21.1	54.0	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	7.1	18.2	25.3	28.3	23.2	22.2	45.4	1.0
	令和５年度 (N= 92)	7.6	18.5	26.1	28.3	31.5	14.1	45.6	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	7.7	46.2	53.9	15.4	7.7	15.4	23.1	7.7
	令和５年度 (N= 14)	7.1	14.3	21.4	28.6	28.6	21.4	50.0	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	13.6	13.6	27.2	36.4	18.2	18.2	36.4	0.0
	令和５年度 (N= 25)	16.0	16.0	32.0	12.0	52.0	4.0	56.0	0.0

【(16) ごみの処理体制】

ごみの処理体制について、全体では、「よい」が17.6%で、「まあよい」の30.7%と合わせて、48.3%が「良い方」と評価している。

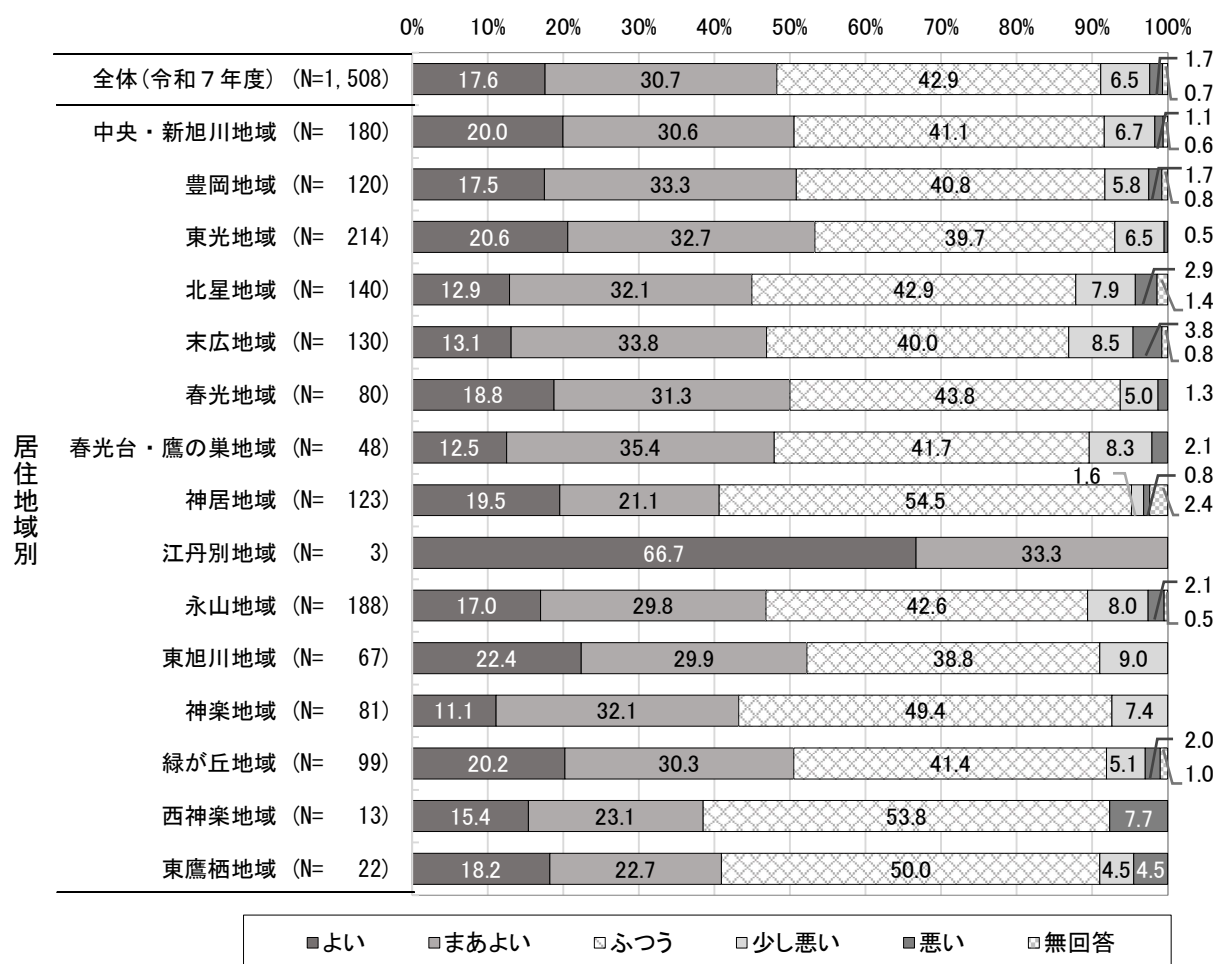
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が100.0%、東光地域が53.3%、東旭川地域が52.3%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は0.3ポイント減少し、「悪い方」も0.4ポイント減少している。

【(16) ごみの処理体制】（居住地域別）



【(16) ごみの処理体制】（前回〔令和５年度調査〕との比較）

（単位：％）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和７年度 (N=1,508)	17.6	30.7	48.3	42.9	6.5	1.7	8.2	0.7
	令和５年度 (N=1,524)	18.4	30.2	48.6	42.3	6.9	1.7	8.6	0.5
中央・ 新旭川地域	令和７年度 (N= 180)	20.0	30.6	50.6	41.1	6.7	1.1	7.8	0.6
	令和５年度 (N= 166)	16.3	28.9	45.2	44.6	8.4	1.2	9.6	0.6
豊岡地域	令和７年度 (N= 120)	17.5	33.3	50.8	40.8	5.8	1.7	7.5	0.8
	令和５年度 (N= 93)	19.4	35.5	54.9	38.7	5.4	1.1	6.5	0.0
東光地域	令和７年度 (N= 214)	20.6	32.7	53.3	39.7	6.5	0.5	7.0	0.0
	令和５年度 (N= 241)	19.5	34.4	53.9	37.3	5.8	1.7	7.5	1.2
北星地域	令和７年度 (N= 140)	12.9	32.1	45.0	42.9	7.9	2.9	10.8	1.4
	令和５年度 (N= 164)	15.2	35.4	50.6	38.4	6.1	3.7	9.8	1.2
末広地域	令和７年度 (N= 130)	13.1	33.8	46.9	40.0	8.5	3.8	12.3	0.8
	令和５年度 (N= 130)	23.1	20.8	43.9	47.7	6.9	1.5	8.4	0.0
春光地域	令和７年度 (N= 80)	18.8	31.3	50.1	43.8	5.0	1.3	6.3	0.0
	令和５年度 (N= 73)	24.7	32.9	57.6	32.9	8.2	0.0	8.2	1.4
春光台・ 鷹の巣地域	令和７年度 (N= 48)	12.5	35.4	47.9	41.7	8.3	2.1	10.4	0.0
	令和５年度 (N= 51)	19.6	29.4	49.0	45.1	2.0	2.0	4.0	2.0
神居地域	令和７年度 (N= 123)	19.5	21.1	40.6	54.5	1.6	0.8	2.4	2.4
	令和５年度 (N= 140)	18.6	27.1	45.7	43.6	8.6	2.1	10.7	0.0
江丹別地域	令和７年度 (N= 3)	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和５年度 (N= 6)	16.7	16.7	33.4	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和７年度 (N= 188)	17.0	29.8	46.8	42.6	8.0	2.1	10.1	0.5
	令和５年度 (N= 194)	15.5	28.9	44.4	43.3	11.3	1.0	12.3	0.0
東旭川地域	令和７年度 (N= 67)	22.4	29.9	52.3	38.8	9.0	0.0	9.0	0.0
	令和５年度 (N= 59)	16.9	33.9	50.8	45.8	3.4	0.0	3.4	0.0
神楽地域	令和７年度 (N= 81)	11.1	32.1	43.2	49.4	7.4	0.0	7.4	0.0
	令和５年度 (N= 76)	13.2	32.9	46.1	44.7	7.9	1.3	9.2	0.0
緑が丘地域	令和７年度 (N= 99)	20.2	30.3	50.5	41.4	5.1	2.0	7.1	1.0
	令和５年度 (N= 92)	22.8	26.1	48.9	43.5	3.3	4.3	7.6	0.0
西神楽地域	令和７年度 (N= 13)	15.4	23.1	38.5	53.8	0.0	7.7	7.7	0.0
	令和５年度 (N= 14)	21.4	21.4	42.8	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
東鷹栖地域	令和７年度 (N= 22)	18.2	22.7	40.9	50.0	4.5	4.5	9.0	0.0
	令和５年度 (N= 25)	16.0	20.0	36.0	60.0	4.0	0.0	4.0	0.0

【(17) 病院など医療体制】

病院など医療体制について、全体では、「よい」が20.0%と「まあよい」の30.4%と合わせて50.4%が「良い方」と評価している。

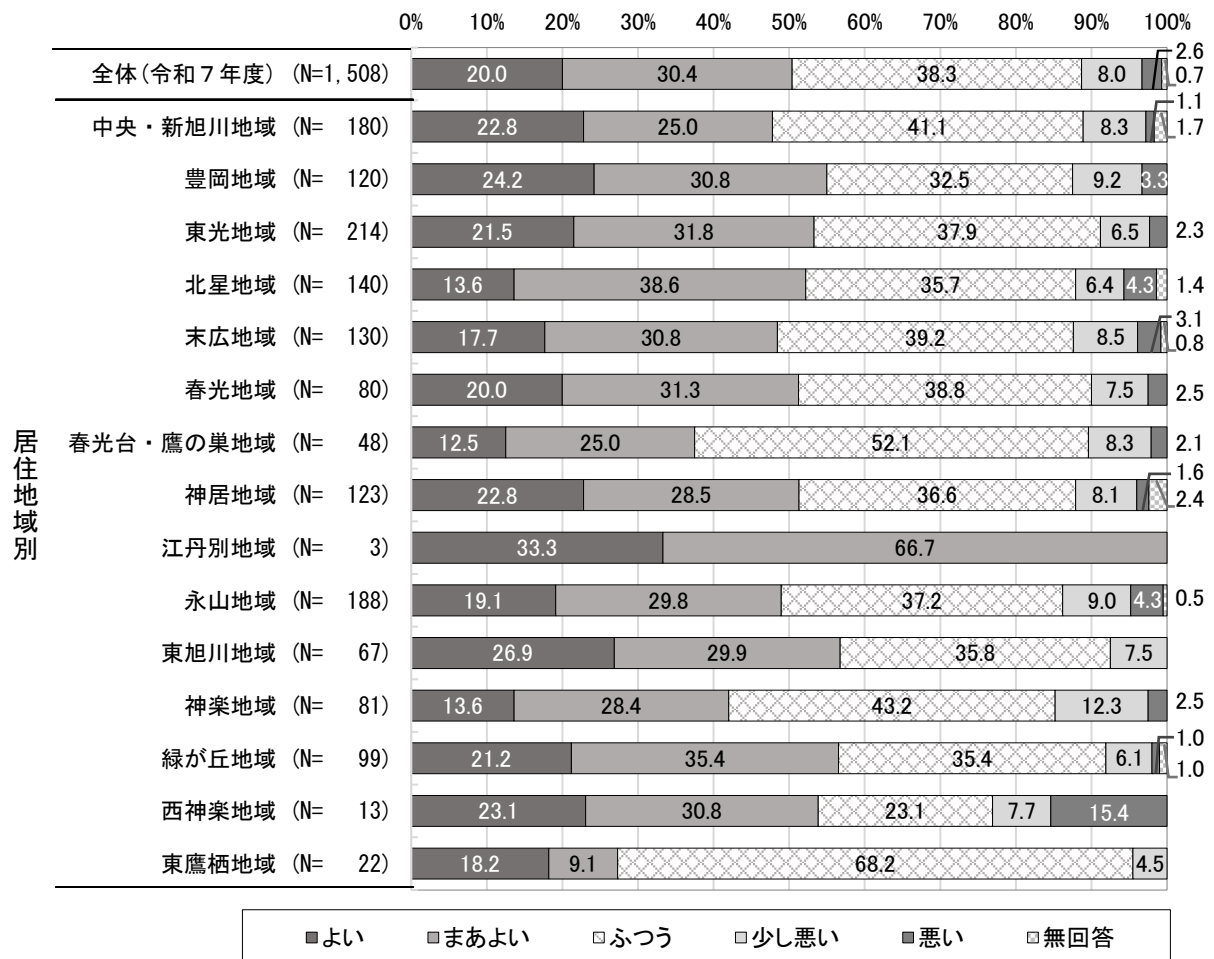
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が100.0%、東旭川地域が56.8%、緑が丘地域が56.6%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は1.6ポイント増加し、「悪い方」も0.1ポイント増加している。

【(17) 病院など医療体制】（居住地域別）



【(17) 病院など医療体制】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：％)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	20.0	30.4	50.4	38.3	8.0	2.6	10.6	0.7
	令和5年度 (N=1,524)	17.4	31.4	48.8	40.3	7.9	2.6	10.5	0.5
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	22.8	25.0	47.8	41.1	8.3	1.1	9.4	1.7
	令和5年度 (N= 166)	18.7	33.1	51.8	38.6	7.2	2.4	9.6	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	24.2	30.8	55.0	32.5	9.2	3.3	12.5	0.0
	令和5年度 (N= 93)	19.4	36.6	56.0	36.6	5.4	2.2	7.6	0.0
東光地域	令和7年度 (N= 214)	21.5	31.8	53.3	37.9	6.5	2.3	8.8	0.0
	令和5年度 (N= 241)	15.8	34.4	50.2	39.0	8.7	2.1	10.8	0.0
北星地域	令和7年度 (N= 140)	13.6	38.6	52.2	35.7	6.4	4.3	10.7	1.4
	令和5年度 (N= 164)	17.7	27.4	45.1	41.5	8.5	3.0	11.5	1.8
末広地域	令和7年度 (N= 130)	17.7	30.8	48.5	39.2	8.5	3.1	11.6	0.8
	令和5年度 (N= 130)	13.8	30.0	43.8	46.9	6.9	2.3	9.2	0.0
春光地域	令和7年度 (N= 80)	20.0	31.3	51.3	38.8	7.5	2.5	10.0	0.0
	令和5年度 (N= 73)	20.5	39.7	60.2	31.5	8.2	0.0	8.2	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	12.5	25.0	37.5	52.1	8.3	2.1	10.4	0.0
	令和5年度 (N= 51)	19.6	19.6	39.2	41.2	11.8	5.9	17.7	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	22.8	28.5	51.3	36.6	8.1	1.6	9.7	2.4
	令和5年度 (N= 140)	16.4	29.3	45.7	47.1	4.3	2.9	7.2	0.0
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	19.1	29.8	48.9	37.2	9.0	4.3	13.3	0.5
	令和5年度 (N= 194)	17.0	30.4	47.4	42.3	8.8	1.5	10.3	0.0
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	26.9	29.9	56.8	35.8	7.5	0.0	7.5	0.0
	令和5年度 (N= 59)	16.9	37.3	54.2	35.6	6.8	1.7	8.5	1.7
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	13.6	28.4	42.0	43.2	12.3	2.5	14.8	0.0
	令和5年度 (N= 76)	18.4	27.6	46.0	42.1	7.9	2.6	10.5	1.3
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	21.2	35.4	56.6	35.4	6.1	1.0	7.1	1.0
	令和5年度 (N= 92)	19.6	35.9	55.5	33.7	7.6	3.3	10.9	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	23.1	30.8	53.9	23.1	7.7	15.4	23.1	0.0
	令和5年度 (N= 14)	21.4	14.3	35.7	21.4	21.4	21.4	42.8	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	18.2	9.1	27.3	68.2	4.5	0.0	4.5	0.0
	令和5年度 (N= 25)	20.0	20.0	40.0	40.0	12.0	4.0	16.0	4.0

(18) 地域の総合的な快適性

地域の総合的な快適性について、全体では、「ふつう」の評価が49.4%と最も高く、「よい」の10.3%と「まあよい」の31.1%を合わせた「良い方」は41.4%となっている。

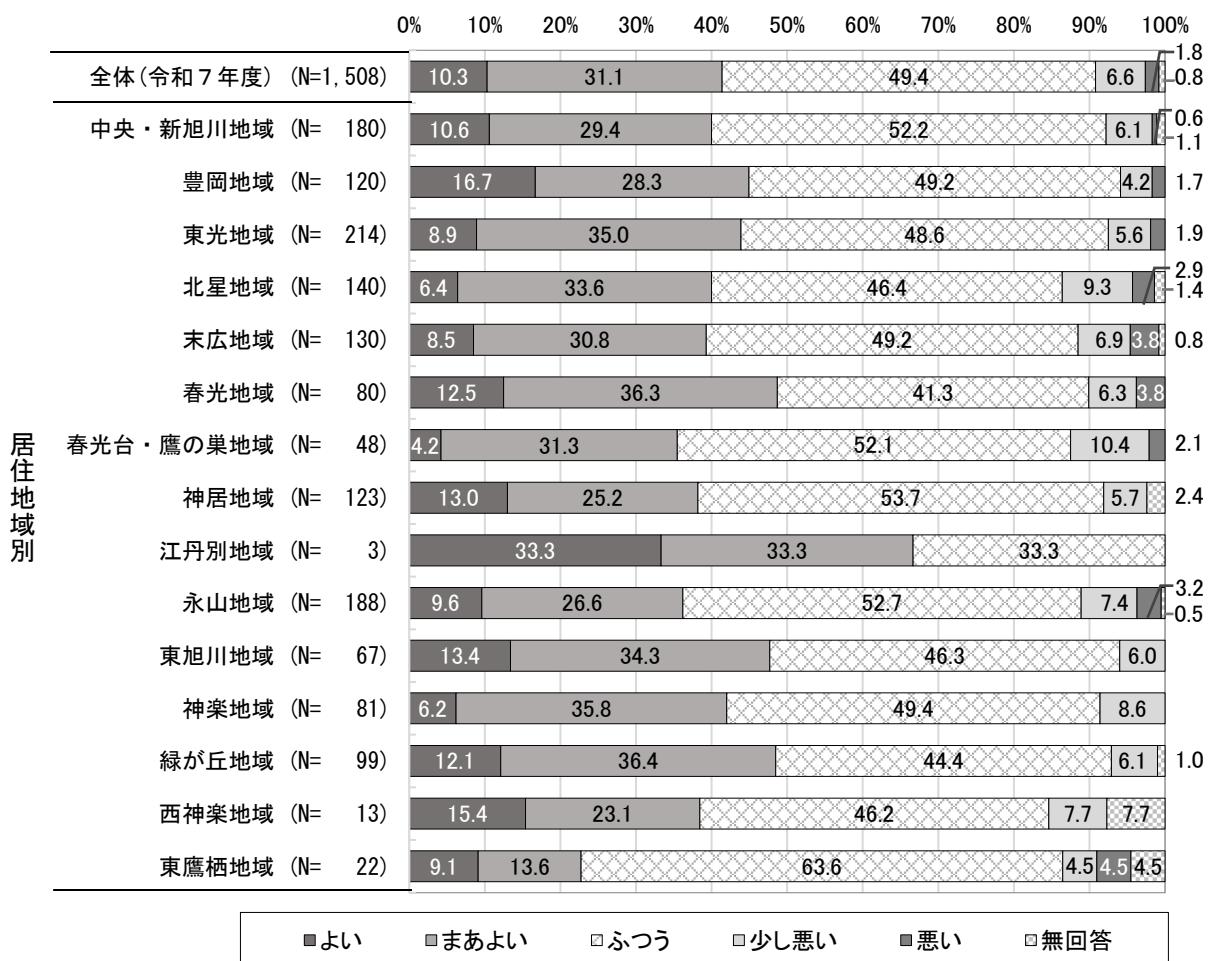
【居住地域別の評価】

居住地域別にみると、「良い方」が高い地域は、江丹別地域が66.6%、春光地域が48.8%、緑が丘地域が48.5%となっている。

【過去の調査との比較】

令和5年度調査と比較すると、全体では、「良い方」は0.8ポイント増加し、「悪い方」は0.9ポイント減少している。

【(18) 地域の総合的な快適性】(居住地域別)



【(18) 地域の総合的な快適性】(前回〔令和5年度調査〕との比較)

(単位：％)

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	無回答
全体	令和7年度 (N=1,508)	10.3	31.1	41.4	49.4	6.6	1.8	8.4	0.8
	令和5年度 (N=1,524)	9.4	31.2	40.6	49.5	7.9	1.4	9.3	0.6
中央・ 新旭川地域	令和7年度 (N= 180)	10.6	29.4	40.0	52.2	6.1	0.6	6.7	1.1
	令和5年度 (N= 166)	7.8	30.1	37.9	53.0	8.4	0.6	9.0	0.0
豊岡地域	令和7年度 (N= 120)	16.7	28.3	45.0	49.2	4.2	1.7	5.9	0.0
	令和5年度 (N= 93)	9.7	34.4	44.1	47.3	6.5	1.1	7.6	1.1
東光地域	令和7年度 (N= 214)	8.9	35.0	43.9	48.6	5.6	1.9	7.5	0.0
	令和5年度 (N= 241)	12.4	30.3	42.7	49.8	6.2	1.2	7.4	0.0
北星地域	令和7年度 (N= 140)	6.4	33.6	40.0	46.4	9.3	2.9	12.2	1.4
	令和5年度 (N= 164)	7.9	31.1	39.0	45.1	11.0	2.4	13.4	2.4
末広地域	令和7年度 (N= 130)	8.5	30.8	39.3	49.2	6.9	3.8	10.7	0.8
	令和5年度 (N= 130)	10.0	27.7	37.7	53.1	6.2	1.5	7.7	1.5
春光地域	令和7年度 (N= 80)	12.5	36.3	48.8	41.3	6.3	3.8	10.1	0.0
	令和5年度 (N= 73)	11.0	35.6	46.6	47.9	5.5	0.0	5.5	0.0
春光台・ 鷹の巣地域	令和7年度 (N= 48)	4.2	31.3	35.5	52.1	10.4	2.1	12.5	0.0
	令和5年度 (N= 51)	3.9	29.4	33.3	43.1	19.6	2.0	21.6	2.0
神居地域	令和7年度 (N= 123)	13.0	25.2	38.2	53.7	5.7	0.0	5.7	2.4
	令和5年度 (N= 140)	6.4	34.3	40.7	51.4	6.4	1.4	7.8	0.0
江丹別地域	令和7年度 (N= 3)	33.3	33.3	66.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	令和5年度 (N= 6)	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
永山地域	令和7年度 (N= 188)	9.6	26.6	36.2	52.7	7.4	3.2	10.6	0.5
	令和5年度 (N= 194)	10.3	26.3	36.6	53.6	7.7	1.5	9.2	0.5
東旭川地域	令和7年度 (N= 67)	13.4	34.3	47.7	46.3	6.0	0.0	6.0	0.0
	令和5年度 (N= 59)	6.8	42.4	49.2	42.4	8.5	0.0	8.5	0.0
神楽地域	令和7年度 (N= 81)	6.2	35.8	42.0	49.4	8.6	0.0	8.6	0.0
	令和5年度 (N= 76)	7.9	36.8	44.7	50.0	3.9	1.3	5.2	0.0
緑が丘地域	令和7年度 (N= 99)	12.1	36.4	48.5	44.4	6.1	0.0	6.1	1.0
	令和5年度 (N= 92)	13.0	33.7	46.7	45.7	5.4	2.2	7.6	0.0
西神楽地域	令和7年度 (N= 13)	15.4	23.1	38.5	46.2	7.7	0.0	7.7	7.7
	令和5年度 (N= 14)	21.4	14.3	35.7	35.7	28.6	0.0	28.6	0.0
東鷹栖地域	令和7年度 (N= 22)	9.1	13.6	22.7	63.6	4.5	4.5	9.0	4.5
	令和5年度 (N= 25)	4.0	24.0	28.0	44.0	20.0	8.0	28.0	0.0

Ⅱ-2 これまでの暮らしに対する評価と今後の重要度

1 これまでの暮らしに対する全体的評価と今後の重要度

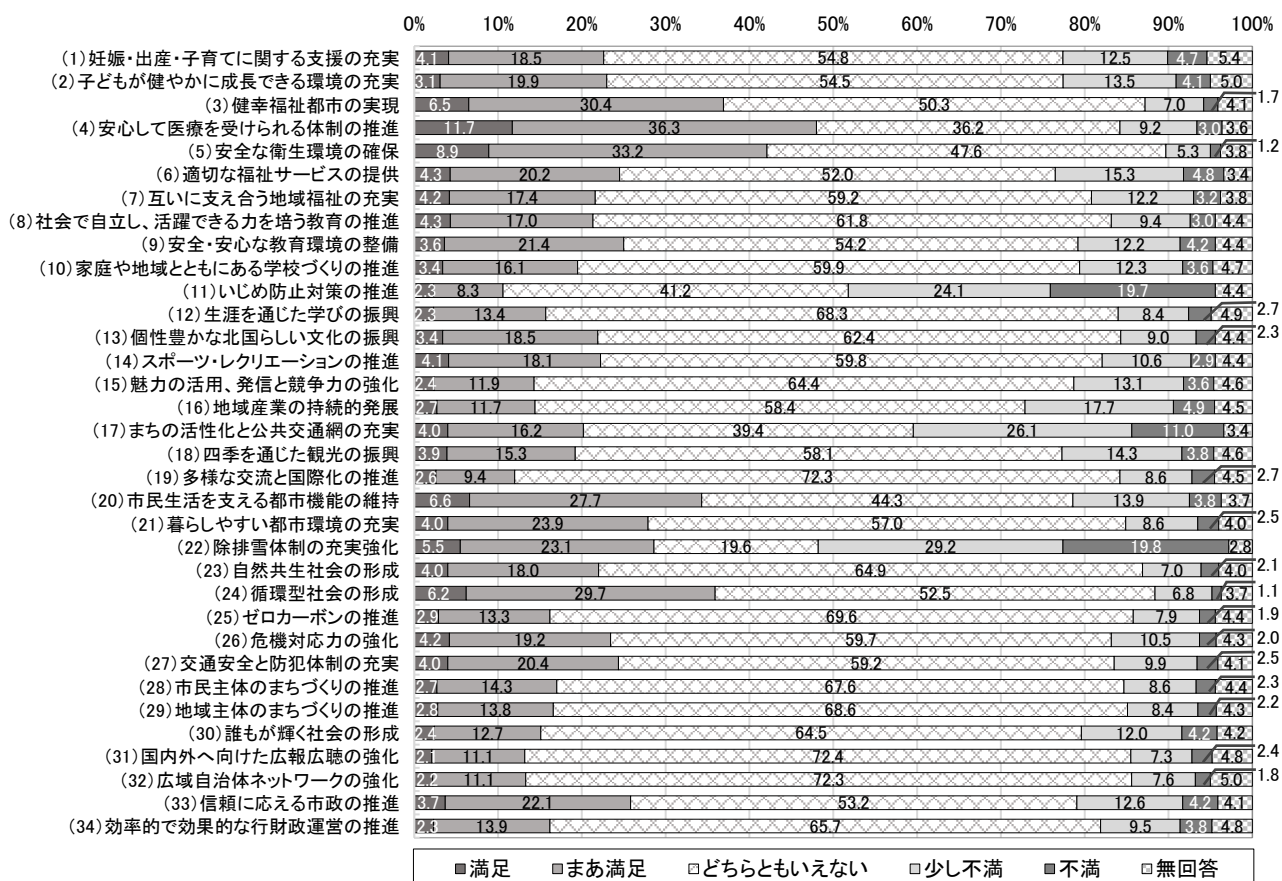
問1 次の(1)～(34)の項目について、あなたは現在どのくらい満足していますか。
また、今後のまちづくりでは、どのくらい重要だと思いますか。
回答例にならって、項目ごとに「現在の満足度」と「今後の重要度」のそれぞれについて、あてはまる番号(数字1～5)に○を1つ付けてください。

(1) 現在の満足度と今後の重要度に関する評価

これまでの暮らしに対する評価(現在の満足度)をみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた満足の割合は「(4) 安心して医療を受けられる体制の推進」が48.0%と最も高く、次いで「(5) 安全な衛生環境」の42.1%、「(3) 健康福祉都市の実現」の36.9%、「(24) 循環型社会の形成」の35.9%の順になっている。

一方、「不満」と「少し不満」を合わせた不満の割合は「(22) 除排雪体制の充実強化」が49.0%で最も高く、次いで「(11) いじめ防止対策の推進」の43.8%、「(17) まちの活性化と公共交通網の充実」の37.1%の順になっている。

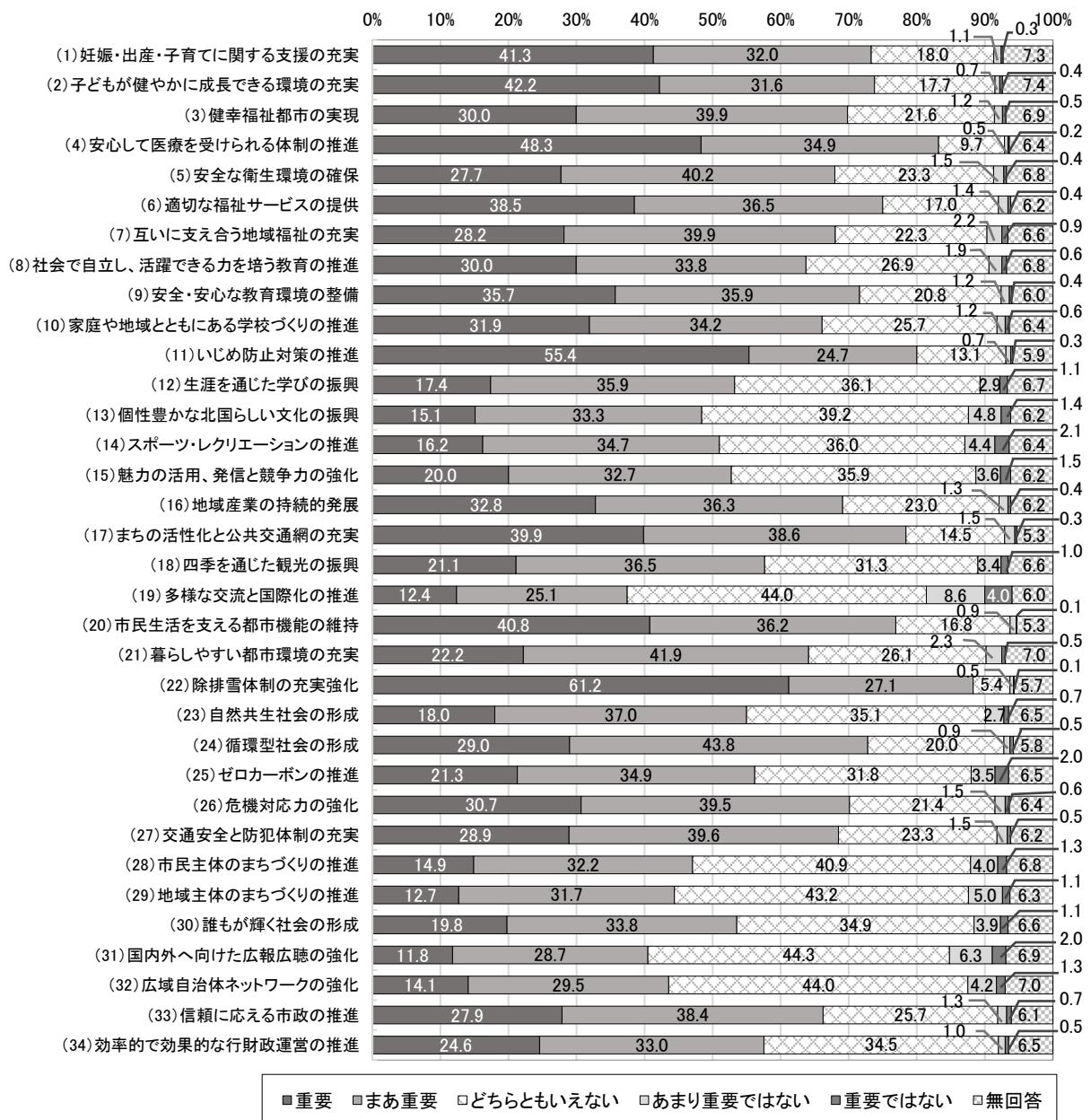
【これまでの暮らしに対する評価】(現在の満足度)



今後の重要度についてみると、「(22) 除排雪体制の充実強化」で「重要」と「まあ重要」を合わせた重要の割合が88.3%で最も高く、次いで、「(4) 安心して医療を受けられる体制の推進」の83.2%、「(11) いじめ防止対策の推進」の80.1%の順になっている。

「重要」についてみると、「(22) 除排雪体制の充実強化」が61.2%と最も高いが、以降は「(11) いじめ防止対策の推進」が55.4%、「(4) 安心して医療を受けられる体制の推進」が48.3%、「(2) 子どもが健やかに成長できる環境の充実」が42.2%と、子育てや福祉に関する項目が上位に挙げられている。

【これまでの暮らしに対する評価】（今後の重要度）



これまでの暮らしに対する評価（現在の満足度）を分類すると、下表のとおりとなる。

【これまでの暮らしに対する評価】（現在の満足度・項目別の評価）

（単位：％）

分類	項目	「満足」＋ 「まあ満足」	どちらとも いえない	「不満」＋ 「少し不満」
評価が高い項目 「満足」＋「まあ満足」が第１位	(4) 安心して医療を受けられる体制の推進	48.0	36.2	12.2
評価がやや高い項目 「どちらともいえない」が第１位で 「満足」＋「まあ満足」が第２位	(31) 国内外へ向けた広報広聴の強化	13.2	72.4	9.7
	(32) 広域自治体ネットワークの強化	13.3	72.3	9.4
	(19) 多様な交流と国際化の推進	12.0	72.3	11.3
	(25) ゼロカーボンの推進	16.2	69.6	9.8
	(29) 地域主体のまちづくりの推進	16.6	68.6	10.6
	(12) 生涯を通じた学びの振興	15.7	68.3	11.1
	(28) 市民主体のまちづくりの推進	17.0	67.6	10.9
	(34) 効率的で効果的な行財政運営の推進	16.2	65.7	13.3
	(23) 自然共生社会の形成	22.0	64.9	9.1
	(13) 個性豊かな北国らしい文化の振興	21.9	62.4	11.3
	(8) 社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進	21.3	61.8	12.4
	(10) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進	19.5	59.9	15.9
	(14) スポーツ・レクリエーションの推進	22.2	59.8	13.5
	(26) 危機対応力の強化	23.4	59.7	12.5
	(27) 交通安全と防犯体制の充実	24.4	59.2	12.4
	(7) 互いに支え合う地域福祉の充実	21.6	59.2	15.4
	(18) 四季を通じた観光の振興	19.2	58.1	18.1
	(21) 暮らしやすい都市環境の充実	27.9	57.0	11.1
	(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	22.6	54.8	17.2
	(2) 子どもが健やかに成長できる環境の充実	23.0	54.5	17.6
	(9) 安全・安心な教育環境の整備	25.0	54.2	16.4
	(33) 信頼に応える市政の推進	25.8	53.2	16.8
	(24) 循環型社会の形成	35.9	52.5	7.9
	(6) 適切な福祉サービスの提供	24.5	52.0	20.1
	(3) 健幸福祉都市の実現	36.9	50.3	8.7
	(5) 安全な衛生環境の確保	42.1	47.6	6.5
	(20) 市民生活を支える都市機能の維持	34.3	44.3	17.7
評価がやや低い項目 「どちらともいえない」が第１位で 「不満」＋「少し不満」が第２位	(30) 誰もが輝く社会の形成	15.1	64.5	16.2
	(15) 魅力の活用、発信と競争力の強化	14.3	64.4	16.7
	(16) 地域産業の持続的発展	14.4	58.4	22.6
	(17) まちの活性化と公共交通網の充実	20.2	39.4	37.1
評価が低い項目 「不満」＋「少し不満」が第１位	(22) 除排雪体制の充実強化	28.6	19.6	49.0
	(11) いじめ防止対策の推進	10.6	41.2	43.8

(2) 評価点分析

これまでの暮らしに対する評価（現在の満足度）の評価点を算出した。算出に当たっては、「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「少し不満」を-1点、「不満」を-2点として各回答を点数化し、合計した点数を全回答数（無回答を除く。）で除して得た平均値とした。

今後の重要度の評価点も同様に、「重要」を2点、「まあ重要」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点として算出した。

【これまでの暮らしに対する評価】（現在の満足度）

これまでの暮らしに対する評価（現在の満足度）について、評価点がプラスになった項目は34項目中28項目で、最も高い項目は「(4) 安心して医療を受けられる体制の推進」の0.46となっている。

一方、評価点の低い項目としては、「(11) いじめ防止対策の推進」が-0.53、「(22) 除排雪体制の充実強化」が-0.36、「(17) まちの活性化と公共交通網の充実」が-0.25となっている。

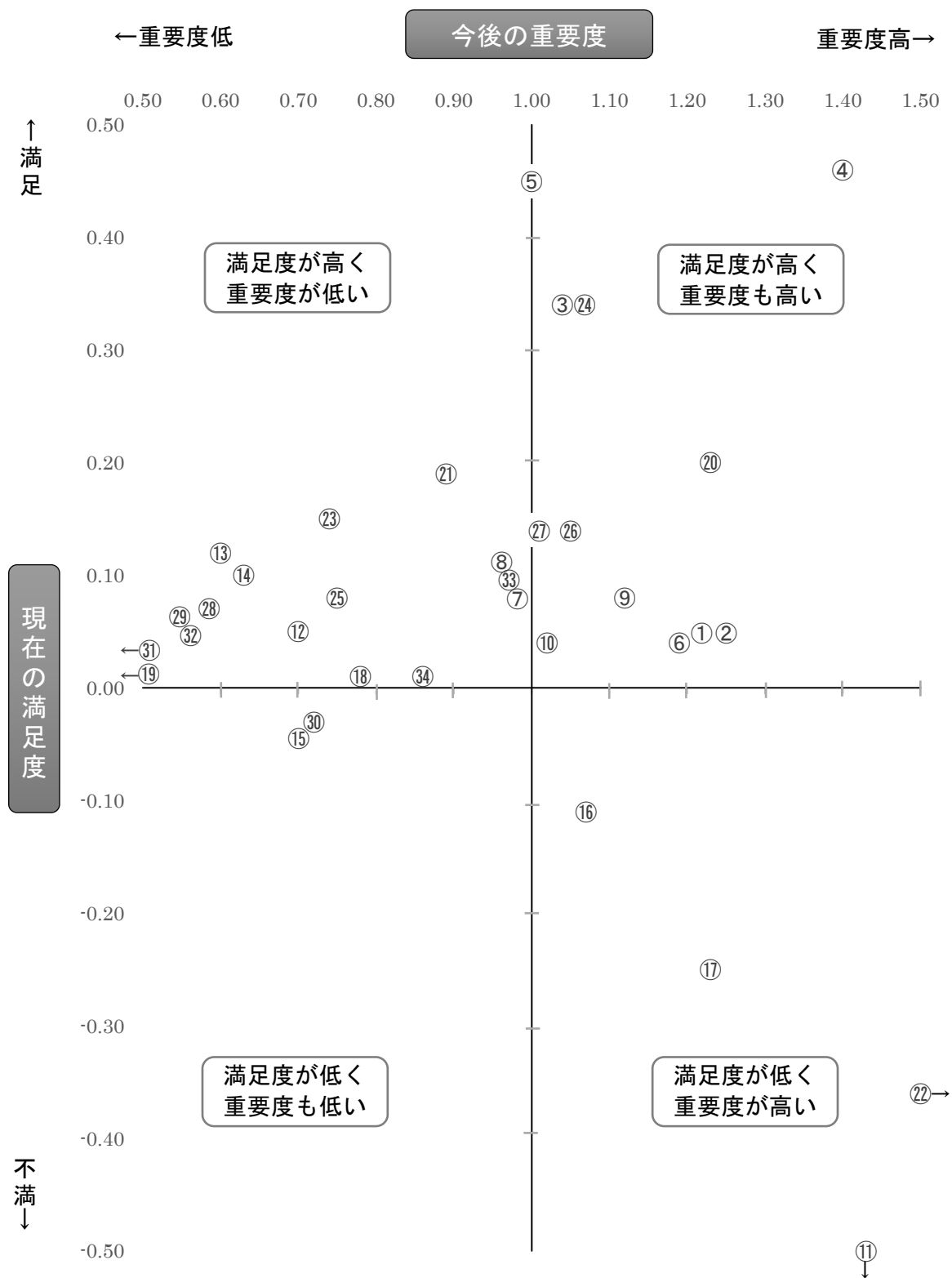
【今後の重要度】

今後の重要度については、すべての項目で評価点がプラスになっている。34項目中16項目で評価点が1以上となっており、最も評価点が高い項目は「(22) 除排雪体制の充実強化」の1.58となっている。

【各設問における「現在の満足度」と「今後の重要度」の評価点】

項目	現在の満足度	今後の重要度	項目	現在の満足度	今後の重要度
(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	0.05	1.22	(18) 四季を通じた観光の振興	0.01	0.78
(2) 子どもが健やかに成長できる環境の充実	0.05	1.24	(19) 多様な交流と国際化の推進	0.01	0.36
(3) 健幸福祉都市の実現	0.34	1.05	(20) 市民生活を支える都市機能の維持	0.20	1.23
(4) 安心して医療を受けられる体制の推進	0.46	1.40	(21) 暮らしやすい都市環境の充実	0.19	0.89
(5) 安全な衛生環境の確保	0.45	1.00	(22) 除排雪体制の充実強化	-0.36	1.58
(6) 適切な福祉サービスの提供	0.04	1.19	(23) 自然共生社会の形成	0.15	0.74
(7) 互いに支え合う地域福祉の充実	0.08	0.99	(24) 循環型社会の形成	0.34	1.06
(8) 社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進	0.11	0.97	(25) ゼロカーボンの推進	0.08	0.75
(9) 安全・安心な教育環境の整備	0.08	1.12	(26) 危機対応力の強化	0.14	1.05
(10) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進	0.04	1.02	(27) 交通安全と防犯体制の充実	0.14	1.01
(11) いじめ防止対策の推進	-0.53	1.43	(28) 市民主体のまちづくりの推進	0.07	0.59
(12) 生涯を通じた学びの振興	0.05	0.70	(29) 地域主体のまちづくりの推進	0.07	0.53
(13) 個性豊かな北国らしい文化の振興	0.12	0.60	(30) 誰もが輝く社会の形成	-0.03	0.72
(14) スポーツ・レクリエーションの推進	0.10	0.63	(31) 国内外へ向けた広報広聴の強化	0.03	0.45
(15) 魅力の活用、発信と競争力の強化	-0.04	0.70	(32) 広域自治体ネットワークの強化	0.05	0.55
(16) 地域産業の持続的発展	-0.11	1.07	(33) 信頼に応える市政の推進	0.09	0.98
(17) まちの活性化と公共交通網の充実	-0.25	1.23	(34) 効率的で効果的な行財政運営の推進	0.01	0.86

【現在の満足度と今後の重要度の関係性】（評価点の散布図）



※⑬と⑭については、「今後の重要度」の評価点が0.50以下、⑮については、「今後の重要度」の評価点が1.50以上、⑯については「現在の満足度」の評価点が-0.50以下となり、散布図の欄外となるため、それぞれ「←」「→」「↓」を付記している。

【現在の満足度と今後の重要度の関係性】（評価点の散布図）

番号	項目	施策の方向
1	妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	子ども医療費助成などの支援、妊娠・出産・子育てや結婚に関する情報提供、児童虐待防止に向けた体制の整備
2	子どもが健やかに成長できる環境の充実	保育所や放課後児童クラブ等の充実、保育人材の育成・確保、地域の子育て支援の拠点づくり、男性の育児参加の促進や子どもの貧困への対策
3	健康福祉都市の実現	スマートウエルネスの推進、食育や歯の健康づくりの推進、特定健診やがん検診の受診促進
4	安心して医療を受けられる体制の推進	救急医療体制の維持
5	安全な衛生環境の確保	食品衛生指導や感染症への対策、動物愛護の推進、墓地・火葬場の適切な運用
6	適切な福祉サービスの提供	自殺予防対策、高齢者・障害者への適切な福祉サービスの提供、生活困窮者等への就労支援などの自立支援、民生委員・児童委員の人材育成と活動支援
7	互いに支え合う地域福祉の充実	高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進、地域福祉に関わる人材の育成
8	社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進	特別な支援を必要とする子どもへの支援・相談体制の充実、旭川市立大学及び旭川市立大学短期大学部の取組への支援
9	安全・安心な教育環境の整備	教育に関わる施設等の整備、学校規模の適正化、通学路等の安全対策、就学助成、給付型奨学金の支給などの支援
10	家庭や地域とともにある学校づくりの推進	小中連携・一貫教育やコミュニティ・スクールの推進、教職員の資質能力の向上、学校における働き方改革の推進
11	いじめ防止対策の推進	いじめを受けた児童生徒とその保護者への支援・相談体制の充実、いじめの再発防止への支援
12	生涯を通じた学びの振興	ジオパーク構想の推進、学びの機会の充実、学びの成果を地域に還元する環境の整備、社会教育施設の機能の充実
13	個性豊かな北国らしい文化の振興	文化芸術活動への支援、文化芸術に接する機会の充実、文化芸術関連施設の機能の充実、郷土文化の保存・伝承
14	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ施設の維持・更新やレクリエーションの振興、プロスポーツチームやオリンピック・パラリンピアンなどとの連携、大会や合宿等の誘致
15	魅力の活用、発信と競争力の強化	ユネスコ創造都市ネットワークの活用、地場産品のブランド化の推進や販路の開拓・拡大、資源や特性を生かした企業誘致の推進
16	地域産業の持続的発展	地域産業を担う人材の育成、雇用や経営に関する支援の充実、農林業の生産性の向上、農村集落の活性化
17	まちの活性化と公共交通網の充実	中心市街地の活性化、まち全体の賑わいの創出、路線バスなどの公共交通体系の充実、旭川空港の機能充実・路線拡大
18	四季を通じた観光の振興	体験型観光の促進、広域観光の推進、持続的な観光振興に向けた自主的な財源確保策の検討
19	多様な交流と国際化の推進	官民連携による移住・定住の促進、国外の都市間交流の拡大による国際化の推進
20	市民生活を支える都市機能の維持	道路や公園など社会資本の計画的・効率的な整備・保全、安全な水道水の安定供給
21	暮らしやすい都市環境の充実	自然と調和した景観づくり、既存建築物の耐震化・長寿命化、アスベスト対策など快適な都市環境の充実
22	除排雪体制の充実強化	安定した除排雪体制の確保
23	自然共生社会の形成	環境に対する市民意識の向上、森林や緑地・地質資源の保全・活用・整備、外来種対策など生物多様性の保全
24	循環型社会の形成	ごみの減量・資源化の推進、生活排水の適正な処理による水資源の循環
25	ゼロカーボンの推進	再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギーの強化など環境に配慮したまちづくりの推進
26	危機対応力の強化	各自の防災意識の向上、防災拠点や避難所の整備・充実、消防団の強化、自主防災組織の育成、消防・救急体制の充実
27	交通安全と防犯体制の充実	街頭啓発・交通安全教室など交通事故や犯罪の未然防止対策の推進、消費生活相談体制等の充実
28	市民主体のまちづくりの推進	市民活動を支援する体制の充実
29	地域主体のまちづくりの推進	地域住民による主体的な活動の促進、人や情報が集まる地域活動拠点の整備や機能の充実
30	誰もが輝く社会の形成	女性の活躍や男性の家庭参画、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）などの推進
31	国内外へ向けた広報広聴の強化	シティプロモーションの推進、情報発信の強化、市民参加・協働のまちづくりの推進
32	広域自治体ネットワークの強化	地理的特性や都市機能等を生かした国、道、他自治体との連携や補完、国内都市との交流の推進
33	信頼に応える市政の推進	機能的な組織体制づくり、職員の育成、法令の遵守、市民がわかりやすく利用しやすい窓口サービスの提供
34	効率的で効果的な行財政運営の推進	民間活力の導入などサービス水準の向上、事務事業の見直し、自主財源確保など財政の健全化

2 各項目の評価と重要度

(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実

(子ども医療費助成などの支援、妊娠・出産・子育てや結婚に関する情報提供、児童虐待防止に向けた体制の整備)

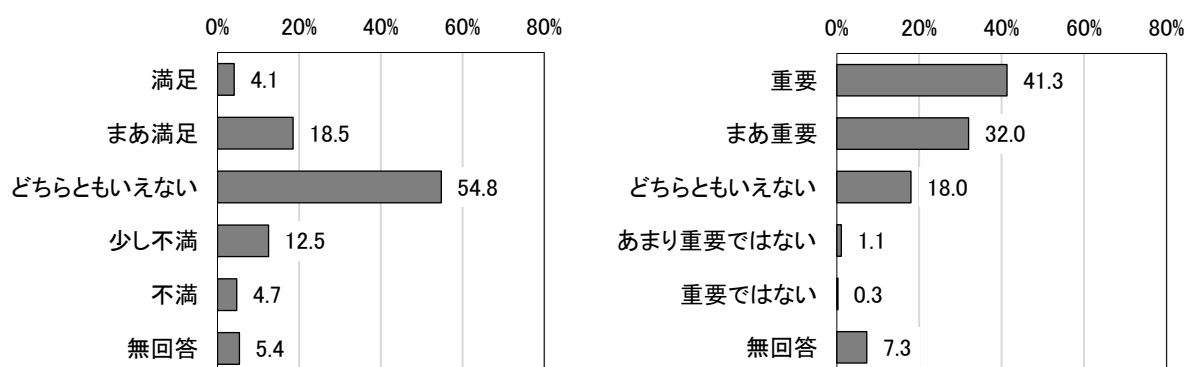
妊娠・出産・子育てに関する支援の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が54.8%と最も高くなっている。「満足」の4.1%と「まあ満足」の18.5%を合わせた、現在満足している割合は22.6%で、「不満」の4.7%と「少し不満」の12.5%を合わせた、現在不満に感じている割合17.2%を5.4ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が41.3%、「まあ重要」が32.0%で、重要であるという割合は73.3%となっている。

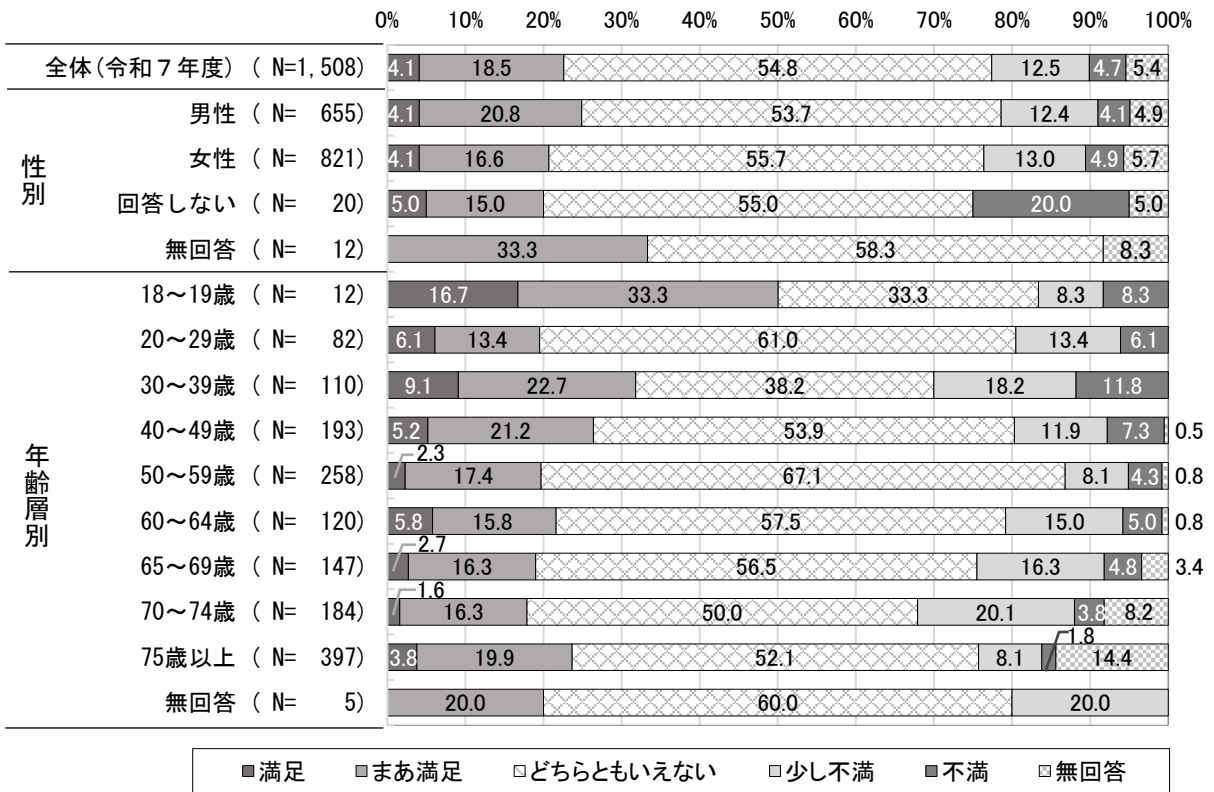
性別にみると、現在満足している割合は4.2ポイント、今後重要であるという割合は3.4ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

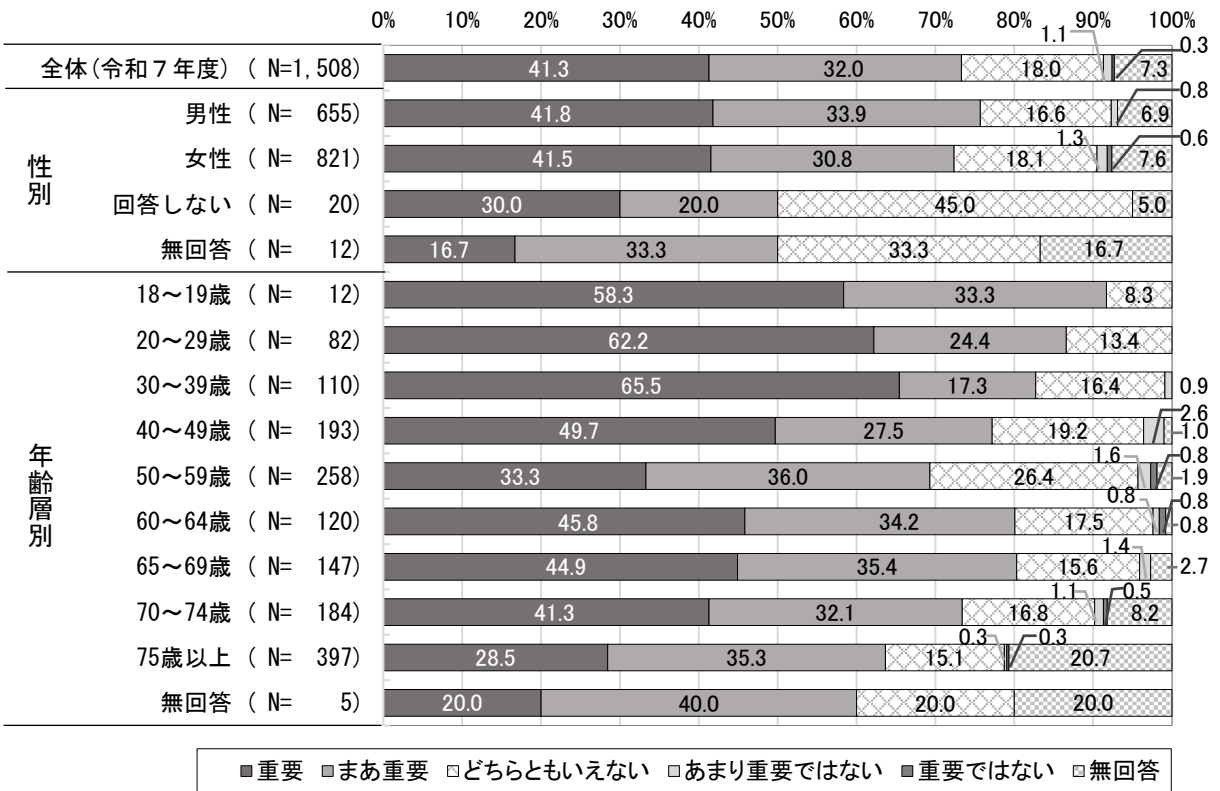
【妊娠・出産・子育てに関する支援の充実】(現在の満足度、今後の重要度)



【妊娠・出産・子育てに関する支援の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【妊娠・出産・子育てに関する支援の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(2) 子どもが健やかに成長できる環境の充実

(保育所や放課後児童クラブ等の充実、保育人材の育成・確保、地域の子育て支援の拠点づくり、男性の育児参加の促進や子どもの貧困への対策)

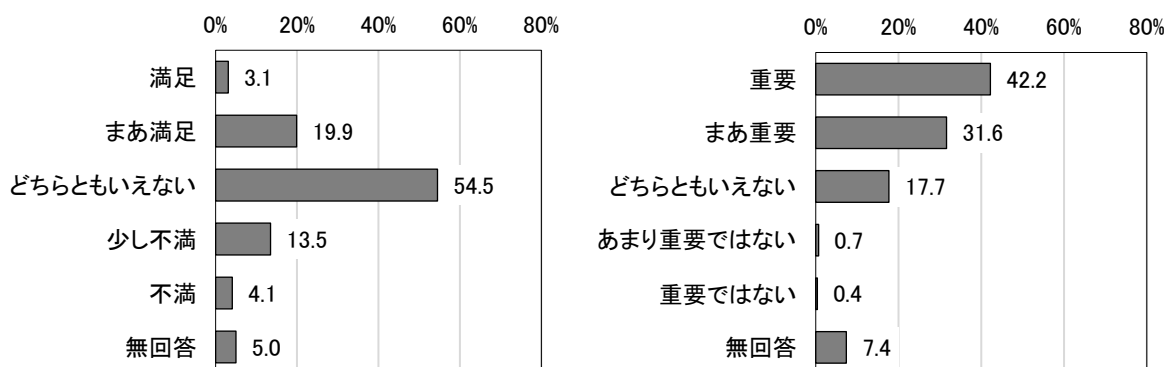
子どもが健やかに成長できる環境の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が54.5%と最も高くなっている。「満足」の3.1%と「まあ満足」の19.9%を合わせた、現在満足している割合は23.0%で、「不満」の4.1%と「少し不満」の13.5%を合わせた、現在不満に感じている割合17.6%を5.4ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が42.2%、「まあ重要」が31.6%で、重要であるという割合は73.8%となっている。

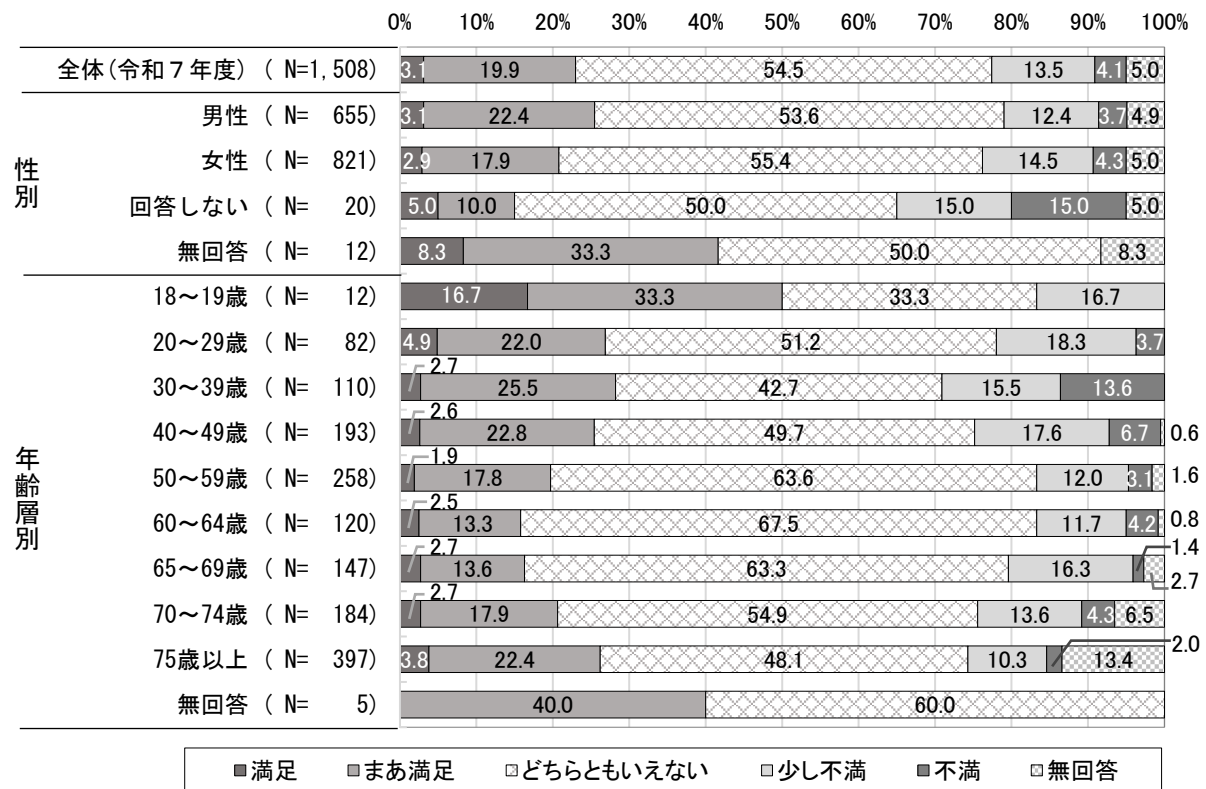
性別にみると、現在満足している割合は4.7ポイント、今後重要であるという割合は2.9ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合は、ともに18～19歳が最も高くなっている。

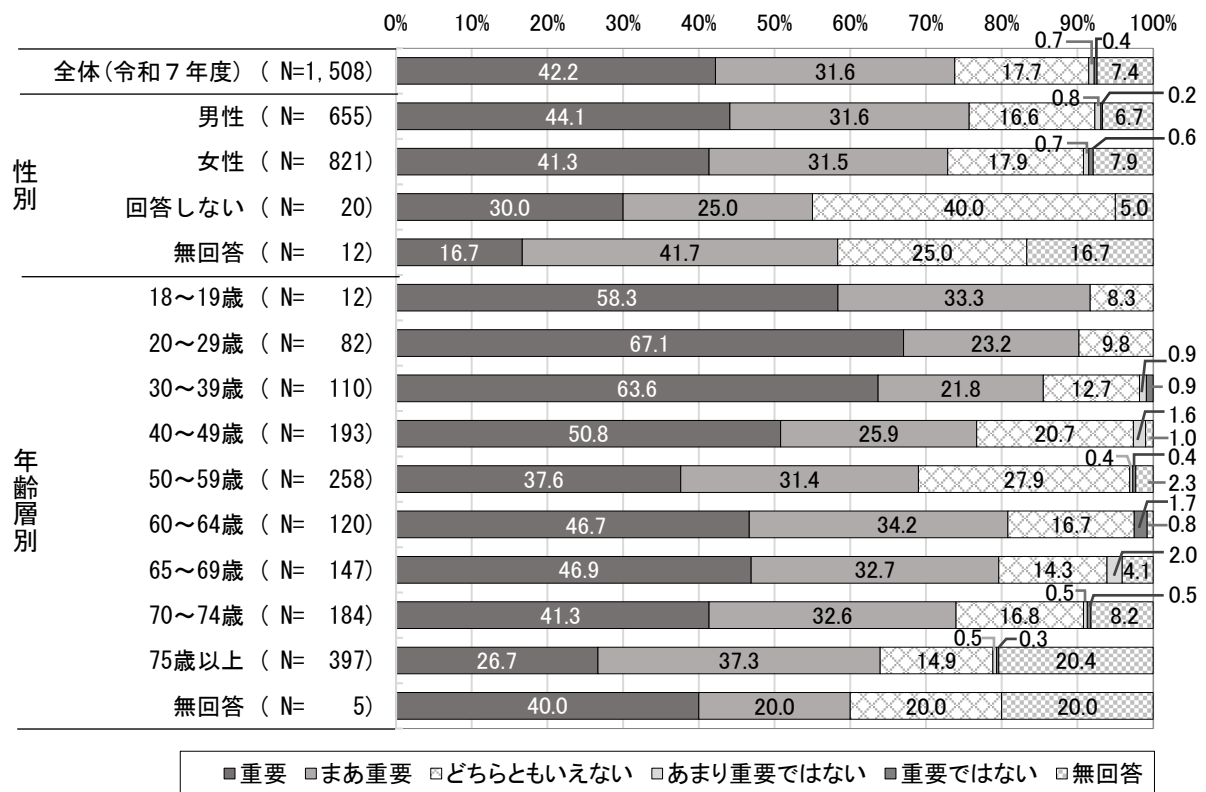
【子どもが健やかに成長できる環境の充実】(現在の満足度と今後の重要度)



【子どもが健やかに成長できる環境の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【子どもが健やかに成長できる環境の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(3) 健幸福祉都市の実現
(スマートウェルネスの推進、食育や歯の健康づくりの推進、特定健診やがん検診の受診促進)

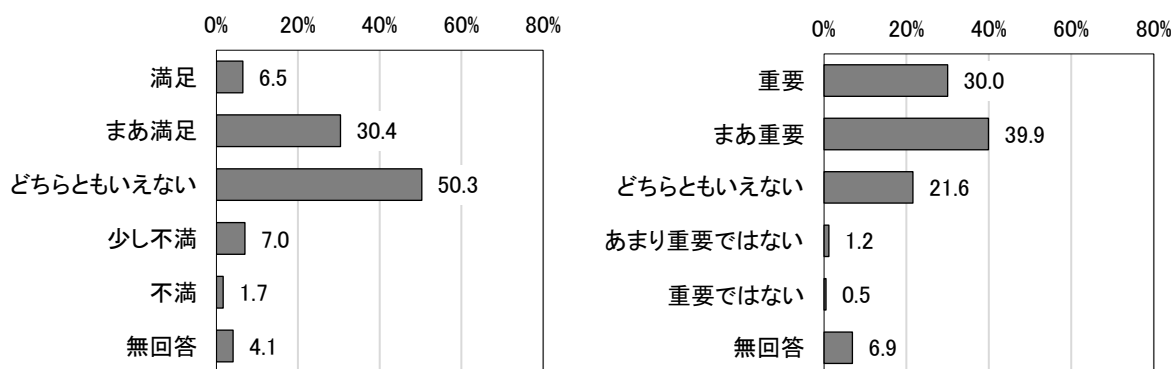
健幸福祉都市の実現について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が50.3%と最も高くなっている。「満足」の6.5%と「まあ満足」の30.4%を合わせた、現在満足している割合は36.9%で、「不満」の1.7%と「少し不満」の7.0%を合わせた、現在不満に感じている割合8.7%を28.2ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が30.0%、「まあ重要」が39.9%で重要であるという割合は69.9%となっている。

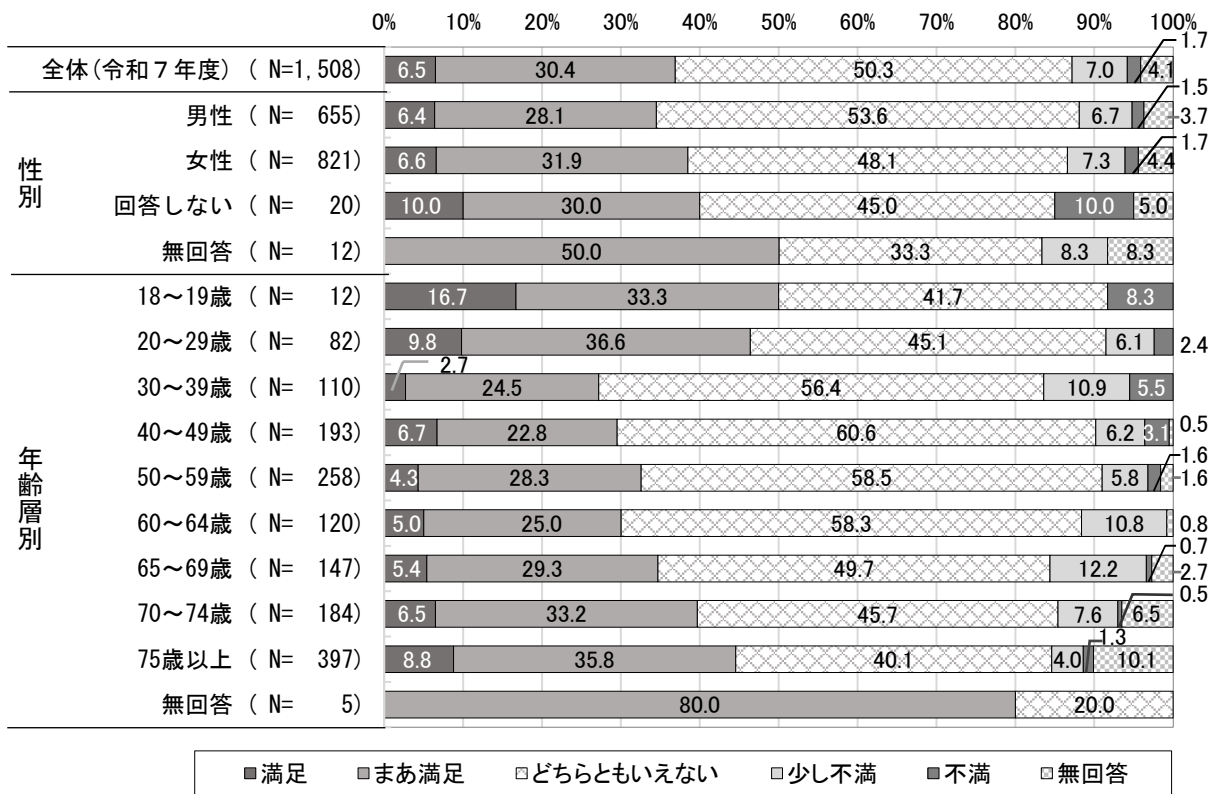
性別にみると、現在満足している割合は女性の方が4.0ポイント高くなっており、今後重要であるという割合も女性が0.6ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は60歳～64歳が最も高くなっている。

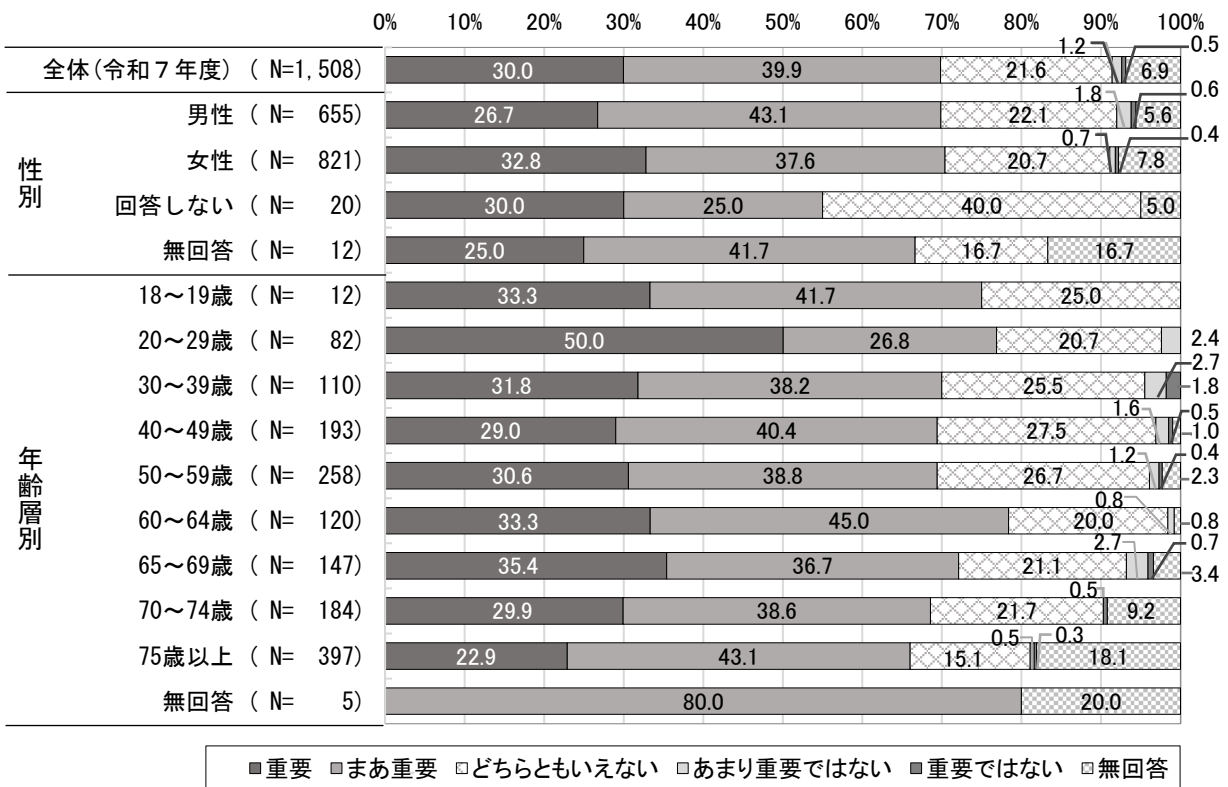
【健幸福祉都市の実現】（現在の満足度と今後の重要度）



【健幸福祉都市の実現】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【健幸福祉都市の実現】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(4) 安心して医療を受けられる体制の推進

(救急医療体制の維持)

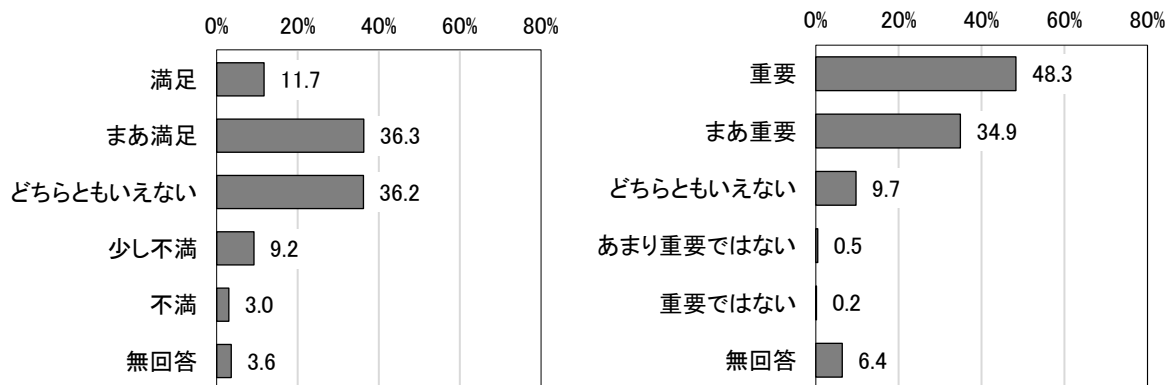
安心して医療を受けられる体制の推進について、全体では、現在の満足度は「満足」の11.7%と「まあ満足」の36.3%を合わせた、現在満足している割合は48.0%で、「不満」の3.0%と「少し不満」の9.2%を合わせた、現在不満に感じている割合は12.2%を35.8ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が48.3%、「まあ重要」が34.9%で、重要であるという割合は83.2%となっている。

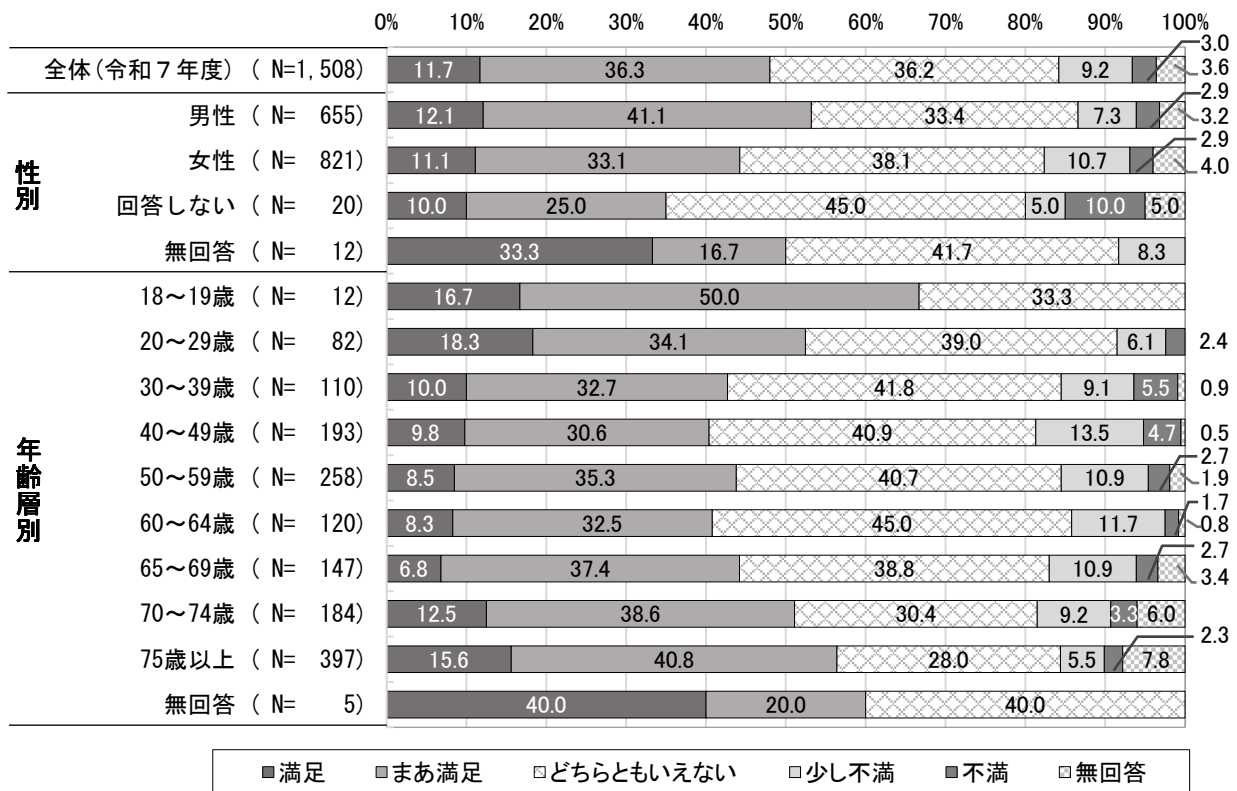
性別にみると、現在満足している割合は9.0ポイント、今後重要であるという割合は2.2ポイント、男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

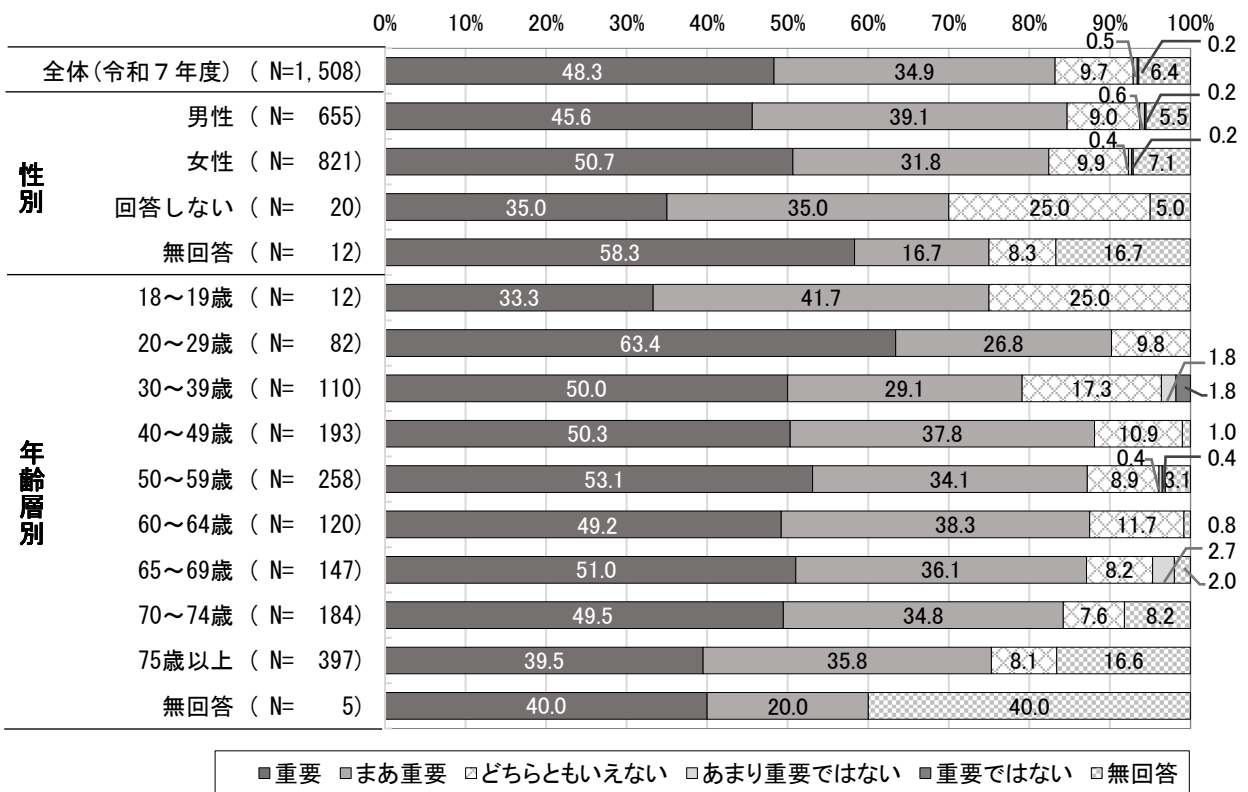
【安心して医療を受けられる体制の推進】（現在の満足度と今後の重要度）



【安心して医療を受けられる体制の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【安心して医療を受けられる体制の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(5) 安全な衛生環境の確保

(食品衛生指導や感染症への対策、動物愛護の推進、墓地・火葬場の適切な運用)

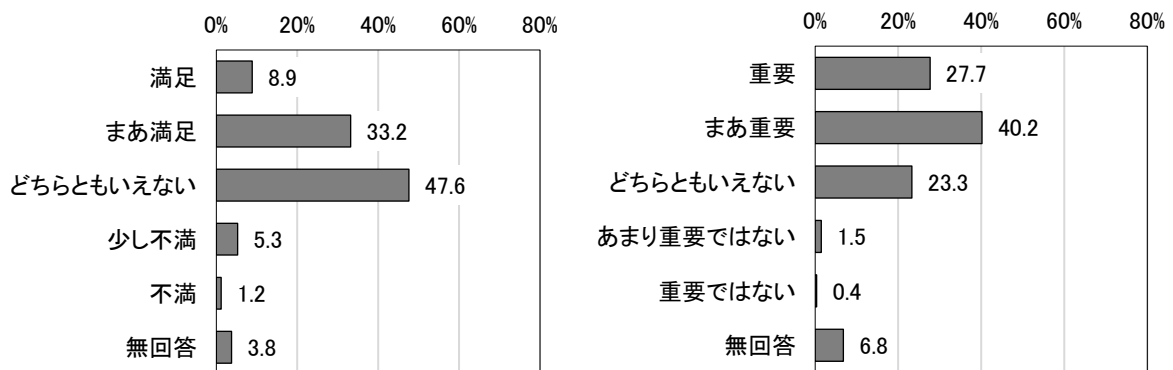
安全な衛生環境の確保について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が47.6%と最も高くなっている。「満足」の8.9%と「まあ満足」の33.2%を合わせた、現在満足している割合は42.1%で、「不満」の1.2%と「少し不満」の5.3%を合わせた、現在不満に感じている割合6.5%を35.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が27.7%、「まあ重要」が40.2%で、重要であるという割合は67.9%となっている。

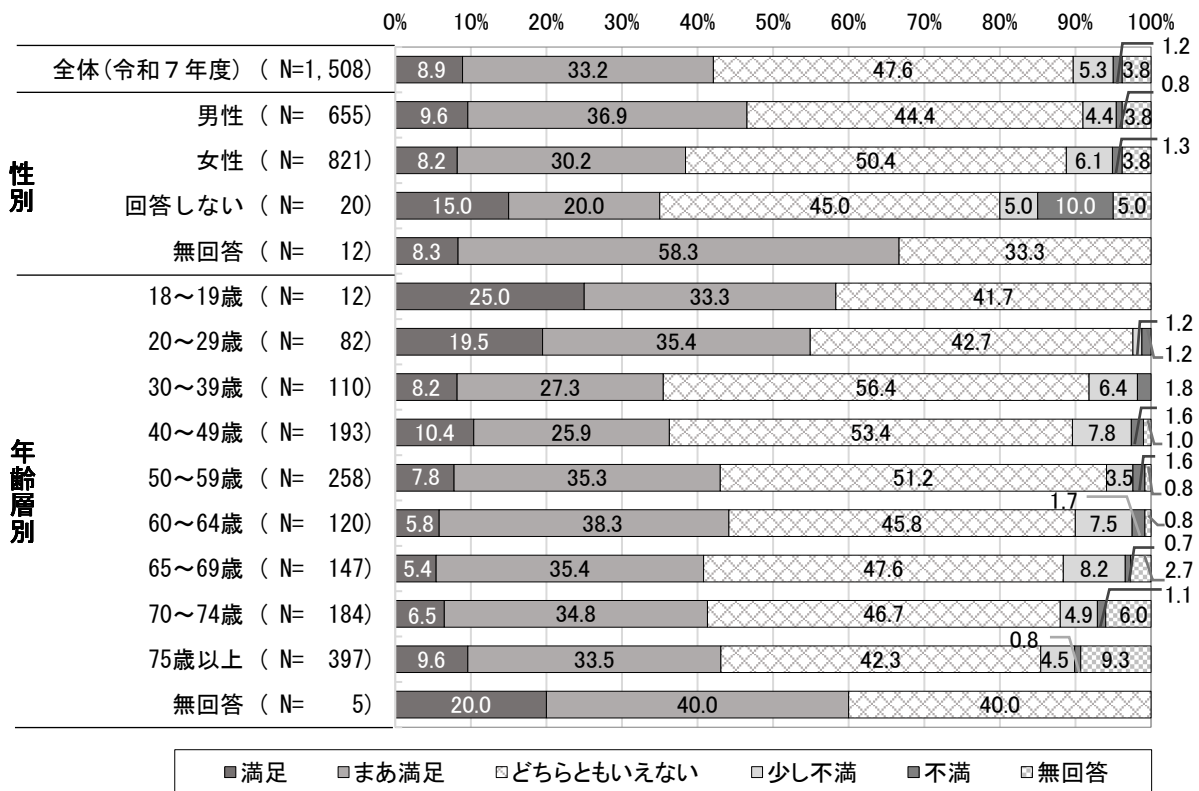
性別にみると、現在満足している割合は、男性の方が8.1ポイント高くなっており、今後重要であるという割合は女性が3.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

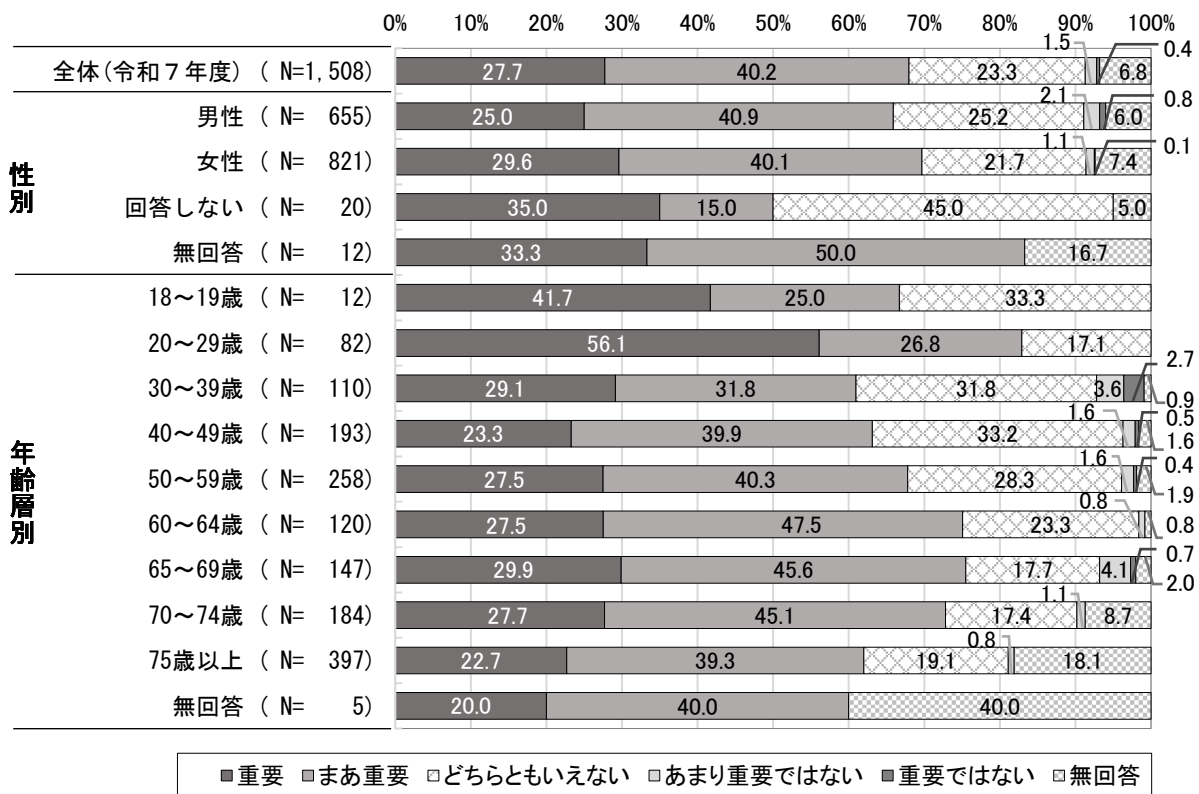
【安全な衛生環境の確保】(現在の満足度と今後の重要度)



【安全な衛生環境の確保】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【安全な衛生環境の確保】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(6) 適切な福祉サービスの提供

(自殺予防対策、高齢者・障害者への適切な福祉サービスの提供、生活困窮者等への就労支援などの自立支援、民生委員・児童委員の人材育成と活動支援)

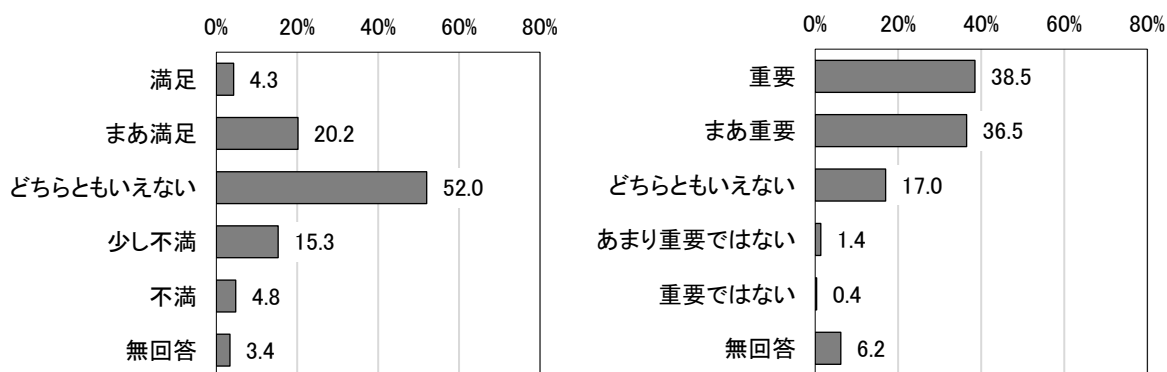
適切な福祉サービスの提供について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が52.0%と最も高くなっている。「満足」の4.3%と「まあ満足」の20.2%を合わせた、現在満足している割合は24.5%で、「不満」の4.8%と「少し不満」の15.3%を合わせた、現在不満に感じている割合20.1%を4.4ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が38.5%、「まあ重要」が36.5%で、重要であるという割合は75.0%となっている。

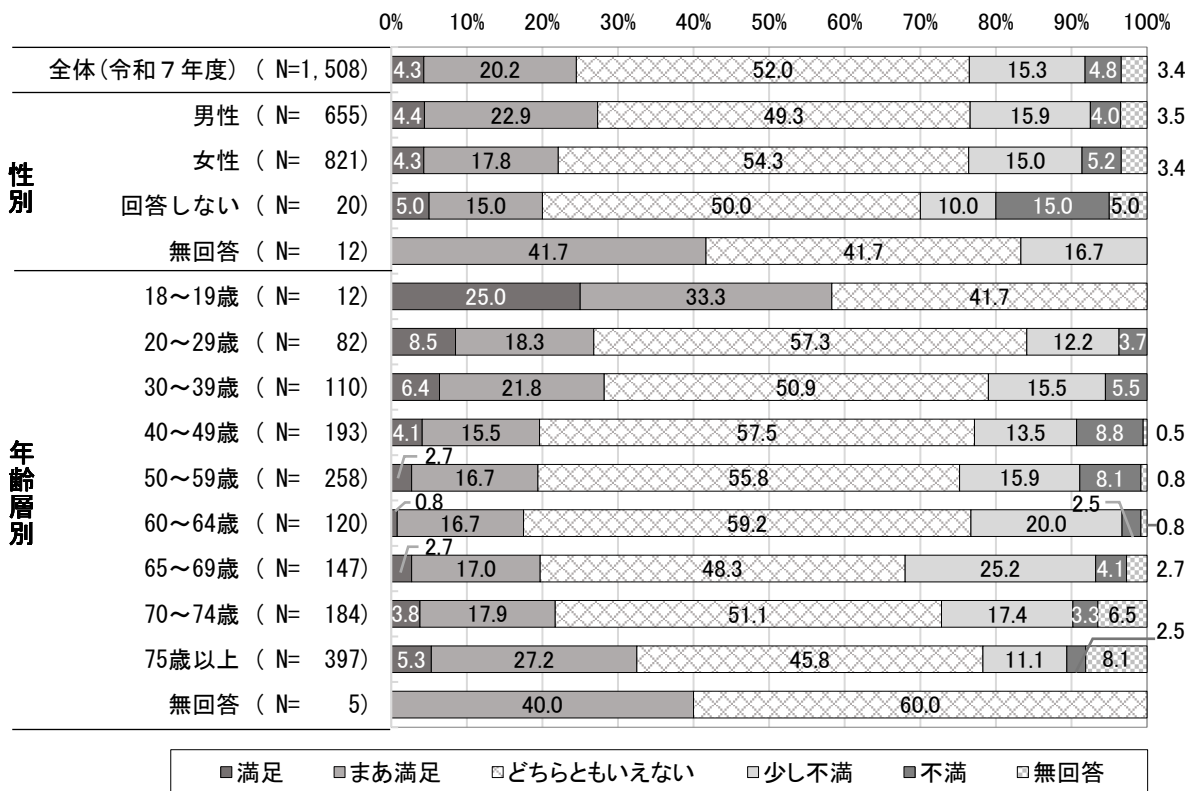
性別にみると、現在満足している割合は男性が5.2ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は女性が3.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

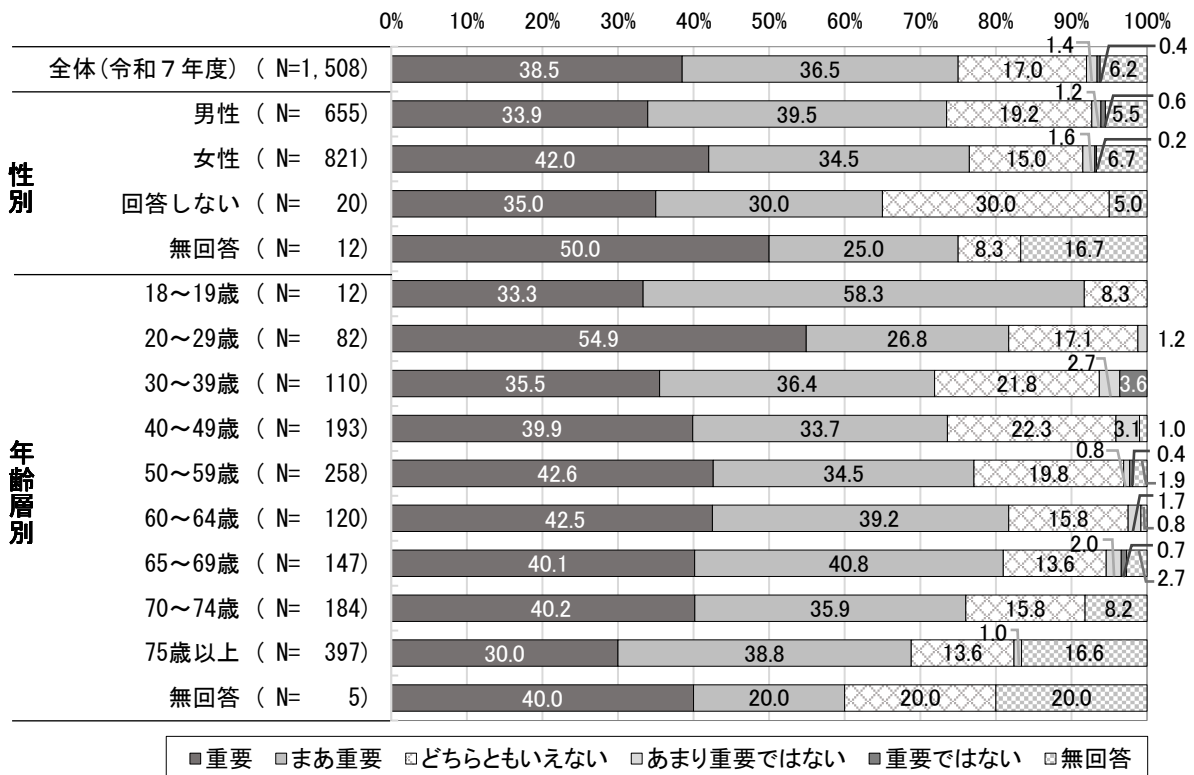
【適切な福祉サービスの提供】(現在の満足度と今後の重要度)



【適切な福祉サービスの提供】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【適切な福祉サービスの提供】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(7) 互いに支え合う地域福祉の充実

(高齢者の社会参加や生きがいの推進、地域福祉に関わる人材の育成)

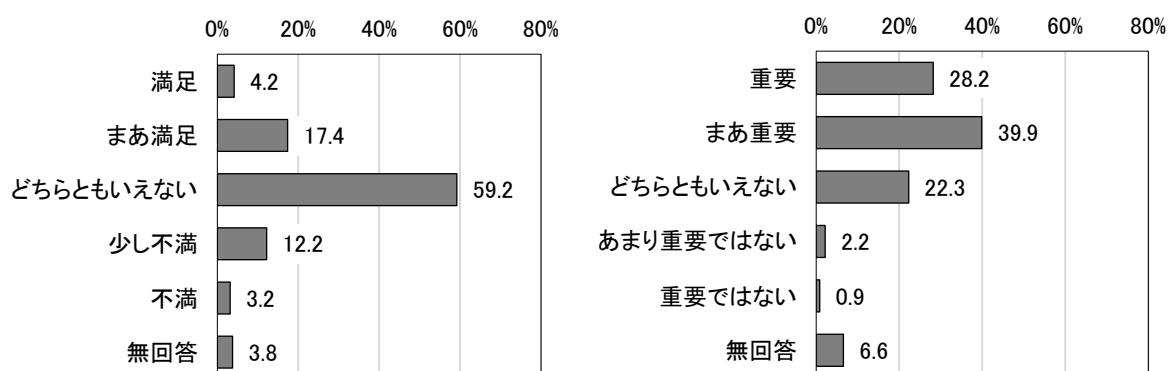
互いに支え合う地域福祉の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が59.2%と最も高くなっている。「満足」の4.2%と「まあ満足」の17.4%を合わせた、現在満足している割合は21.6%で、「不満」の3.2%と「少し不満」の12.2%を合わせた、現在不満に感じている割合15.4%を6.2ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が28.2%、「まあ重要」が39.9%で、重要であるという割合は68.1%となっている。

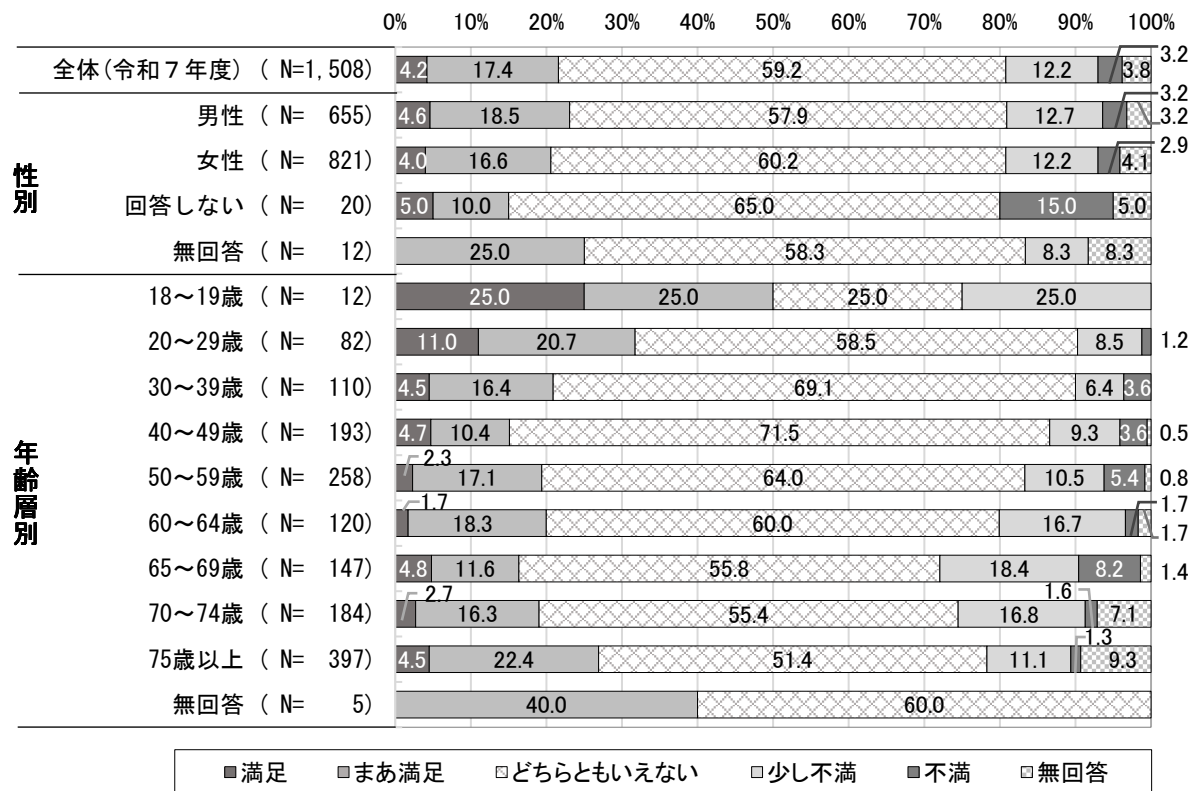
性別にみると、現在満足している割合は2.5ポイント、今後重要であるという割合は2.0ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

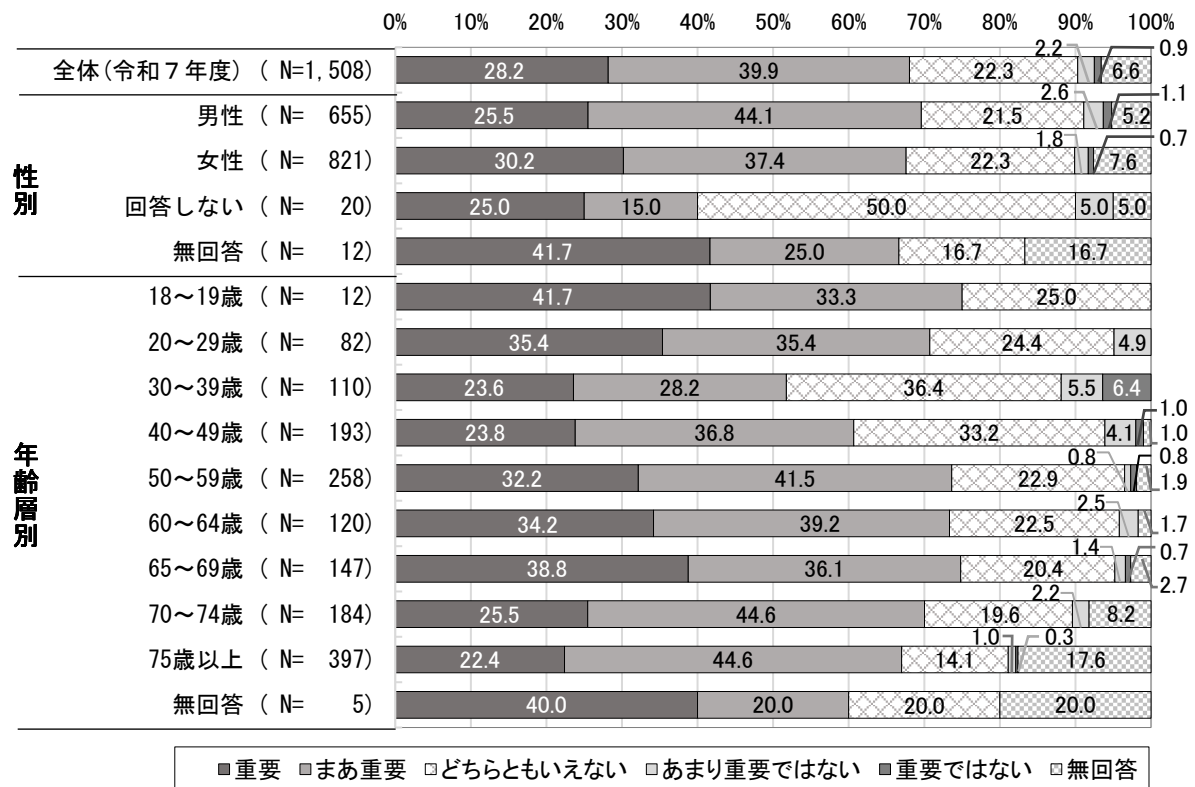
【互いに支え合う地域福祉の充実】（現在の満足度と今後の重要度）



【互いに支え合う地域福祉の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【互いに支え合う地域福祉の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(8) 社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進

(特別な支援を必要とする子どもへの支援・相談体制の充実、旭川市立大学および旭川市立大学短期大学部の取組への支援)

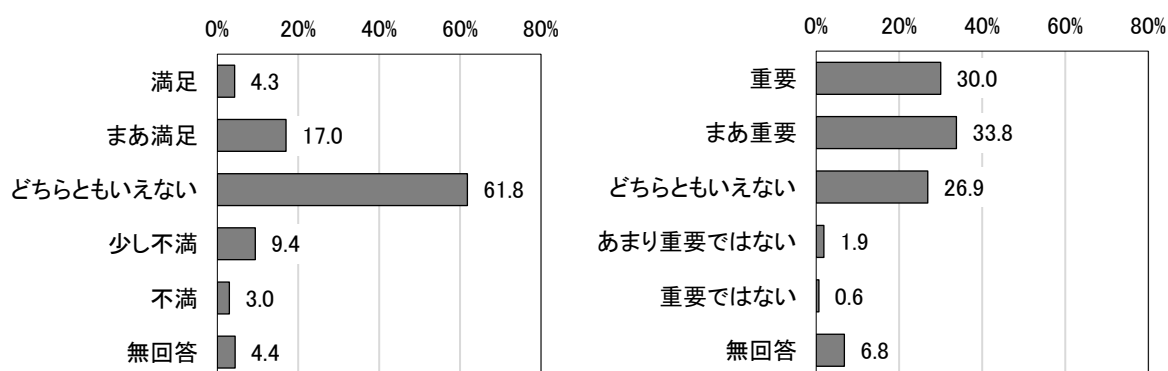
社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が61.8%と最も高くなっている。「満足」の4.3%と「まあ満足」の17.0%を合わせた、現在満足している割合は21.3%で、「不満」の3.0%と「少し不満」の9.4%を合わせた、現在不満に感じている割合12.4%を8.9ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が30.0%、「まあ重要」が33.8%で、重要であるという割合は63.8%となっている。

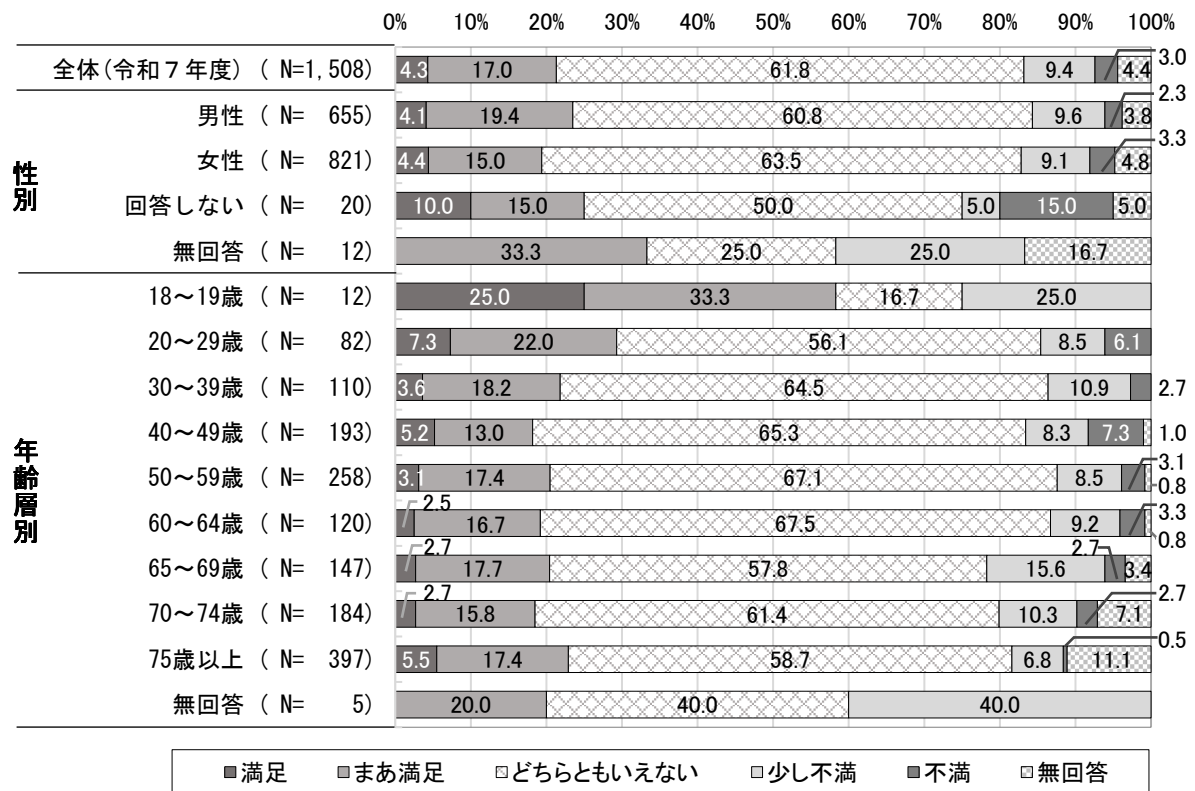
性別にみると、現在満足している割合は男性が4.1ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は女性が1.3ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

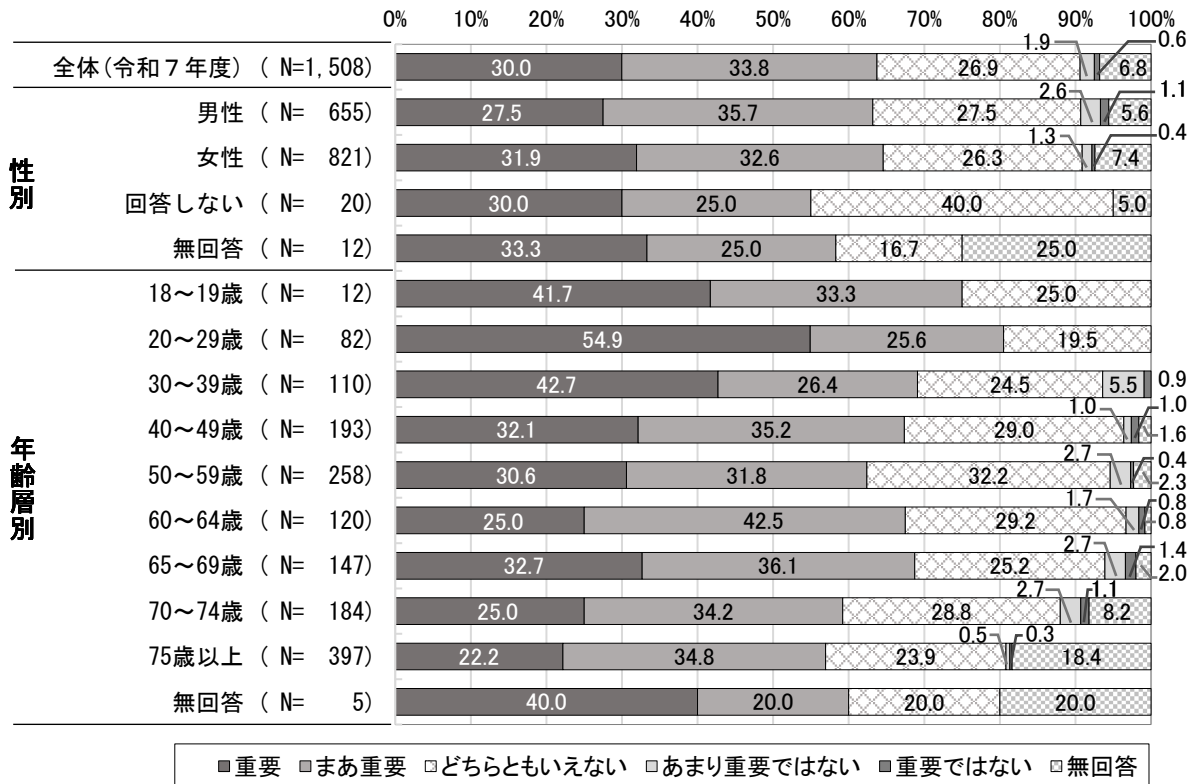
【社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(9) 安全・安心な教育現場の整備

(教育に関わる施設等の整備、学校規模の適正化、通学路等の安全対策、就学助成、給付型奨学金の支給などの支援)

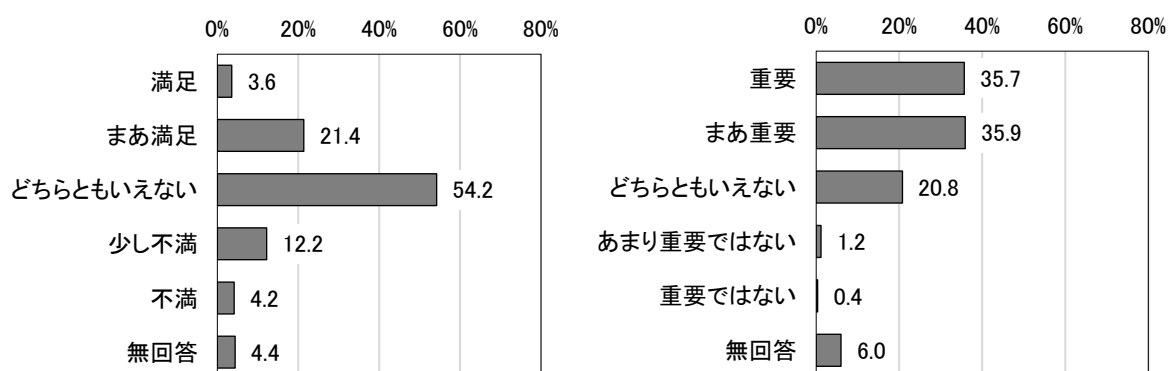
安全・安心な教育現場の整備について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が54.2%と最も高くなっている。「満足」の3.6%と「まあ満足」の21.4%を合わせた、現在満足している割合は25.0%で、「不満」の4.2%と「少し不満」の12.2%を合わせた、現在不満に感じている割合16.4%を8.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が35.7%、「まあ重要」が35.9%で、重要であるという割合は71.6%となっている。

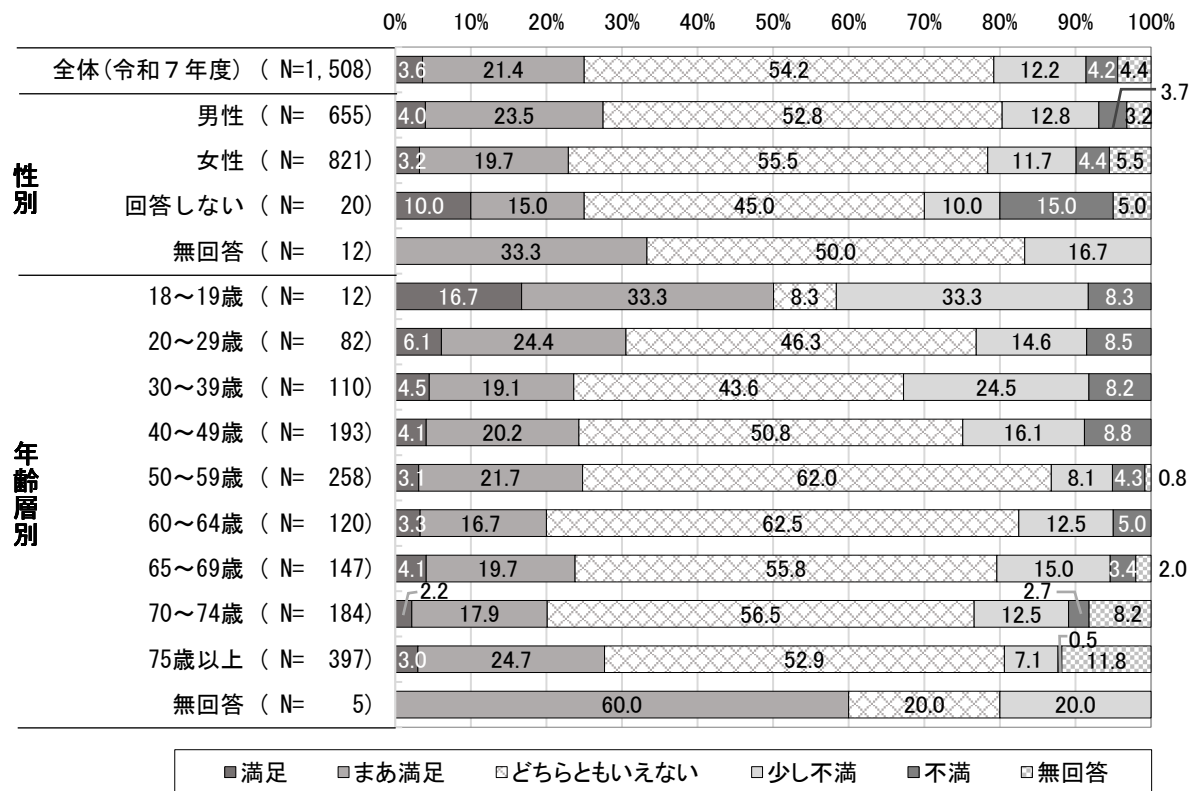
性別にみると、現在満足している割合は男性が4.6ポイント高くなっており、今後重要であるという割合も男性が2.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

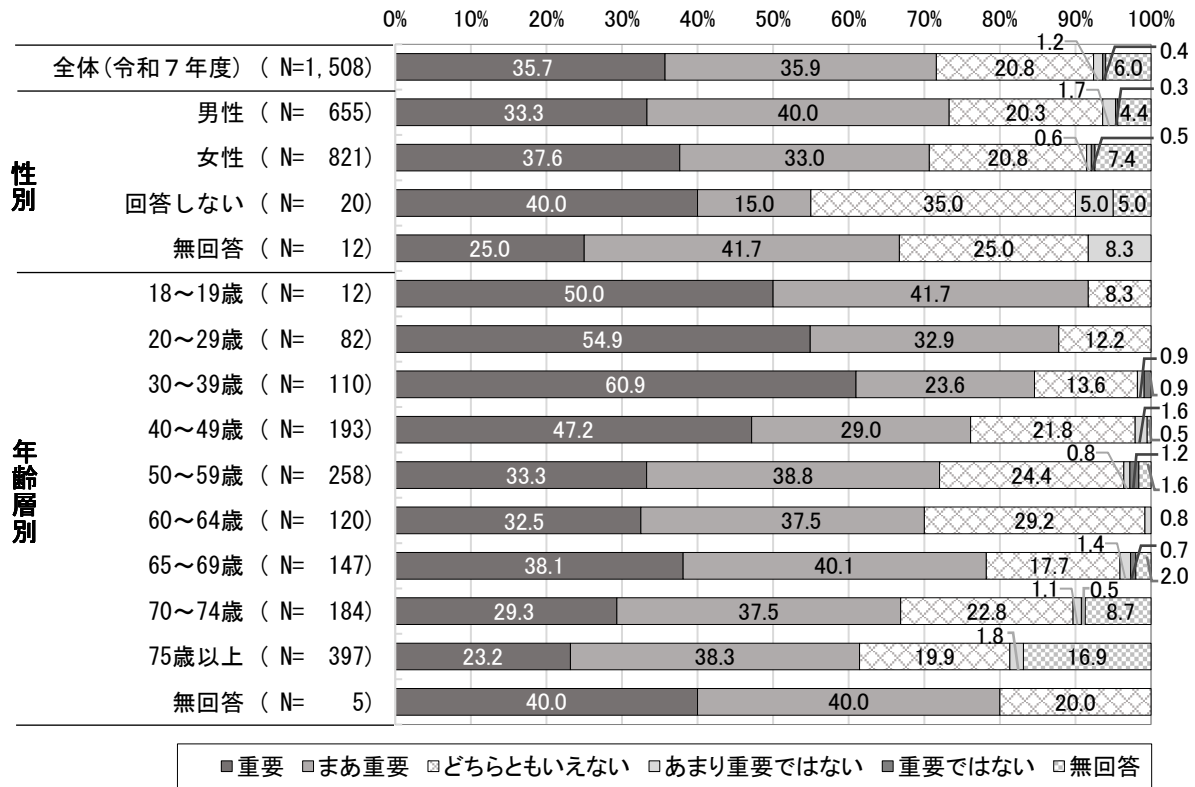
【安全・安心な教育現場の整備】(現在の満足度と今後の重要度)



【安全・安心な教育現場の整備】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【安全・安心な教育現場の整備】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(10) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進

(小中連携・一貫教育やコミュニティ・スクールの推進、教職員の資質能力の向上、学校における働き方改革の推進)

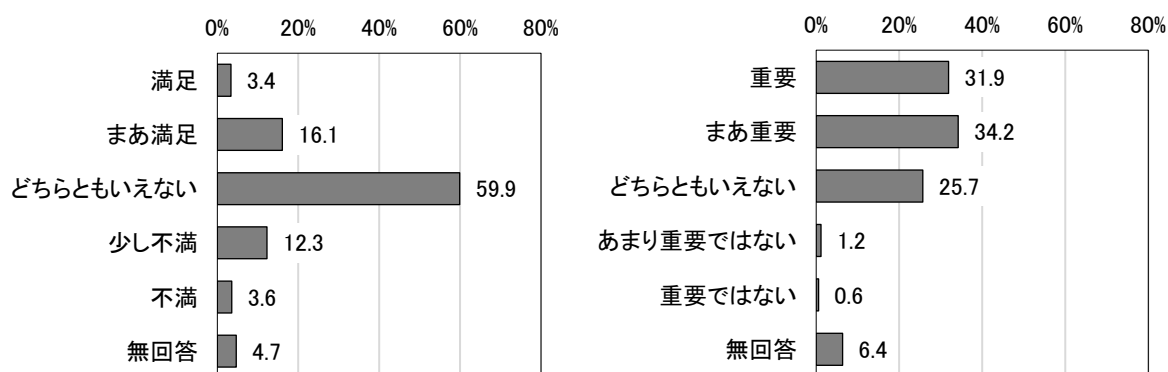
学校や地域とともにある学校づくりの推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が59.9%と最も高くなっている。「満足」の3.4%と「まあ満足」の16.1%を合わせた、現在満足している割合は19.5%で、「不満」の3.6%と「少し不満」の12.3%を合わせた、現在不満に感じている割合15.9%を3.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が31.9%、「まあ重要」が34.2%で、重要であるという割合は66.1%となっている。

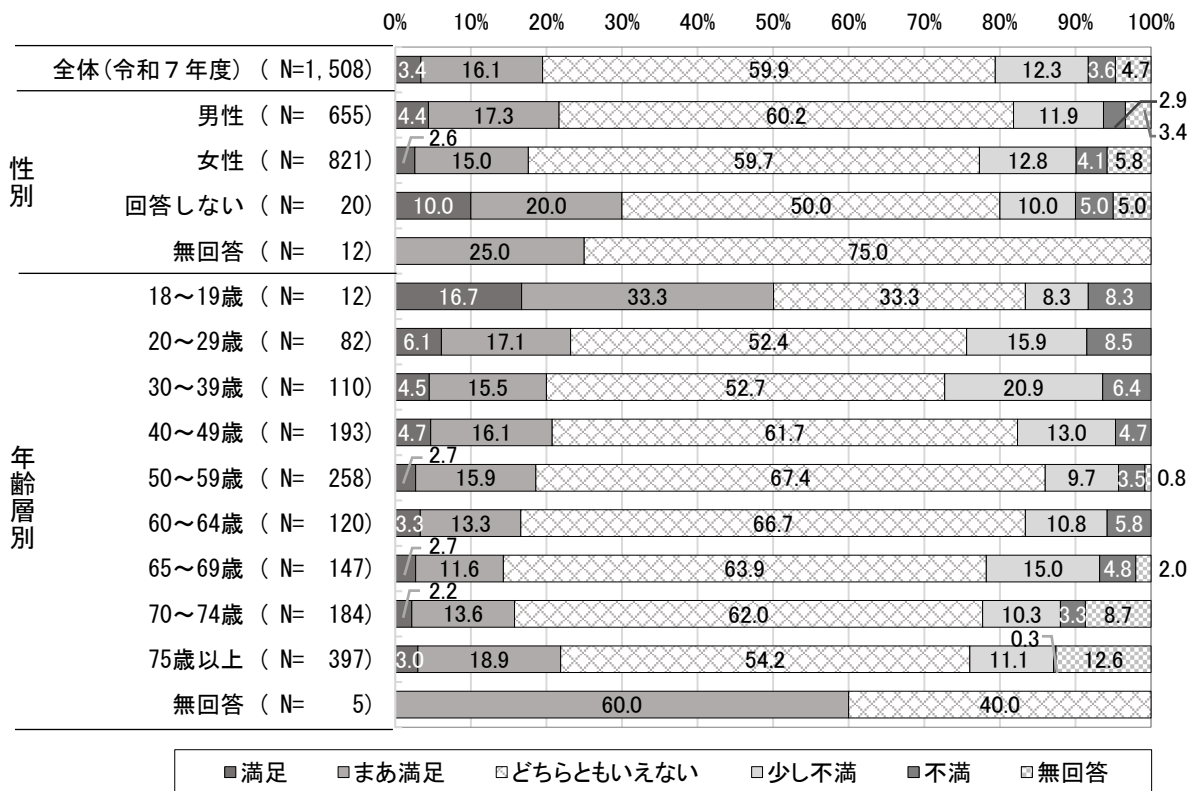
性別にみると、現在満足している割合は4.1ポイント、今後重要であるという割合は3.5ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

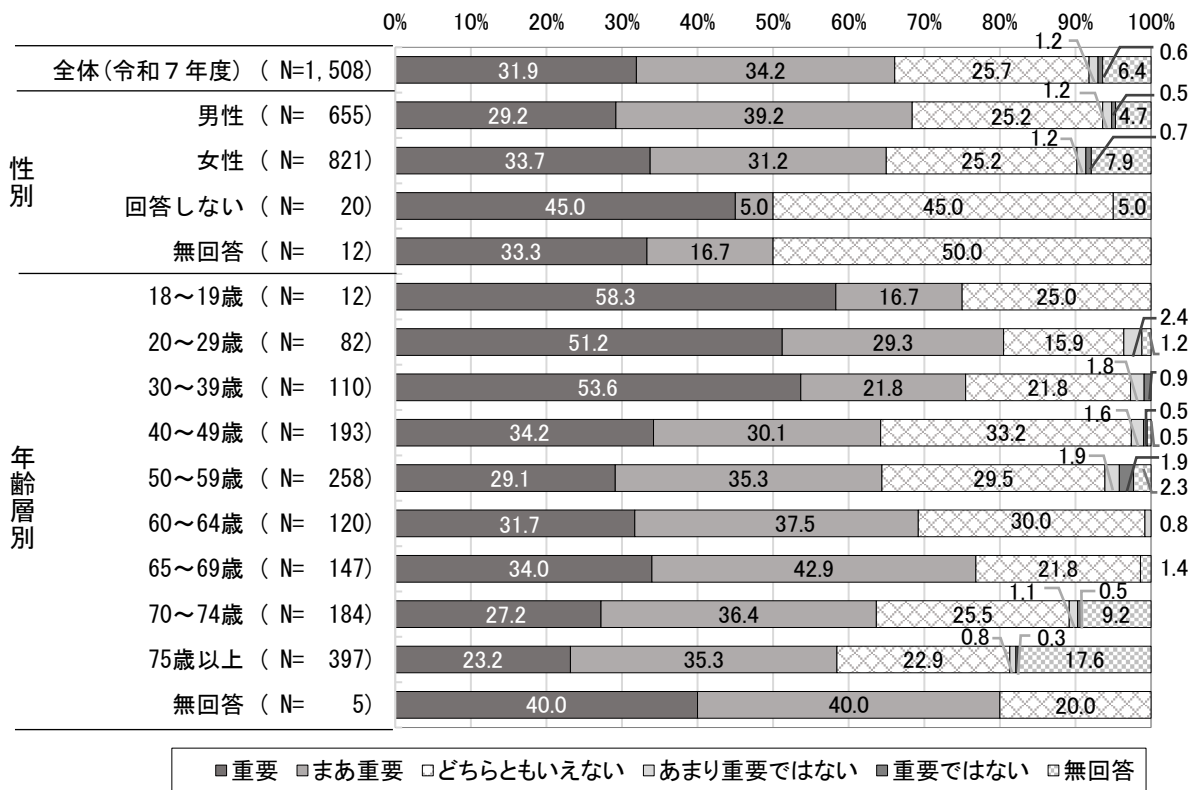
【家庭や地域とともにある学校づくりの推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【家庭や地域とともにある学校づくりの推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【家庭や地域とともにある学校づくりの推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(11) いじめ防止対策の推進

(いじめを受けた児童生徒とその保護者への支援・相談体制の充実、いじめの再発防止への支援)

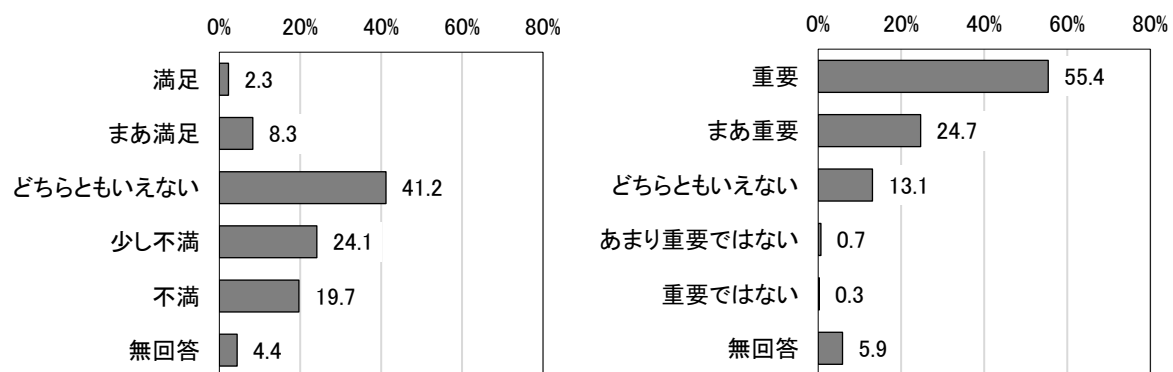
いじめ防止対策の推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が41.2%と最も高くなっている。「満足」の2.3%と「まあ満足」の8.3%を合わせた、現在満足している割合は10.6%で、「不満」の19.7%と「少し不満」の24.1%を合わせた、現在不満に感じている割合43.8%を33.2ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が55.4%、「まあ重要」が24.7%で、重要であるという割合は80.1%となっている。

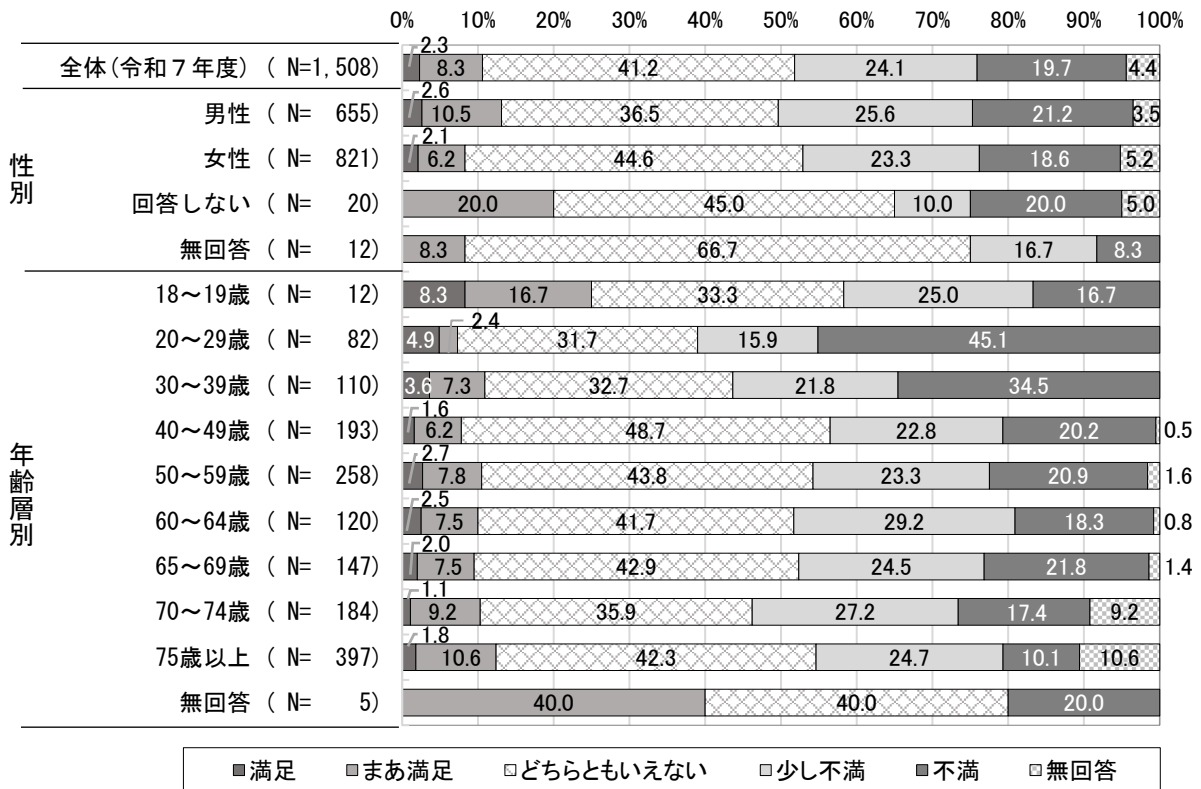
性別にみると、現在不満に感じている割合は4.9ポイント、今後重要であるという割合は4.7ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在不満に感じている割合、今後重要であるという割合ともに20～29歳が最も高くなっている。

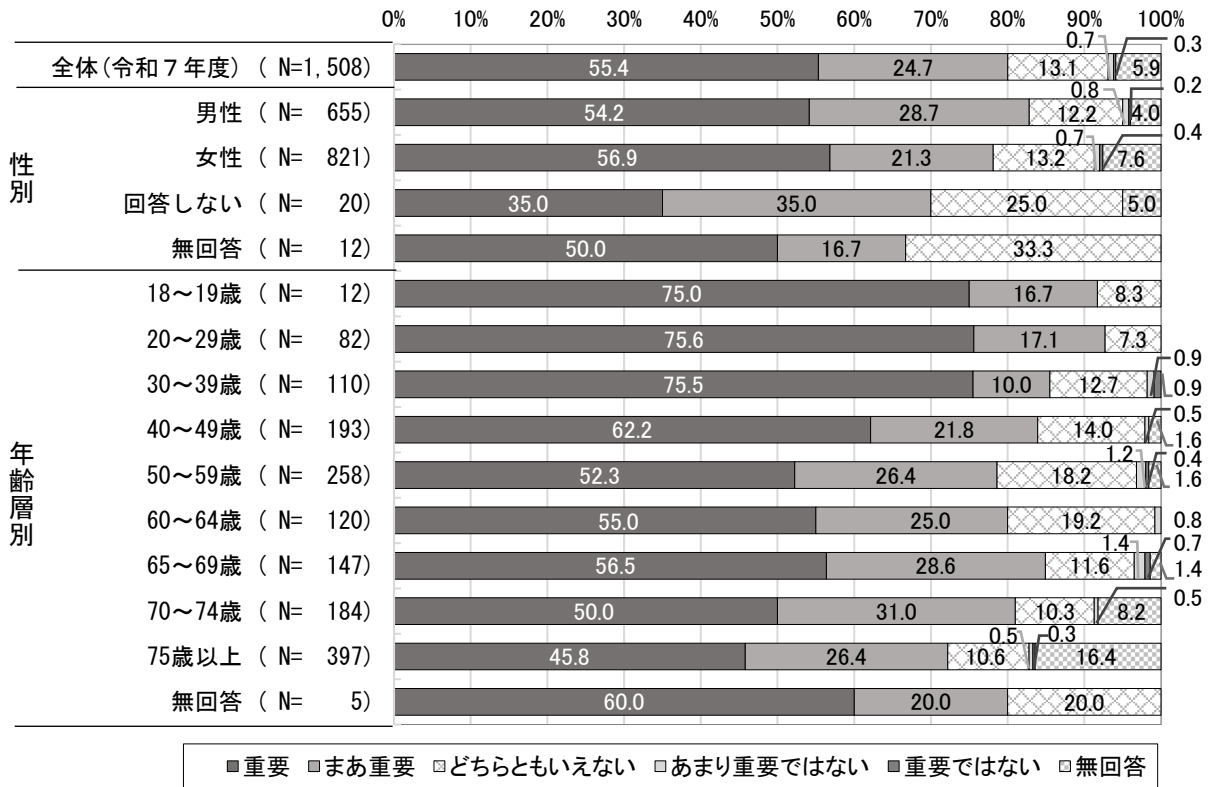
【いじめ防止対策の推進】（現在の満足度と今後の重要度）



【いじめ防止対策の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【いじめ防止対策の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(12) 生涯を通じた学びの振興

(ジオパーク構想の推進、学びの機会の充実、学びの成果を地域に還元する環境の整備、社会教育施設の機能の充実)

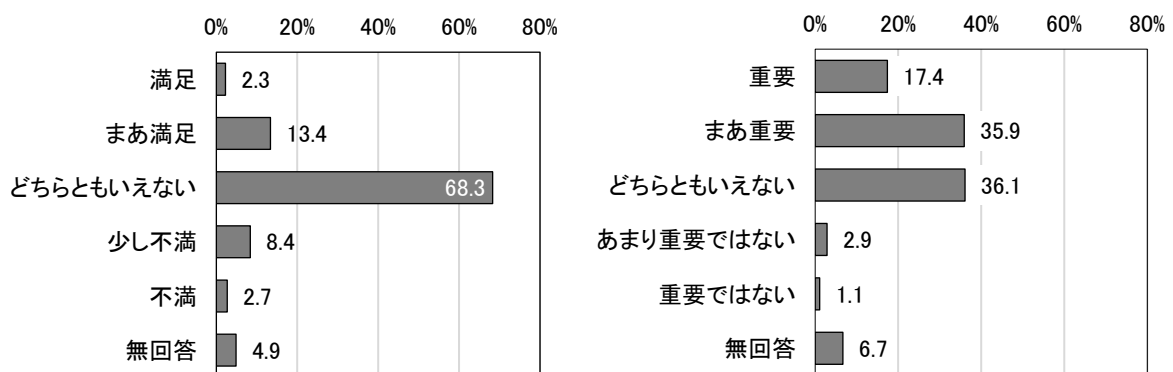
生涯を通じた学びの振興について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が68.3%と最も高くなっている。「満足」の2.3%と「まあ満足」の13.4%を合わせた、現在満足している割合は15.7%で、「不満」の2.7%と「少し不満」の8.4%を合わせた、現在不満に感じている割合11.1%を4.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が17.4%、「まあ重要」が35.9%で、重要であるという割合は53.3%となっている。

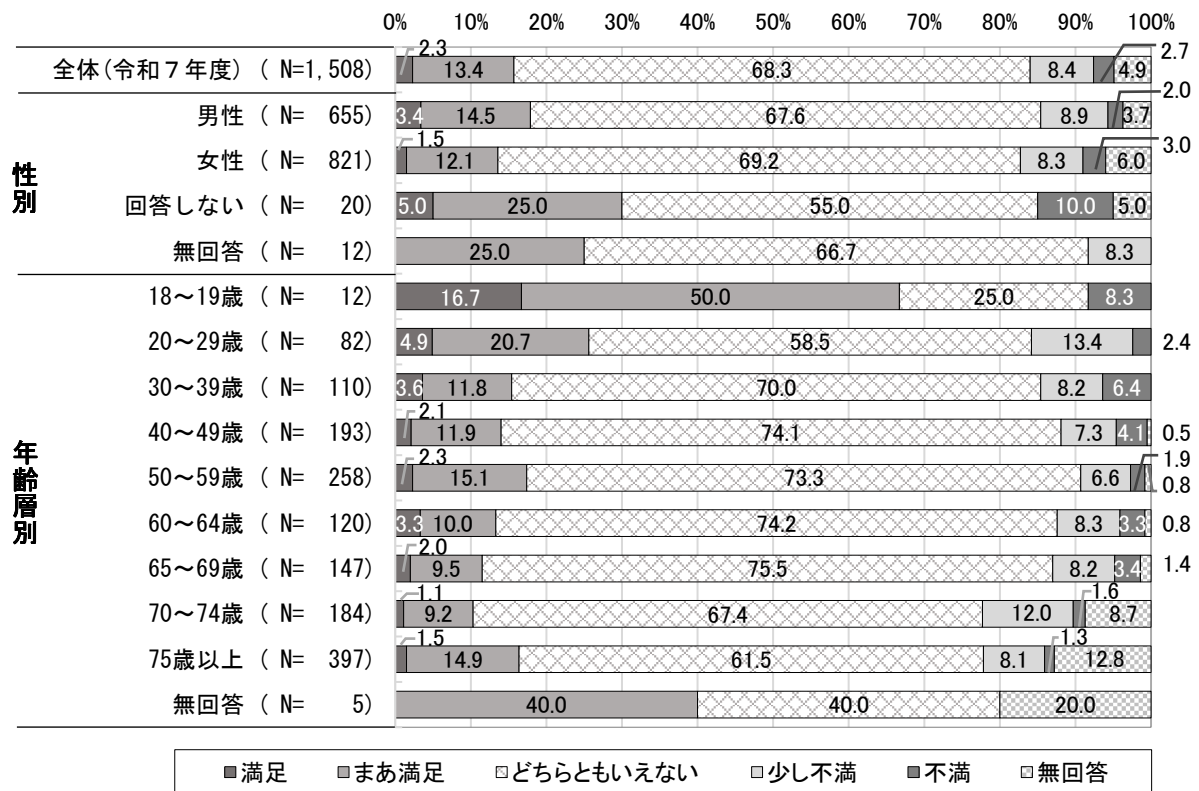
性別にみると、現在満足している割合は男性が4.3ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は女性が1.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

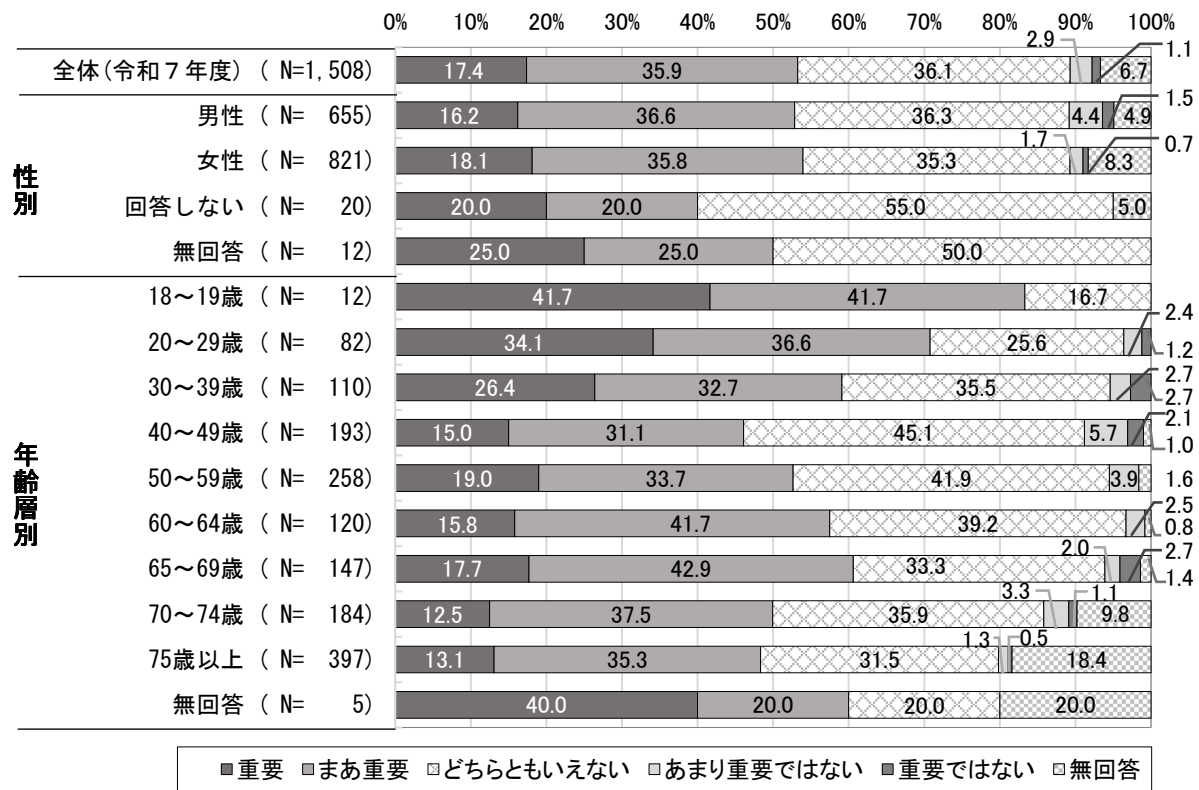
【生涯を通じた学びの振興】（現在の満足度と今後の重要度）



【生涯を通じた学びの振興】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【生涯を通じた学びの振興】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(13) 個性豊かな北国らしい文化の振興

(文化芸術活動への支援、文化芸術に接する機会の充実、文化芸術関連施設の機能の充実、郷土文化の保存・伝承)

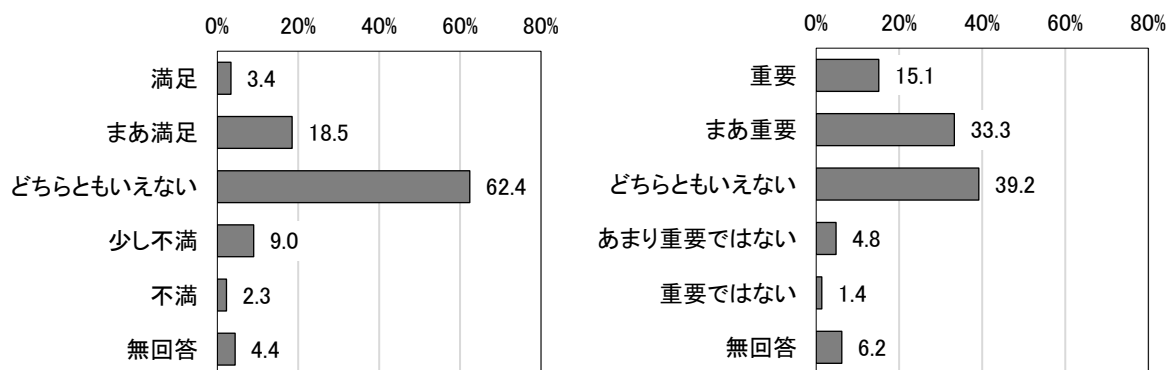
個性豊かな北国らしい文化の振興について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が62.4%と最も高くなっている。「満足」の3.4%と「まあ満足」の18.5%を合わせた、現在満足している割合は21.9%で、「不満」の2.3%と「少し不満」の9.0%を合わせた、現在不満に感じている割合11.3%を10.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が15.1%、「まあ重要」が33.3%で、重要であるという割合は48.4%となっている。

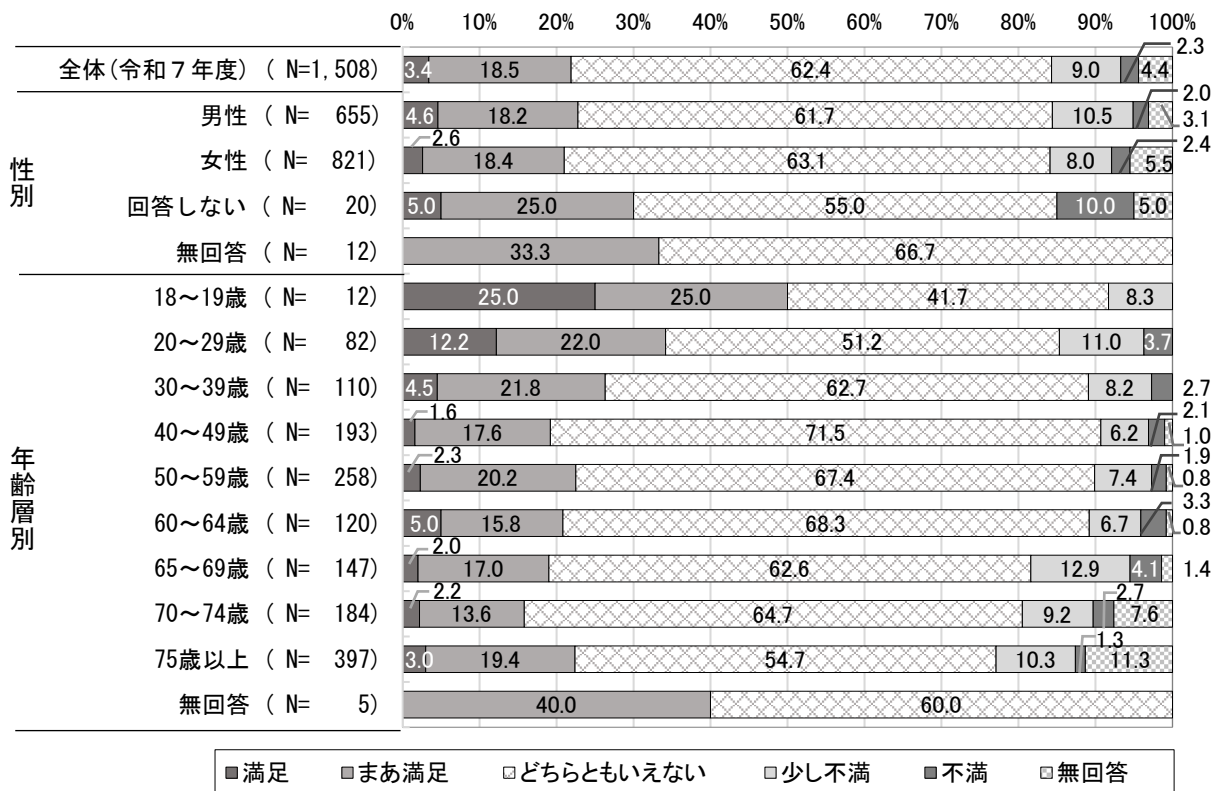
性別にみると、現在満足している割合は1.8ポイント、今後重要であるという割合は0.9ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

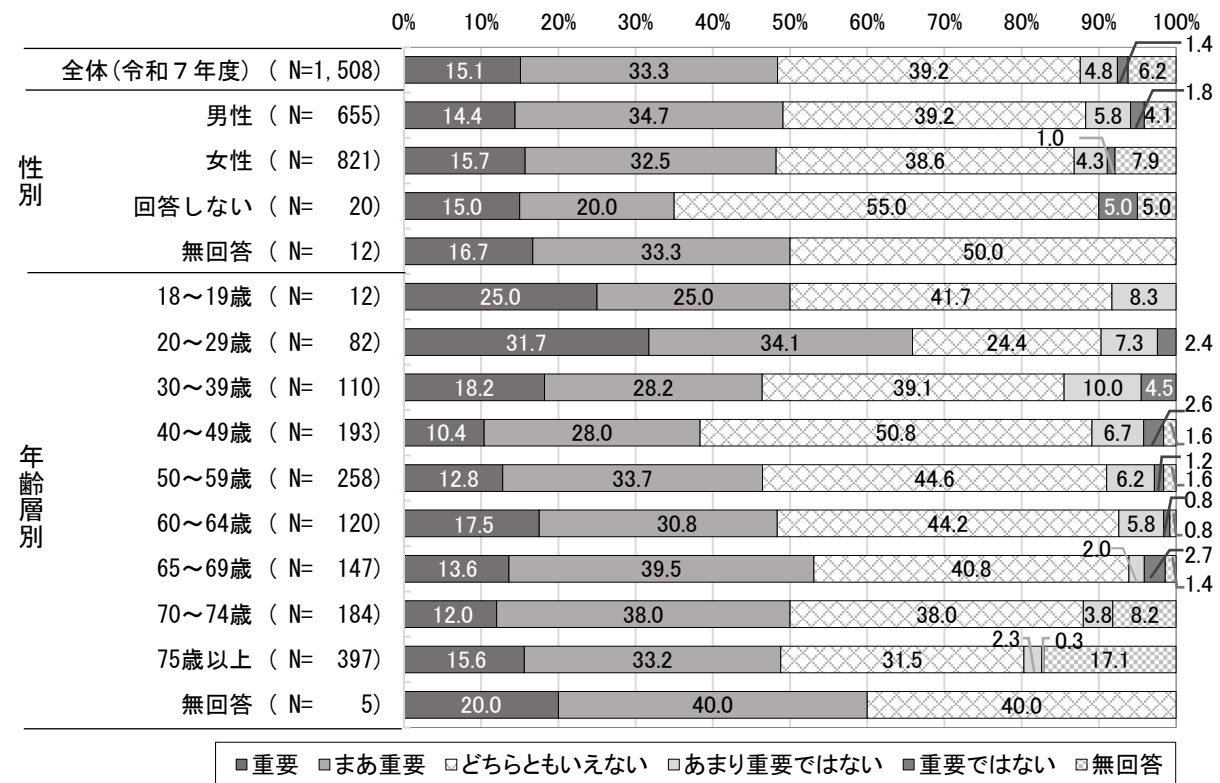
【個性豊かな北国らしい文化の振興】（現在の満足度と今後の重要度）



【個性豊かな北国らしい文化の振興】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【個性豊かな北国らしい文化の振興】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(14) スポーツ・レクリエーションの推進

(スポーツ施設の維持・更新やレクリエーションの振興、プロスポーツチームやオリンピック・パラリンピアンなどとの連携、大会や合宿等の誘致)

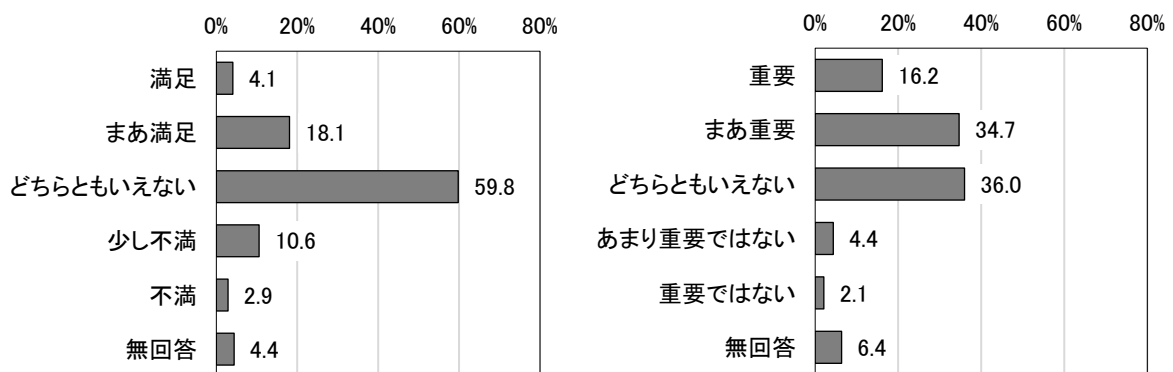
スポーツ・レクリエーションの推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が59.8%と最も高くなっている。「満足」の4.1%と「まあ満足」の18.1%を合わせた、現在満足している割合は22.2%で、「不満」の2.9%と「少し不満」の10.6%を合わせた、現在不満に感じている割合13.5%を8.7ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が16.2%、「まあ重要」が34.7%で、重要であるという割合は50.9%となっている。

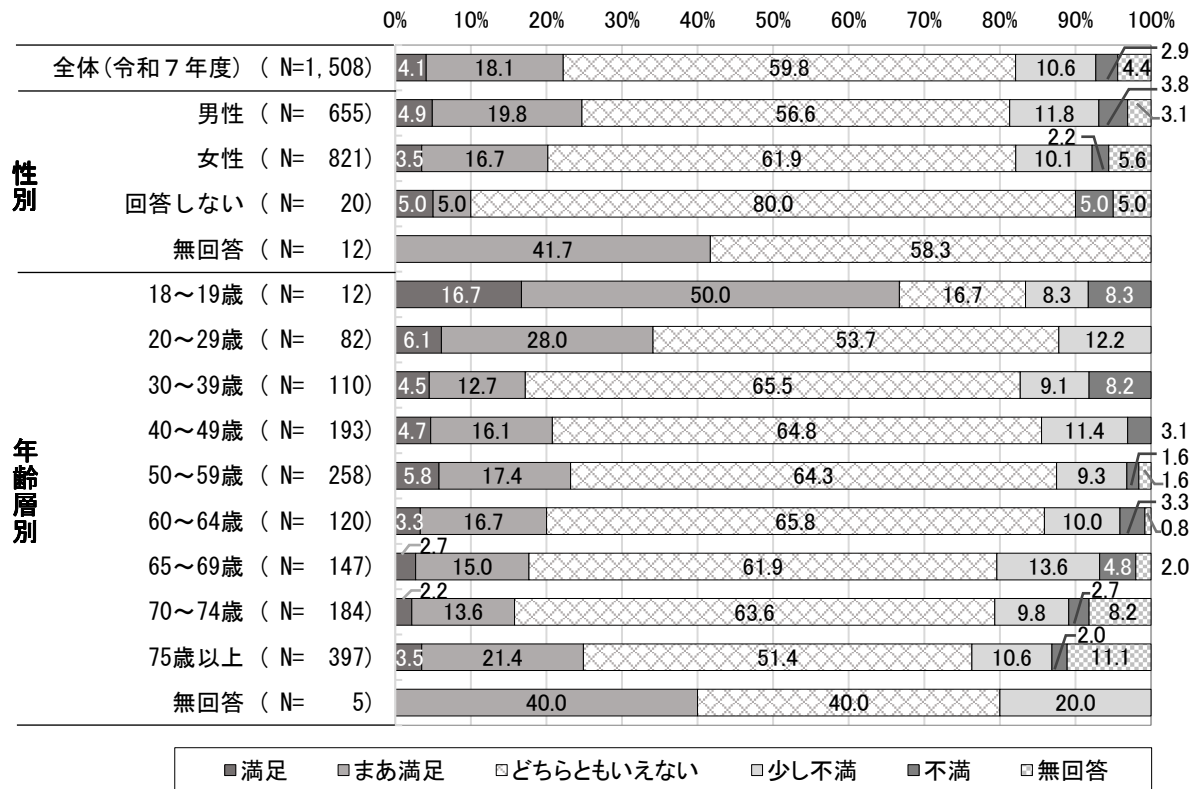
性別にみると、現在満足している割合は4.5ポイント、今後重要であるという割合は6.3ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

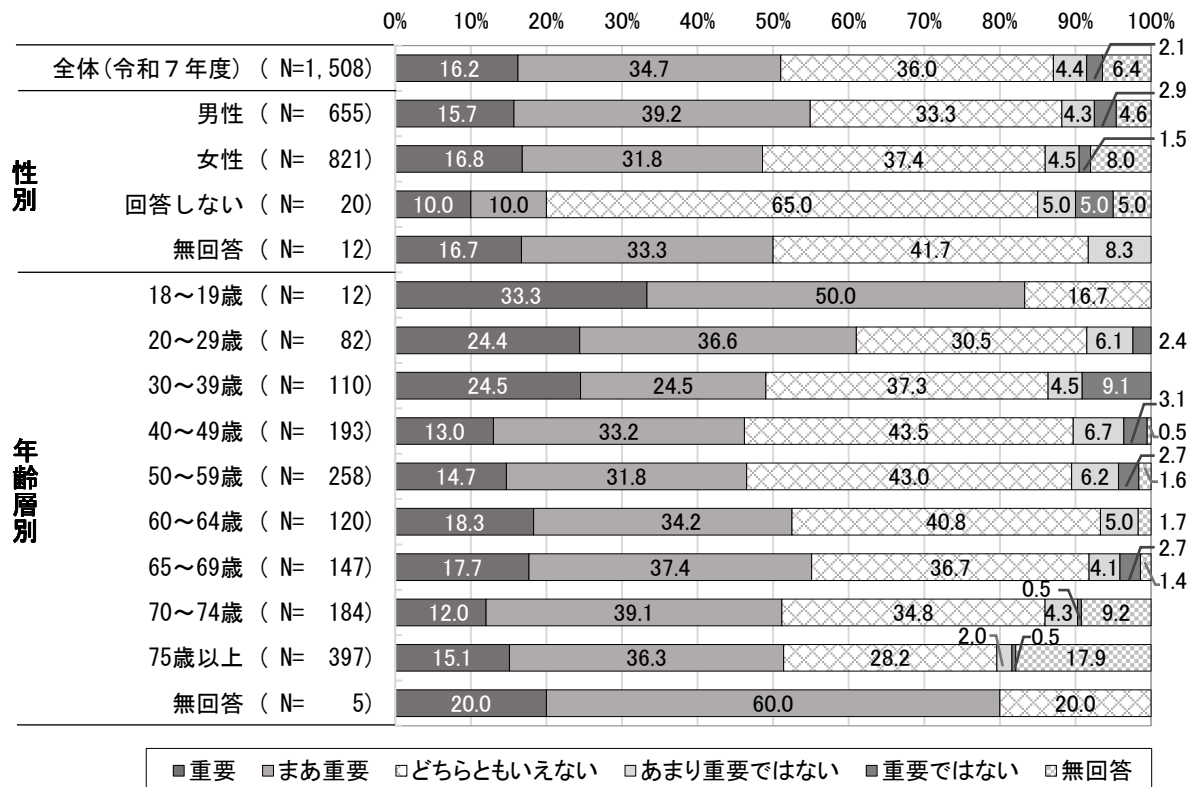
【スポーツ・レクリエーションの推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【スポーツ・レクリエーションの推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【スポーツ・レクリエーションの推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(15) 魅力の活用、発信と競争力の強化

(ユネスコ創造都市ネットワークの活用、地場商品のブランド化の推進や販路の開拓・拡大・資源や特性を生かした企業誘致の推進)

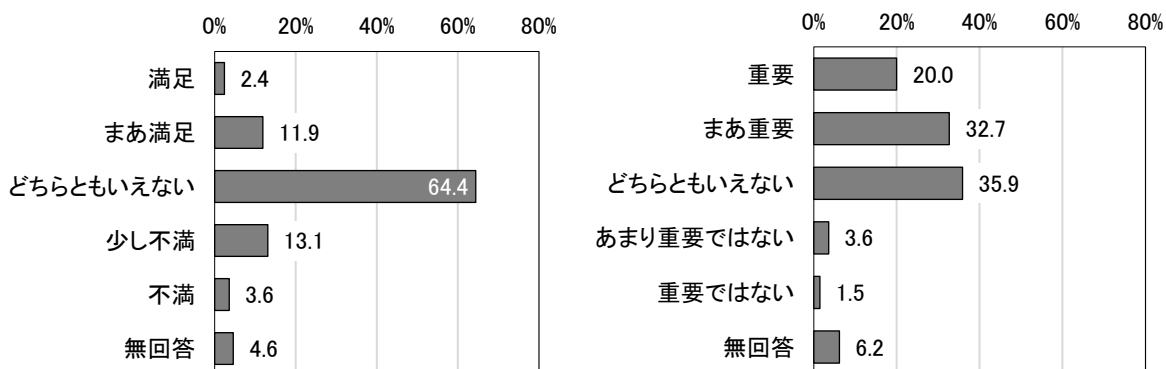
魅力の活用、発信と競争力の強化について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が64.4%と最も高くなっている。「満足」の2.4%と「まあ満足」の11.9%を合わせた、現在満足している割合は14.3%で、「不満」の3.6%と「少し不満」の13.1%を合わせた、現在不満に感じている割合16.7%を2.4ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が20.0%、「まあ重要」が32.7%で、重要であるという割合は52.7%となっている。

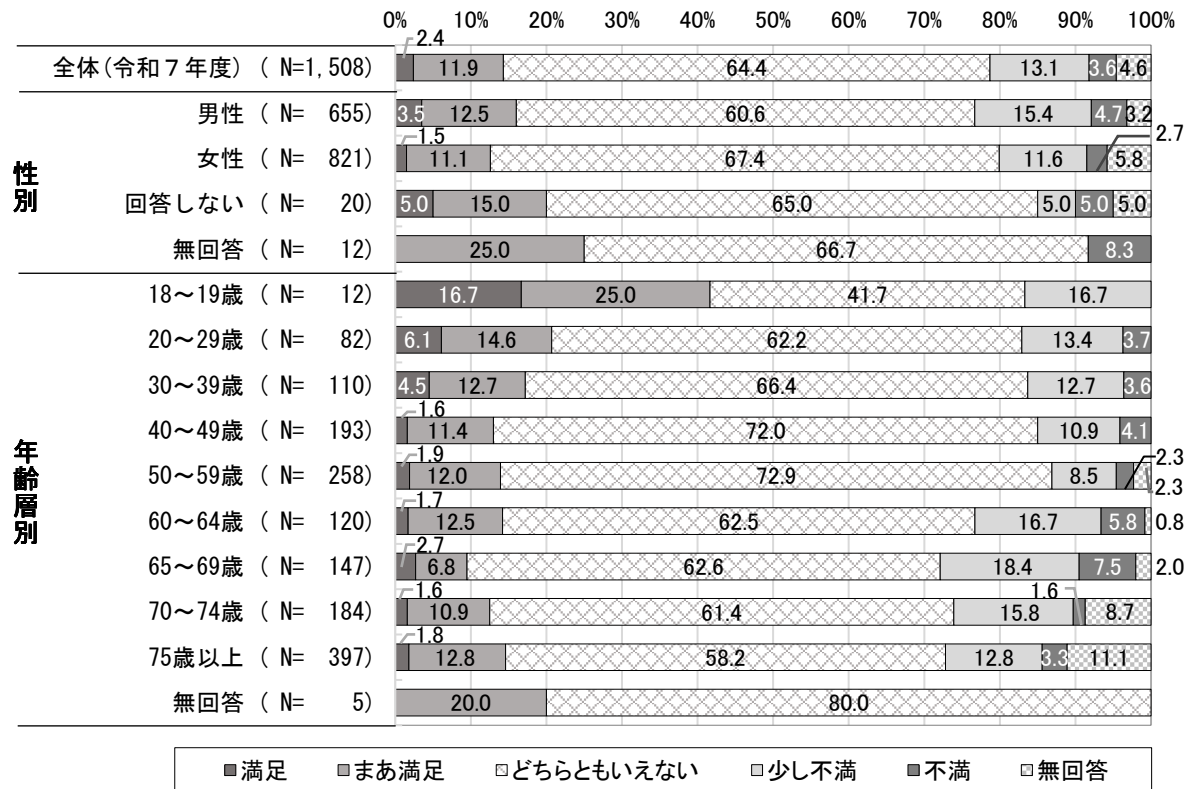
性別にみると、現在不満に感じている割合は5.8ポイント、今後重要であるという割合は4.2ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在不満に感じている割合、今後重要であるという割合ともに65～69歳が最も高くなっている。

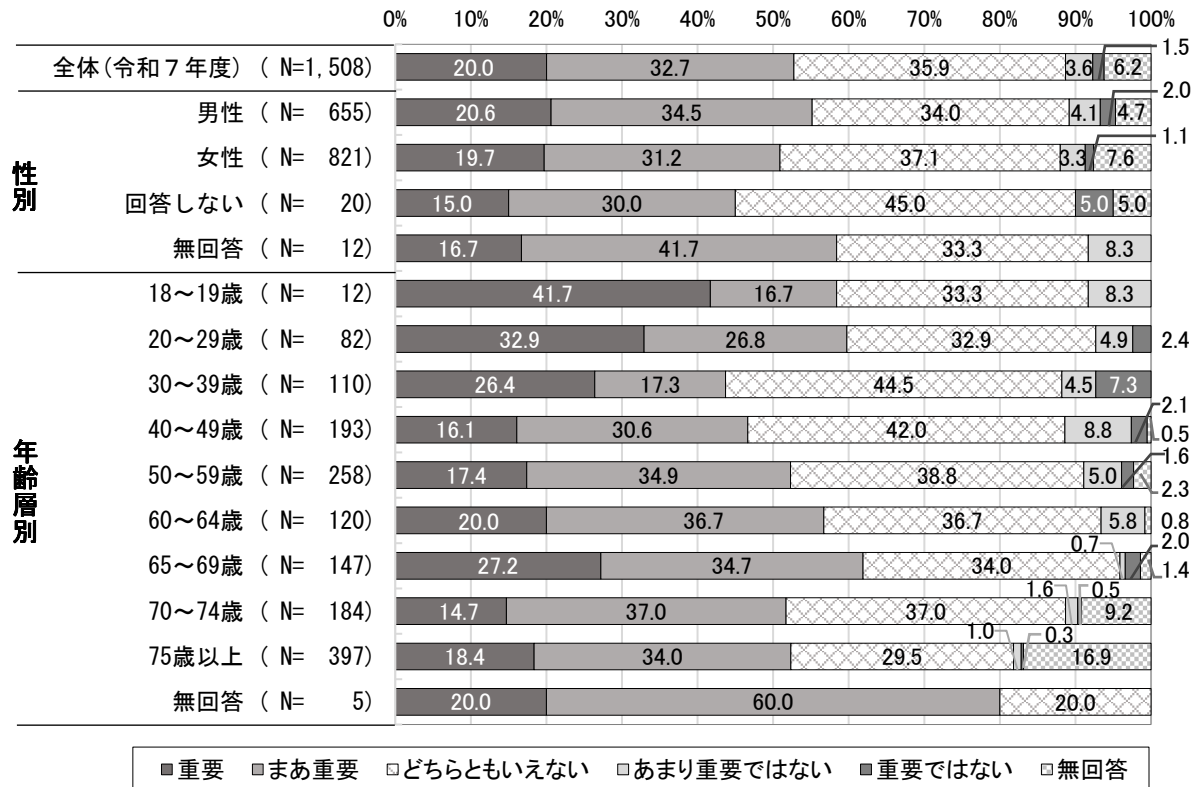
【魅力の活用、発信と競争力の強化】（現在の満足度と今後の重要度）



【魅力の活用、発信と競争力の強化】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【魅力の活用、発信と競争力の強化】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(16) 地域産業の持続的発展

(地域産業を担う人材の育成、雇用や経営に関する支援の充実、農林業の生産性の向上、農村集落の活性化)

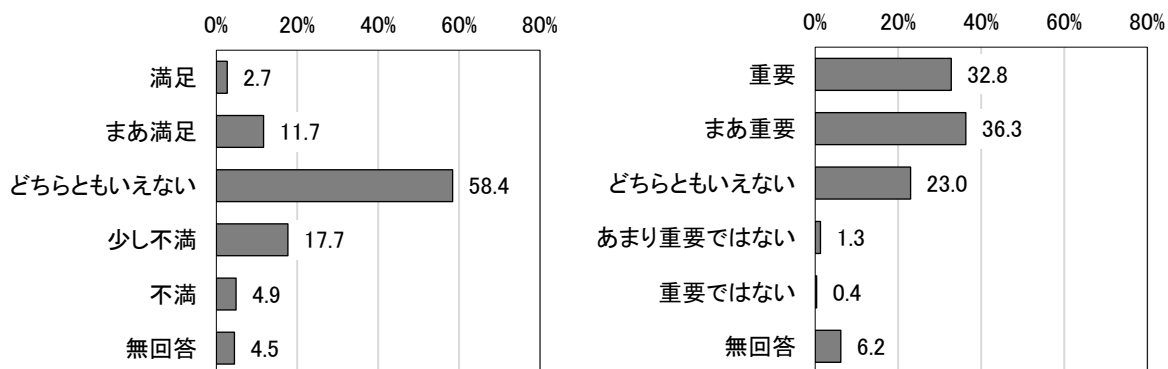
地域産業の持続的発展について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が 58.4%と最も高くなっている。「満足」の 2.7%と「まあ満足」の 11.7%を合わせた、現在満足している割合は 14.4%で、「不満」の 4.9%と「少し不満」の 17.7%を合わせた、現在不満に感じている割合 22.6%を 8.2ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が 32.8%、「まあ重要」が 36.3%で、重要であるという割合は 69.1%となっている。

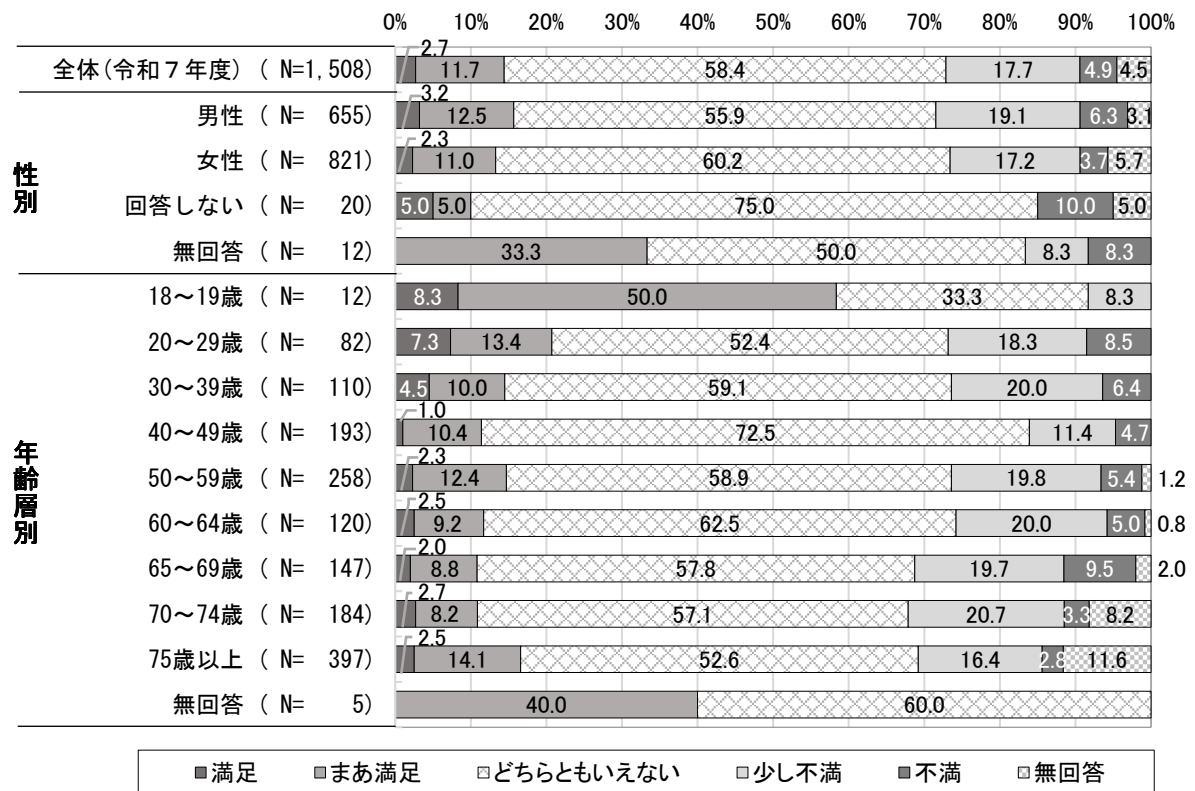
性別にみると、現在不満に感じている割合は 4.5ポイント、今後重要であるという割合は 6.9ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在不満に感じている割合、今後重要であるという割合ともに 65～69歳が最も高くなっている。

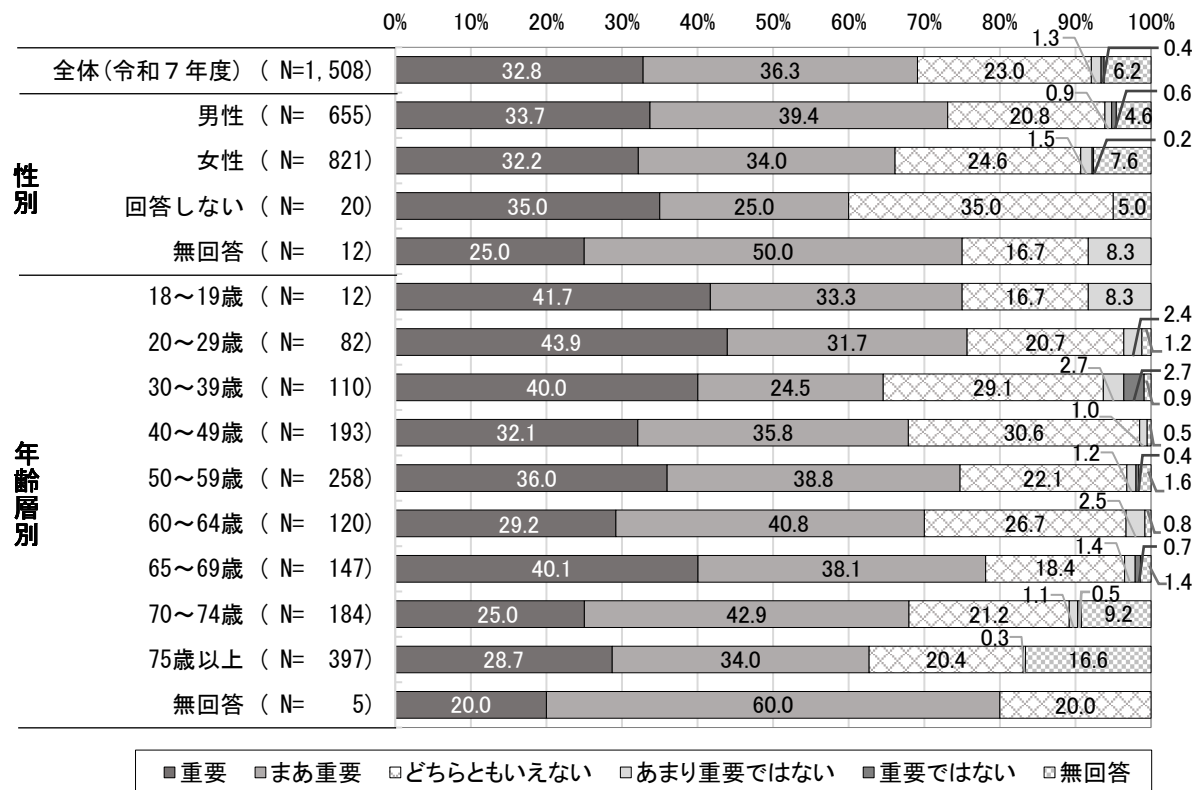
【地域産業の持続的発展】（現在の満足度と今後の重要度）



【地域産業の持続的発展】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【地域産業の持続的発展】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(17) まちの活性化と公共交通網の充実

(中心市街地の活性化、まち全体の賑わいの創出、路線バスなどの公共交通体系の充実、旭川空港の機能充実・路線拡大)

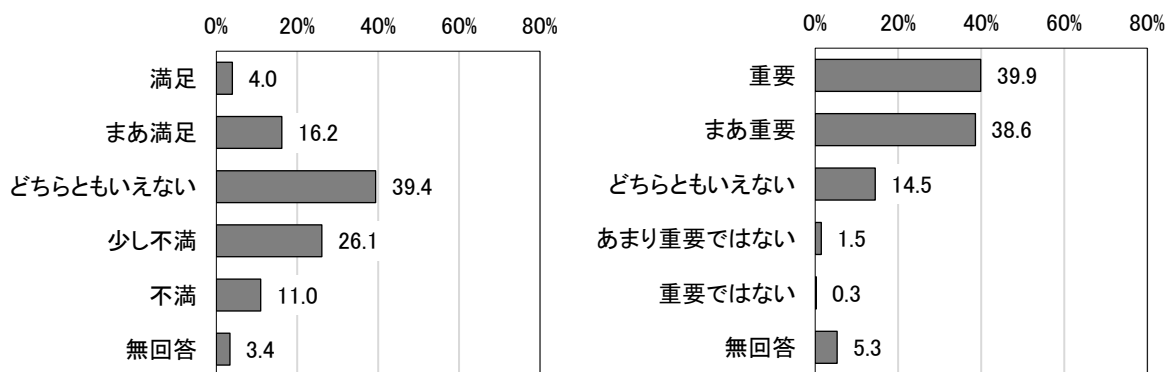
まちの活性化と公共交通網の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が39.4%と最も高くなっている。「満足」の4.0%と「まあ満足」の16.2%を合わせた、現在満足している割合は20.2%で、「不満」の11.0%と「少し不満」の26.1%を合わせた、現在不満に感じている割合37.1%を16.9ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が39.9%、「まあ重要」が38.6%で、重要であるという割合は78.5%となっている。

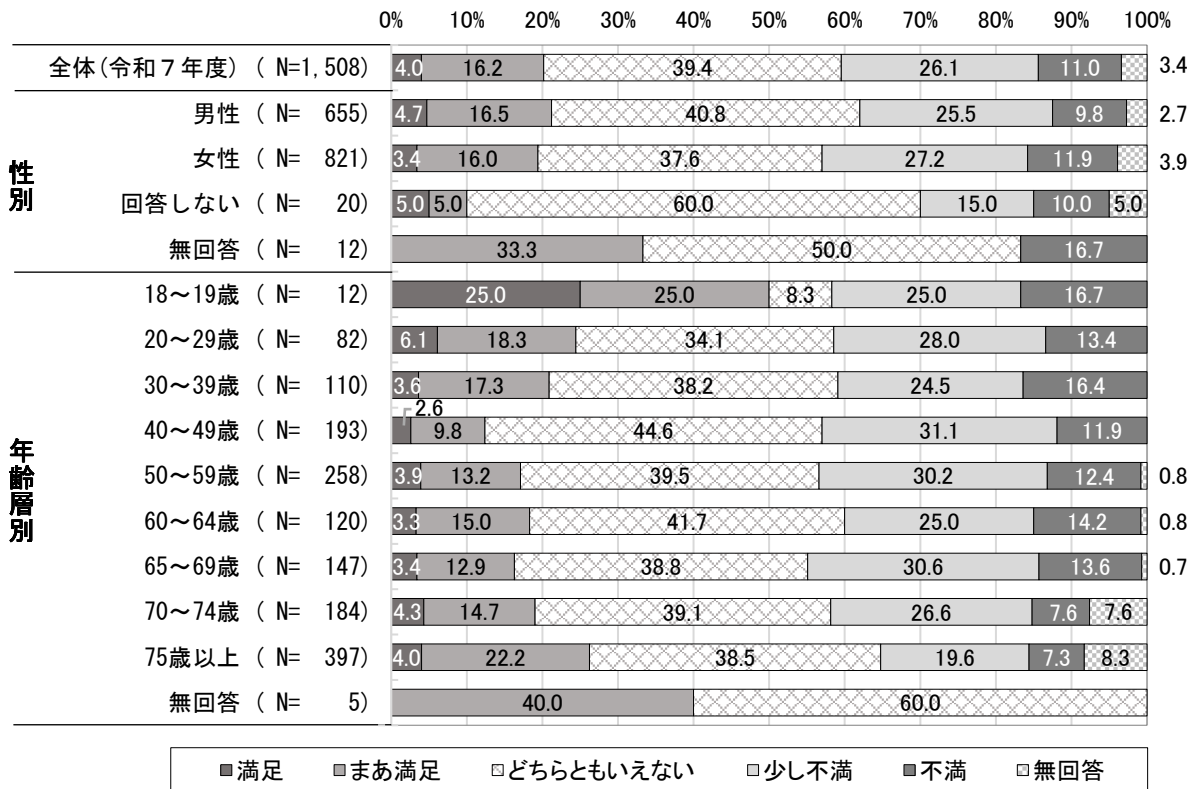
性別にみると、現在不満に感じている割合は女性が3.8ポイント高くなっており、今後重要であるという割合は、女性が1.4ポイント低くなっている。

年齢層別にみると、現在不満に感じている割合は65～69歳が最も高く、今後重要であるという割合は18～19歳が最も高くなっている。

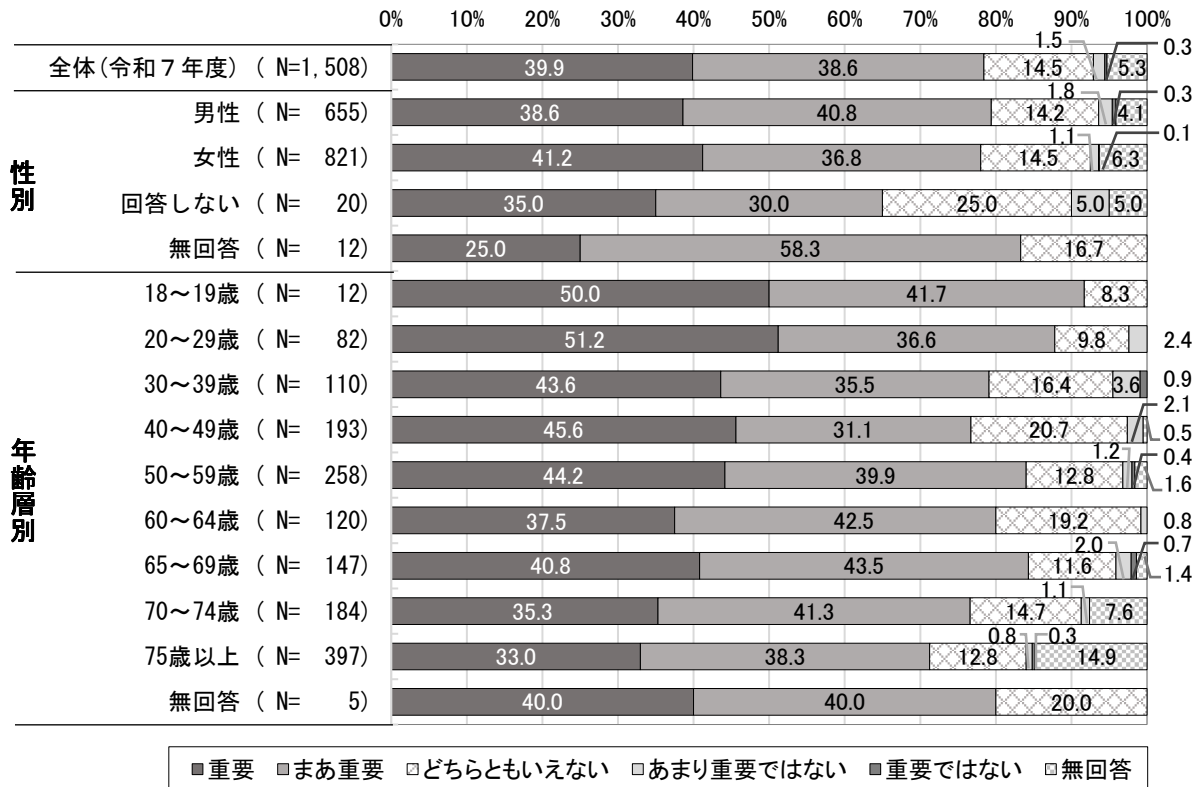
【まちの活性化と公共交通網の充実】(現在の満足度と今後の重要度)



【まちの活性化と公共交通網の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【まちの活性化と公共交通網の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(18) 四季を通じた観光の振興

(体験型観光の促進、広域観光の推進、持続的な観光振興に向けた自主的な財源確保策の検討)

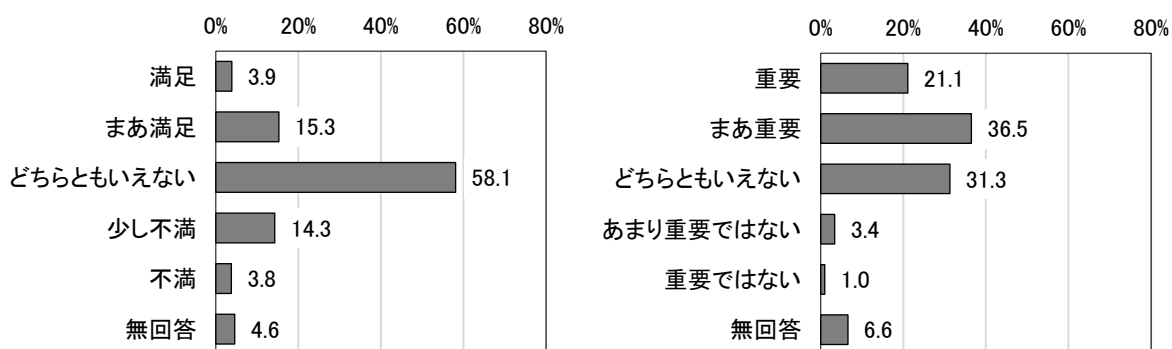
四季を通じた観光の振興について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が58.1%と最も高くなっている。「満足」の3.9%と「まあ満足」の15.3%を合わせた、現在満足している割合は19.2%で、「不満」の3.8%と「少し不満」の14.3%を合わせた、現在不満に感じている割合18.1%を1.1ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が21.1%、「まあ重要」が36.5%で、重要であるという割合は57.6%となっている。

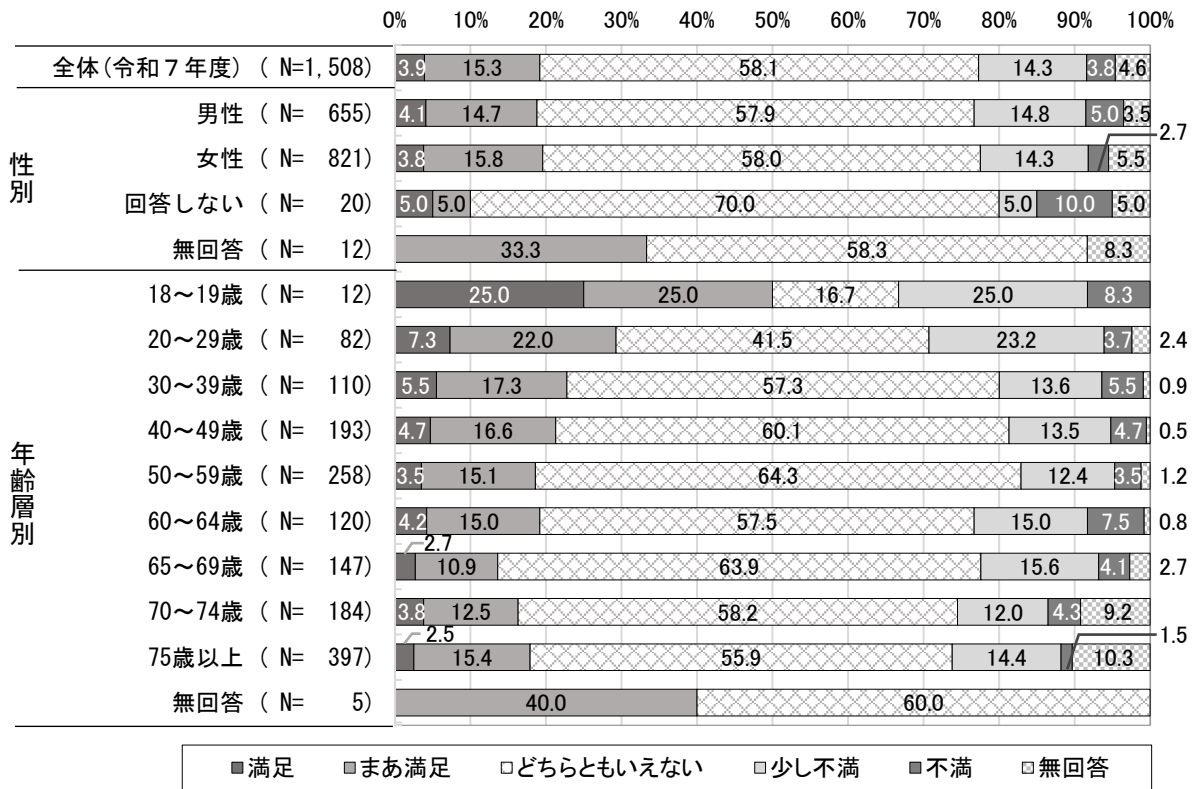
性別にみると、現在満足している割合は女性が0.8ポイント高くなっており、今後重要であるという割合は、男性が1.0ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

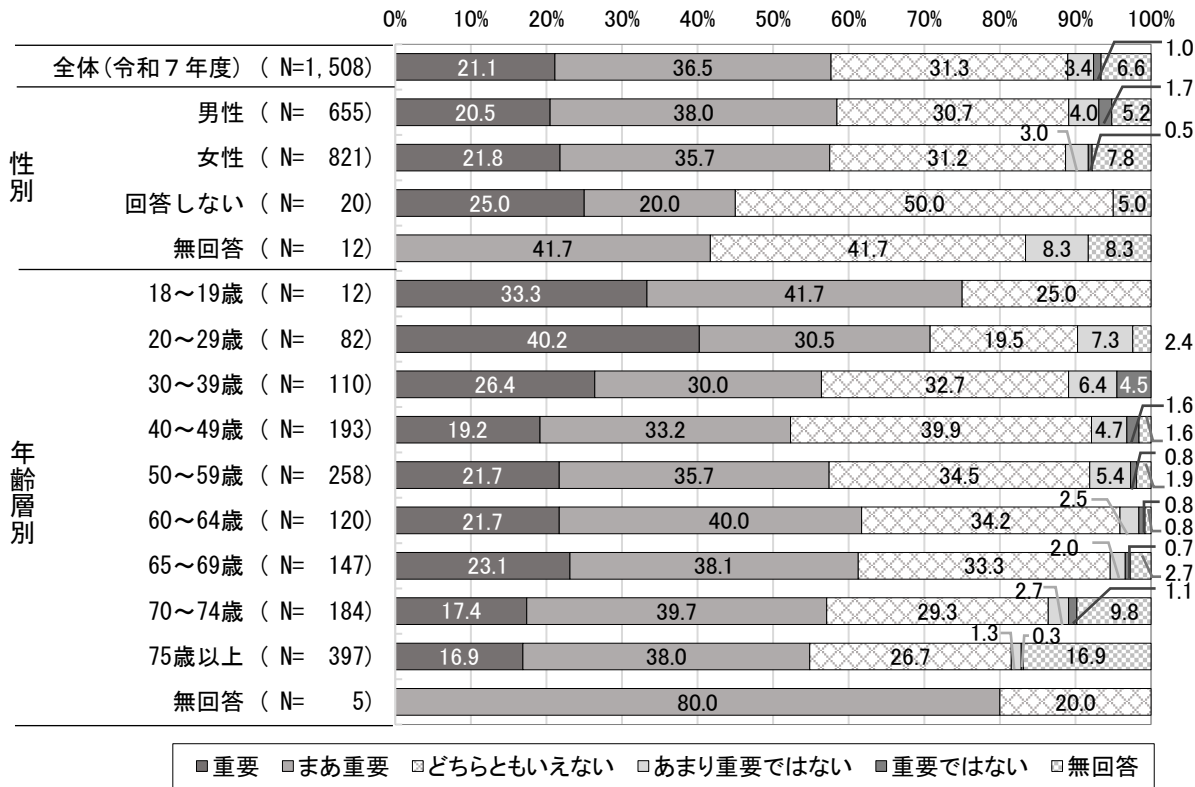
【四季を通じた観光の振興】(現在の満足度と今後の重要度)



【四季を通じた観光の振興】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【四季を通じた観光の振興】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(19) 多様な交流と国際化の推進

(官民連携による移住・定住の促進、国外の都市間交流の拡大による国際化の推進)

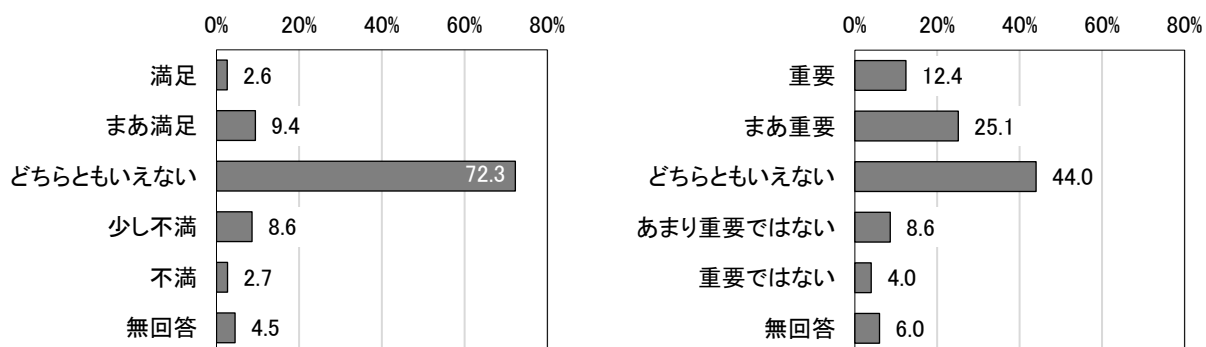
多様な交流と国際化の推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が72.3%と最も高くなっている。「満足」の2.6%と「まあ満足」の9.4%を合わせた、現在満足している割合は12.0%で、「不満」の2.7%と「少し不満」の8.6%を合わせた、現在不満に感じている割合11.3%を0.7ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が12.4%、「まあ重要」が25.1%で、重要であるという割合は37.5%となっている。

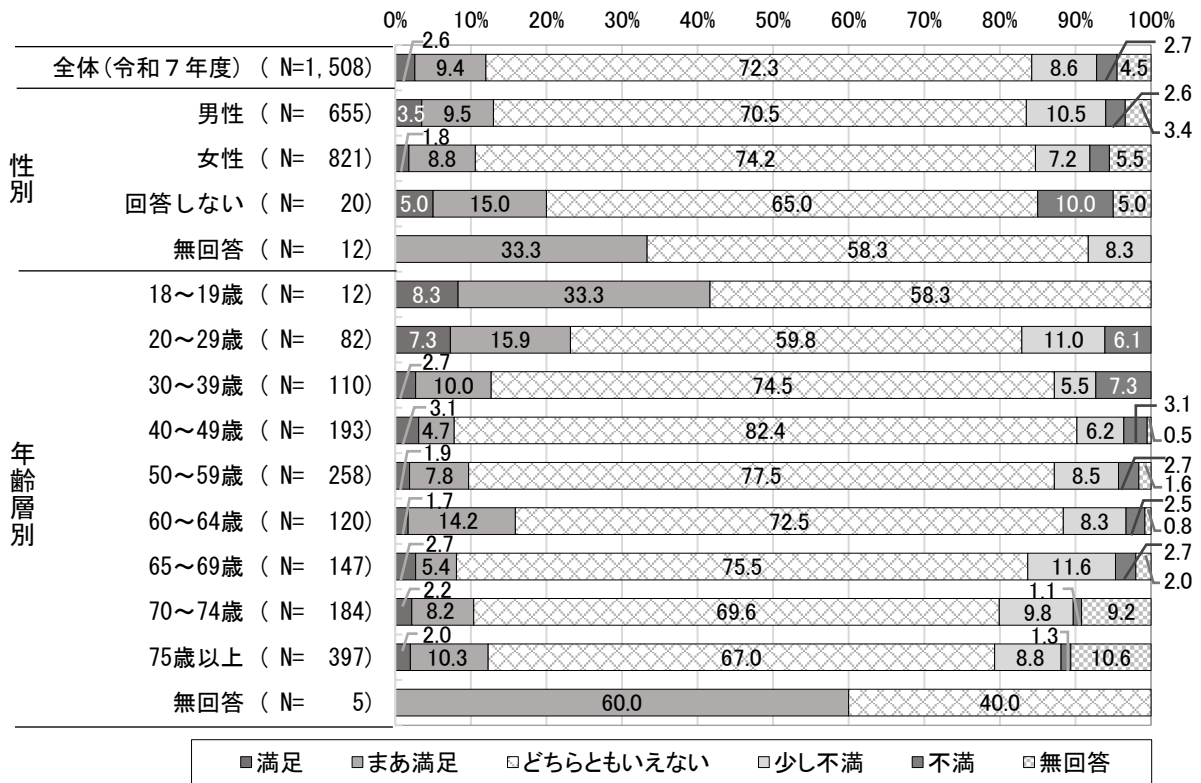
性別にみると、満足している割合は2.4ポイント、今後重要であるという割合は3.3ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

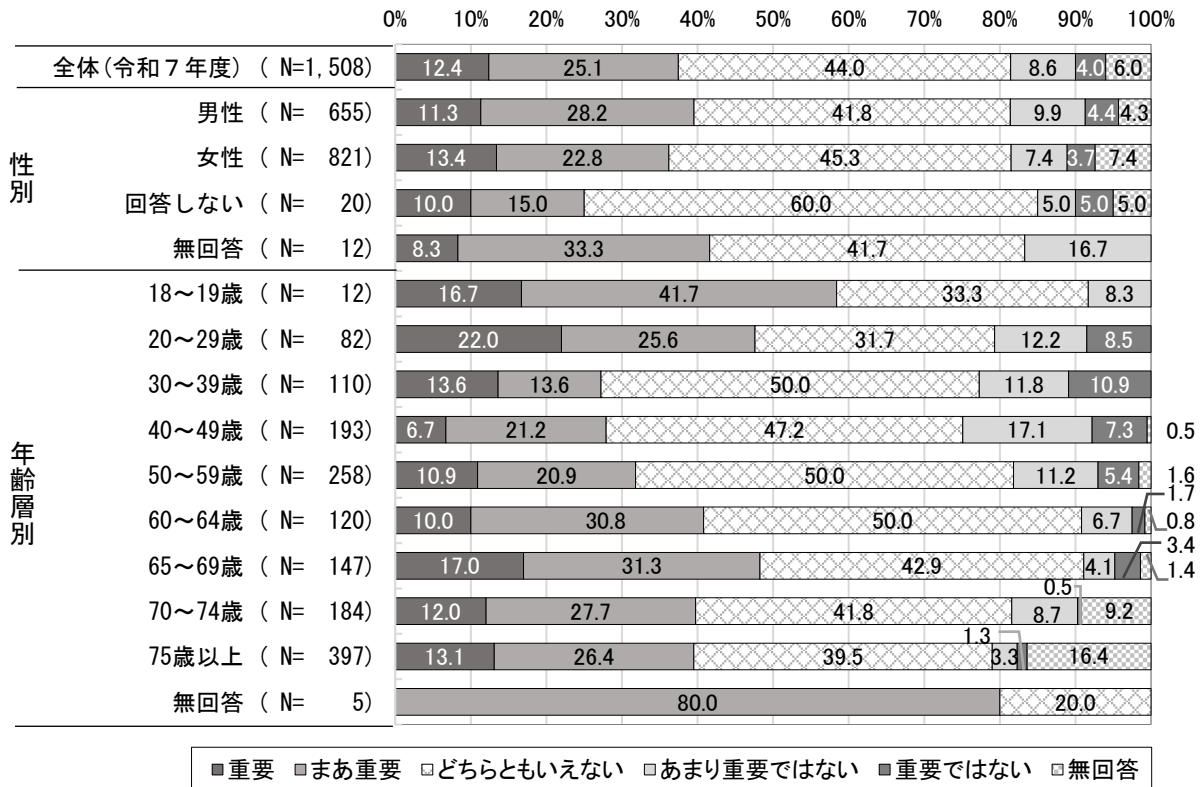
【多様な交流と国際化の推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【多様な交流と国際化の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【多様な交流と国際化の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(20) 市民生活を支える都市機能の維持

(道路や公園など社会資本の計画的・効率的な整備・保全、安全な水道水の安定供給)

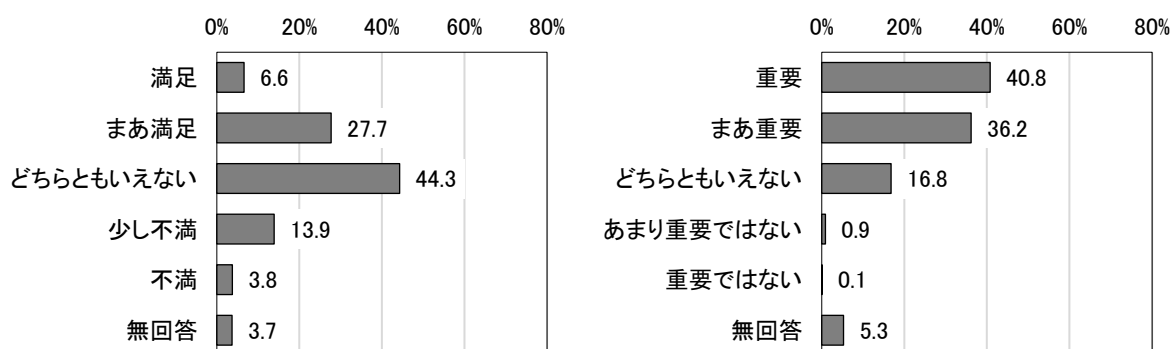
市民生活を支える都市機能の維持について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が44.3%と最も高くなっている。「満足」の6.6%と「まあ満足」の27.7%を合わせた、現在満足している割合は34.3%で、「不満」の3.8%と「少し不満」の13.9%を合わせた、現在不満に感じている割合17.7%を16.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が40.8%、「まあ重要」が36.2%で、重要であるという割合は77.0%となっている。

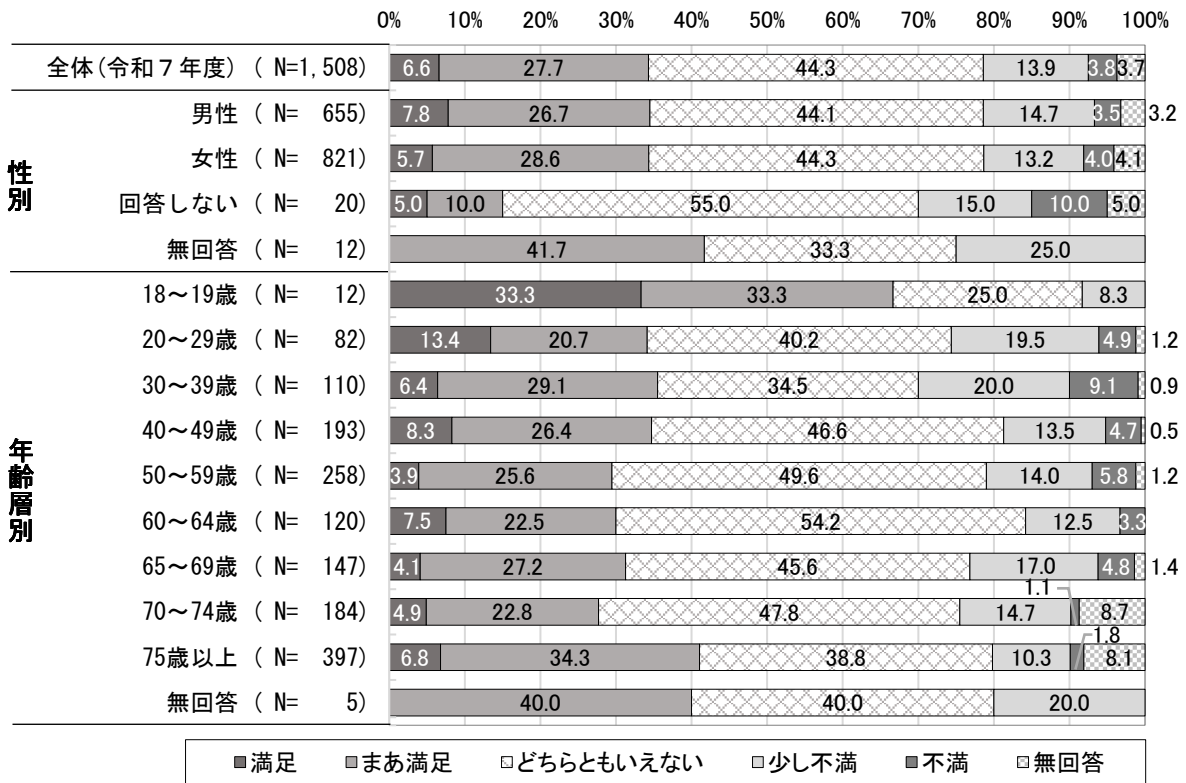
性別にみると、現在満足している割合は0.2ポイント、今後重要であるという割合は1.8ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

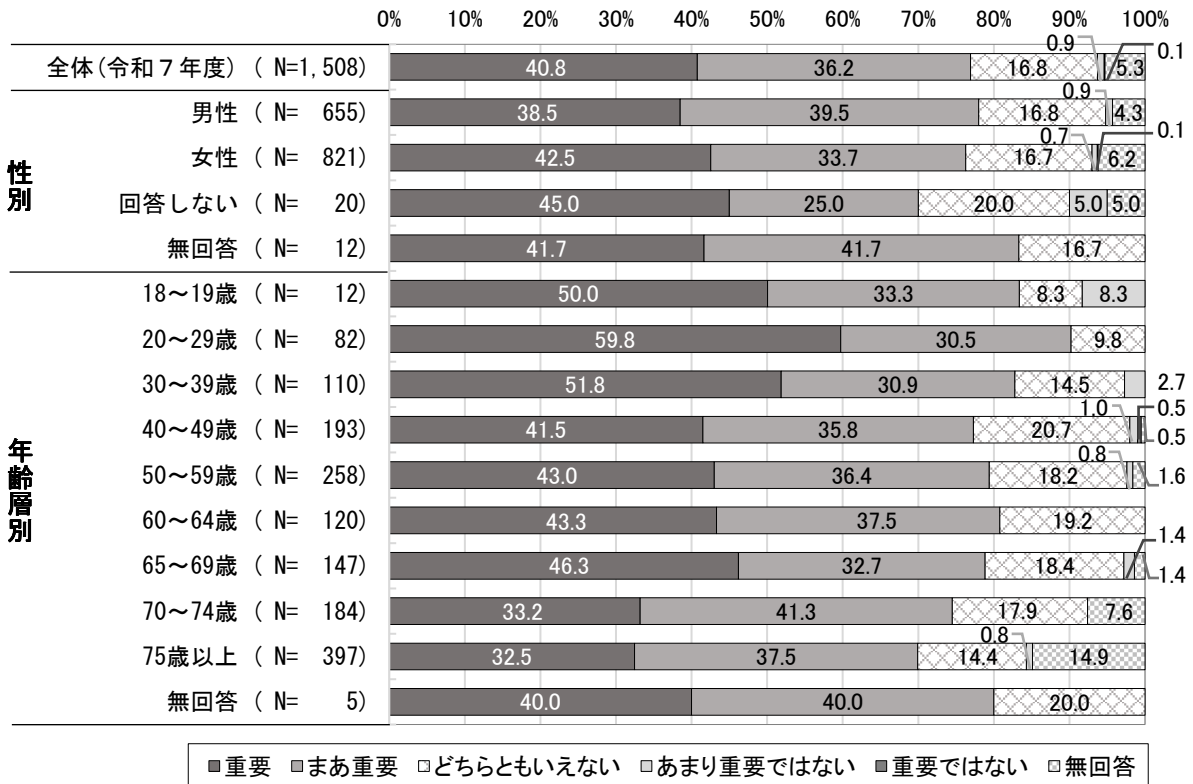
【市民生活を支える都市機能の維持】(現在の満足度と今後の重要度)



【市民生活を支える都市機能の維持】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【市民生活を支える都市機能の維持】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(21) 暮らしやすい都市環境の充実

(自然と調和した景観づくり、既存建築物の耐震化・長寿命化、アスベスト対策など快適な都市環境の充実)

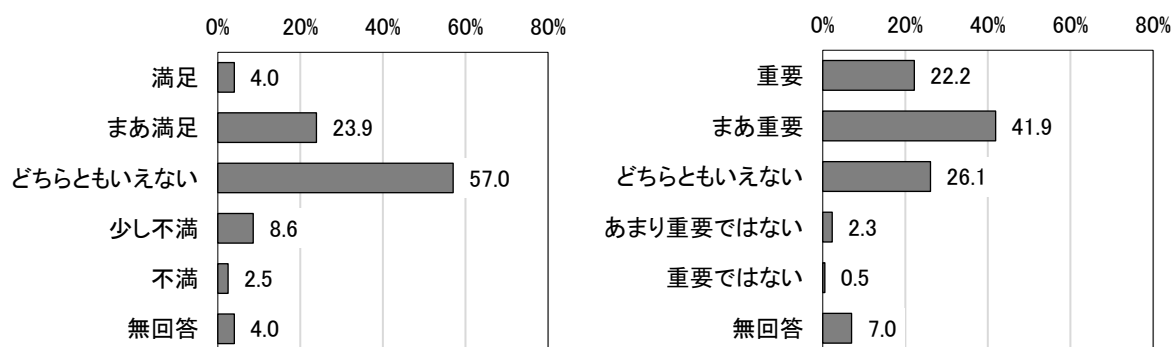
暮らしやすい都市環境の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が57.0%と最も高くなっている。「満足」の4.0%と「まあ満足」の23.9%を合わせた、現在満足している割合は27.9%で、「不満」の2.5%と「少し不満」の8.6%を合わせた、現在不満に感じている割合11.1%を16.8ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が22.2%、「まあ重要」が41.9%で、重要であるという割合は64.1%となっている。

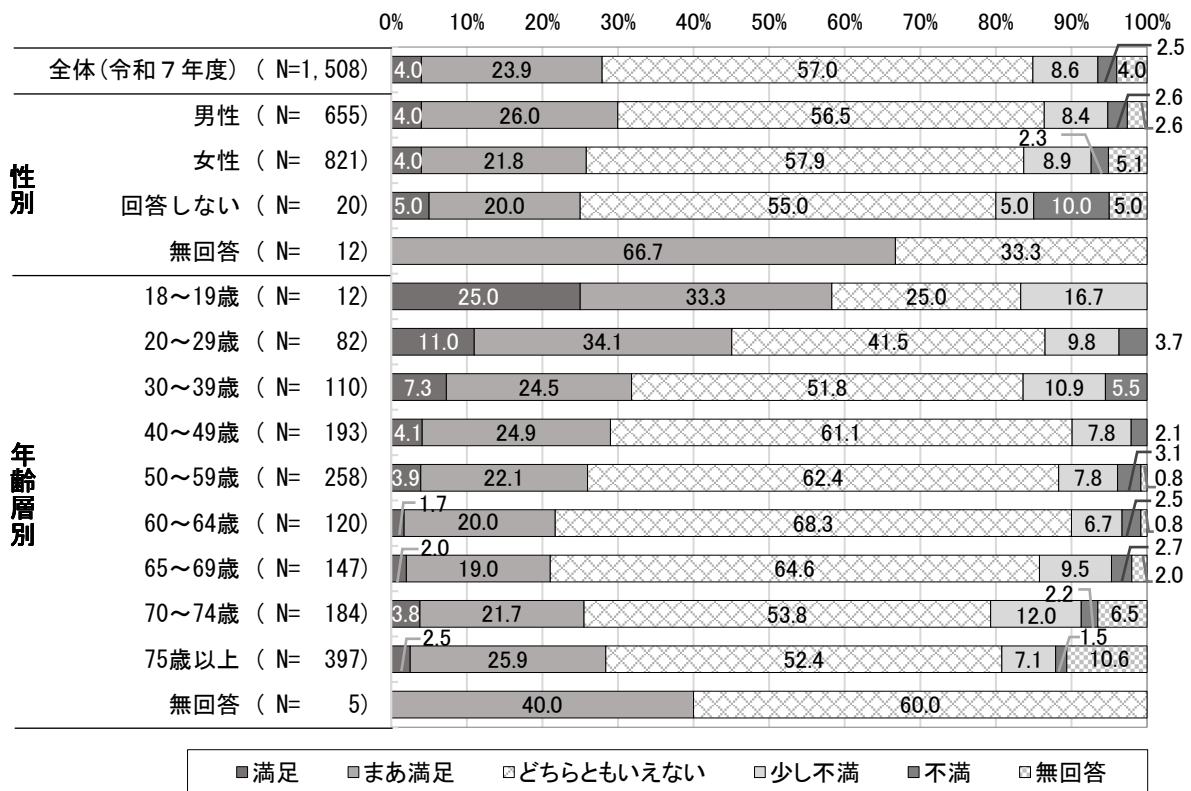
性別にみると、現在満足している割合は4.2ポイント、今後重要であるという割合は1.3ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

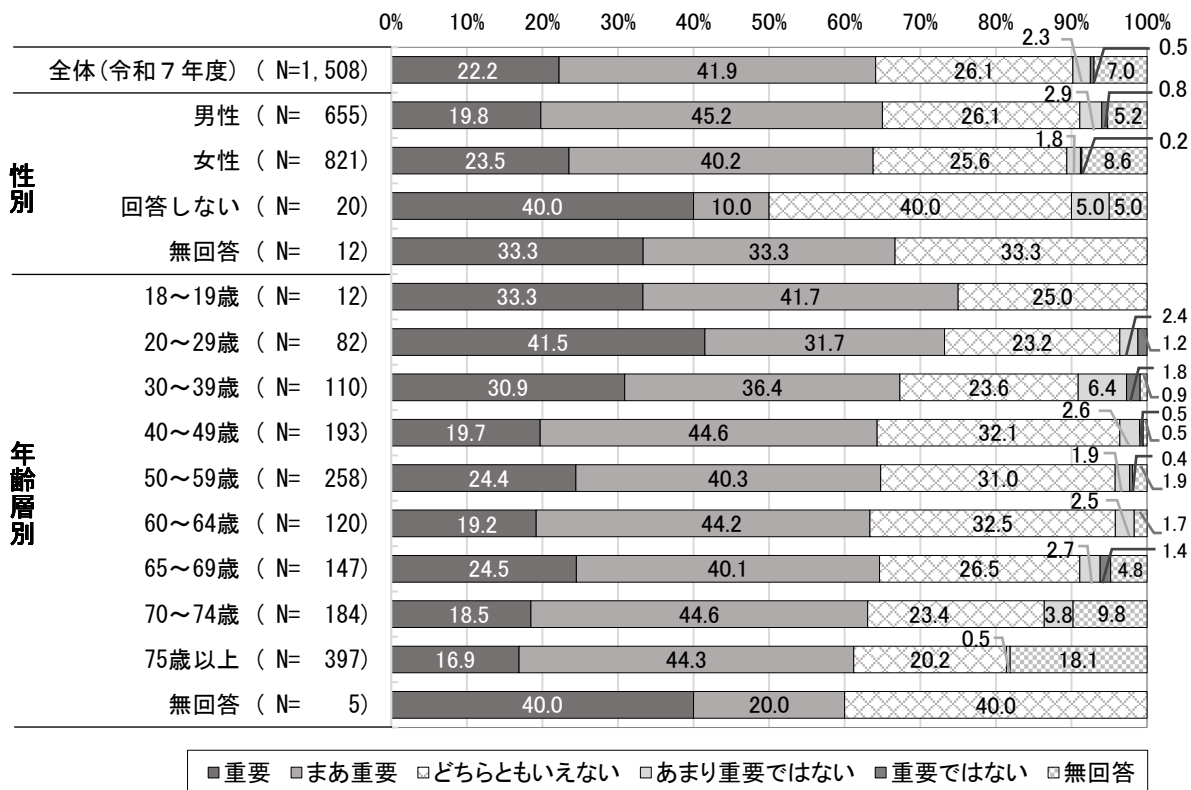
【暮らしやすい都市環境の充実】(現在の満足度と今後の重要度)



【暮らしやすい都市環境の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【暮らしやすい都市環境の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(22) 除排雪体制の充実強化

(安定した除排雪体制の確保)

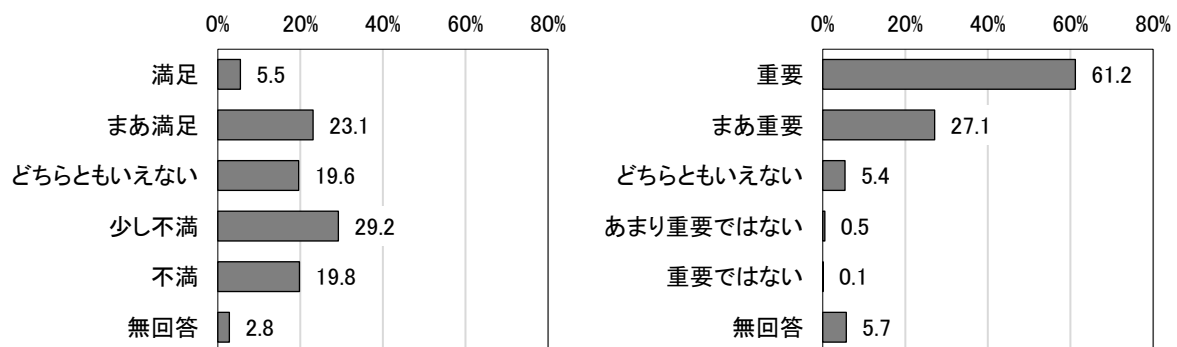
除排雪体制の充実強化について、全体では、現在の満足度は「少し不満」が29.2%と最も高くなっている。「満足」の5.5%と「まあ満足」の23.1%を合わせた、現在満足している割合は28.6%で、「不満」の19.8%と「少し不満」の29.2%を合わせた、現在不満に感じている割合49.0%を20.4ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が61.2%、「まあ重要」が27.1%で、重要であるという割合は88.3%となっている。

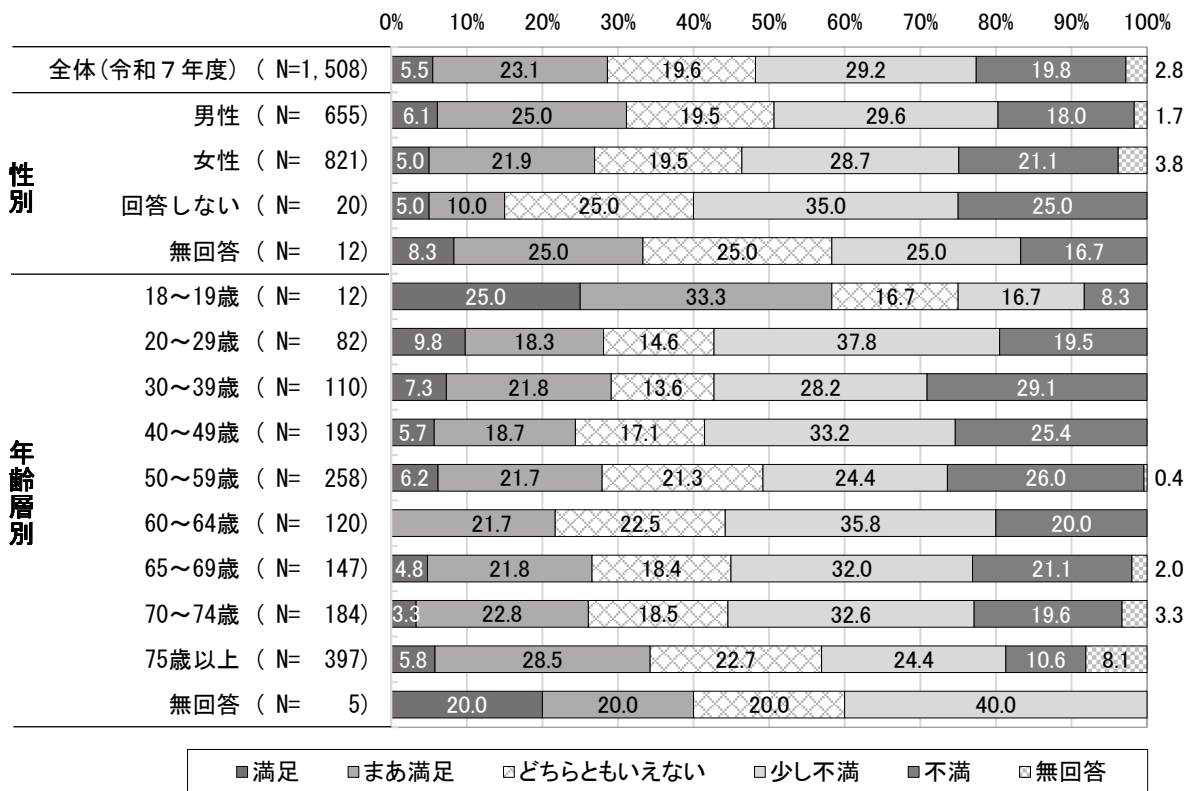
性別にみると、現在不満に感じている割合は女性が2.2ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は、女性が5.7ポイント低くなっている。

年齢層別にみると、現在不満を感じている割合は40～49歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

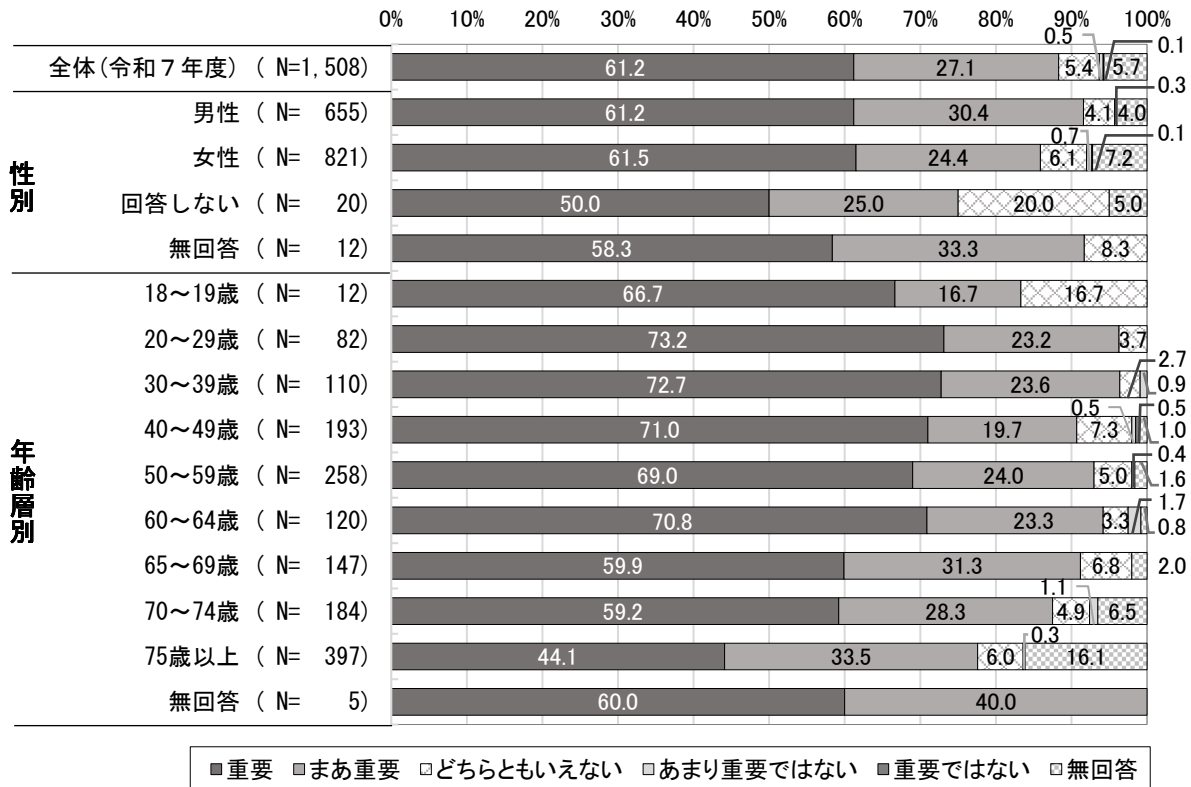
【除排雪体制の充実強化】（現在の満足度と今後の重要度）



【除排雪体制の充実強化】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【除排雪体制の充実強化】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(23) 自然共生社会の形成

(環境に対する市民意識の向上、森林や緑地・地質資源の保全・活用・整備、外来種対策など生物多様性の保全)

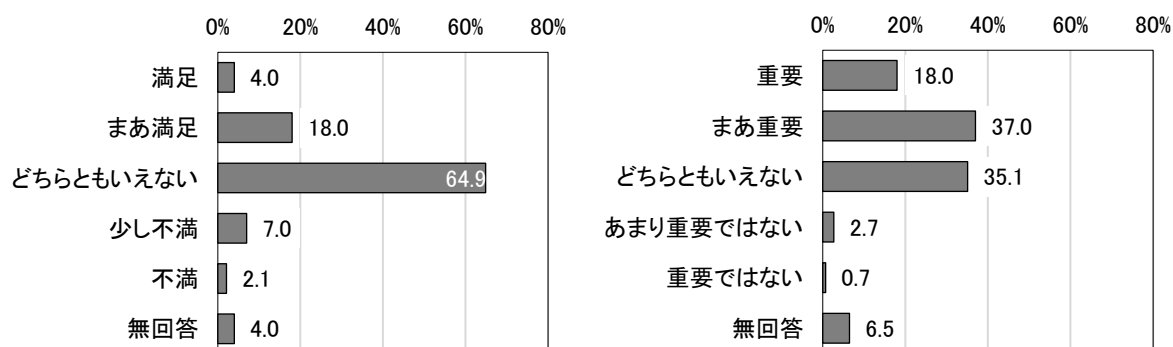
自然共生社会の形成について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が64.9%と最も高くなっている。「満足」の4.0%と「まあ満足」の18.0%を合わせた、現在満足している割合は22.0%で、「不満」の2.1%と「少し不満」の7.0%を合わせた、現在不満に感じている割合9.1%を12.9ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が18.0%、「まあ重要」が37.0%で、重要であるという割合は55.0%となっている。

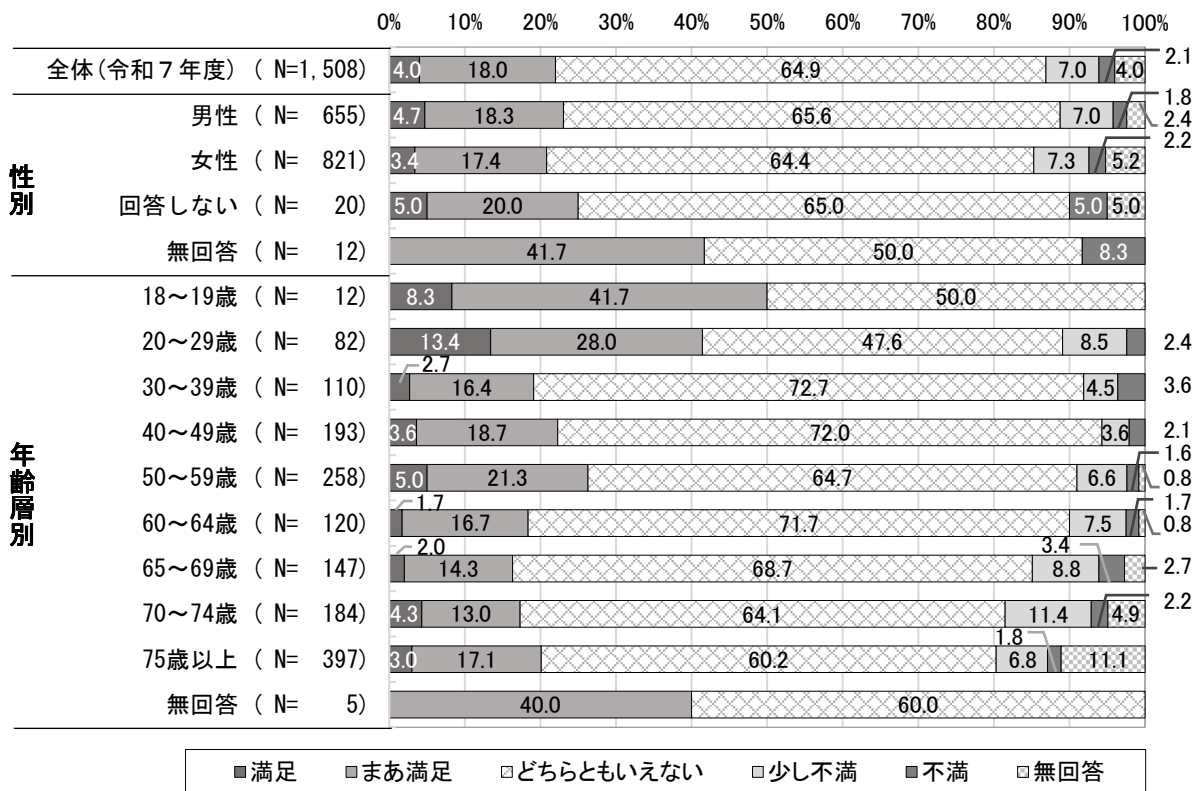
性別にみると、現在満足している割合は男性が2.2ポイント高く、今後重要であるという割合は、女性が1.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

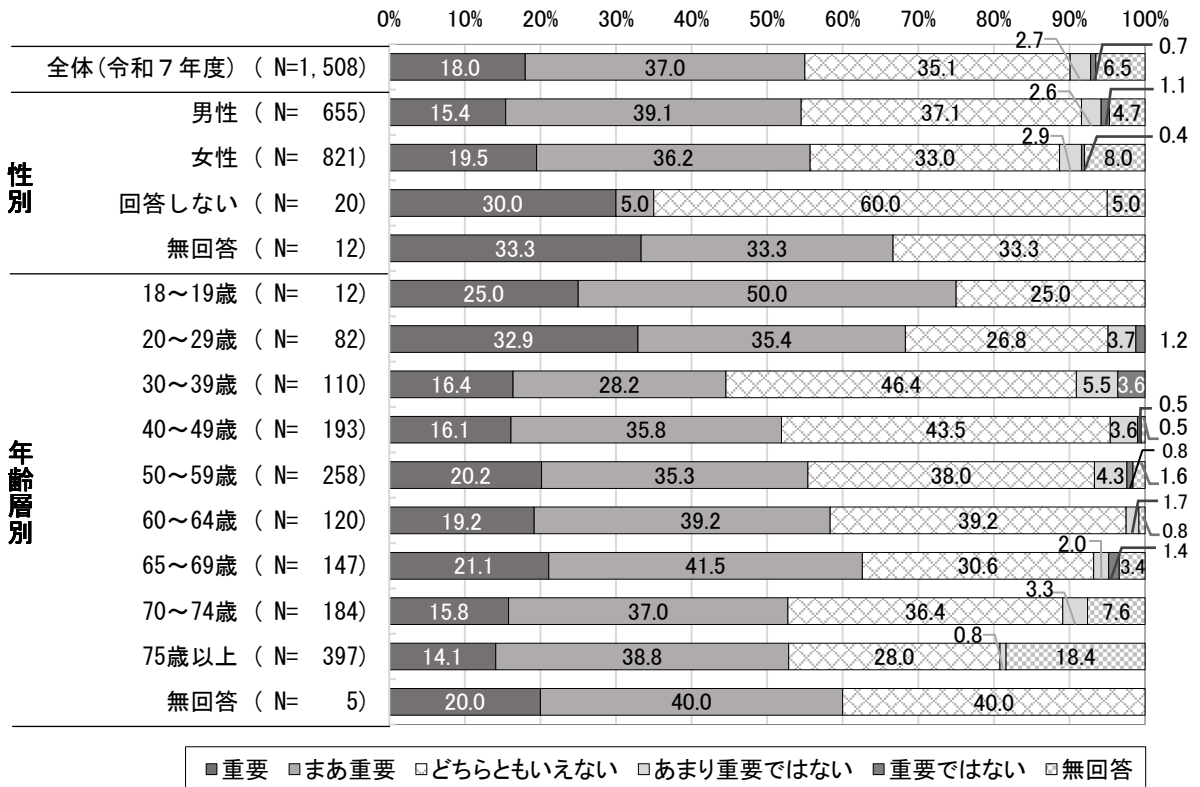
【自然共生社会の形成】(現在の満足度と今後の重要度)



【自然共生社会の形成】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【自然共生社会の形成】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(24) 循環型社会の形成

(ごみの減量・資源化の推進、生活排水の適正な処理による水資源の循環)

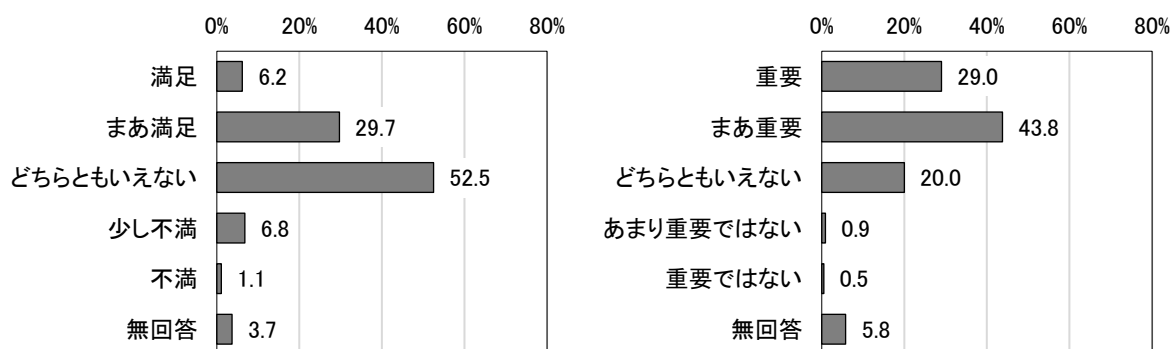
循環型社会の形成について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が52.5%と最も高くなっている。「満足」の6.2%と「まあ満足」の29.7%を合わせた、現在満足している割合は35.9%で、「不満」の1.1%と「少し不満」の6.8%を合わせた、現在不満に感じている割合7.9%を28.0ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が29.0%、「まあ重要」が43.8%で、重要であるという割合は72.8%となっている。

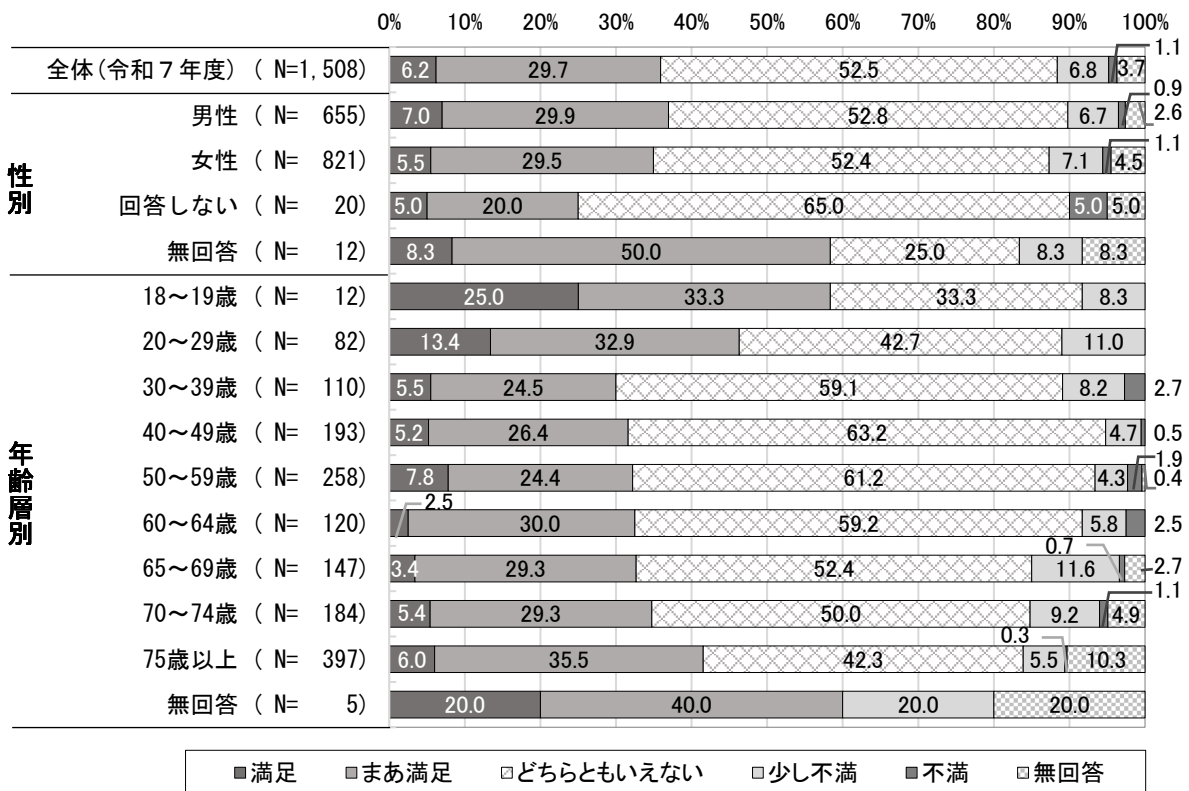
性別にみると、現在満足している割合は1.9ポイント、今後重要であるという割合は1.7ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

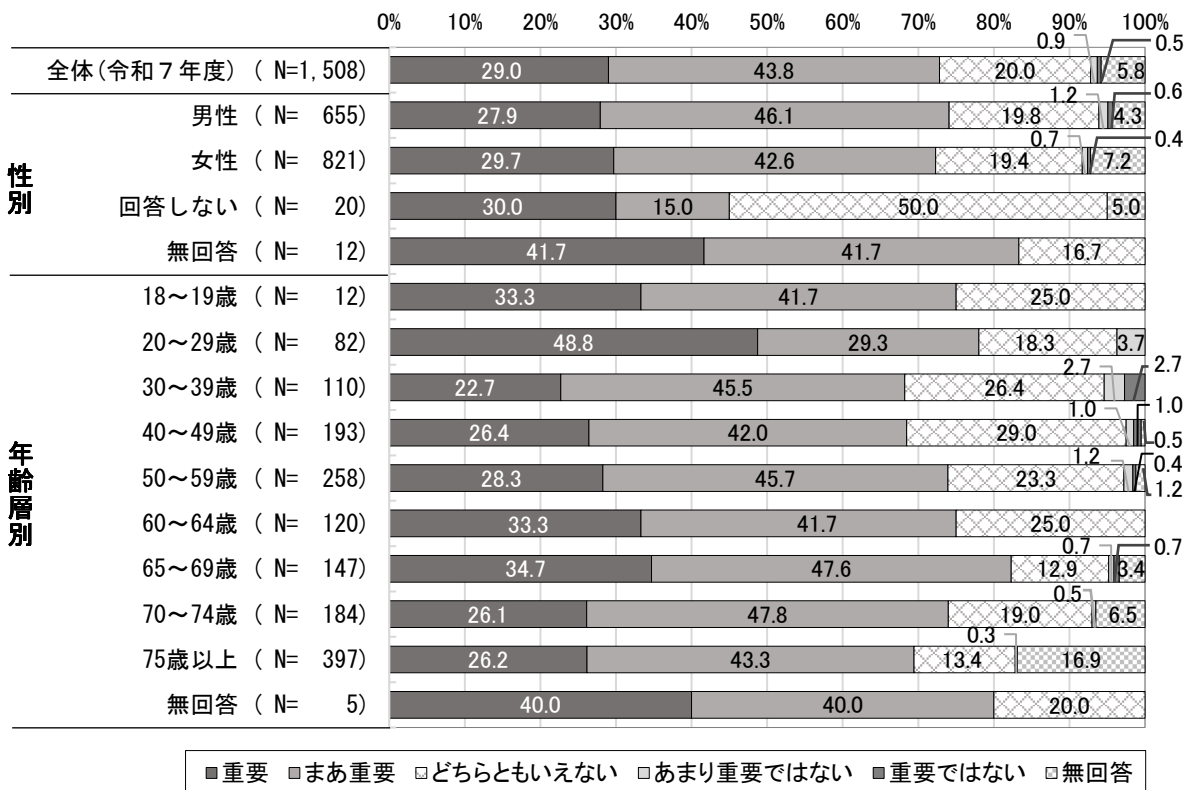
【循環型社会の形成】(現在の満足度と今後の重要度)



【循環型社会の形成】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【循環型社会の形成】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(25) ゼロカーボンの推進

(再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギーの強化など環境に配慮したまちづくりの推進)

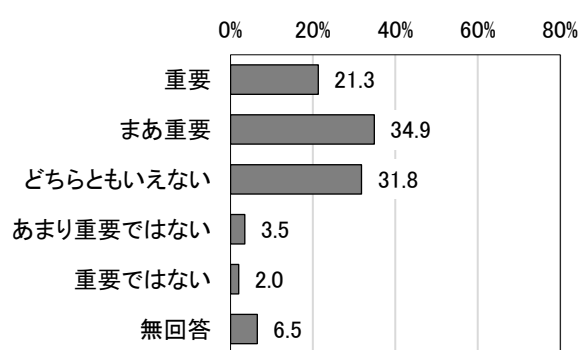
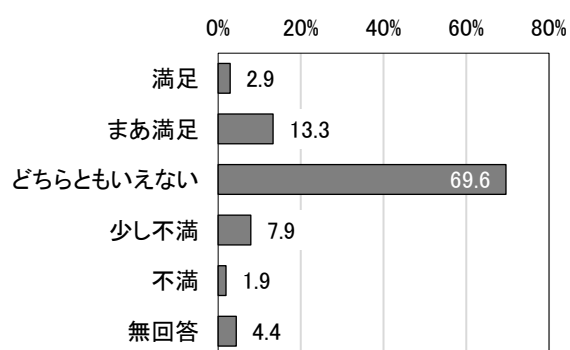
ゼロカーボンの推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が69.6%と最も高くなっている。「満足」の2.9%と「まあ満足」の13.3%を合わせた、現在満足している割合は16.2%で、「不満」の1.9%と「少し不満」の7.9%を合わせた、現在不満に感じている割合9.8%を6.4ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が21.3%、「まあ重要」が34.9%で、重要であるという割合は56.2%となっている。

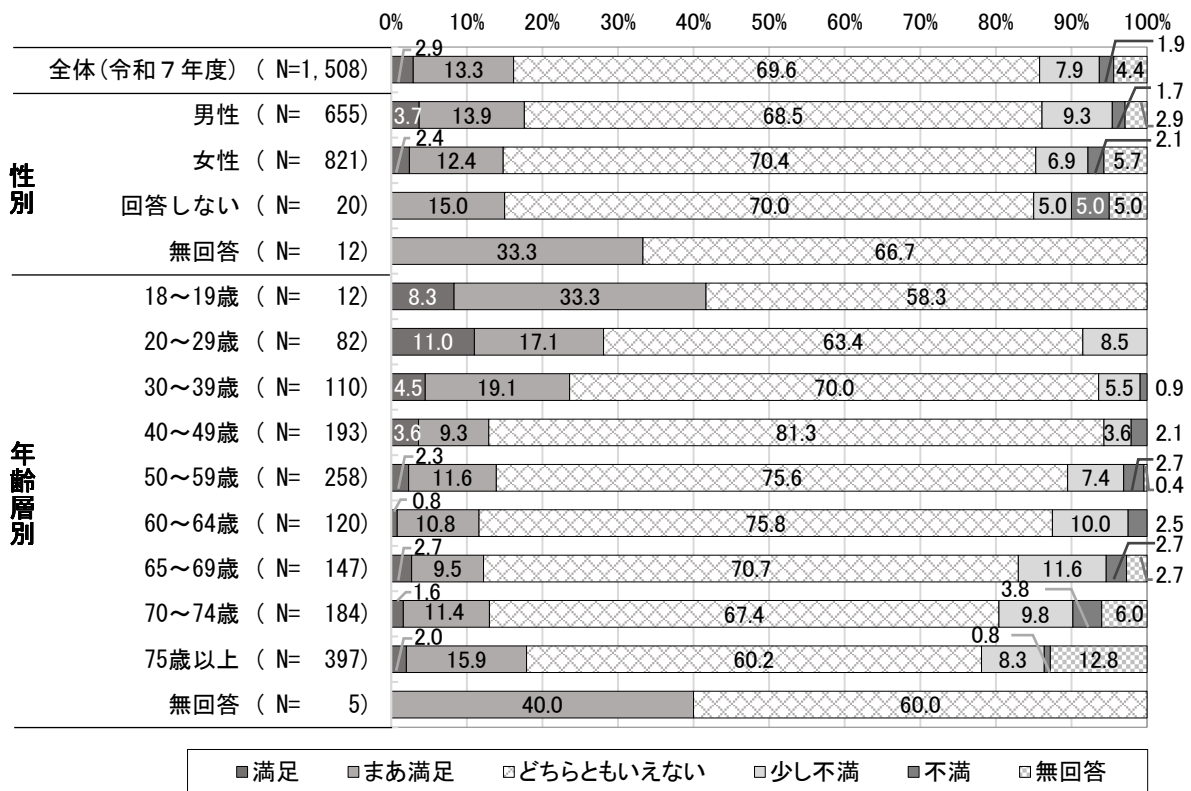
性別にみると、現在満足している割合は2.8ポイント、今後重要であるという割合は1.0ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高くなっており、今後重要であるという割合は65～69歳が最も高くなっている。

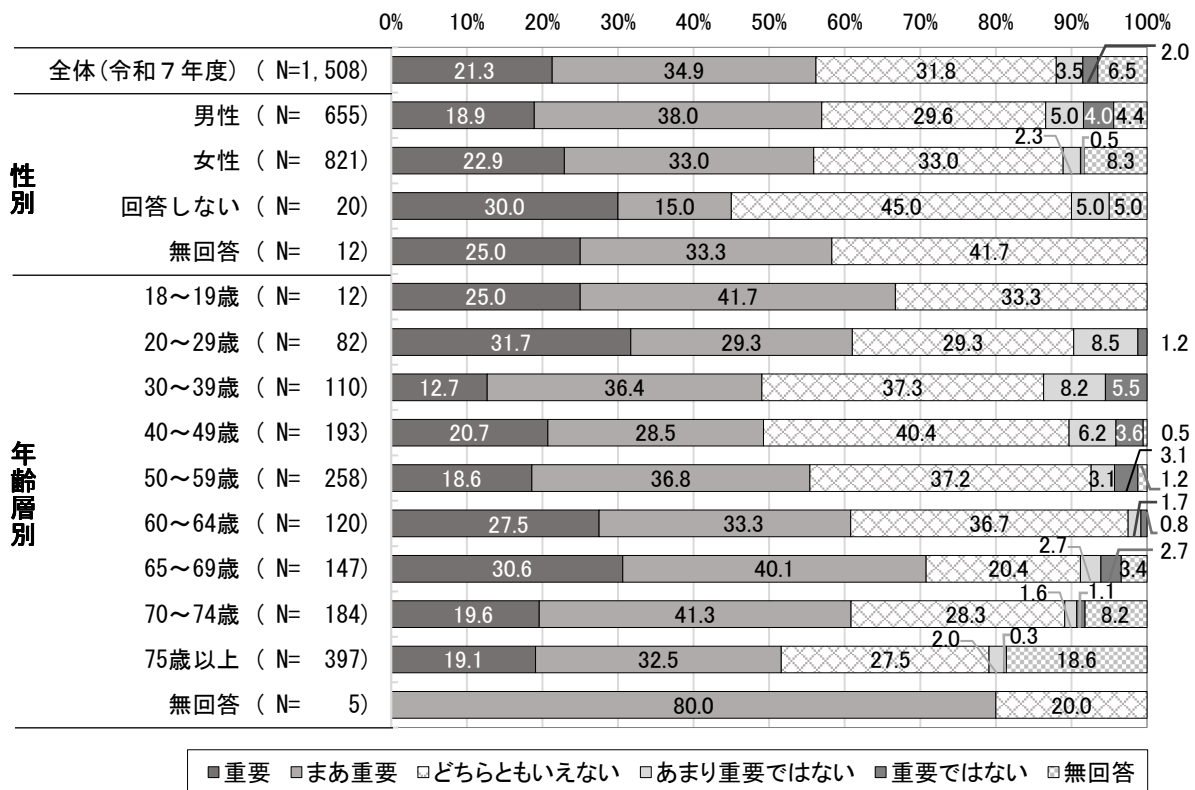
【ゼロカーボンの推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【ゼロカーボンの推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【ゼロカーボンの推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(26) 危機対応力の強化

(各自の防災意識の向上、防災拠点や避難所の整備充実、消防団の強化、自主防災組織の育成、消防・救急体制の充実)

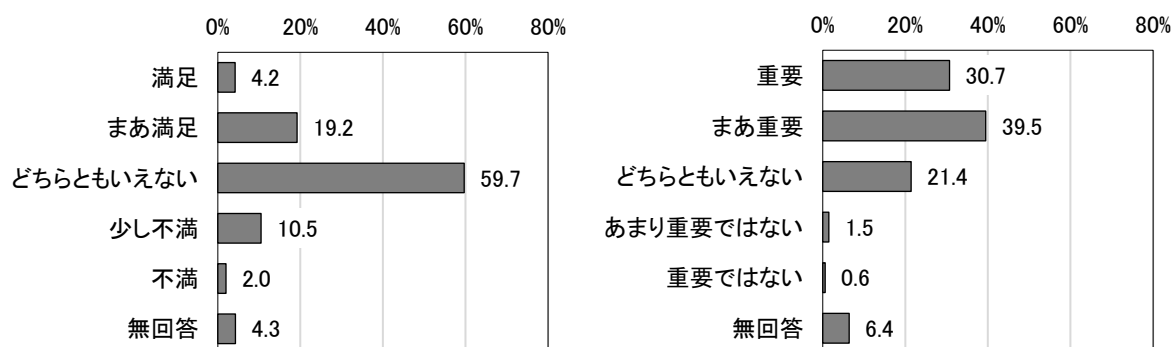
危機対応力の強化について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が59.7%と最も高くなっている。「満足」の4.2%と「まあ満足」の19.2%を合わせた、現在満足している割合は23.4%で、「不満」の2.0%と「少し不満」の10.5%を合わせた、現在不満に感じている割合12.5%を10.9ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が30.7%、「まあ重要」が39.5%で、重要であるという割合は70.2%となっている。

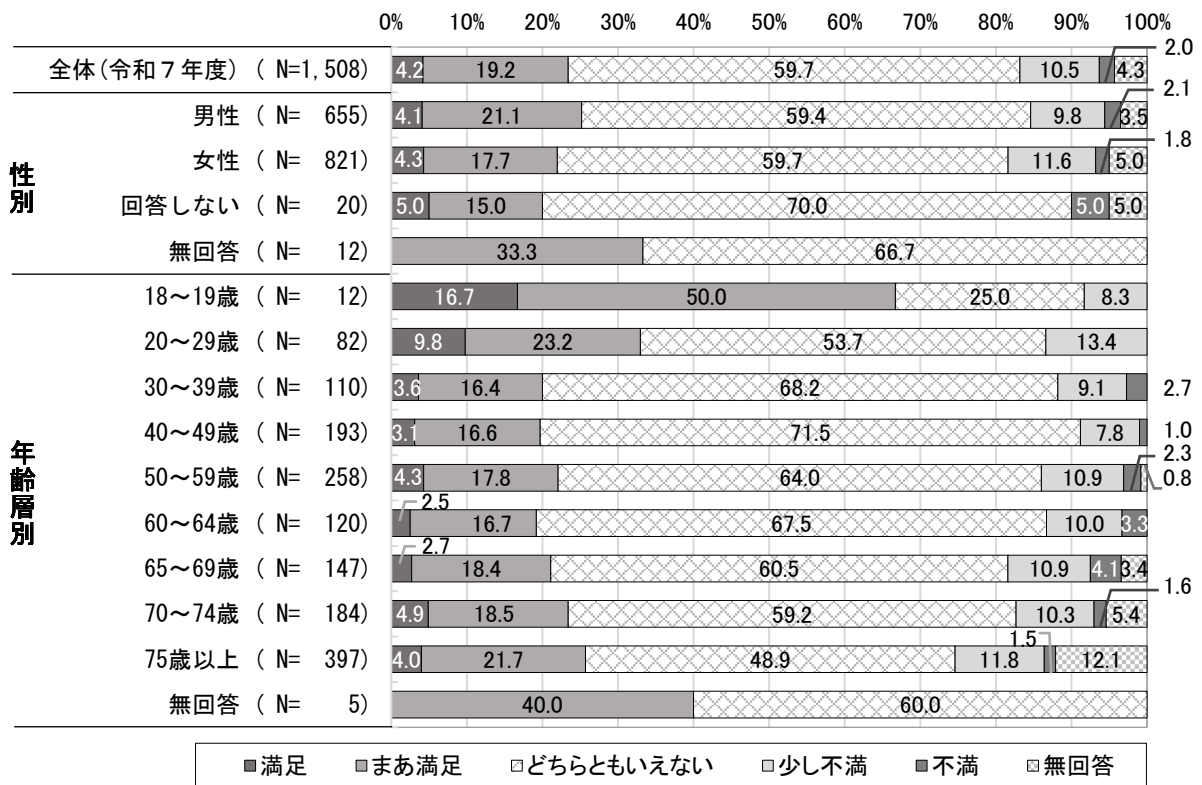
性別にみると、現在満足している割合は男性が3.2ポイント高くなっており、今後重要であるという割合は女性が2.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は、18～19歳が最も高くなっており、今後重要であるという割合は20～29歳が最も高くなっている。

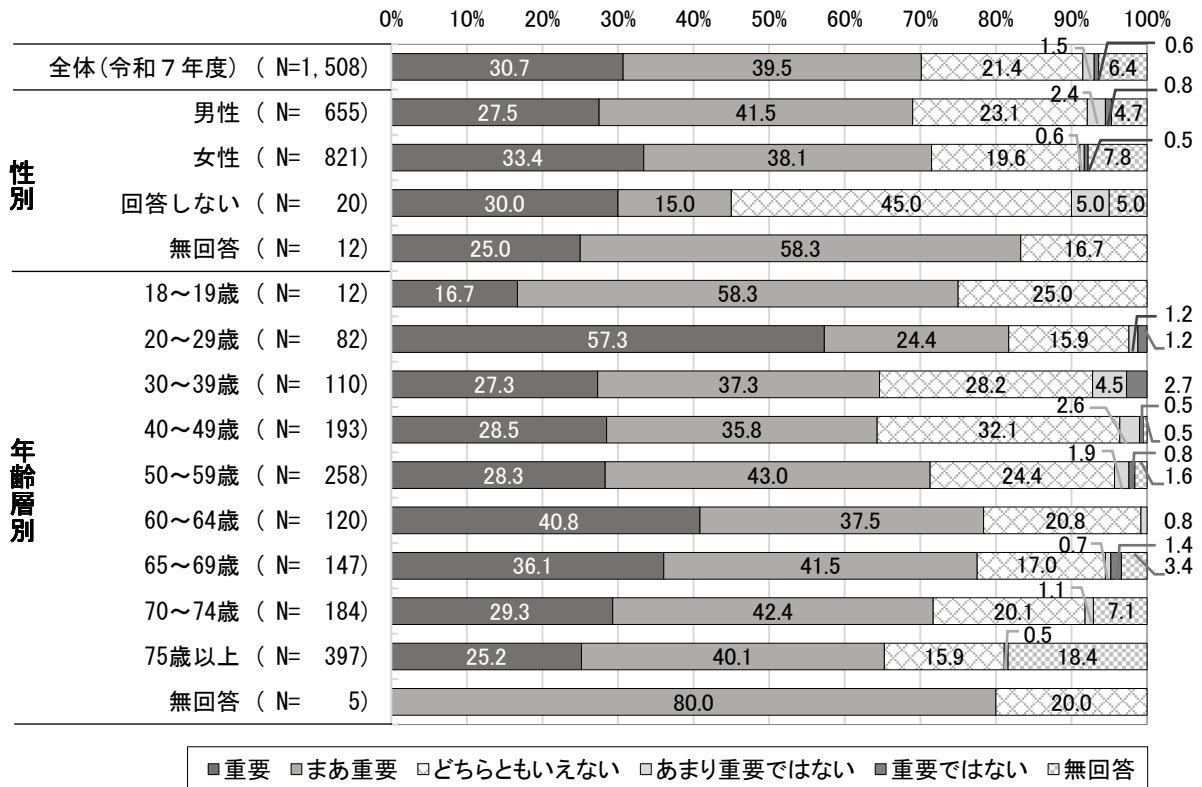
【危機対応力の強化】(現在の満足度と今後の重要度)



【危機対応力の強化】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【危機対応力の強化】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(27) 交通安全と防犯体制の充実

(街頭啓発・交通安全教室など交通事故や犯罪の未然防止対策の推進、消費生活相談体制の充実)

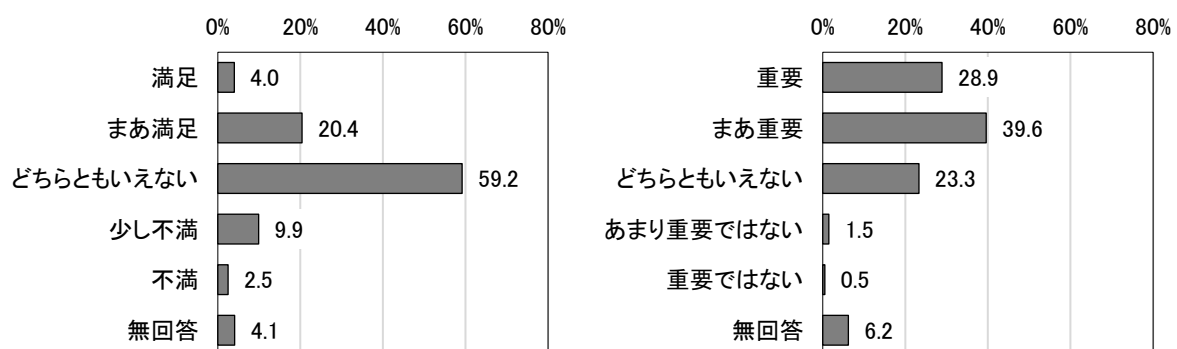
交通安全と防犯体制の充実について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が59.2%と最も高くなっている。「満足」の4.0%と「まあ満足」の20.4%を合わせた、現在満足している割合は24.4%で、「不満」の2.5%と「少し不満」の9.9%を合わせた、現在不満に感じている割合12.4%を12.0ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が28.9%、「まあ重要」が39.6%で、重要であるという割合は68.5%となっている。

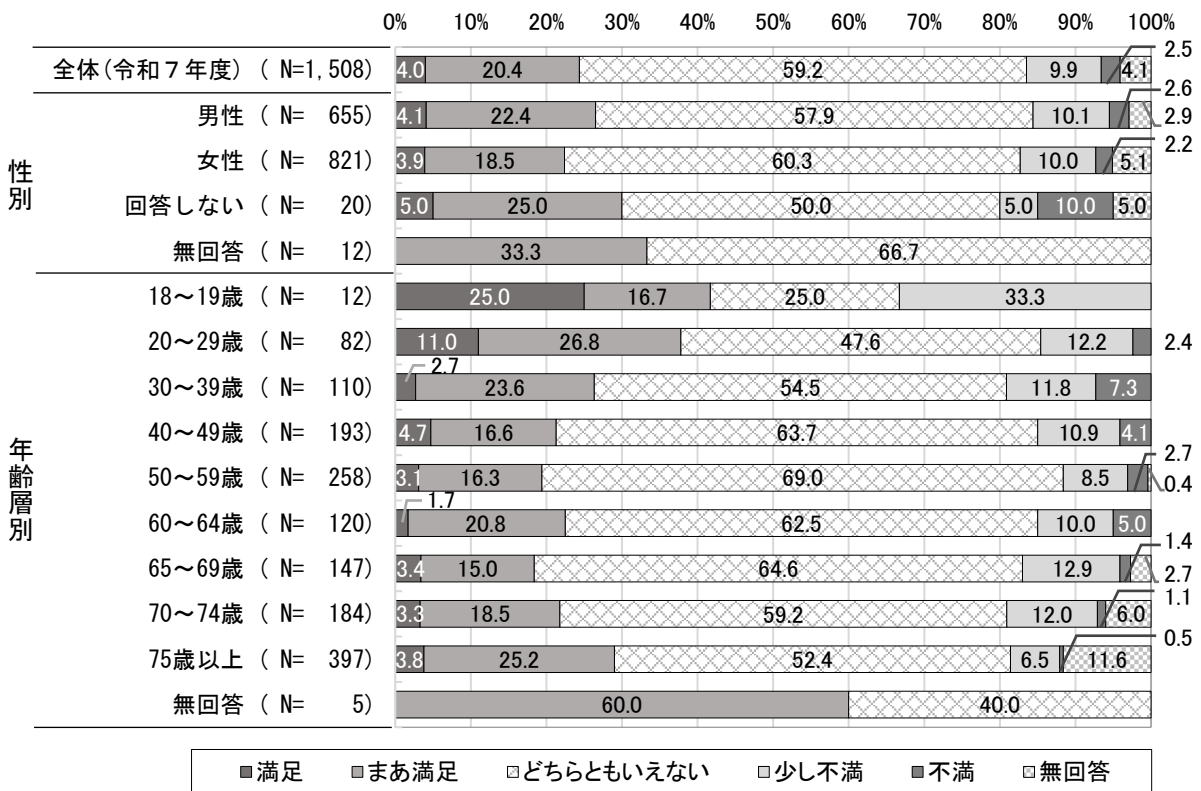
性別にみると、現在満足している割合は4.1ポイント、今後重要であるという割合は2.2ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

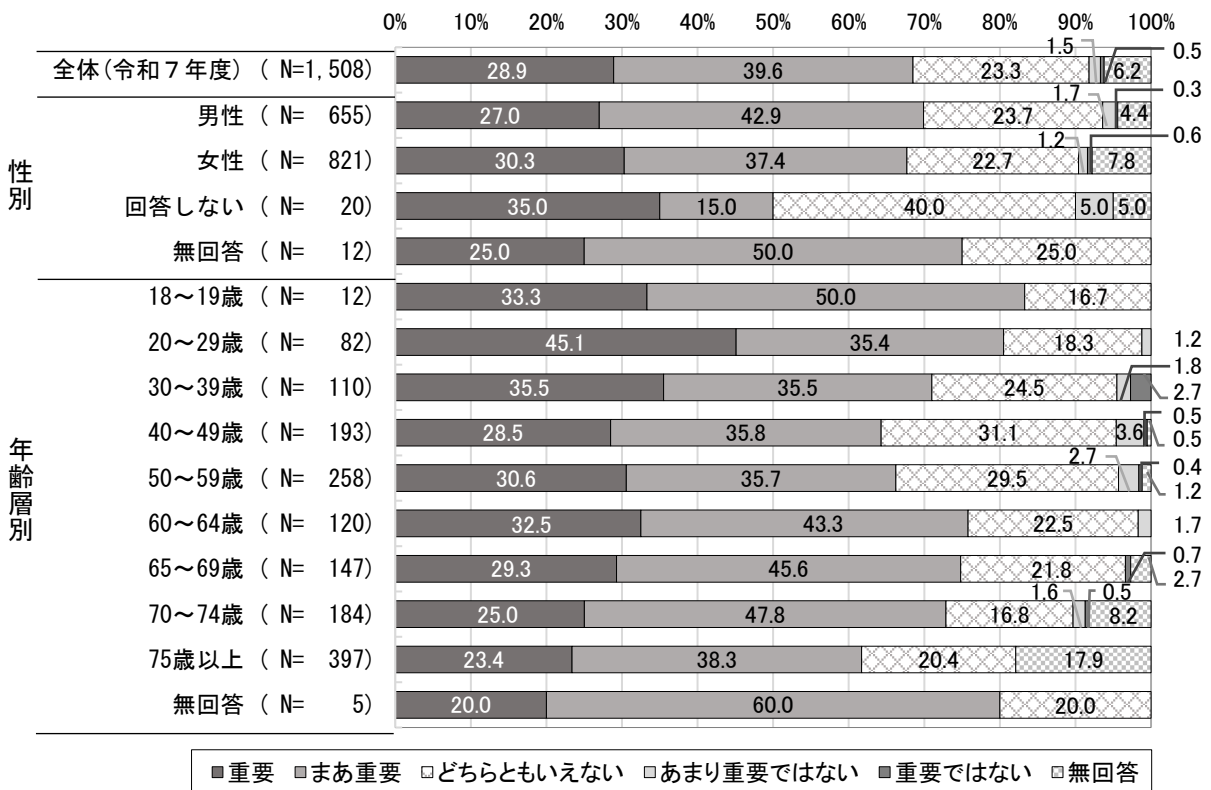
【交通安全と防犯体制の充実】(現在の満足度と今後の重要度)



【交通安全と防犯体制の充実】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【交通安全と防犯体制の充実】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(28) 市民主体のまちづくりの推進

(市民活動を支援する体制の充実)

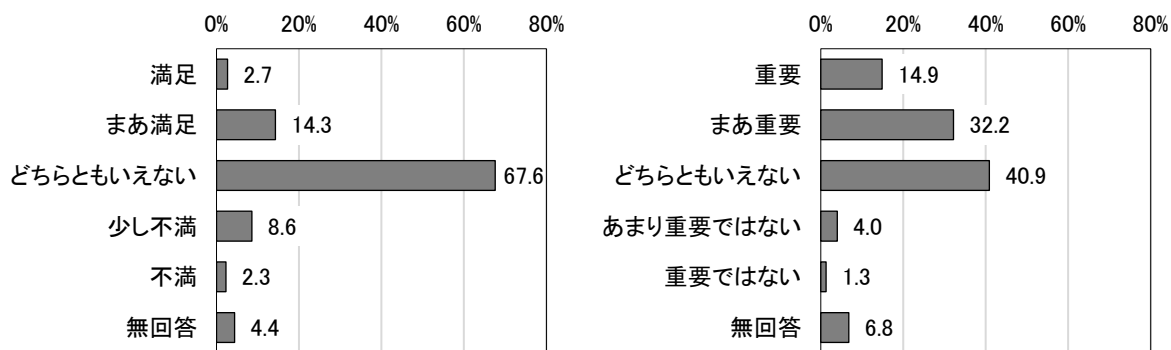
市民主体のまちづくりの推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が67.6%と最も高くなっている。「満足」の2.7%と「まあ満足」の14.3%を合わせた、現在満足している割合は17.0%で、「不満」の2.3%と「少し不満」の8.6%を合わせた、現在不満に感じている割合10.9%を6.1ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が14.9%、「まあ重要」が32.2%で、重要であるという割合は47.1%となっている。

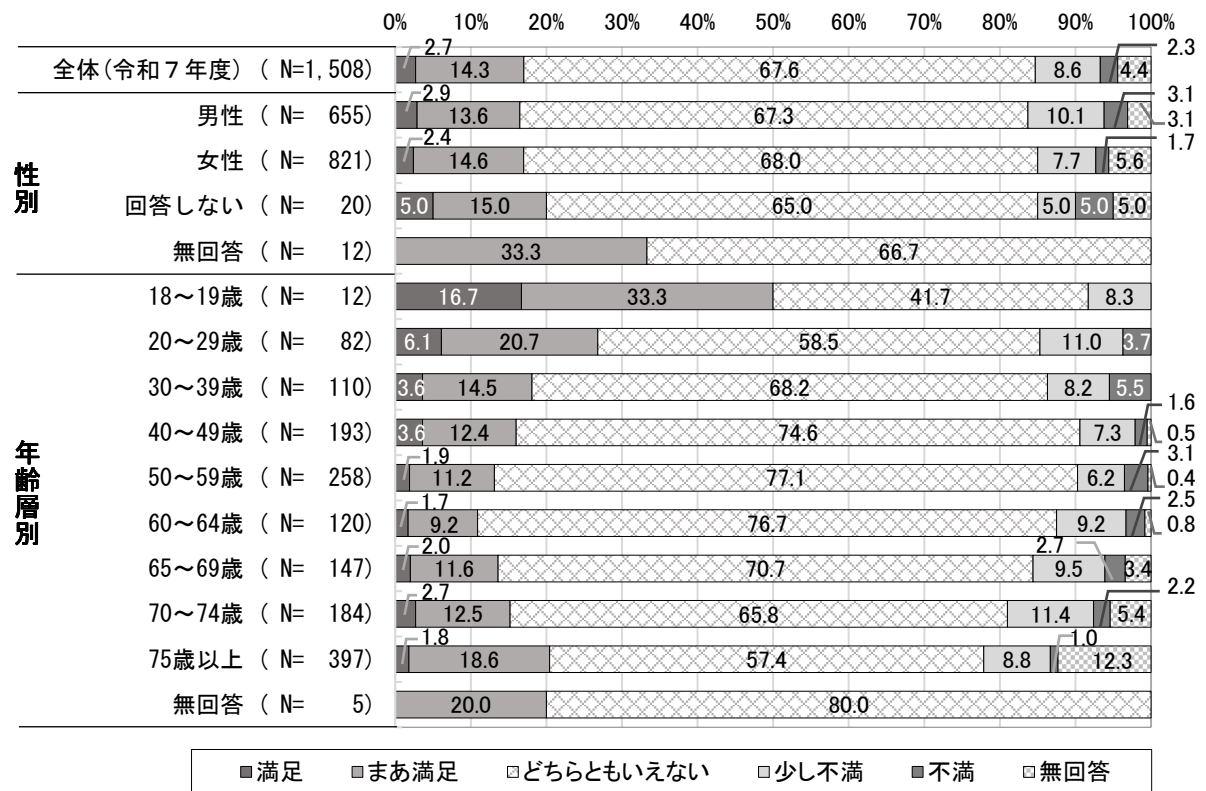
性別にみると、現在満足している割合は女性が0.5ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は男性が1.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

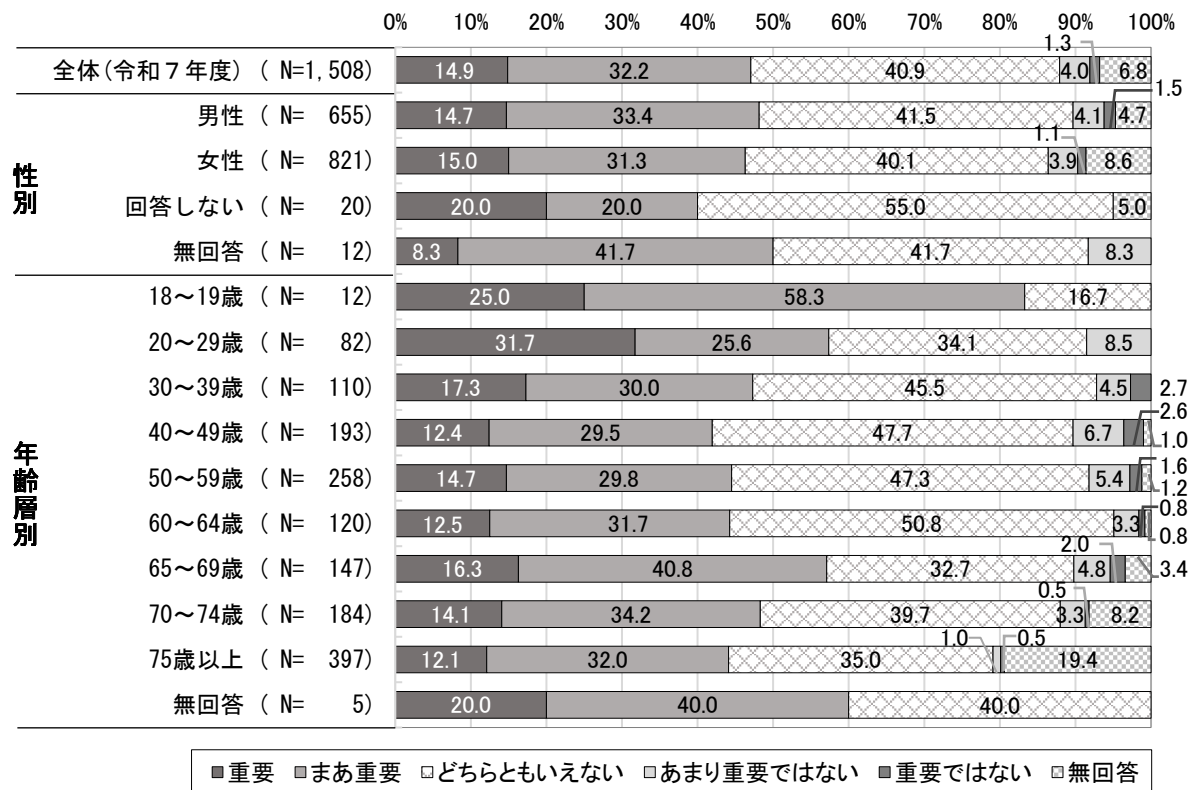
【市民主体のまちづくりの推進】（現在の満足度と今後の重要度）



【市民主体のまちづくりの推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【市民主体のまちづくりの推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(29) 地域主体のまちづくりの推進

(地域住民による主体的な活動の促進、人や情報が集まる地域活動拠点の整備や機能の充実)

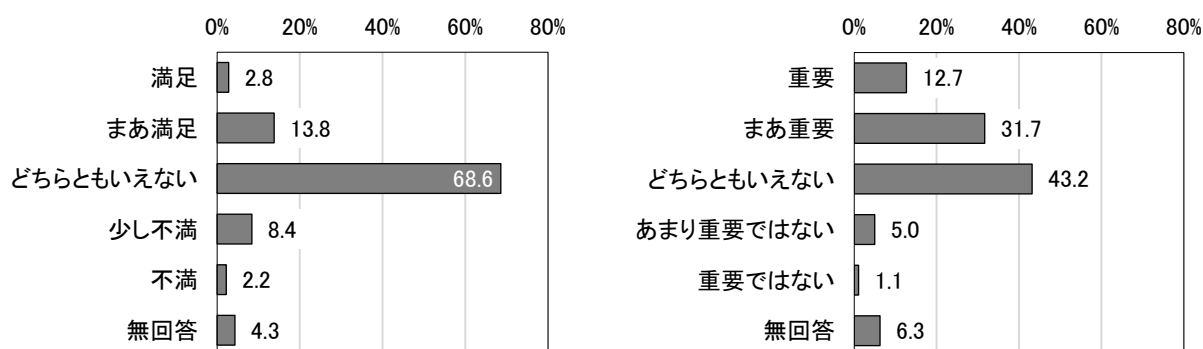
地域主体のまちづくりの推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が68.6%と最も高くなっている。「満足」の2.8%と「まあ満足」の13.8%を合わせた、現在満足している割合は16.6%で、「不満」の2.2%と「少し不満」の8.4%を合わせた、現在不満に感じている割合10.6%を6.0ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が12.7%、「まあ重要」が31.7%で、重要であるという割合は44.4%となっている。

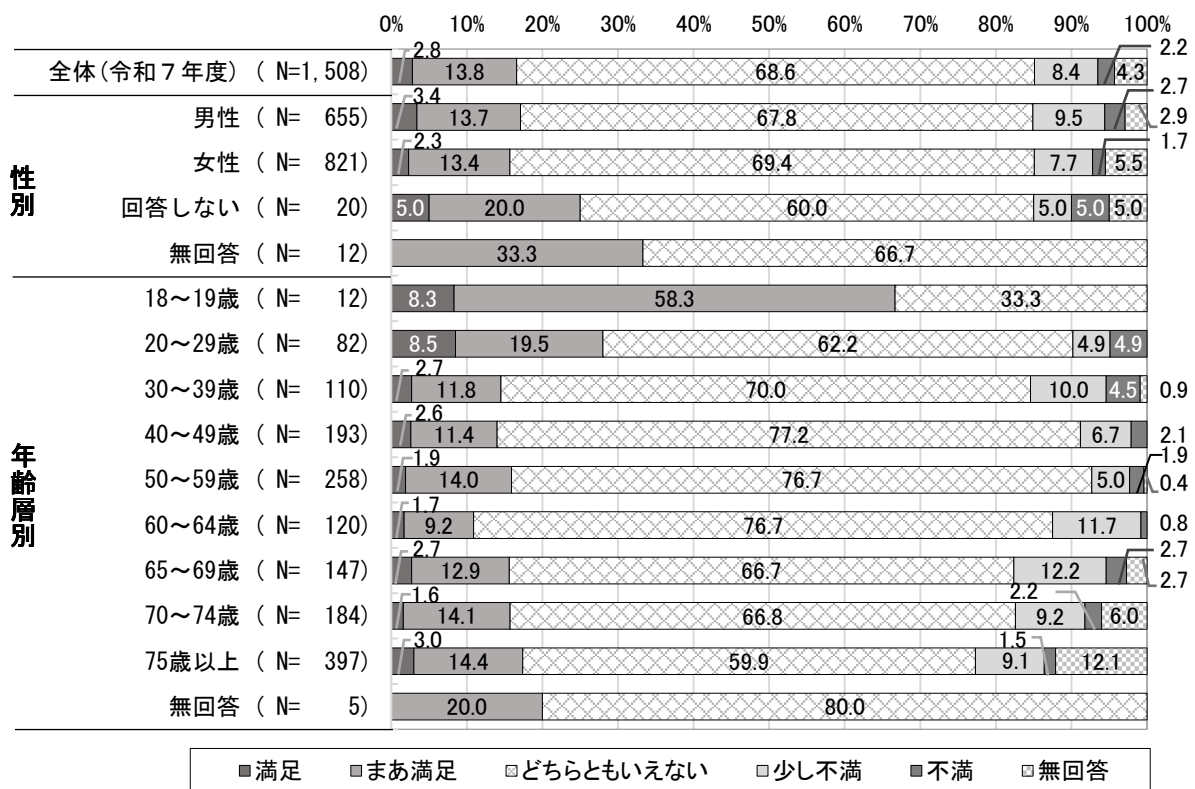
性別にみると、現在満足している割合は男性が1.4ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は女性が0.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

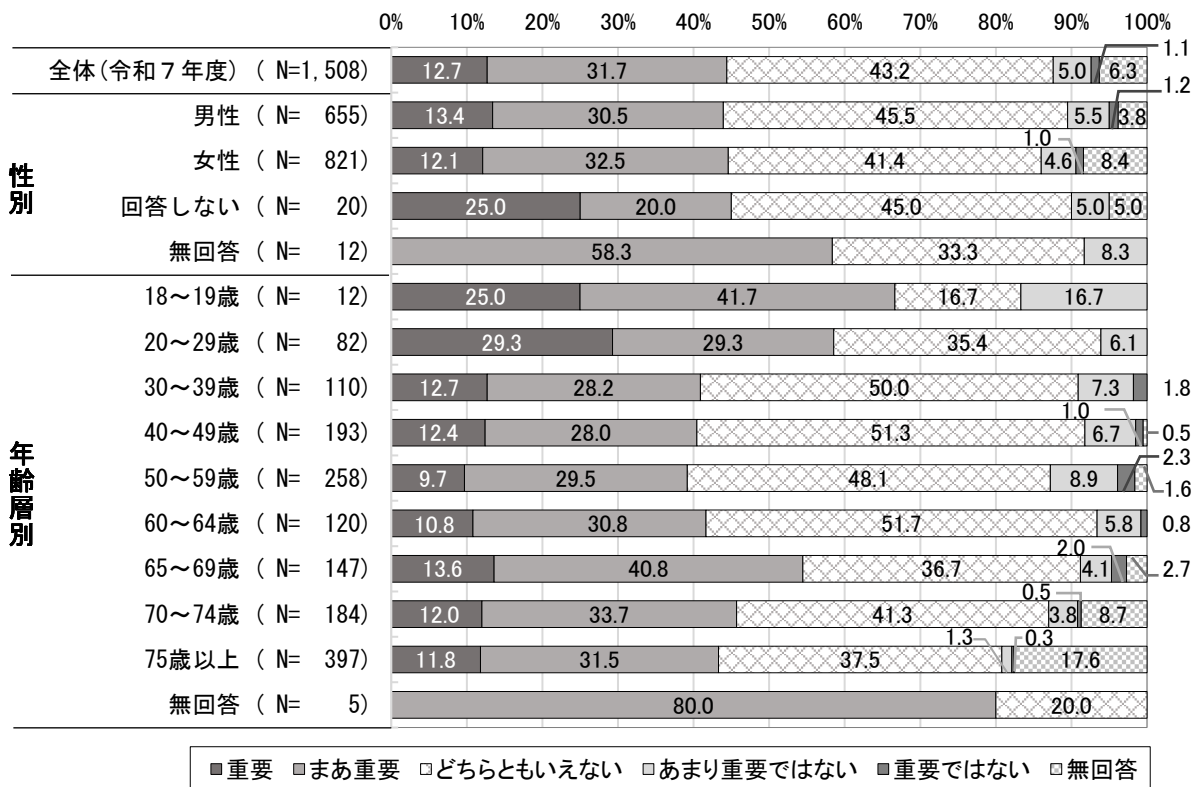
【地域主体のまちづくりの推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【地域主体のまちづくりの推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【地域主体のまちづくりの推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(30) 誰もが輝く社会の形成

(女性の活躍や男性の家庭参画、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）などの推進)

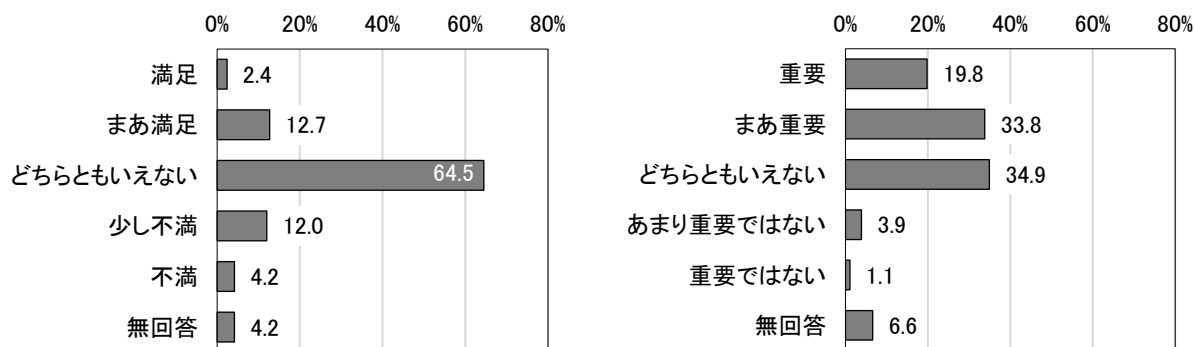
誰もが輝く社会の形成について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が64.5%と最も高くなっている。「満足」の2.4%と「まあ満足」の12.7%を合わせた、現在満足している割合は15.1%で、「不満」の4.2%と「少し不満」の12.0%を合わせた、現在不満に感じている割合16.2%を1.1ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が19.8%、「まあ重要」が33.8%で、重要であるという割合は53.6%となっている。

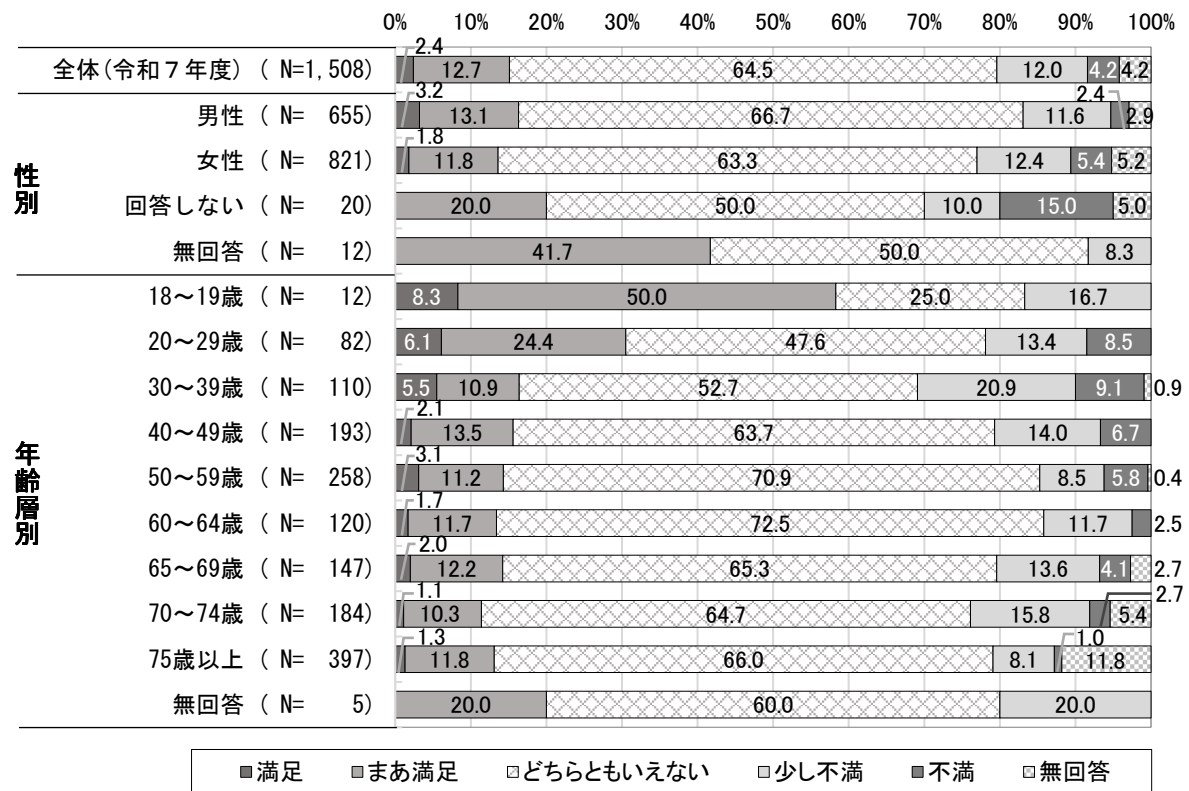
性別にみると、現在不満に感じている割合は女性が3.8ポイント高く、今後重要であるという割合も女性が4.6ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在不満に感じている割合は30～39歳が最も高く、今後重要であるという割合は18～19歳が最も高くなっている。

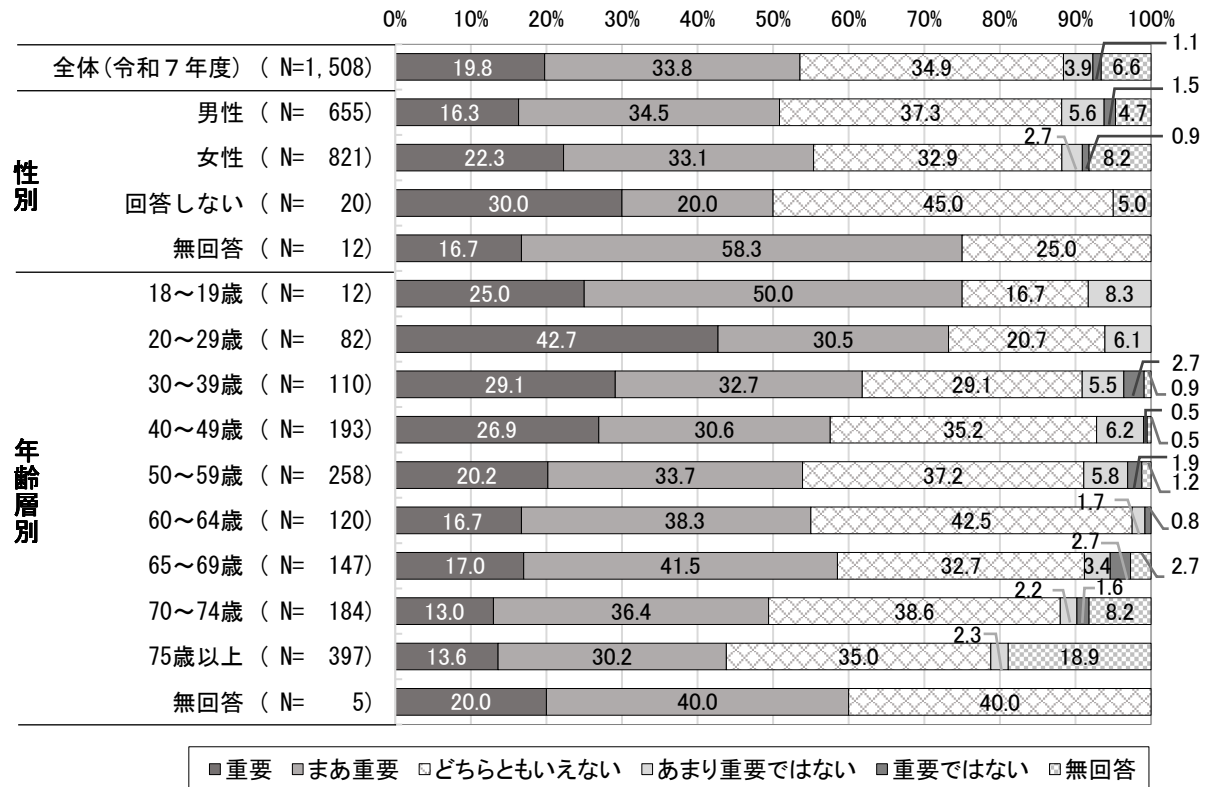
【誰もが輝く社会の形成】（現在の満足度と今後の重要度）



【誰もが輝く社会の形成】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【誰もが輝く社会の形成】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(31) 国内外へ向けた広報広聴の強化

(シティプロモーションの推進、情報発信の強化、市民参加・協働のまちづくりの推進)

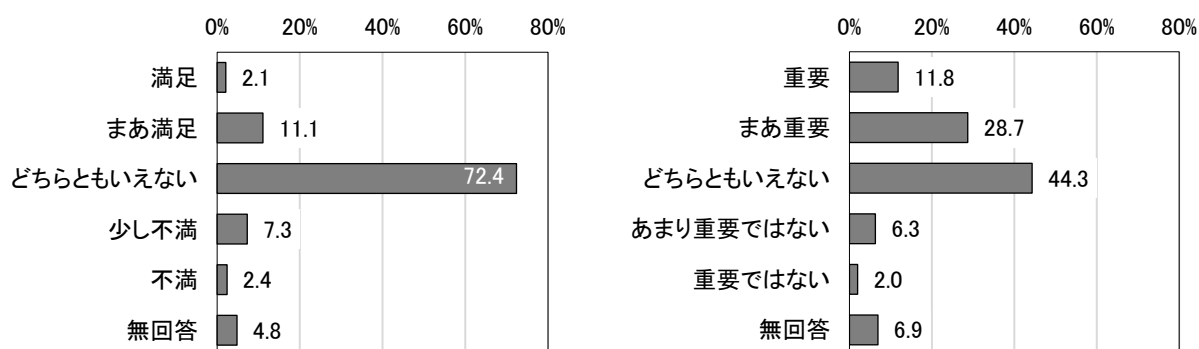
国内外へ向けた広報広聴の強化について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が72.4%と最も高くなっている。「満足」の2.1%と「まあ満足」の11.1%を合わせた、現在満足している割合は13.2%で、「不満」の2.4%と「少し不満」の7.3%を合わせた、現在不満に感じている割合9.7%を3.5ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が11.8%、「まあ重要」が28.7%で、重要であるという割合は40.5%となっている。

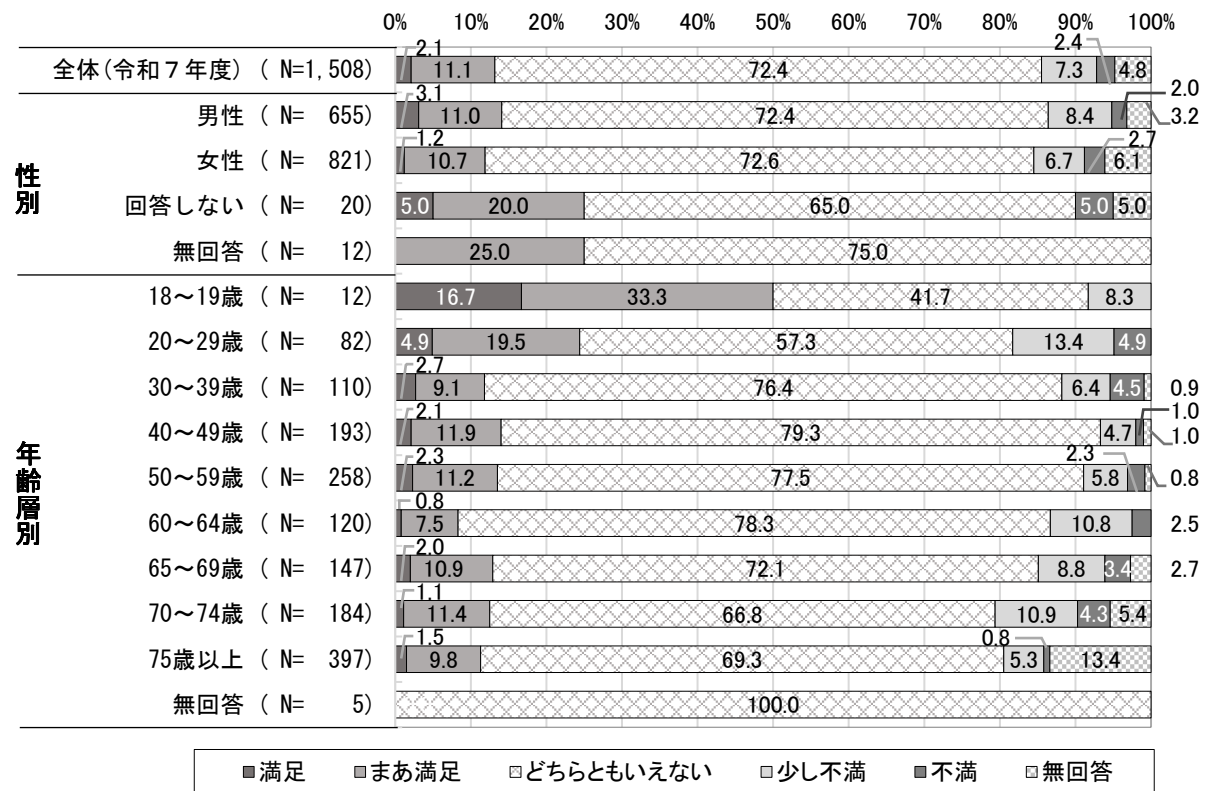
性別にみると、現在満足している割合は2.2ポイント、今後重要であるという割合は0.6ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

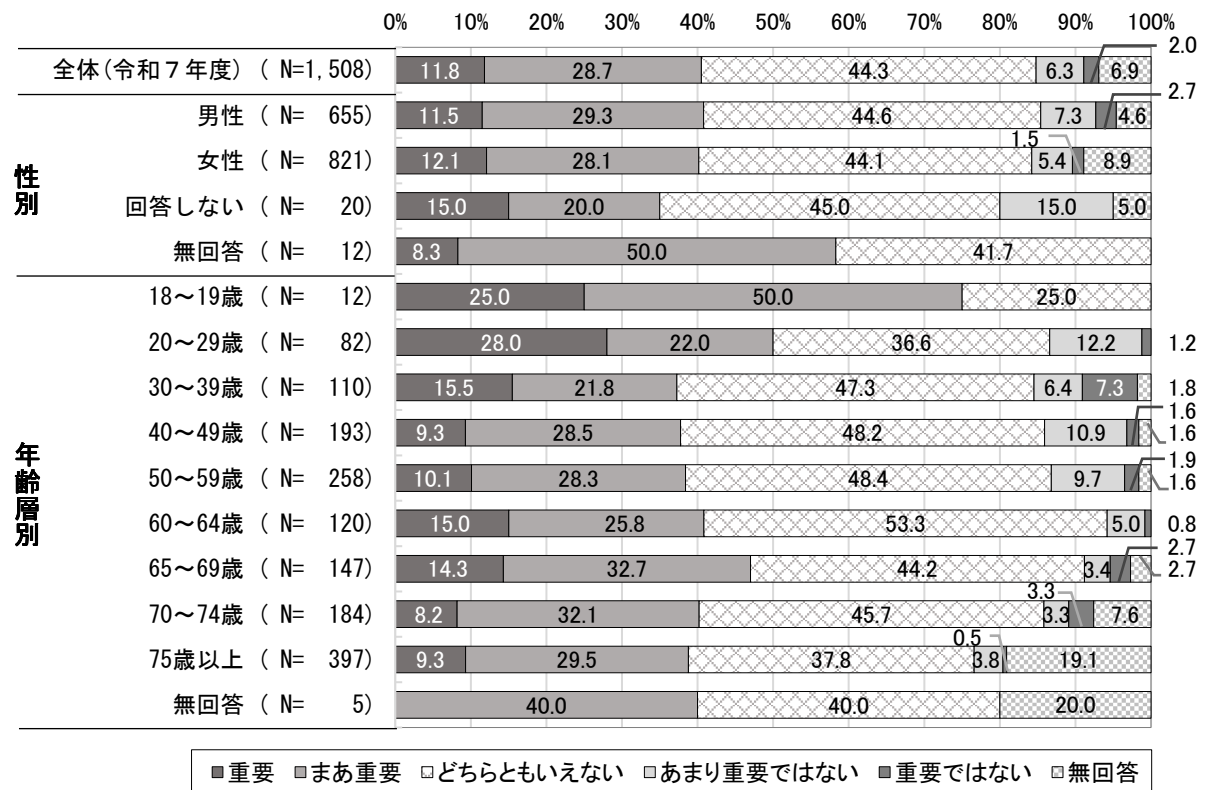
【国内外へ向けた広報広聴の強化】(現在の満足度と今後の重要度)



【国内外へ向けた広報広聴の強化】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【国内外へ向けた広報広聴の強化】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(32) 広域自治体ネットワークの強化

(地理的特性や都市機能等を生かした国、道、他自治体との連携や補完、国内都市との交流の推進)

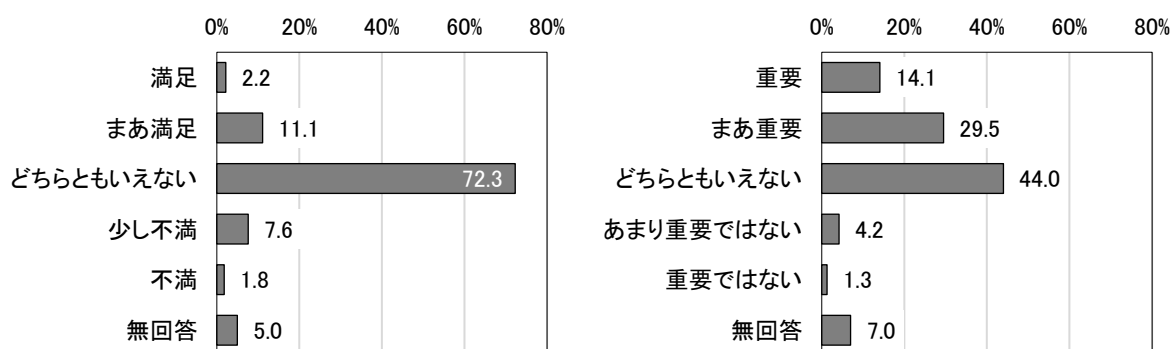
広域自治体ネットワークの強化について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が72.3%と最も高くなっている。「満足」の2.2%と「まあ満足」の11.1%を合わせた、現在満足している割合は13.3%で、「不満」の1.8%と「少し不満」の7.6%を合わせた、現在不満に感じている割合9.4%を3.9ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が14.1%、「まあ重要」が29.5%で、重要であるという割合は43.6%となっている。

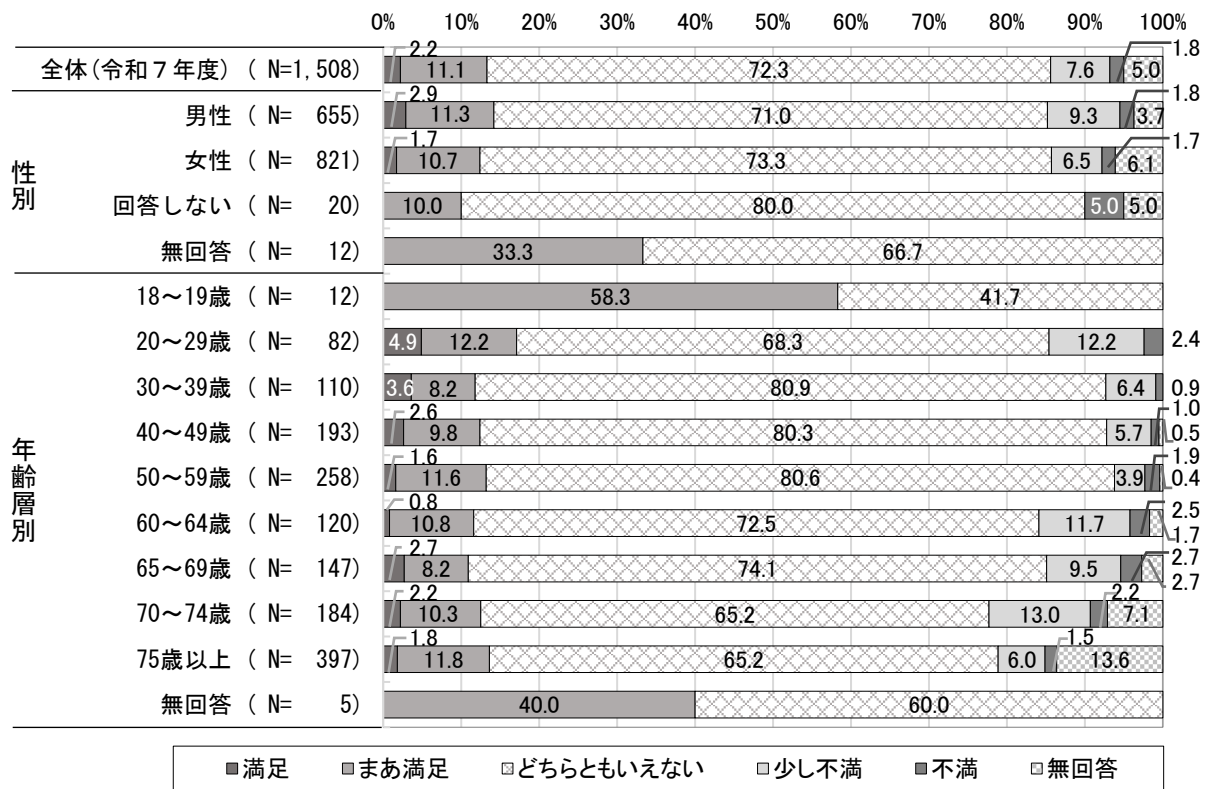
性別にみると、現在満足している割合は1.8ポイント、今後重要であるという割合は5.6ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

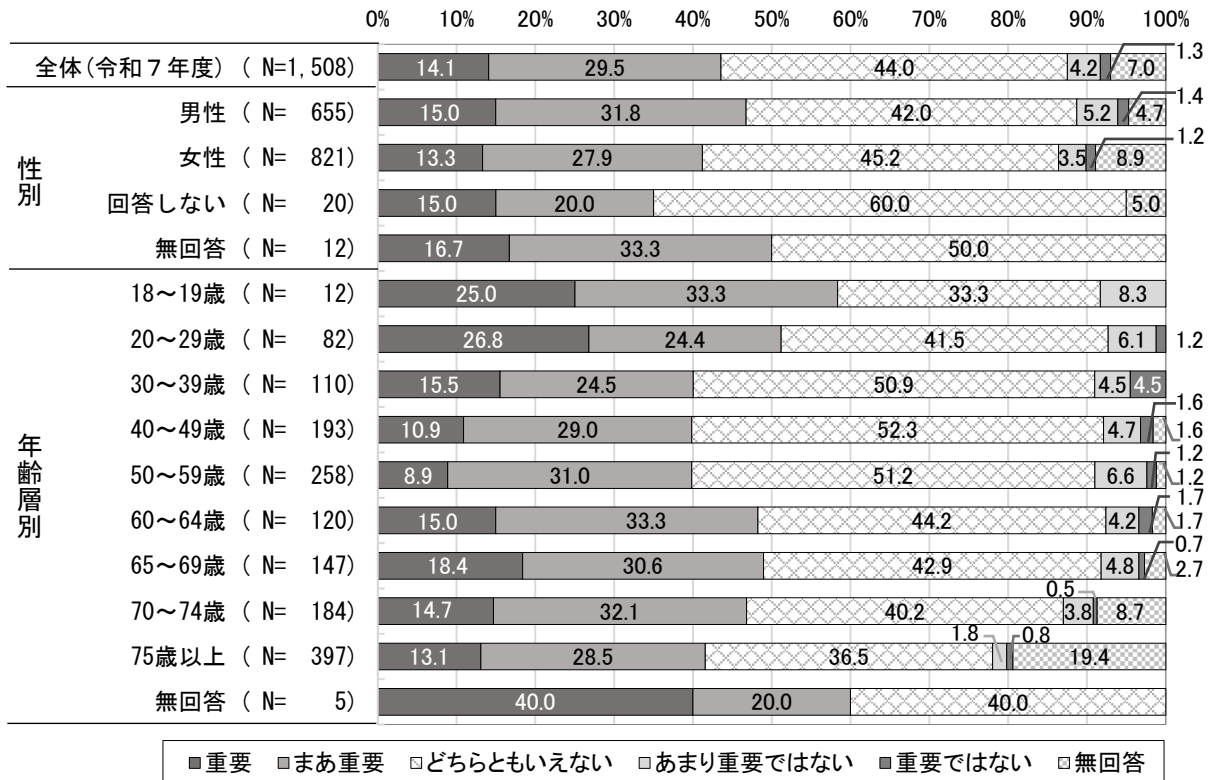
【広域自治体ネットワークの強化】(現在の満足度と今後の重要度)



【広域自治体ネットワークの強化】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【広域自治体ネットワークの強化】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(33) 信頼に応える市政の推進

(機能的な組織体制づくり、職員の育成、法令の遵守、市民がわかりやすく利用しやすい窓口サービスの提供)

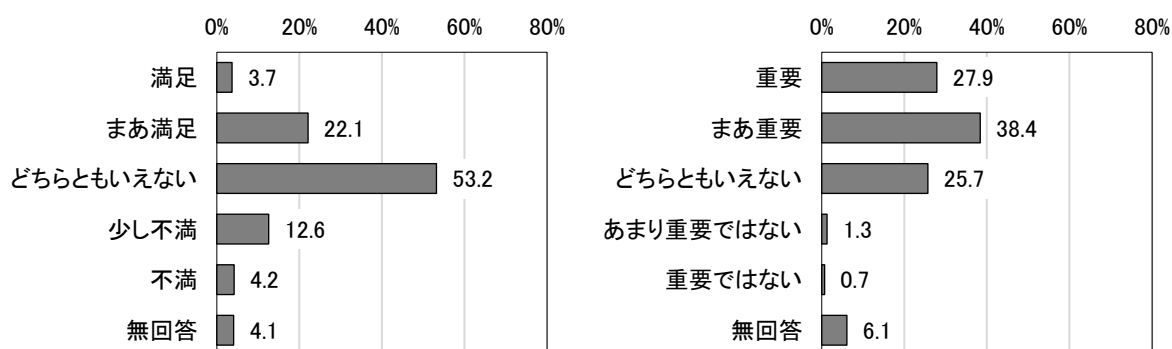
信頼に応える市政の推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が53.2%と最も高くなっている。「満足」の3.7%と「まあ満足」の22.1%を合わせた、現在満足している割合は25.8%で、「不満」の4.2%と「少し不満」の12.6%を合わせた、現在不満に感じている割合16.8%を9.0ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が27.9%、「まあ重要」が38.4%で、重要であるという割合は66.3%となっている。

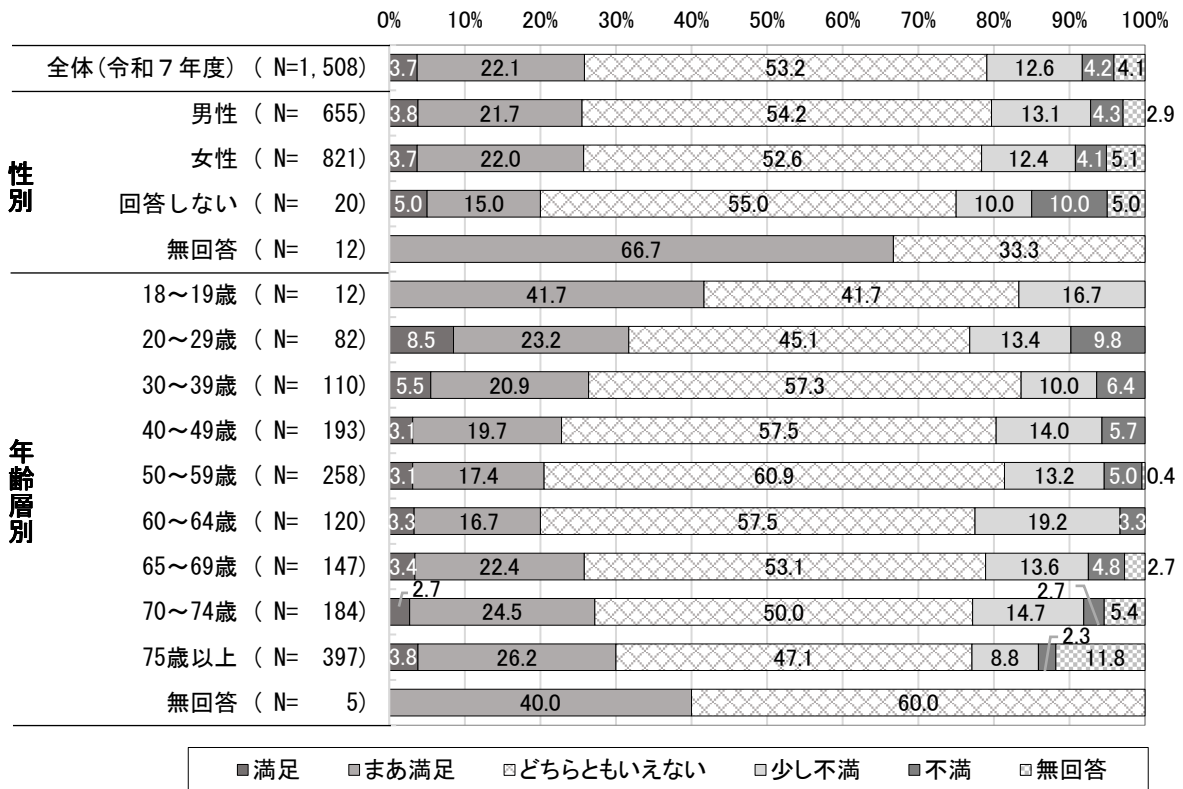
性別にみると、現在満足している割合は女性が0.2ポイント高くなっている。一方、今後重要であるという割合は男性が1.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合、今後重要であるという割合ともに18～19歳が最も高くなっている。

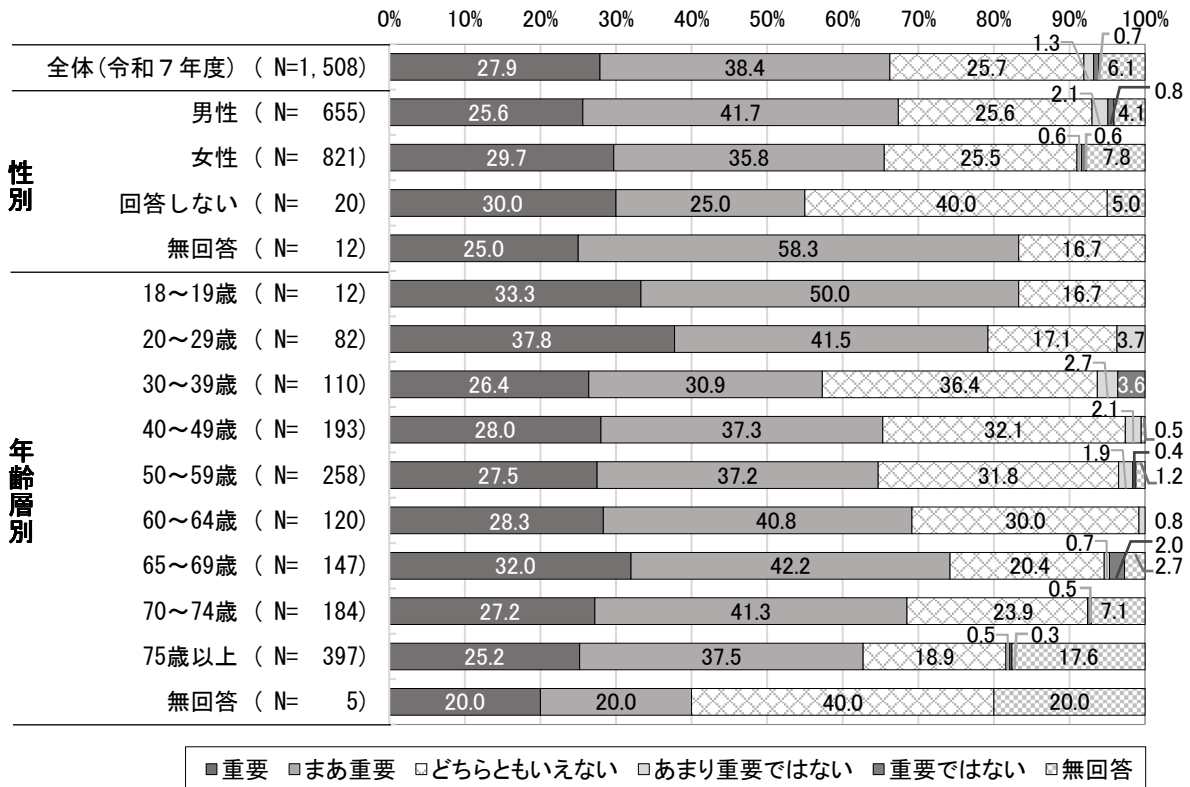
【信頼に応える市政の推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【信頼に応える市政の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【信頼に応える市政の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



(34) 効率的で効果的な行財政運営の推進

(民間活力の導入などサービス水準の向上、事務事業の見直し、自主財源確保など財政の健全化)

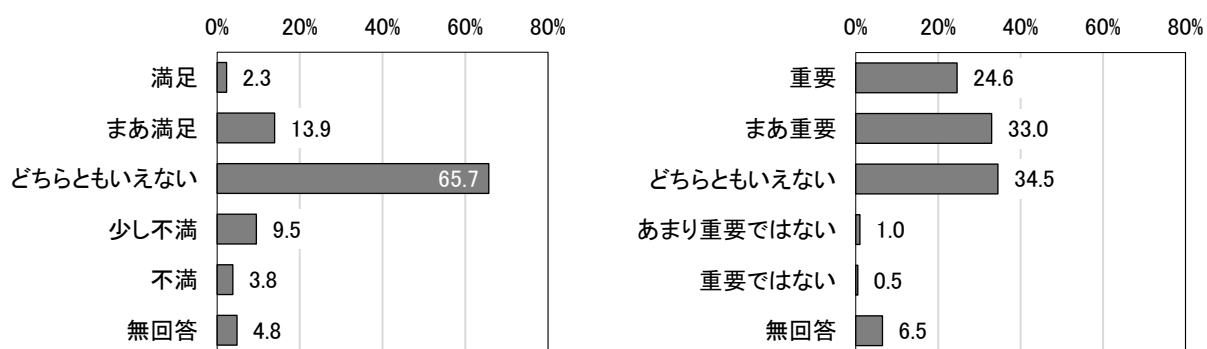
効率的で効果的な行財政運営の推進について、全体では、現在の満足度は「どちらともいえない」が65.7%と最も高くなっている。「満足」の2.3%と「まあ満足」の13.9%を合わせた、現在満足している割合は16.2%で、「不満」の3.8%と「少し不満」の9.5%を合わせた、現在不満に感じている割合13.3%を2.9ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要」が24.6%、「まあ重要」が33.0%で、重要であるという割合は57.6%となっている。

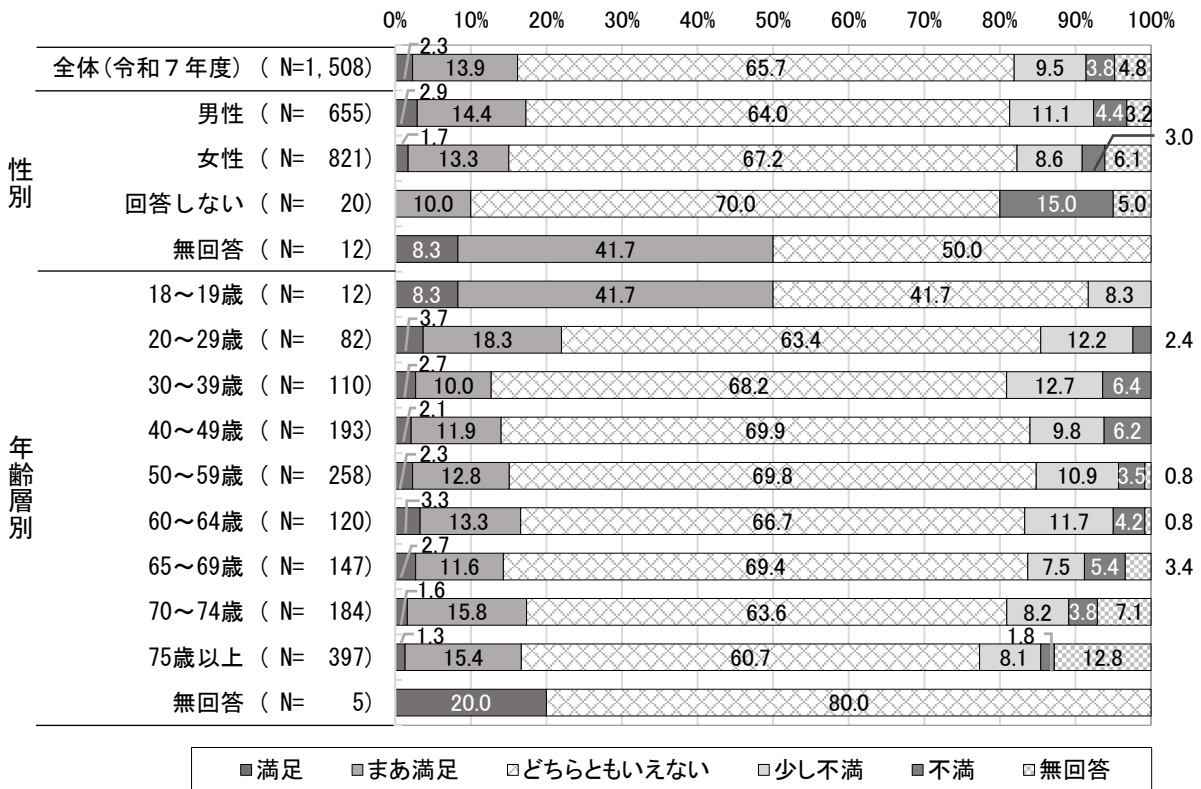
性別にみると、現在満足している割合は2.3ポイント、今後重要であるという割合は8.0ポイント、ともに男性が高くなっている。

年齢層別にみると、現在満足している割合は18～19歳が最も高く、今後重要であるという割合は65～69歳が最も高くなっている。

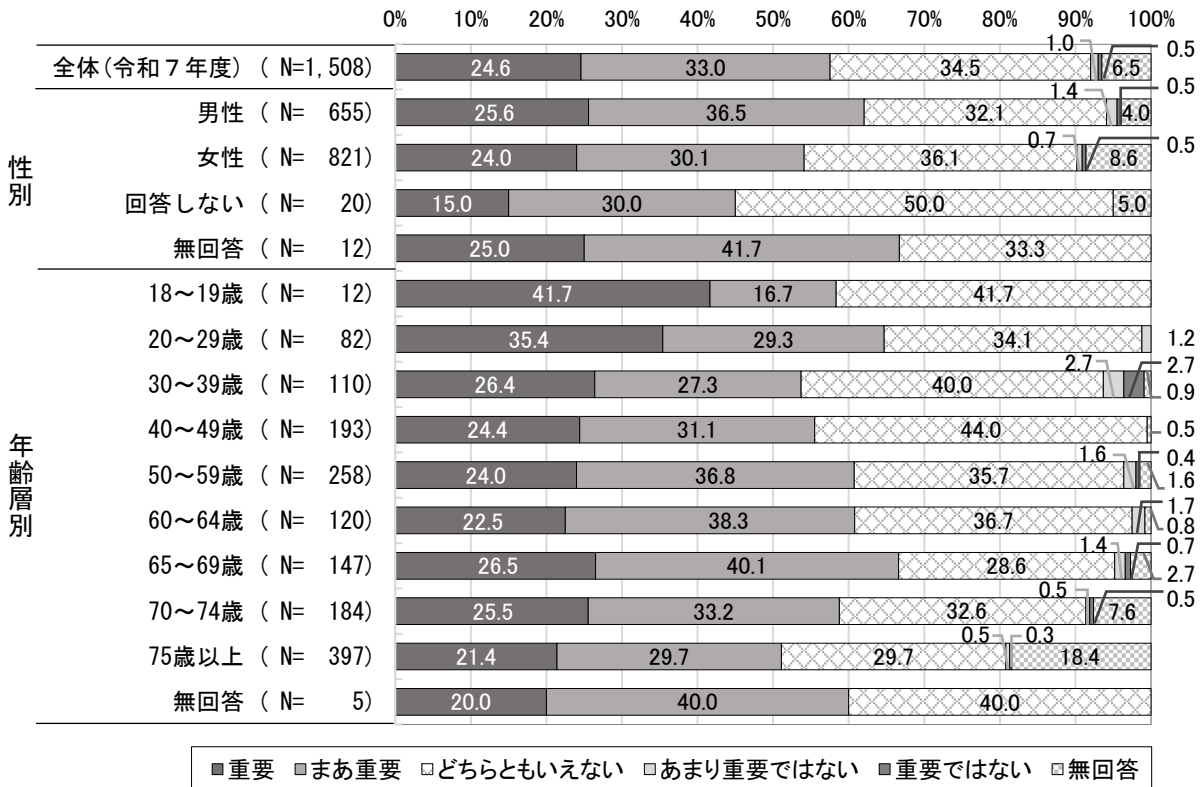
【効率的で効果的な行財政運営の推進】(現在の満足度と今後の重要度)



【効率的で効果的な行財政運営の推進】（現在の満足度 性別、年齢層別）



【効率的で効果的な行財政運営の推進】（今後の重要度 性別、年齢層別）



Ⅱ-3 地域における活動について

1 地域活動への参加状況

問1 あなたは、この1年間に、町内会や市民委員会、老人クラブ、育児サークル、子ども会、PTAなどの団体が主催するイベントや行事、活動に参加したことがありますか。
(○は1つ)

町内会などの地域活動への参加状況について、全体では「参加していない」が65.1%、「参加した」の33.6%で、「参加していない」が31.5ポイント高くなっている。

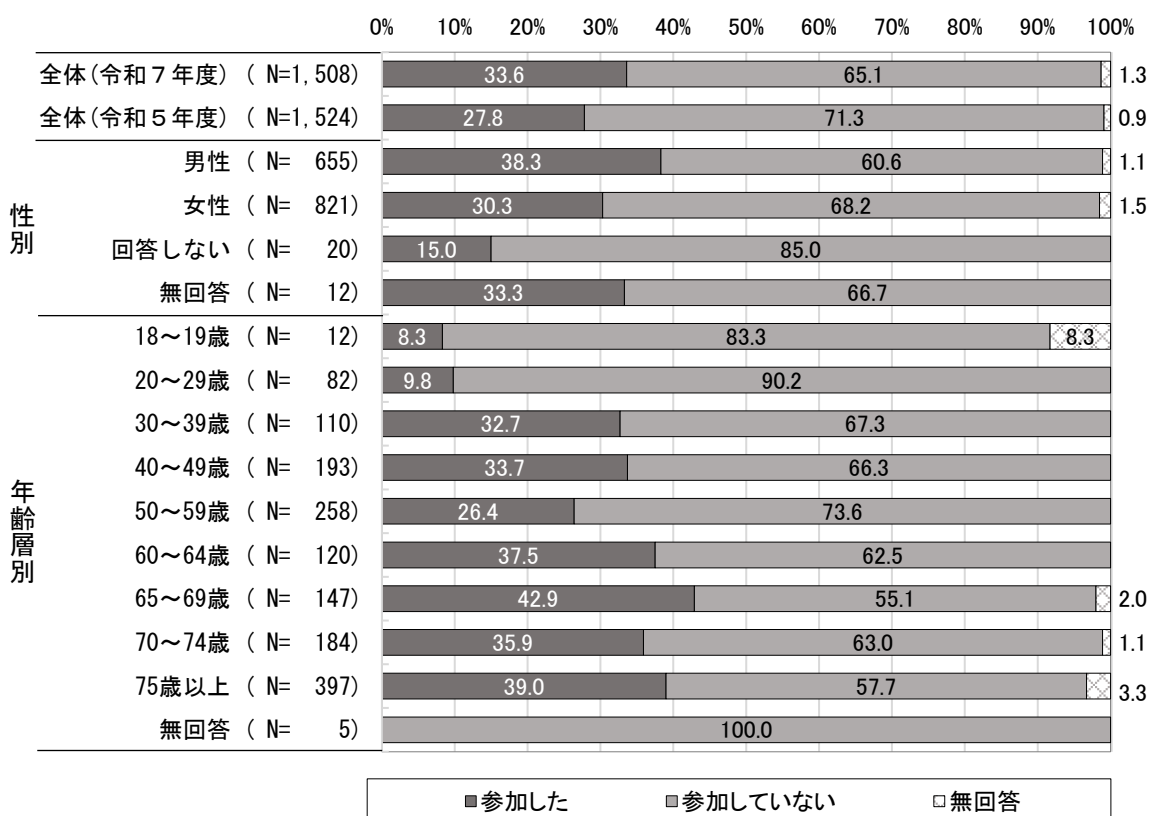
性別にみると、男性、女性ともに「参加していない」が高くなっており、女性が男性よりも7.6ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、どの年齢層も「参加していない」が高く、特に18～19歳、20～29歳、は「参加していない」の割合が80%以上となっている。

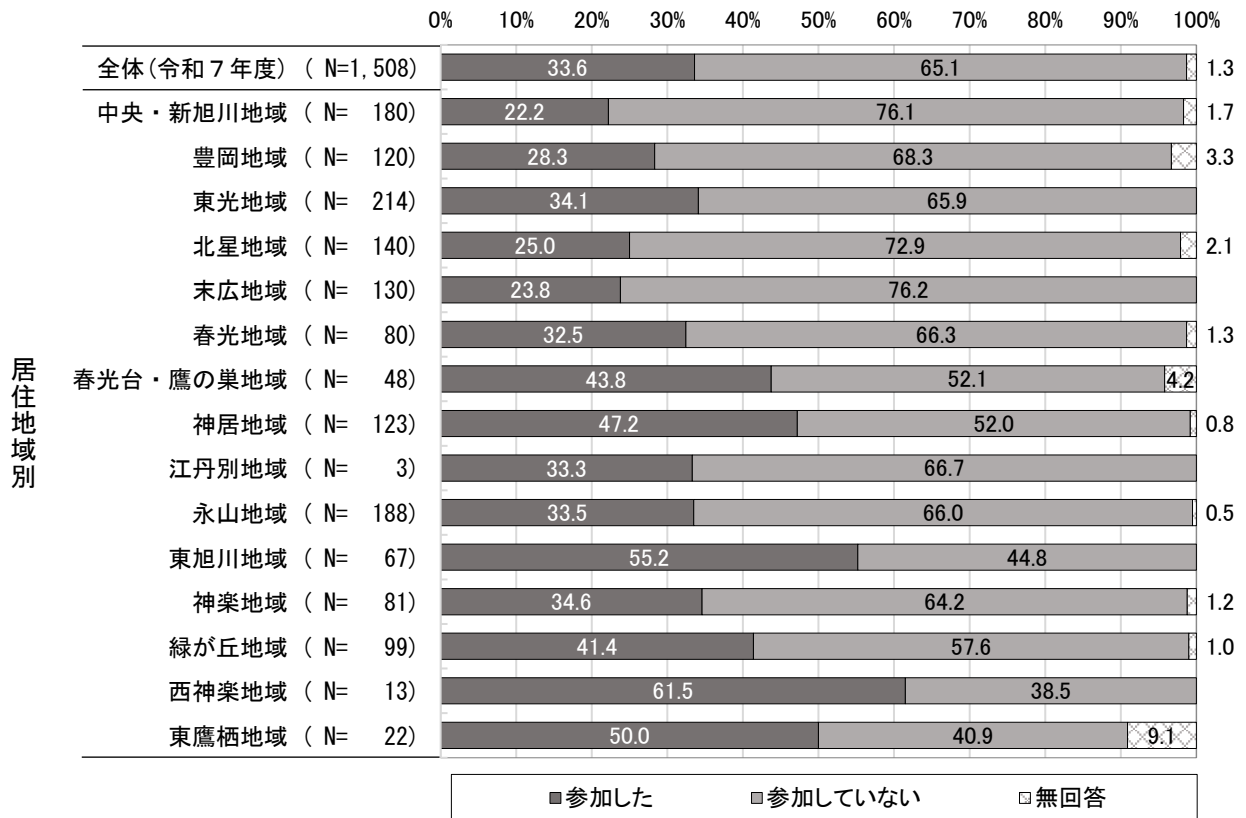
居住地域別にみると、「参加した」は西神楽地域が61.5%と最も高く、次いで東旭川地域55.2%、東鷹栖地域50.0%となっている。

住宅種別に見ると、「参加した」割合が最も高いのは、公営住宅の52.5%、次いで持ち家(一戸建)の39.5%となっている。

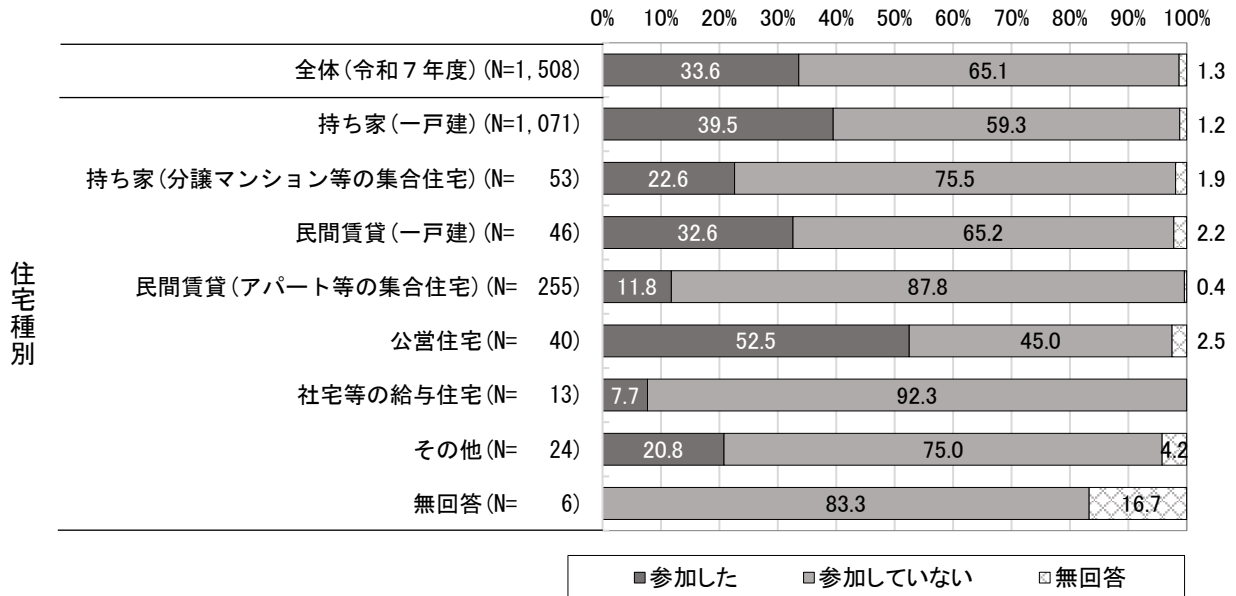
【地域活動への参加状況】(前回〔令和5年度調査〕との比較、性別、年齢層別)



【地域活動への参加状況】（居住地域別）



【地域活動への参加状況】（住宅種別）



2 参加した活動や行事の内容

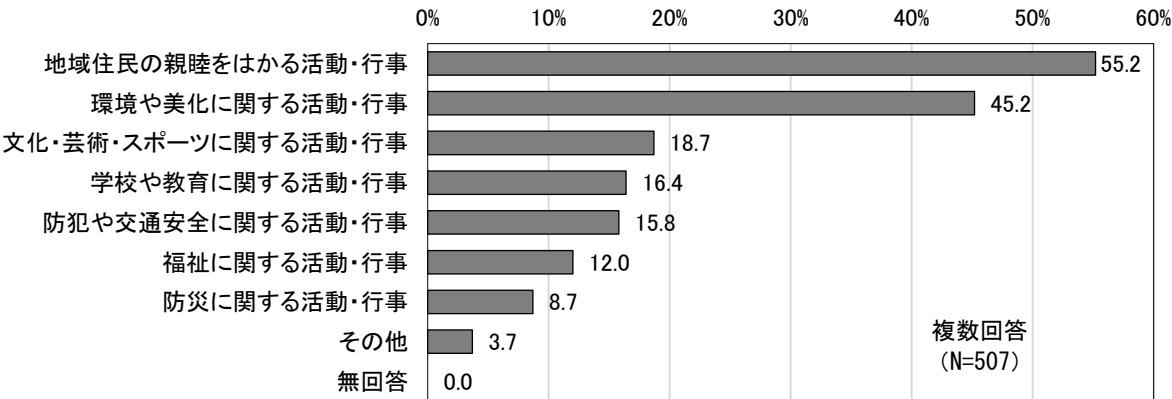
問2 問1で「1. 参加した」と回答した方のみにおたずねします。どのような活動や行事に参加しましたか。(○はいくつでも)

参加した活動や行事は、全体では「地域住民の親睦をはかる活動・行事」が55.2%と最も高く、次いで「環境や美化に関する活動・行事」が45.2%となっている。

性別にみると、男女ともに「地域住民の親睦をはかる活動・行事」の割合が最も高くなっている。次いで男女ともに「環境や美化に関する活動・行事」となっている。

年齢層別にみると、18～19歳、40歳～49歳では「環境や美化に関する活動・行事」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「地域住民の親睦をはかる活動・行事」が最も高くなっている。

【参加した活動や行事の内容】



【参加した活動や行事の内容（複数回答）】（性別、年齢層別）

		地域住民の親睦をはかる活動・行事	環境や美化に関する活動・行事	文化・芸術・スポーツに関する活動・行事	学校や教育に関する活動・行事	防犯や交通安全に関する活動・行事	福祉に関する活動・行事	防災に関する活動・行事	その他	無回答
性別	全体 (N=507)	55.2	45.2	18.7	16.4	15.8	12.0	8.7	3.7	0.0
	男性 (N=251)	59.0	53.0	17.5	11.6	21.1	12.0	12.4	2.8	0.0
	女性 (N=249)	51.4	36.1	19.7	20.5	10.0	11.6	5.2	4.8	0.0
	回答しない (N= 3)	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 (N= 4)	50.0	100.0	25.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年齢層別	18～19歳 (N= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 (N= 8)	50.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (N= 36)	44.4	11.1	27.8	41.7	8.3	13.9	5.6	2.8	0.0
	40～49歳 (N= 65)	38.5	44.6	18.5	43.1	12.3	6.2	6.2	0.0	0.0
	50～59歳 (N= 68)	54.4	41.2	16.2	25.0	7.4	5.9	10.3	4.4	0.0
	60～64歳 (N= 45)	53.3	48.9	13.3	11.1	17.8	8.9	6.7	2.2	0.0
	65～69歳 (N= 63)	55.6	52.4	20.6	6.3	14.3	15.9	9.5	3.2	0.0
	70～74歳 (N= 66)	65.2	50.0	21.2	7.6	18.2	16.7	13.6	4.5	0.0
	75歳以上 (N=155)	61.9	50.3	18.7	4.5	22.6	14.2	8.4	5.8	0.0
	無回答 (N= 0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 各項目の中で最も高い割合
 - 各項目の中で2番目に高い割合
 - 各項目の中で3番目に高い割合
- ※「無回答」項目を除く

3 行事や活動の主催・企画の経験

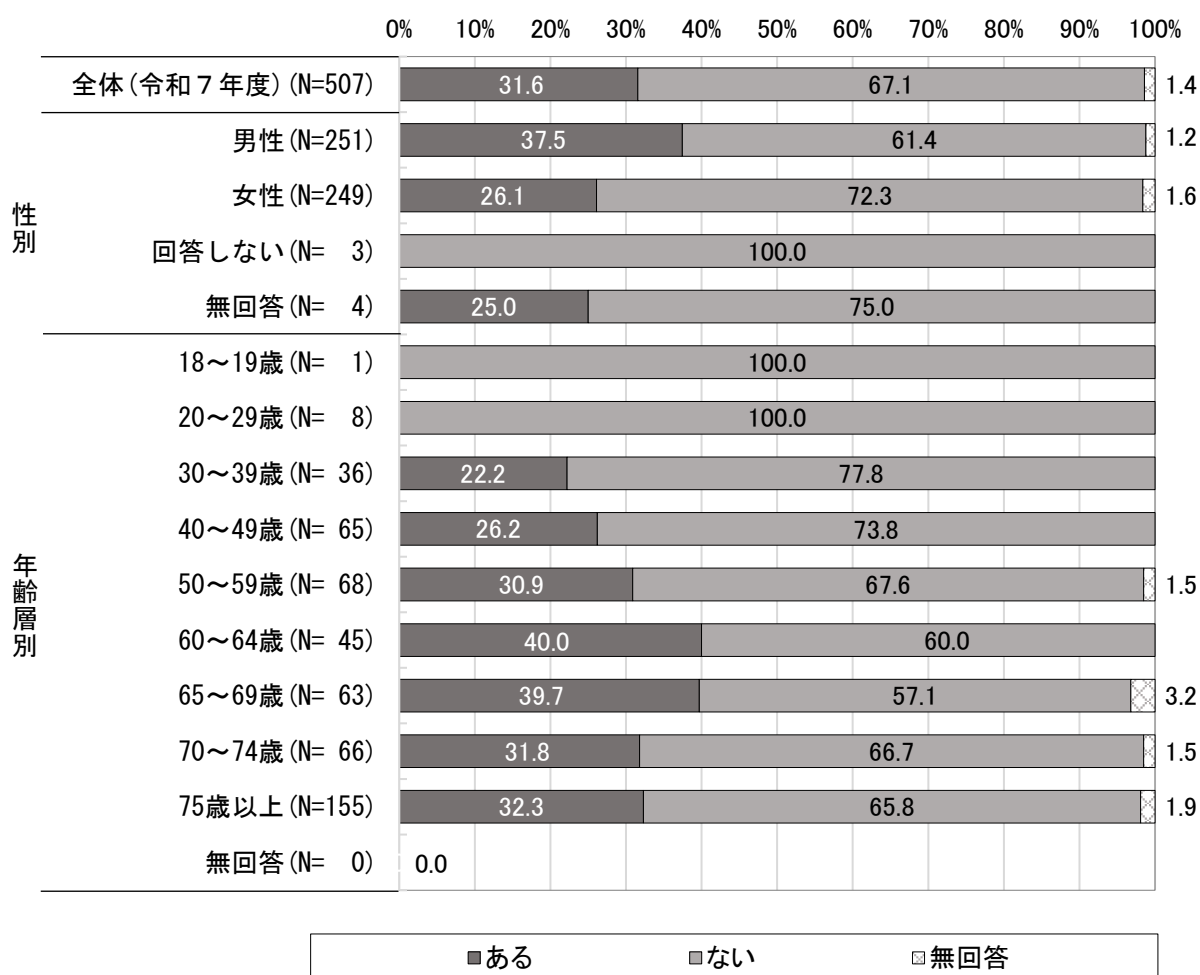
問3 問1で「1. 参加した」と回答した方のみにおたずねします。その行事や活動の中で、主催者や企画する側として参加したものはありますか。(○は1つ)

行事や活動を主催、企画する側としての参加の有無は、全体では、「ない」が67.1%で、「ある」の31.6%を35.5ポイント上回っている。

性別にみると、「ある」割合は、男性が37.5%、女性が26.1%で、男性が11.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「ある」割合が最も高いのは60～64歳の40.0%で、次いで65～69歳の39.7%となっている。

【行事や活動の主催・企画の経験】(性別、年齢層別)



4 地域の行事や活動に参加していない理由

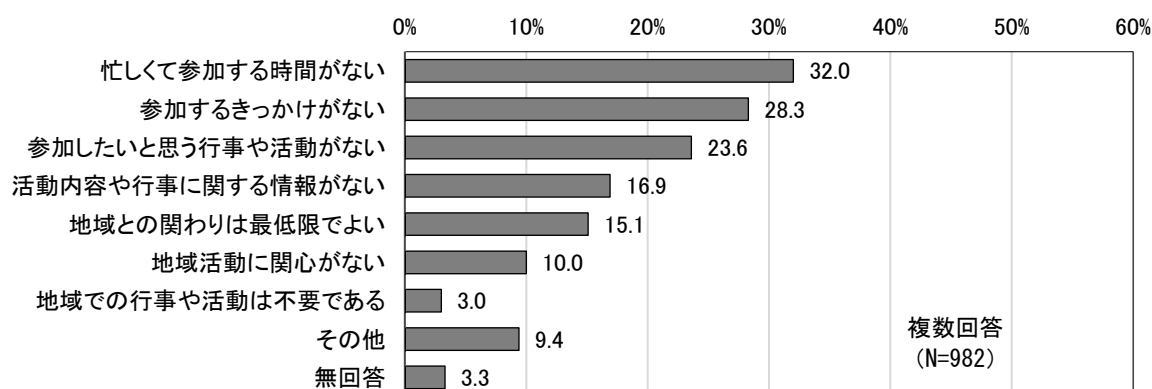
問4 問1で「2. 参加していない」と回答した方のみにおたずねします。地域で行事や活動に参加していない理由は何ですか。(○は2つまで)

地域の行事や活動に参加していない理由は、全体では、「忙しくて参加する時間がない」が32.0%と最も高く、次いで「参加するきっかけがない」が28.3%、「参加したいと思う行事や活動がない」が23.6%となっている。

性別にみると、男女ともに「忙しくて参加する時間がない」の割合が最も高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～64歳、65～69歳では「忙しくて参加する時間がない」、20～29歳、75歳以上では「参加するきっかけがない」、70～74歳で「参加したいと思う行事や活動がない」の割合が最も高くなっている。

【地域の行事や活動に参加していない理由】



【地域の行事や活動に参加していない理由（複数回答）】（性別、年齢層別）

		忙しくて参加する時間がない	参加するきっかけがない	参加したいと思う行事や活動がない	活動内容や行事に関する情報がない	地域との関わりは最低限でよい	地域活動に関心がない	地域での行事や活動は不要である	その他	無回答
全体 (N=982)		32.0	28.3	23.6	16.9	15.1	10.0	3.0	9.4	3.3
性別	男性 (N=397)	33.0	29.2	22.4	19.1	12.8	10.8	3.8	7.1	2.8
	女性 (N=560)	30.9	27.5	24.3	15.5	17.1	9.1	2.1	10.9	3.6
	回答しない (N= 17)	52.9	29.4	23.5	11.8	5.9	23.5	11.8	5.9	5.9
	無回答 (N= 8)	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
年齢層別	18～19歳 (N= 10)	50.0	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 (N= 74)	39.2	43.2	14.9	21.6	14.9	13.5	1.4	6.8	1.4
	30～39歳 (N= 74)	44.6	37.8	27.0	20.3	14.9	10.8	4.1	1.4	0.0
	40～49歳 (N=128)	46.9	34.4	19.5	16.4	14.1	8.6	3.1	9.4	0.8
	50～59歳 (N=190)	42.6	25.8	21.1	11.6	17.4	12.1	3.7	3.7	2.6
	60～64歳 (N= 75)	48.0	33.3	21.3	18.7	16.0	8.0	5.3	4.0	0.0
	65～69歳 (N= 81)	34.6	23.5	30.9	22.2	13.6	11.1	3.7	6.2	0.0
	70～74歳 (N=116)	13.8	23.3	35.3	17.2	18.1	10.3	2.6	8.6	4.3
	75歳以上 (N=229)	11.4	21.8	20.1	17.0	13.1	7.9	1.7	21.4	8.7
	無回答 (N= 5)	0.0	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 各項目の中で最も高い割合
 - 各項目の中で2番目に高い割合
 - 各項目の中で3番目に高い割合
- ※「無回答」項目を除く

5 「旭川市民の日」の認知状況

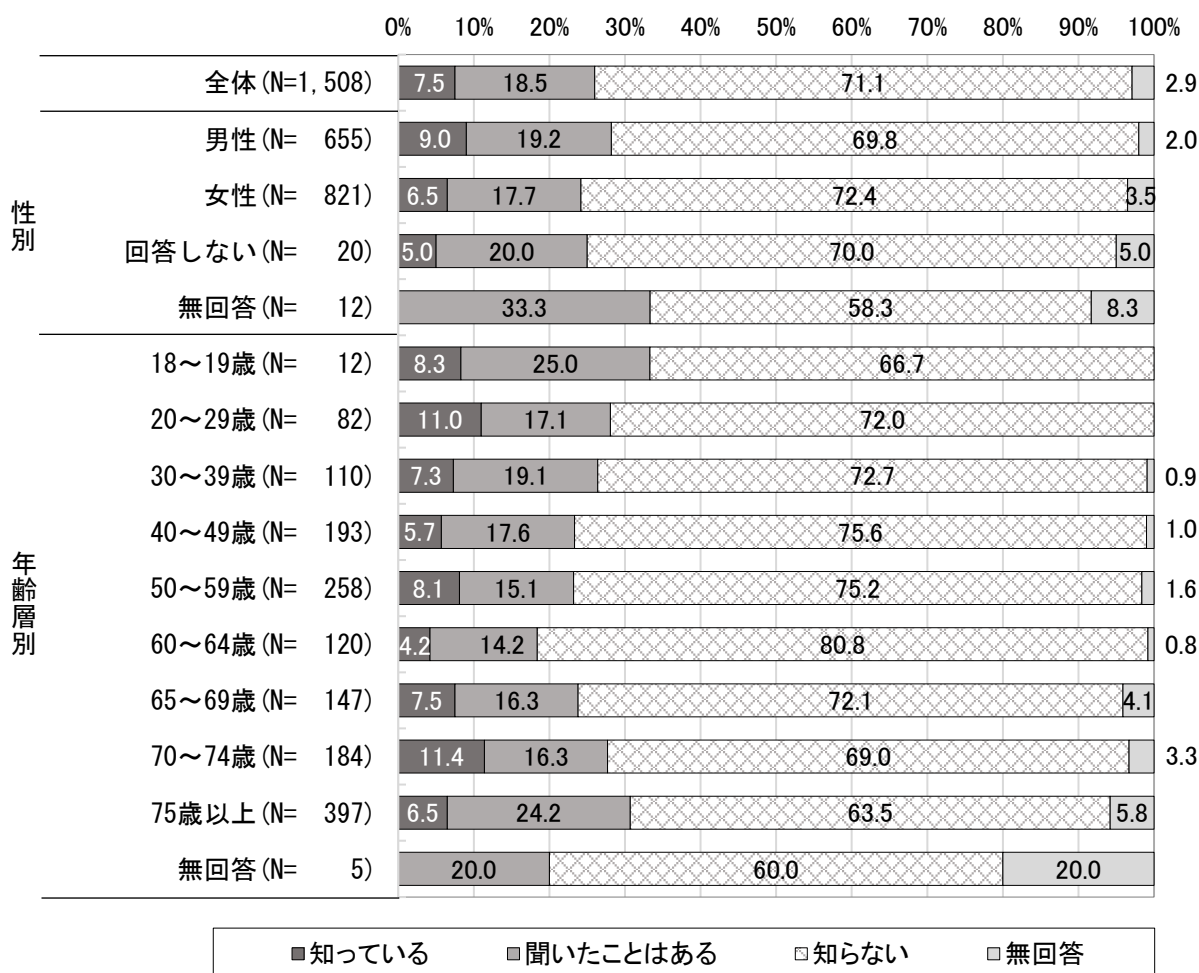
問5 あなたは、8月1日が「旭川市民の日」であることを知っていますか。(○は1つ)

旭川市民の日の認知については、全体では、「知らない」が71.1%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が18.5%、「知っている」が7.5%となっている。

性別にみると、「知っている」割合は男性が9.0%、女性が6.5%で、男性が2.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、すべての年代で「知らない」の割合が多くなっており、「知っている」の割合は、70～74歳が11.4%と最も高く、次いで20歳～29歳が72.0%となっている。

【旭川市民の日の認知状況】(性別、年齢層別)



Ⅱ-4 文化・芸術活動と生涯学習について

1 旭川市の文化・芸術活動

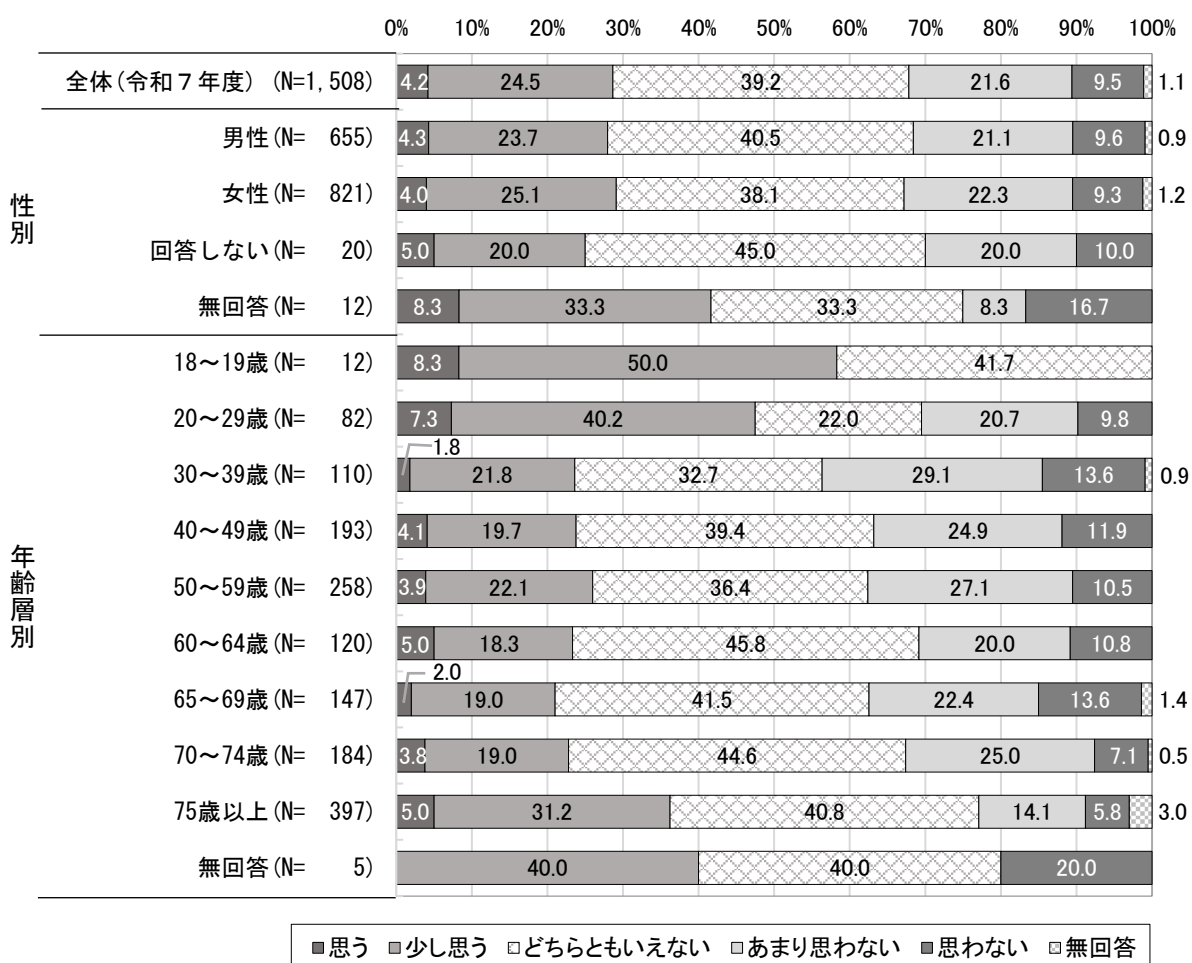
問1 あなたは、旭川市を文化・芸術活動がさかんなまちだと思いますか。(○は1つ)

文化・芸術活動がさかんなまちだと思うかについて、全体では、「思う」が4.2%、「少し思う」が24.5%で、合わせて28.7%が思うと回答している。

性別にみると、「思う」と「少し思う」を合わせた割合は男性が28.0%、女性が29.1%で女性が1.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、20～29歳、75歳以上は「思う」と「少し思う」を合わせた割合が「思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合より高くなっている。一方、その他の年齢層では「思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の方が高くなっている。

【旭川市の文化・芸術活動】(性別、年齢層別)



2 文化・芸術活動がさかんではないと思う理由

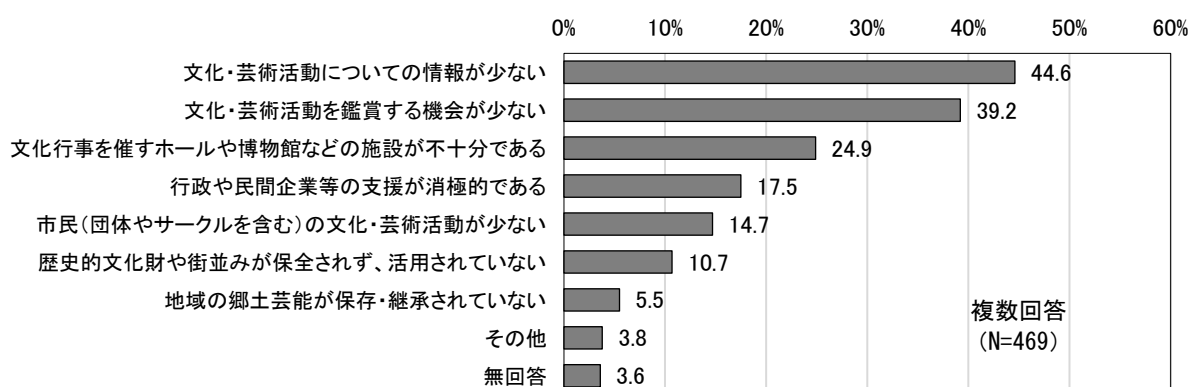
問2 問1で「4. あまり思わない」または「5. 思わない」と回答した方のみにおたずねします。文化・芸術活動がさかんではないと思う理由は何ですか。(○は2つまで)

文化・芸術活動がさかんではないと思う理由は、全体では「文化・芸術活動についての情報が少ない」が44.6%と最も高く、次いで「文化・芸術活動を鑑賞する機会が少ない」が39.2%となっている。

性別にみると、男性女性ともに「文化・芸術活動についての情報が少ない」が最も高く、次いで「文化・芸術活動を鑑賞する機会が少ない」となっている。

年齢層別にみると、18～19歳を除くすべての年齢層において「文化・芸術活動についての情報が少ない」が最も多くなっており、65～69歳で「文化・芸術活動を鑑賞する機会が少ない」が多くなっている。

【文化・芸術活動がさかんではないと思う理由】



【文化・芸術活動がさかんではないと思う理由(複数回答)】(性別、年齢層別)

		文化・芸術活動についての情報が少ない	文化・芸術活動を鑑賞する機会が少ない	文化行事を催すホールや博物館などの施設が不十分である	行政や民間企業等の支援が消極的である	市民(団体やサークルを含む)の文化・芸術活動が少ない	歴史的文化財や街並みが保全されず、活用されていない	地域の郷土芸能が保存・継承されていない	その他	無回答
全体 (N=469)		44.6	39.2	24.9	17.5	14.7	10.7	5.5	3.8	3.6
性別	男性 (N=201)	43.8	33.3	25.4	19.4	17.4	11.4	7.0	4.0	3.0
	女性 (N=259)	45.6	43.2	24.3	15.4	13.1	10.4	4.6	3.9	4.2
	回答しない (N= 6)	16.7	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 (N= 3)	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢層別	18～19歳 (N= 0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳 (N= 25)	44.0	40.0	20.0	24.0	16.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (N= 47)	59.6	44.7	21.3	10.6	14.9	2.1	2.1	2.1	4.3
	40～49歳 (N= 71)	56.3	45.1	28.2	15.5	9.9	8.5	8.5	4.2	0.0
	50～59歳 (N= 97)	48.5	42.3	30.9	14.4	9.3	6.2	8.2	1.0	2.1
	60～64歳 (N= 37)	45.9	43.2	37.8	18.9	10.8	24.3	5.4	2.7	0.0
	65～69歳 (N= 53)	35.8	35.8	26.4	17.0	26.4	15.1	3.8	7.5	3.8
	70～74歳 (N= 59)	39.0	37.3	25.4	16.9	15.3	13.6	3.4	0.0	8.5
	75歳以上 (N= 79)	30.4	27.8	11.4	25.3	19.0	8.9	6.3	10.1	7.6
無回答 (N= 1)		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 各項目の中で最も高い割合
 - 各項目の中で2番目に高い割合
 - 各項目の中で3番目に高い割合
- ※「無回答」項目を除く

3 学ぶ機会の充実度

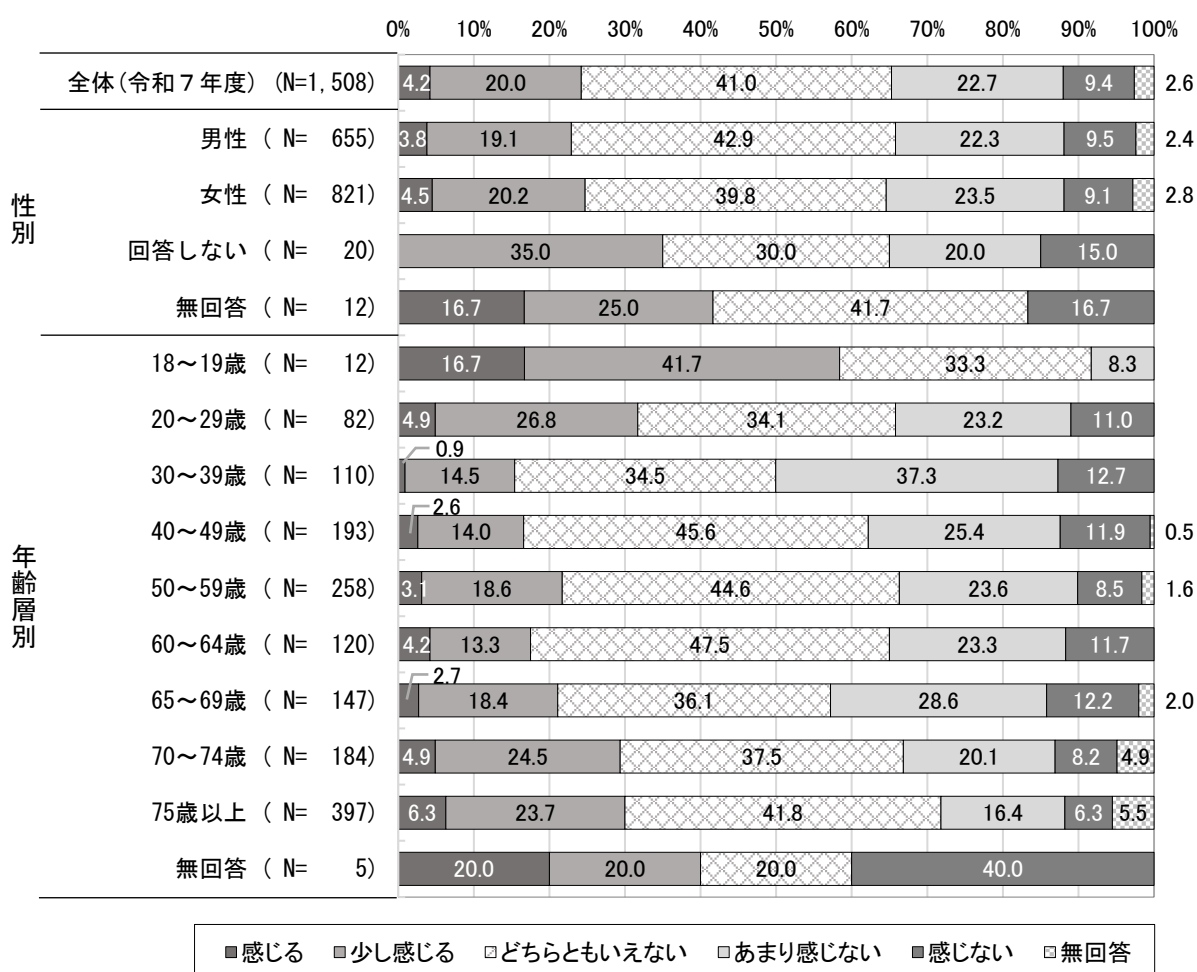
問3 あなたは、趣味・教養の講座や、社会や地域の課題などについて学ぶ機会が充実していると感じますか。(○は1つ)

趣味・教養の講座や、社会や地域の課題などについて学ぶ機会が充実していると感じるかに
ついて、全体では、「感じる」が4.2%、「少し感じる」が20.0%で、合わせて24.2%
が充実していると感じると回答している。

性別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は男性が22.9%、女性が
24.7%で女性が1.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は18～19歳が58.4%
と最も高くなっている。また、18～19歳、70～74歳、75歳以上を除く全ての年齢層
で「感じない」と「あまり感じない」を合わせた割合の方が高くなっている。

【学ぶ機会の充実度】(性別、年齢層別)



4 スポーツ・運動活動の実施状況

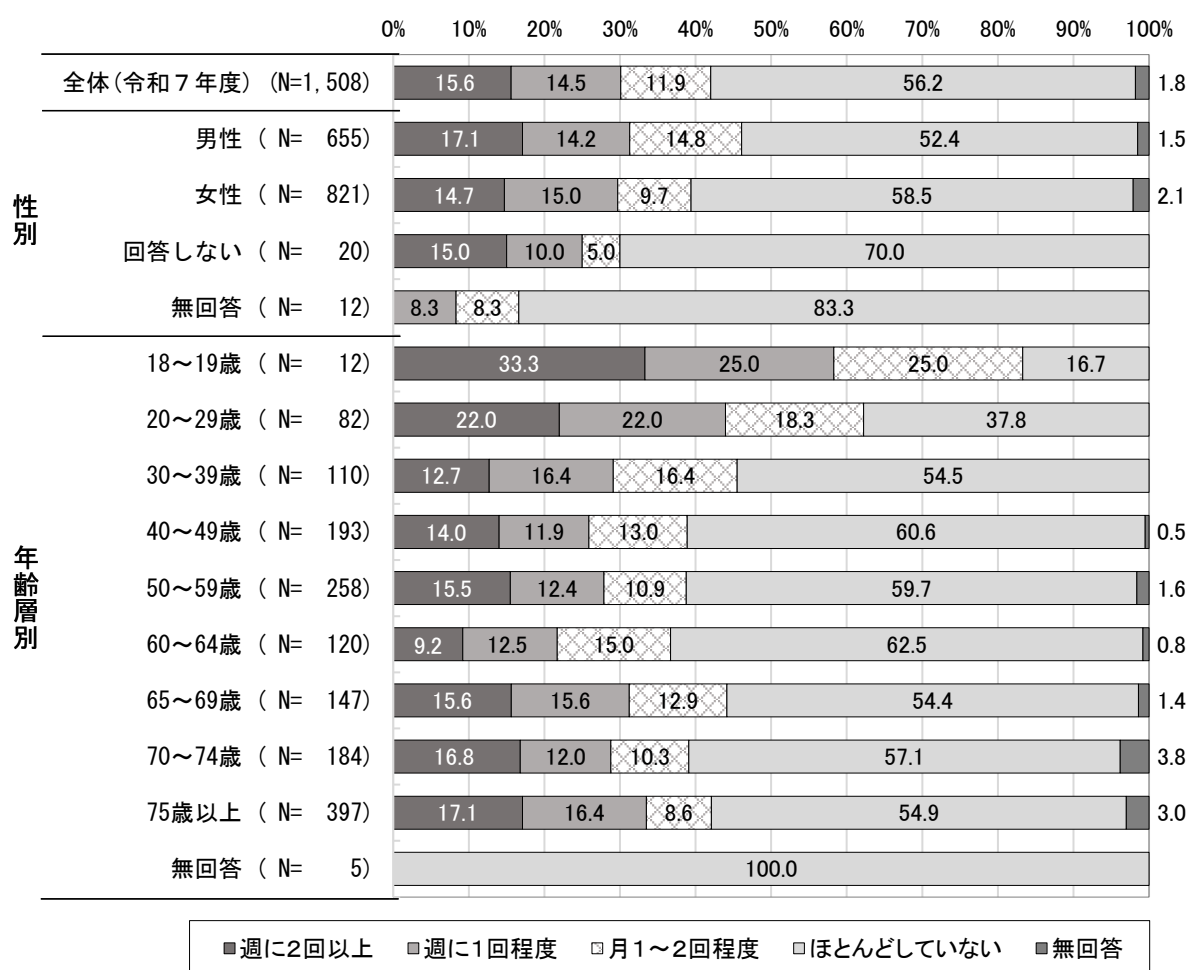
問4 あなたは、1年を通してどのくらいの頻度でスポーツ・運動活動を行っていますか。
(○は1つ)

スポーツ・運動活動の実施状況について、全体では、「ほとんどしていない」が56.2%と最も高く、次いで「週に2回以上」が15.6%となっている。

性別にみると、「ほとんどしていない」は男性が52.4%、女性が58.5%で女性が6.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「週に2回以上」と「週に1回程度」を合わせた割合が18～19歳が58.3%と最も高く、次いで20～29歳が44.0%、75歳以上が33.5%となっている。一方、40～49歳、60～64歳は「ほとんどしていない」が60%以上となっている。

【スポーツ・運動活動の実施状況】(性別、年齢層別)



5 冬季のスポーツ・運動活動の実施状況

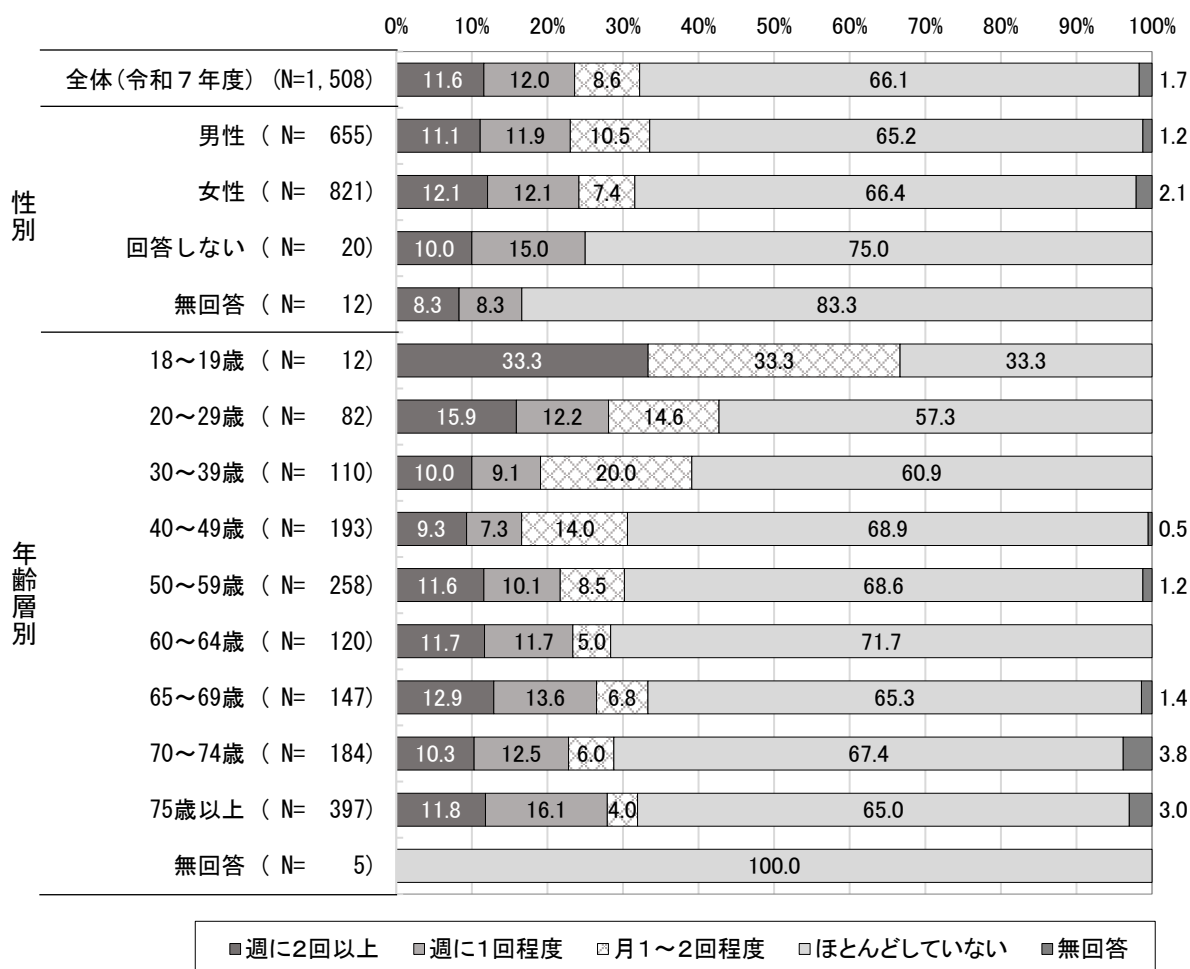
問5 あなたは、冬季（12月～3月）にどのくらいの頻度でスポーツ・運動活動を行っていますか。（○は1つ）

冬季のスポーツ・運動活動の実施状況について、全体では、「ほとんどしていない」が66.1%と最も高く、次いで「週に1回程度」が12.0%となっている。

性別にみると、「ほとんどしていない」は男性が65.2%、女性が66.4%で女性が1.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「週に2回以上」と「週に1回程度」を合わせた割合が18～19歳が33.3%と最も高く、次いで20～29歳が28.1%、75歳以上が27.9%となっている。一方、60～64歳では「ほとんどしていない」が70%以上となっている。

【冬季のスポーツ・運動活動の実施状況】（性別、年齢層別）



Ⅱ-5 健康と暮らしの安心について

1 現在の健康状態

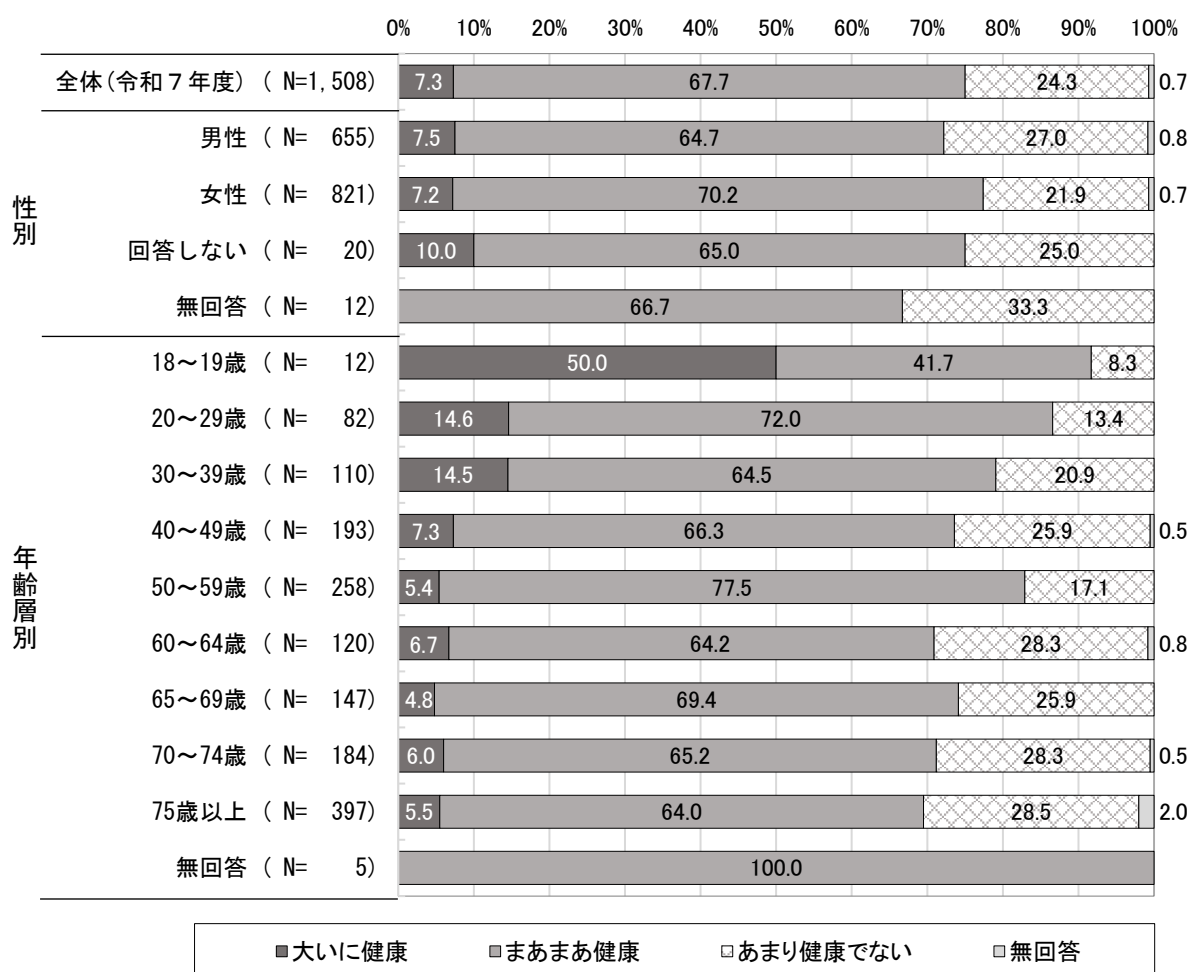
問1 あなたは、ふだん健康だと感じていますか。(○は1つ)

現在の健康状態について、全体では、「大いに健康」の7.3%、「まあまあ健康」が67.7%で、合わせて75.0%が健康であると回答している。

性別にみると、「大いに健康」と「まあまあ健康」を合わせた割合は、男性が72.2%、女性が77.4%で、女性が5.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「大いに健康」と「まあまあ健康」を合わせた割合は、18～19歳が91.7%と最も高く、次いで20～29歳が86.6%、50～59歳が82.9%となっている。一方、75歳以上は69.5%と、70%未満となっている。

【現在の健康状態】(性別、年齢層別)



2 健康のための取組

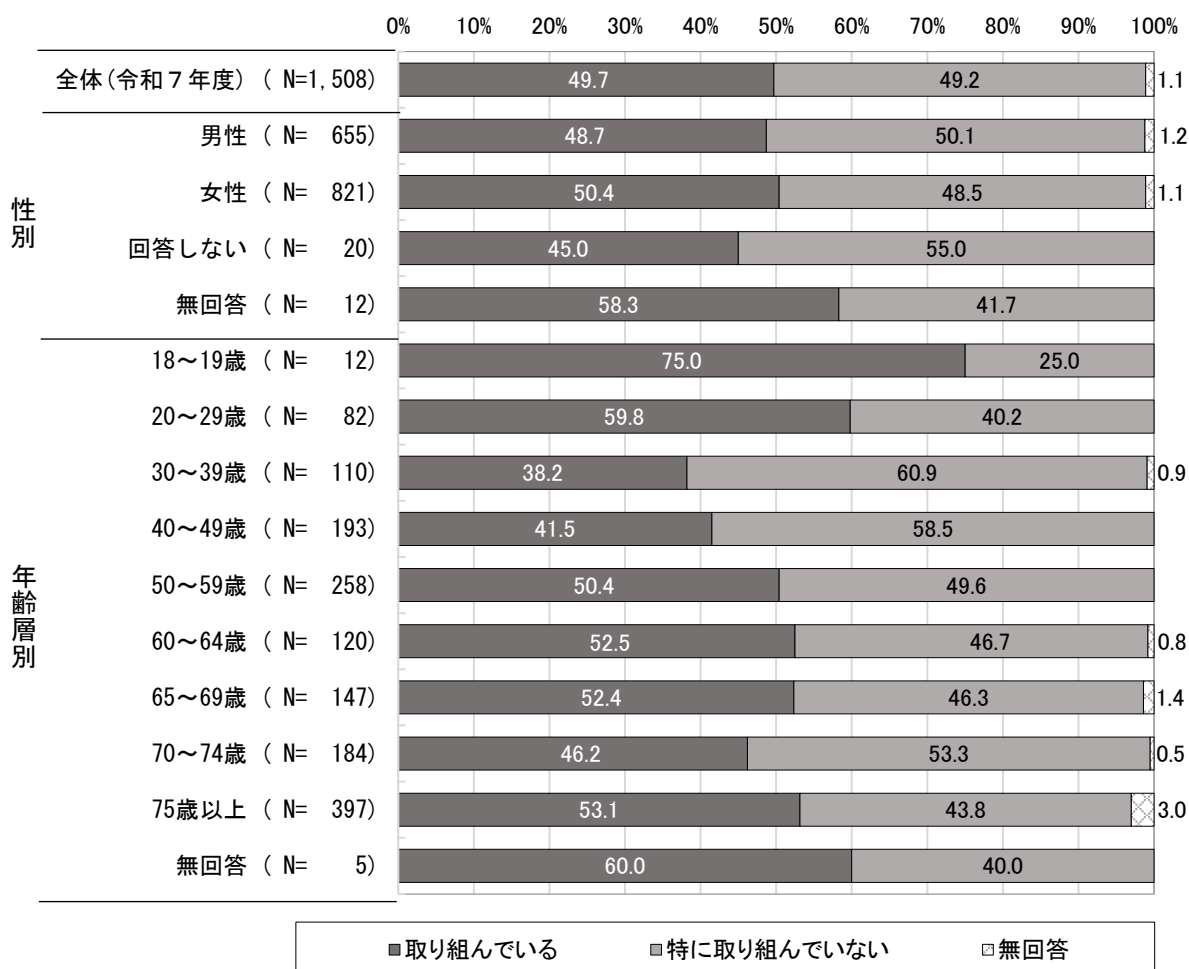
問2 あなたは、ふだんから、健康のために何か取り組んでいますか。(○は1つ)

健康のためにふだんから取り組んでいるかについて、全体では、「取り組んでいる」が49.7%であり、「特に取り組んでいない」が49.2%と「特に取り組んでいない」を0.5ポイント上回っている。

性別にみると、「取り組んでいる」の割合は男性が48.7%、女性が50.4%で、女性が1.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「取り組んでいる」は、18～19歳が75.0%と最も高く、次いで20～29歳が59.8%、75歳以上が53.1%、となっている。一方、30～39歳では38.2%と、40%未満となっている。

【健康のための取組】(性別、年齢層別)



3 悩み・不安を感じたときの相談機会

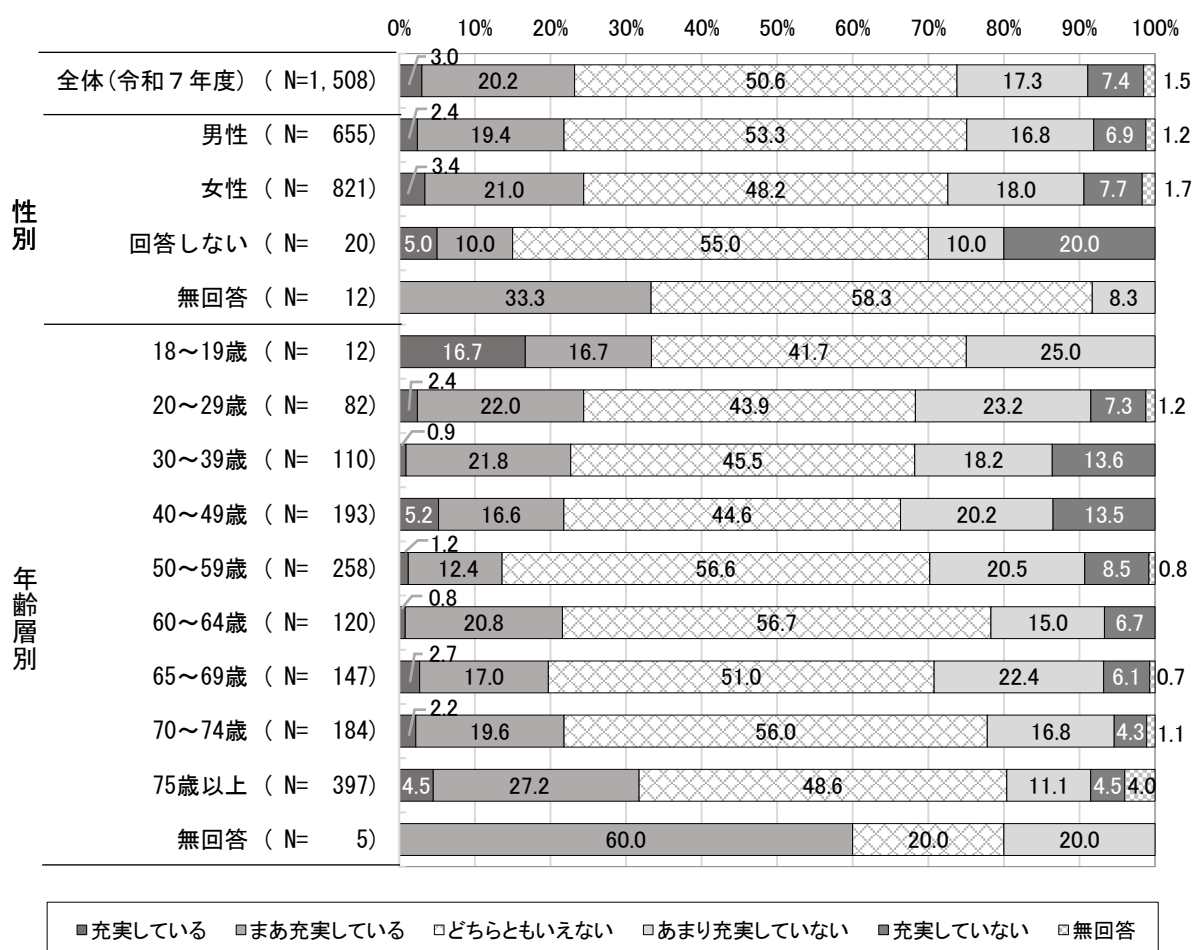
問3 あなたは、健康や生活、育児、介護、経済問題などで悩み・不安を感じたときの相談機会が充実していると思いますか。(○は1つ)

悩み・不安を感じたときの相談機会の充実度について、全体では「どちらともいえない」が50.6%で最も高くなっている。「充実している」の3.0%と「まあ充実している」の20.2%を合わせると23.2%で、「充実していない」の7.4%と「あまり充実していない」の17.3%を合わせた24.7%を1.5ポイント下回っている。

性別にみると、「充実している」と「まあ充実している」を合わせた割合は、男性が21.8%、女性が24.4%で、女性が2.6ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、70～74歳、75歳以上では、「充実している」と「まあ充実している」を合わせた割合の方が高く、その他の年齢層では「充実していない」と「あまり充実していない」を合わせた割合の方が高くなっている。

【悩み・不安を感じたときの相談機会】(性別、年齢層別)



4 災害、犯罪への不安感

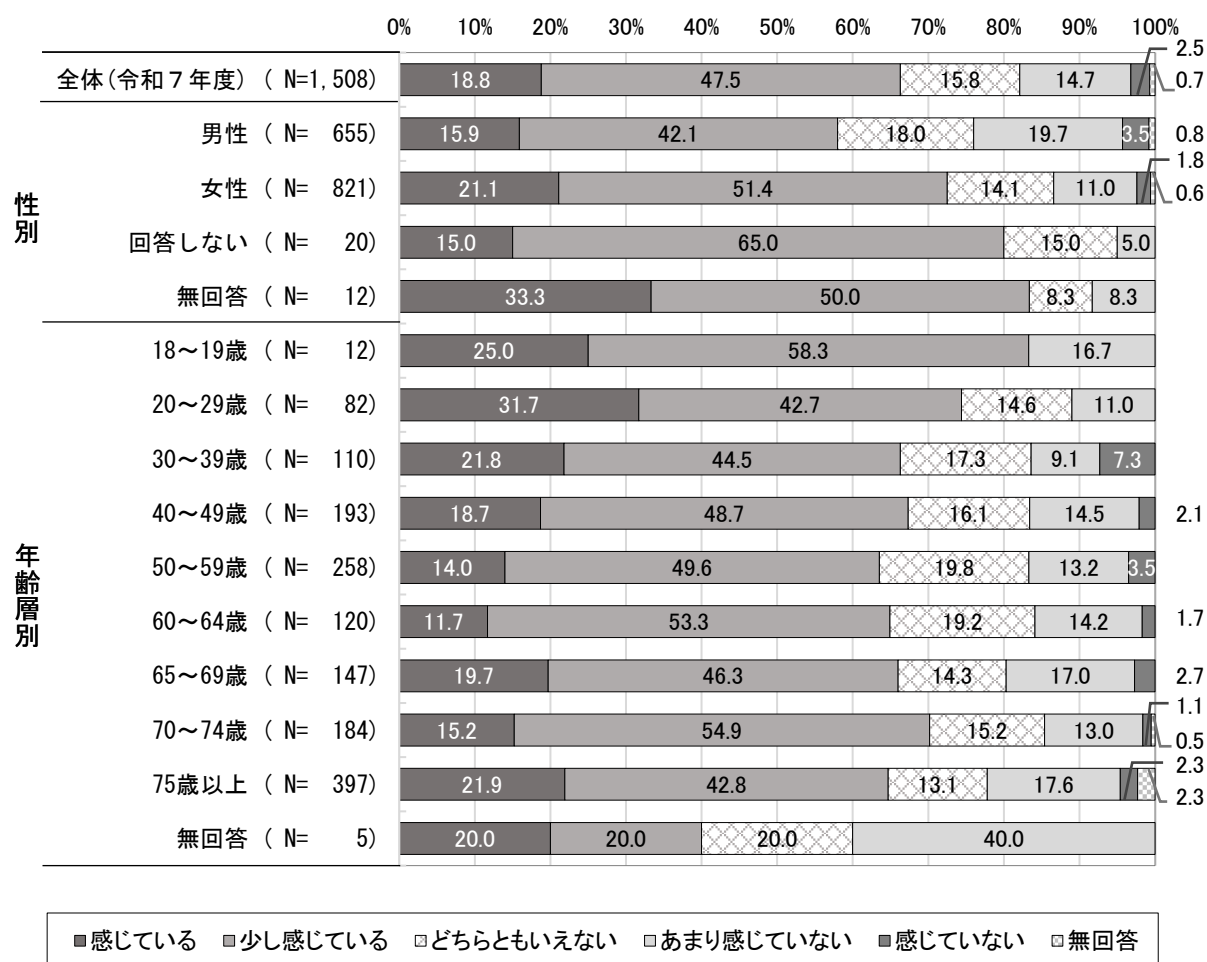
問4 あなたは、災害や犯罪に対して不安を感じていますか。(○は1つ)

災害や犯罪への不安感について、全体では「感じている」が18.8%、「少し感じている」が47.5%で、合わせて66.3%が感じていると回答している。

性別にみると、「感じている」と「少し感じている」を合わせた割合は、男性が58.0%、女性が72.5%で、女性が14.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「感じている」と「少し感じている」を合わせた割合は、18～19歳が83.3%と最も高く、次いで20～29歳が74.4%となっている。一方、75歳以上は64.7%と最も低くなっている。

【災害、犯罪への不安感】(性別、年齢層別)



5 地域住民同士の助け合い

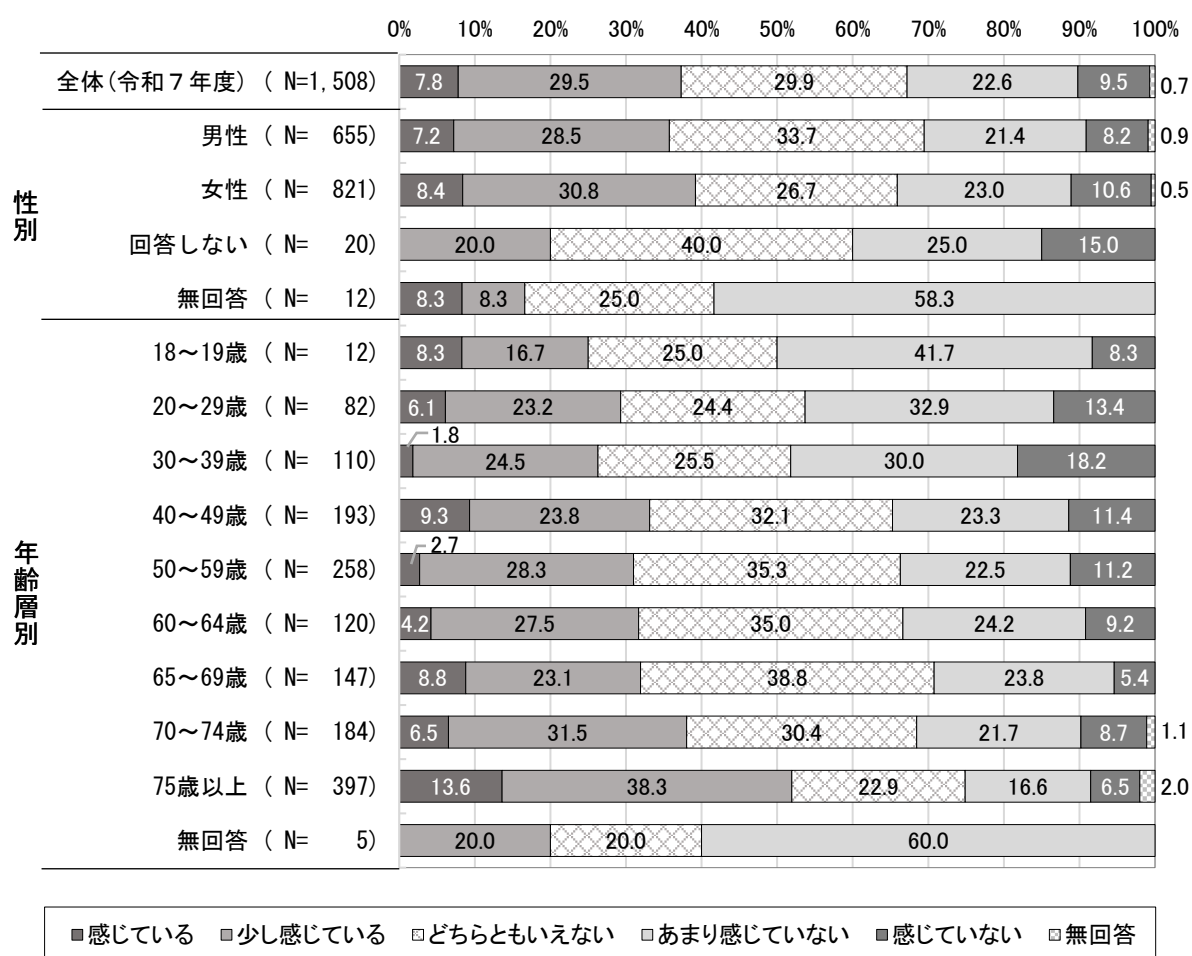
問5 あなたは、あなたを含めた身近な地域の住民が、お互いに助け合いながら暮らしていると感じていますか。(○は1つ)

身近な地域の住民が、お互いに助け合いながら暮らしていると感じているかについて、全体では「感じている」が7.8%、「少し感じている」が29.5%で、合わせて37.3%が感じていると回答している。

性別にみると、「感じている」と「少し感じている」を合わせた割合は、男性が35.7%、女性が39.2%で、女性が3.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「感じている」と「少し感じている」を合わせた割合は、75歳以上が51.9%と最も高く、次いで70～74歳が38.0%となっている。一方、18～19歳は25.0%と最も低くなっている。

【地域住民同士の助け合い】(性別、年齢層別)



6 だれもが地域社会の中で一緒に生活するという考え方

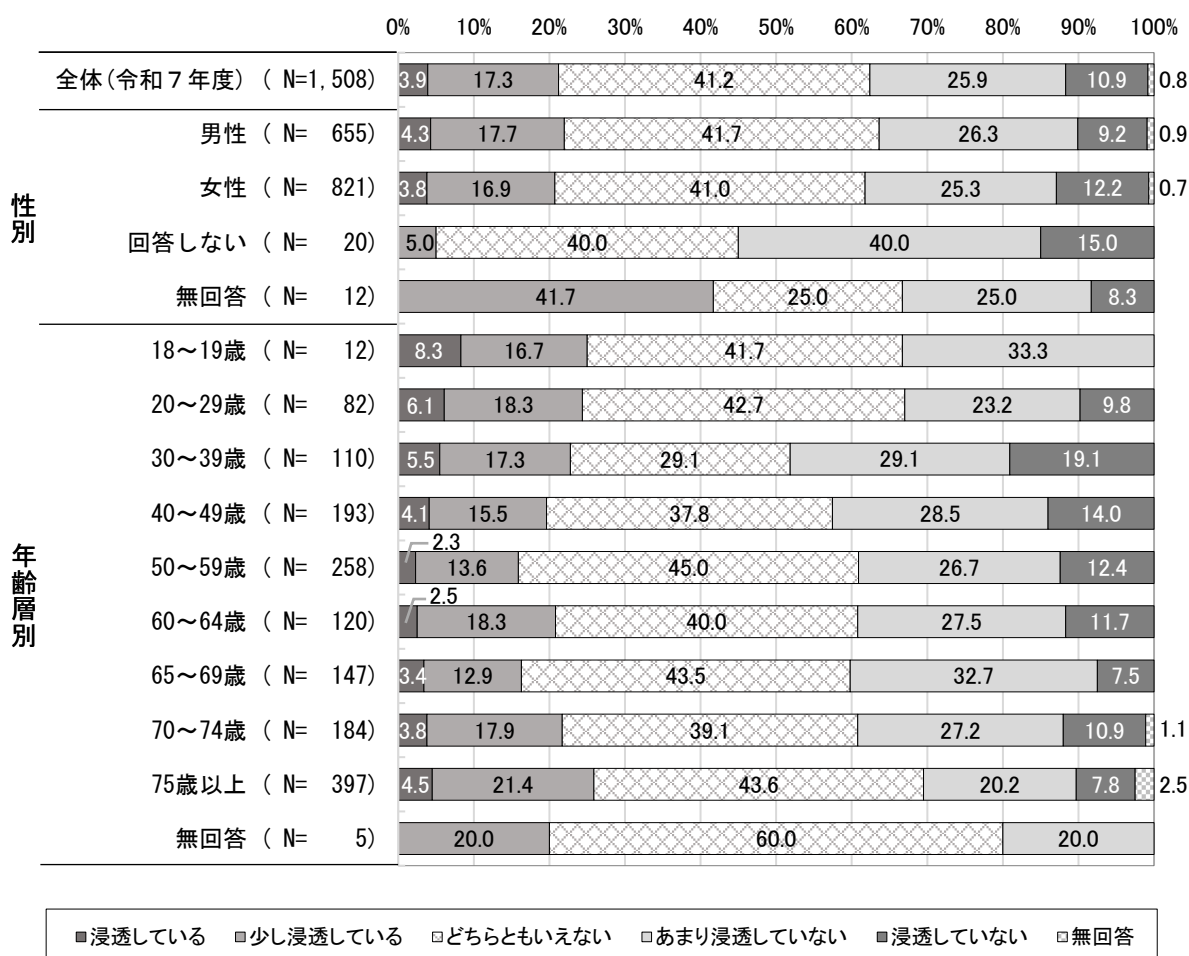
問6 あなたは、あなたの身の回りで、障害などの有無にかかわらず、だれもが地域社会の中で一緒に生活するという考え方が浸透していると思いますか。(○は1つ)

だれもが地域社会の中で一緒に生活するという考え方が浸透しているかについて、全体では、「どちらともいえない」が41.2%と最も高くなっている。「浸透していない」の10.9%と「あまり浸透していない」の25.9%を合わせると36.8%で、「浸透している」の3.9%と「少し浸透している」の17.3%を合わせた21.2%を、15.6ポイント上回っている。

性別にみると、「浸透していない」と「あまり浸透していない」を合わせた割合は、男性が35.5%、女性が37.5%と、女性の方が2.0ポイント高くなっている。一方、「浸透している」と「少し浸透している」を合わせた割合は、男性が22.0%、女性が20.7%と、女性の方が1.3ポイント低くなっている。

年齢層別にみると、すべての年齢層で「浸透している」と「少し浸透している」を合わせた割合が、「浸透していない」と「あまり浸透していない」を合わせた割合より低くなっている。

【だれもが地域社会の中で一緒に生活するという考え方】(性別、年齢層別)



Ⅱ-6 子どもたちの健やかな成長について

1 子どもたちの健やかな成長

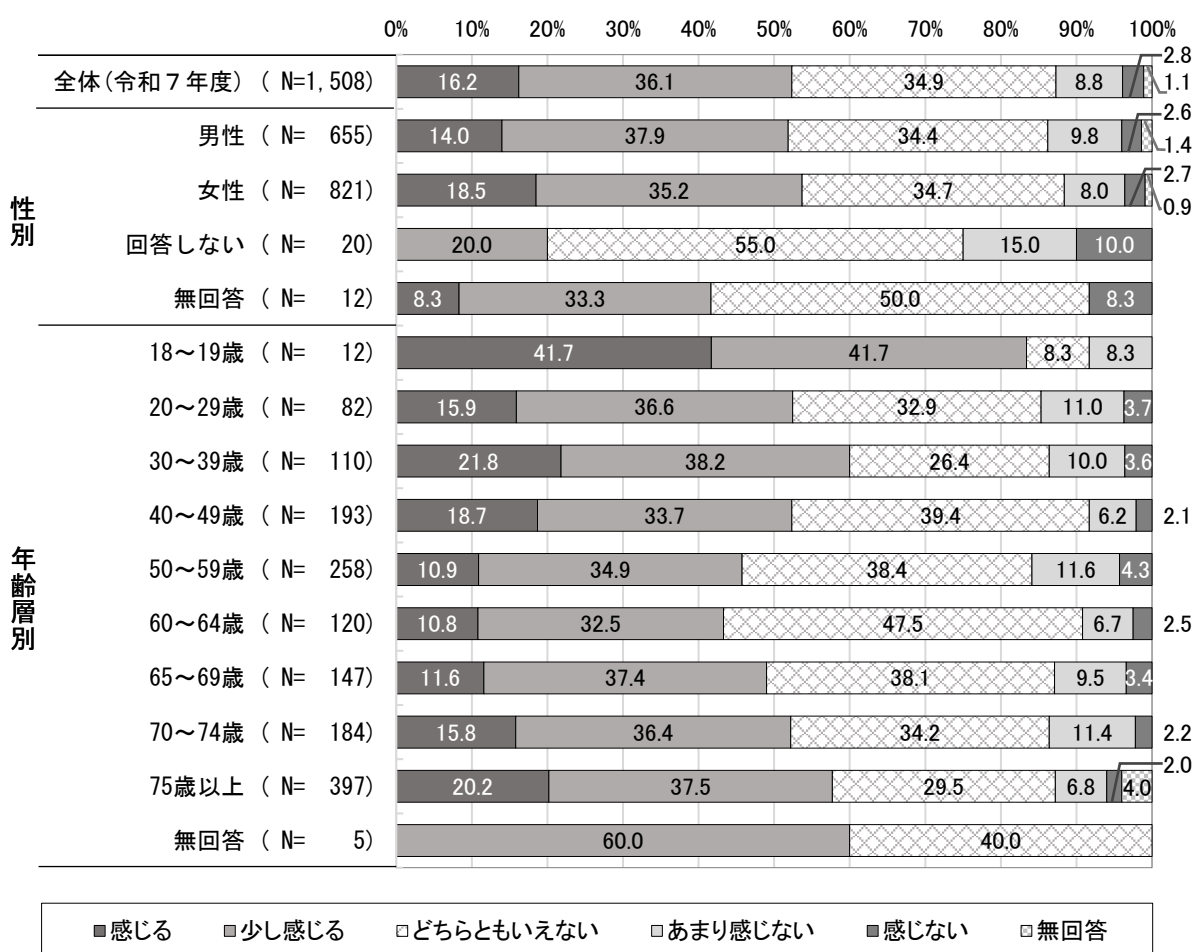
問1 あなたは、あなたの身の回りにいる子どもたちが、健やかに成長していると感じますか。
(○は1つ)

身の回りにいる子どもたちが健やかに成長していると感じるかどうかにについて、全体では、「感じる」が16.2%、「少し感じる」が36.1%で、合わせて52.3%が感じるという回答している。

性別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせて男性が51.9%、女性が53.7%で、女性が1.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、全ての年齢層で、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合が、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた割合より高くなっている。

【子どもたちの健やかな成長】(性別、年齢層別)



2 「ヤングケアラー」に当たると思われる子どもたちについて

問2 あなたは、あなたの身の回りにいる子どもたちで「ヤングケアラー」に当たると思われる子どもを見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

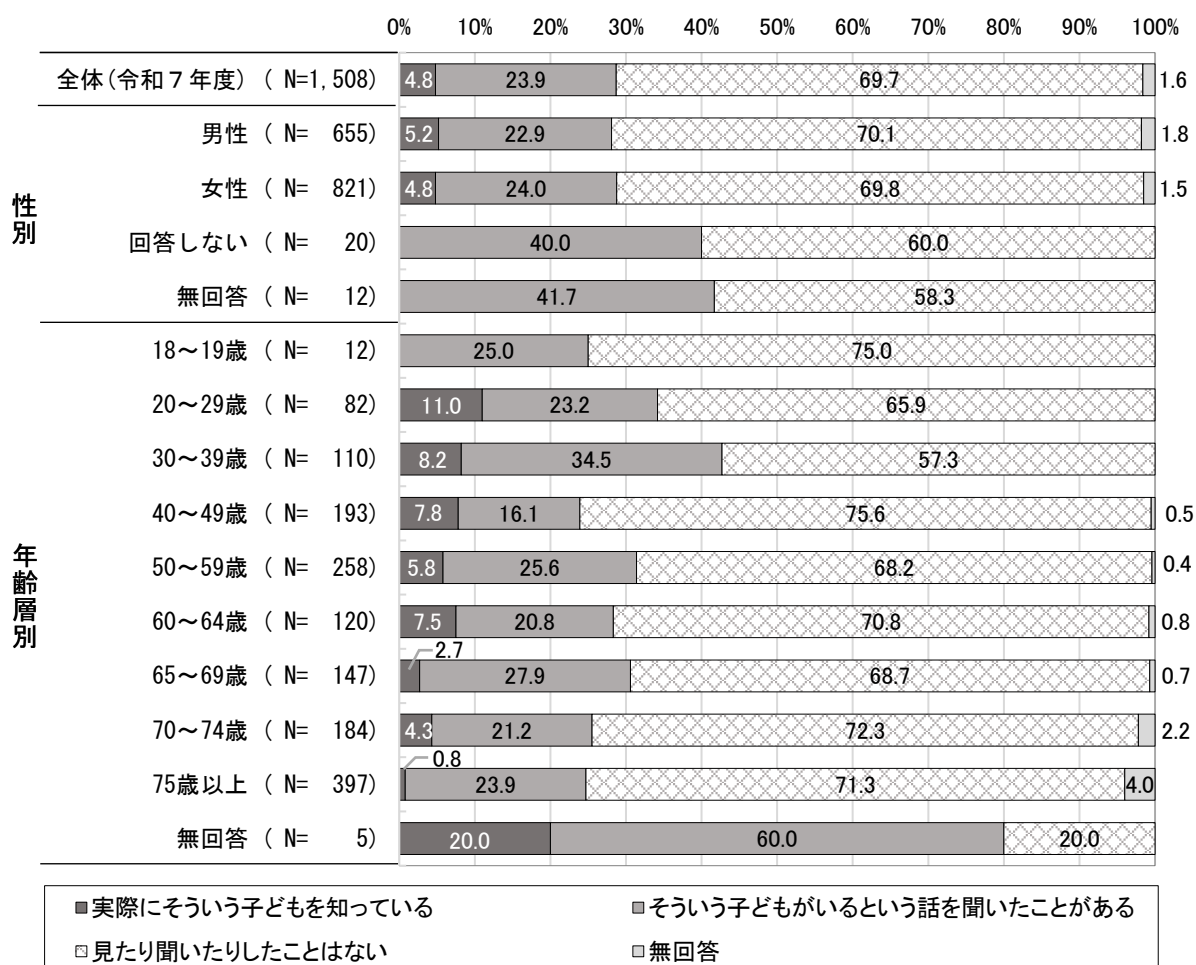
※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。

身の回りにいる子どもたちで「ヤングケアラー」に当たると思われる子どもを見たり聞いたりしたことがあるかどうかについて、全体では、「実際にそういう子どもを知っている」が4.8%、「そういう子どもがいるという話を聞いたことがある」が23.9%で、合わせて28.7%が見たり聞いたりしたことがあると回答している。

性別にみると、「実際にそういう子どもを知っている」と「そういう子どもがいるという話を聞いたことがある」を合わせて男性が28.1%、女性が28.8%で、女性が0.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、30～39歳で、「実際にそういう子どもを知っている」又は「そういう子どもがいるという話を聞いたことがある」の割合が42.7%と最も高くなっている。

【「ヤングケアラー」に当たると思われる子どもたちについて】(性別、年齢層別)



3 子どもたちが健やかに育つための、地域、学校、家庭の連携

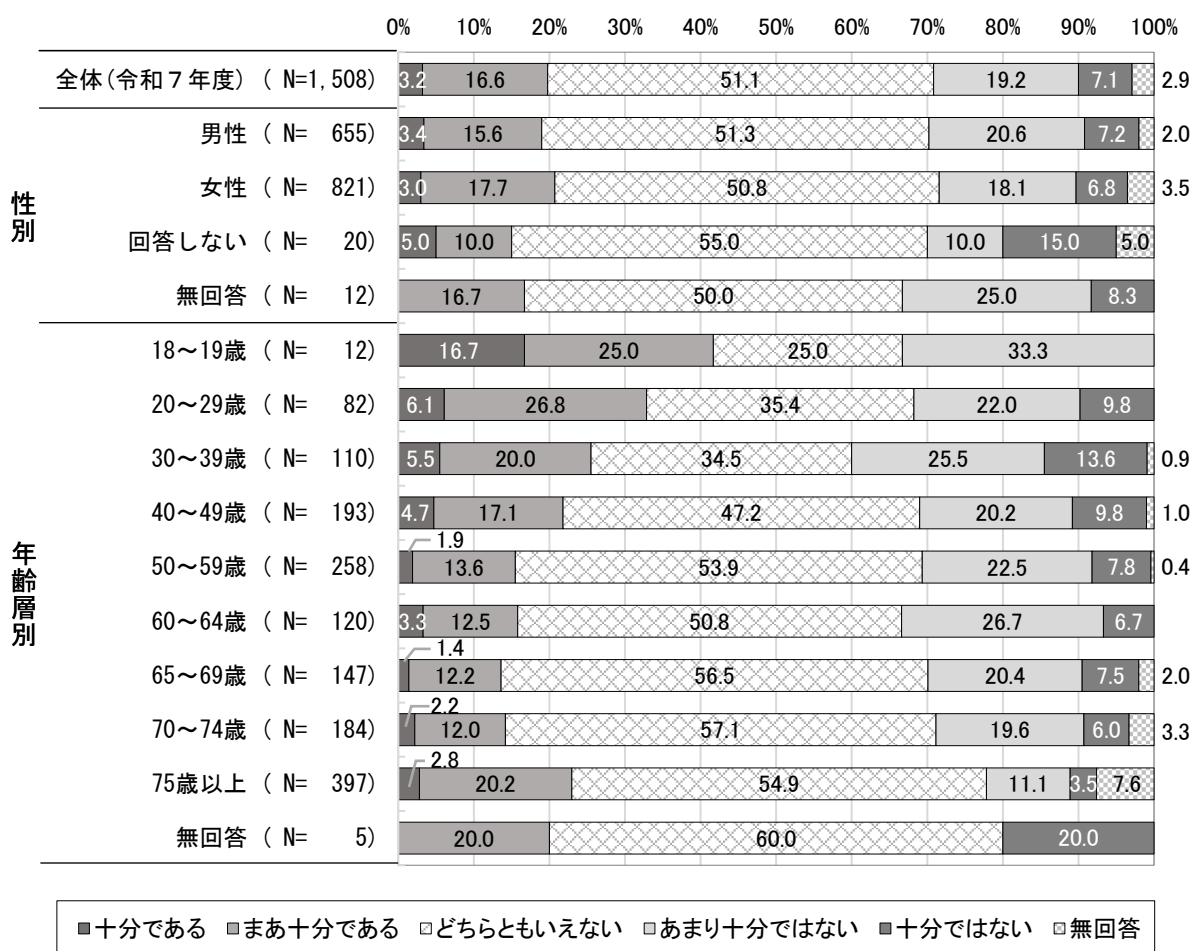
問3 あなたは、子どもたちが健やかに育つために、あなたの地域と、学校、家庭の連携が十分だと思いますか。(○は1つ)

子どもたちが健やかに育つために、地域、学校、家庭の連携が十分だと思うかについて、全体では、「どちらともいえない」が51.1%と最も高くなっている。「十分である」の3.2%と「まあ十分である」の16.6%を合わせると19.8%で、「十分ではない」の7.1%と「あまり十分ではない」の19.2%を合わせた26.3%を6.5ポイント下回っている。

性別にみると、「十分である」と「まあ十分である」を合わせた割合は、男性が19.0%、女性が20.7%で、女性の方が1.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、20～29歳、75歳以上では、「十分である」と「まあ十分である」を合わせた割合の方が高く、その他の年齢層では「十分ではない」と「あまり十分ではない」を合わせた割合の方が高くなっている。

【子どもたちが健やかに育つための、地域、学校、家庭の連携】(性別、年齢層別)



4 子どもたちの教育環境の充実度

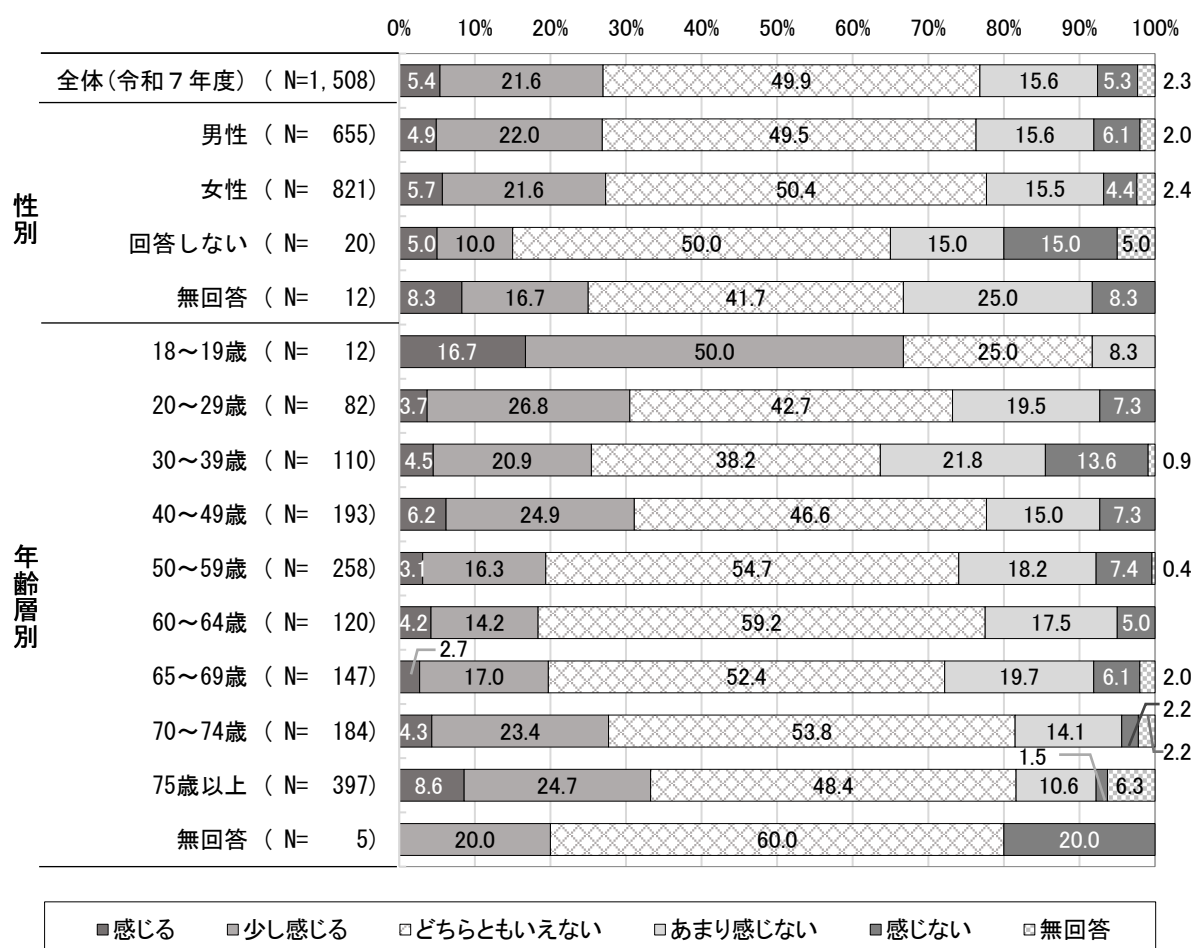
問4 あなたは、子どもたちの教育環境が充実していると感じますか。(○は1つ)

子どもたちの教育環境が充実していると感じるかどうかについて、全体では、「どちらともいえない」が49.9%と最も高くなっている。「感じる」の5.4%と「少し感じる」の21.6%を合わせると27.0%で、「感じない」の5.3%と「あまり感じない」の15.6%を合わせた20.9%を6.1ポイント上回っている。

性別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は、男性が26.9%、女性が27.3%で、女性が0.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は、18～19歳が66.7%と最も高くなっている。一方、60～64歳が18.4%と最も低くなっている。

【子どもたちの教育環境の充実度】(性別、年齢層別)



Ⅱ-7 社会環境と個人の生活について

1 「ワーク・ライフ・バランス」の実現

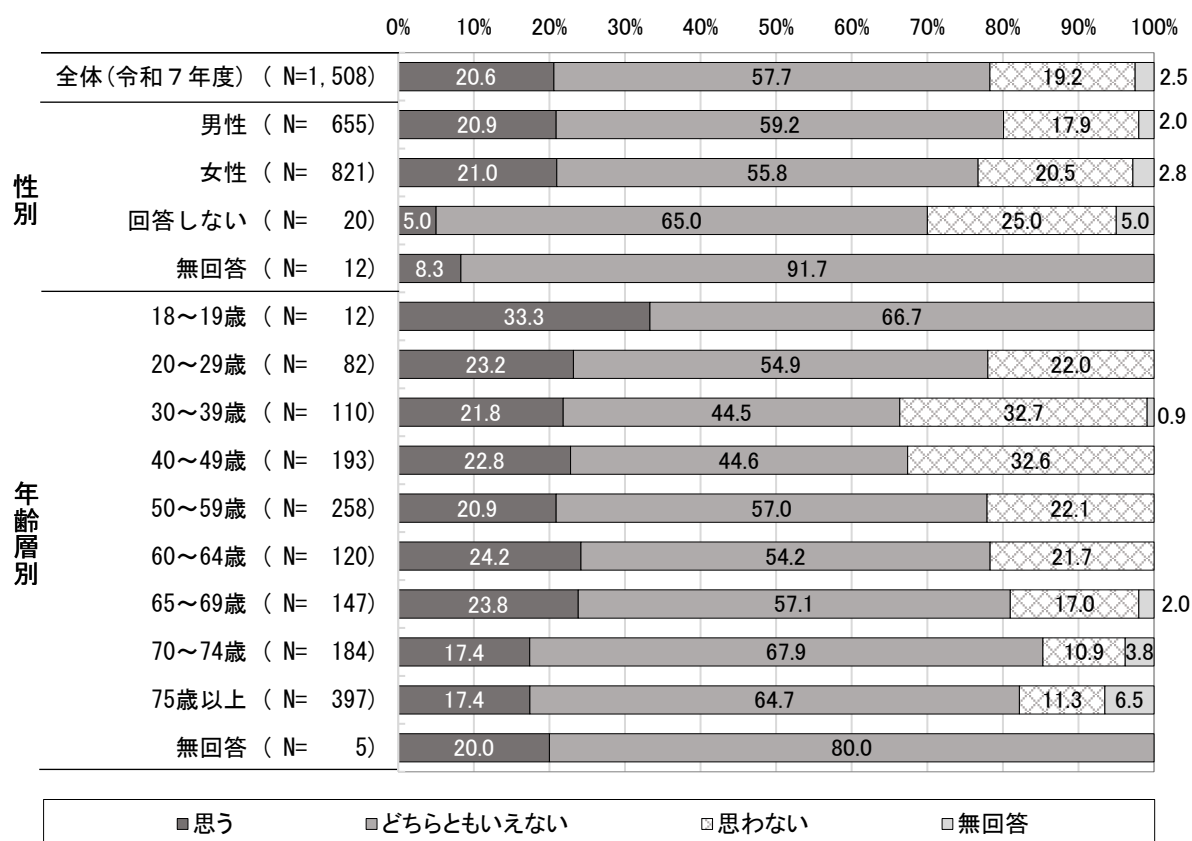
問1 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていると思いますか。(○は1つ)
 ※「ワーク・ライフ・バランス」とは仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、
 様々な活動について、自分が希望するバランスで行うことができている状態をいいます。

「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると思うかについて、全体では、「どちらともいえない」が57.7%と最も高くなっている。「実現できていると思う」が20.6%、「実現できていないと思う」が19.2%で、「実現できていると思う」割合の方が0.6ポイント上回っている。

性別にみると、「実現できていると思う」割合は、男性が20.9%、女性が21.0%で、ほぼ同じになっている。

年齢層別にみると、「実現できていると思う」は、18～19歳が33.3%と最も高く、次いで60～64歳が24.2%となっている。また、30～39歳、40～49歳、50～59歳で「実現できていないと思う」割合の方が高くなっている。

【「ワーク・ライフ・バランス」の実現】(性別、年齢層別)



2 「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由

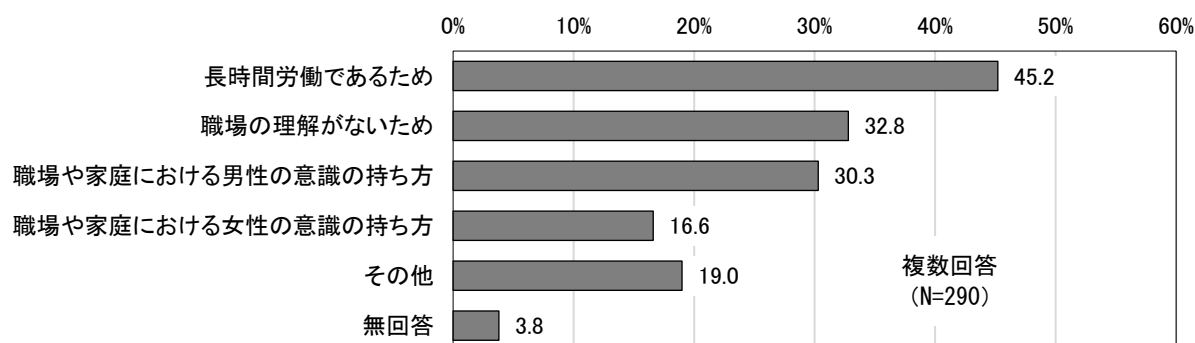
問2 問1で「3. 思わない」と回答した方のみにおたずねします。「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由は何だと思いませんか。(○は3つまで)

「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由について、全体では、「長時間労働であるため」が45.2%と最も高く、次いで「職場の理解がないため」が32.8%となっている。

性別にみると、男性、女性とも「長時間労働であるため」の割合が最も高くなっており、男性が54.7%、女性が37.5%で、男性が17.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上を除く年齢層で「長時間労働であるため」が最も高くなっている。

【「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由】



【「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由（複数回答）】（性別、年齢層別）

		長時間労働であるため	職場の理解がないため	職場や家庭における男性の意識の持ち方	職場や家庭における女性の意識の持ち方	その他	無回答
全体 (N= 290)		45.2	32.8	30.3	16.6	19.0	3.8
性別	男性 (N= 117)	54.7	41.9	23.9	10.3	12.8	5.1
	女性 (N= 168)	37.5	26.8	35.1	21.4	23.2	3.0
	回答しない (N= 5)	80.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	無回答 (N= 0)	-	-	-	-	-	-
年齢層別	18～19歳 (N= 0)	-	-	-	-	-	-
	20～29歳 (N= 18)	61.1	27.8	16.7	16.7	22.2	0.0
	30～39歳 (N= 36)	47.2	41.7	33.3	22.2	11.1	5.6
	40～49歳 (N= 63)	52.4	25.4	27.0	12.7	22.2	0.0
	50～59歳 (N= 57)	56.1	31.6	21.1	12.3	19.3	1.8
	60～64歳 (N= 26)	50.0	42.3	38.5	11.5	11.5	0.0
	65～69歳 (N= 25)	40.0	56.0	32.0	24.0	24.0	0.0
	70～74歳 (N= 20)	20.0	35.0	40.0	25.0	15.0	10.0
	75歳以上 (N= 45)	24.4	20.0	40.0	17.8	22.2	13.3
	無回答 (N= 0)	-	-	-	-	-	-

各項目の中で最も高い割合
 各項目の中で2番目に高い割合
 各項目の中で3番目に高い割合
 ※「無回答」項目を除く

3 男女共同参画社会の形成について

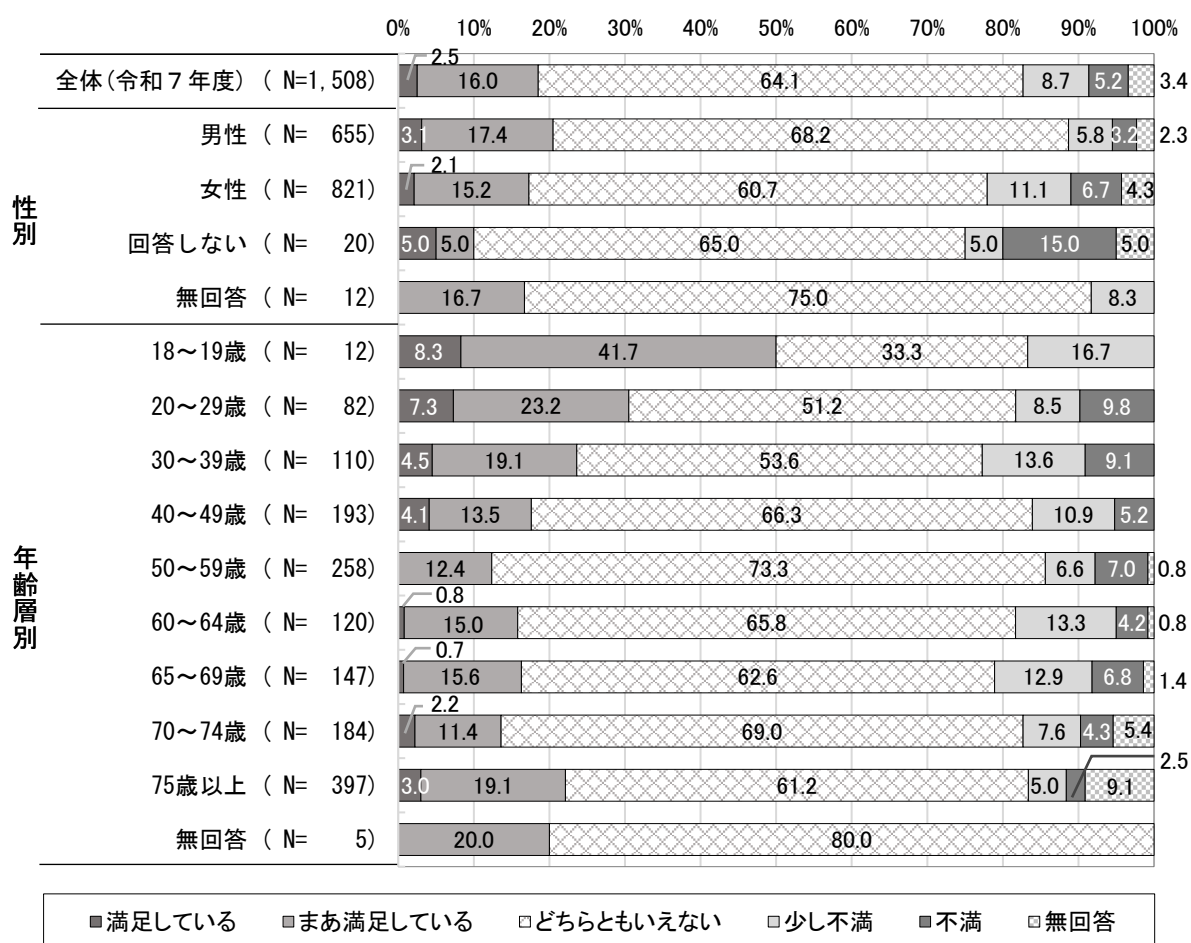
問3 あなたは、旭川市における「男女共同参画社会の形成」（女性の活躍や男性の家庭参画）について、現在どのくらい満足していますか。（○は1つ）

男女共同参画社会の形成について、全体では、「どちらともいえない」が64.1%と最も高く、「満足している」の2.5%と「まあ満足している」の16.0%を合わせると18.5%で、「不満」の5.2%と「少し不満」の8.7%を合わせた13.9%を4.6ポイント上回っている。

性別にみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、男性が20.5%、女性が17.3%で、男性が3.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、18～19歳が50.0%と最も高くなっている。一方、50～59歳、60～64歳、65～69歳では「不満」と「少し不満」を合わせた割合の方が高くなっている。

【男女共同参画社会の形成について】（性別、年齢層別）



Ⅱ-8 環境に対する意識や取組について

1 ごみの減量化や省エネなど、環境に配慮した行動

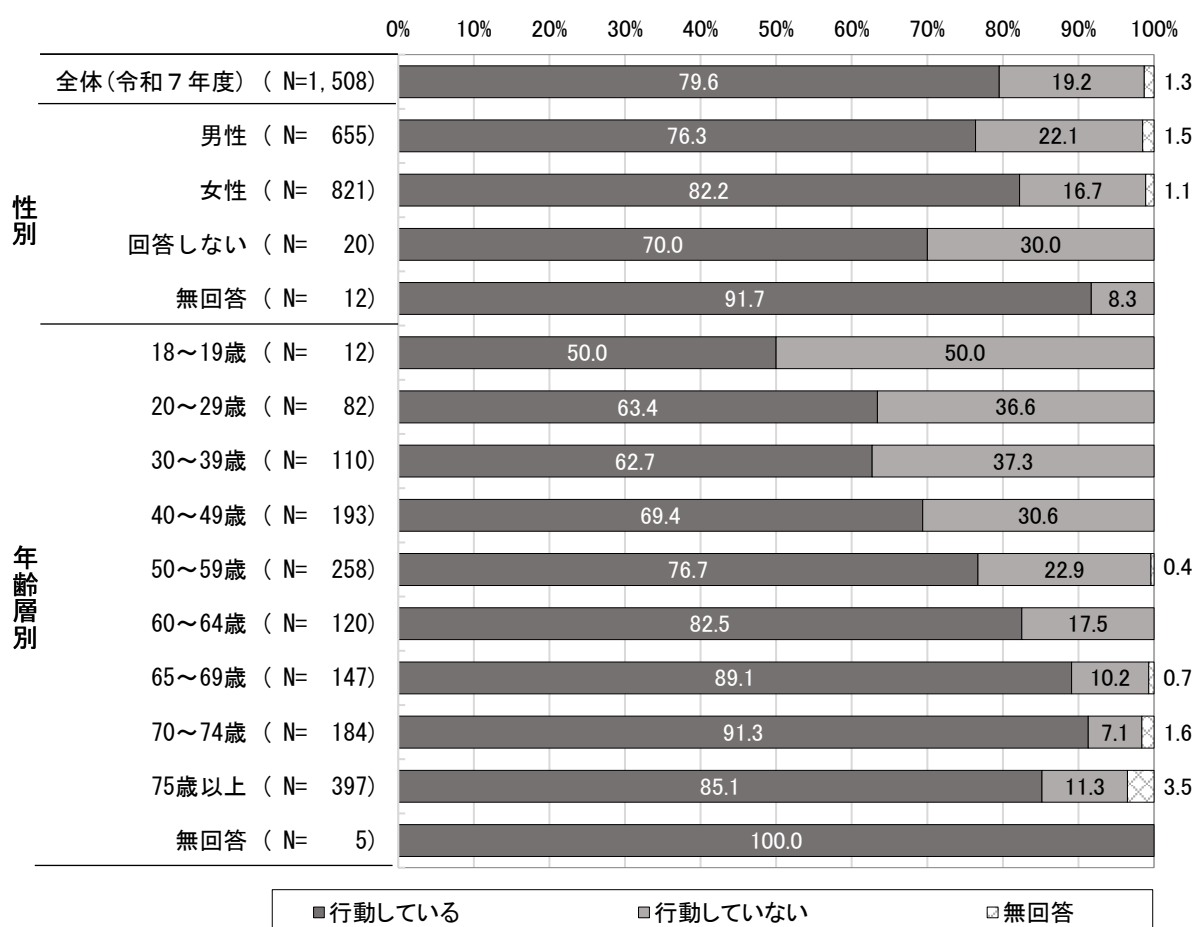
問1 あなたは、ふだんの生活から、ごみの減量化や省エネなど、環境に配慮した行動をしていますか。(○は1つ)

環境に配慮した行動について、全体では、「行動している」が79.6%で、多くの人がふだんから行動していると回答している。

性別にみると、「行動している」割合は、男性が76.3%、女性が82.2%で、女性が5.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「行動している」の割合は、年齢とともに高くなっていく傾向がある。特に70～74歳では91.3%と最も高くなっている。

【ごみの減量化や省エネなど、環境に配慮した行動】(性別、年齢層別)



2 環境に配慮した具体的な行動

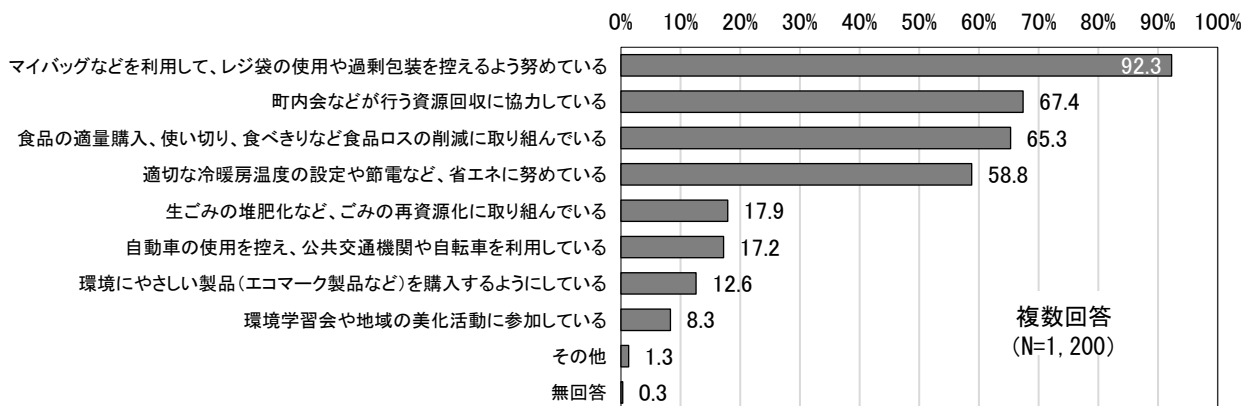
問2 問1で「1. 行動している」と回答した方のみにおたずねします。どのような行動をしていますか。（〇はいくつでも）

ふだんから行っている環境に配慮した行動として、全体では、「マイバッグなどを利用して、レジ袋の削減や過剰包装を抑えるよう努めている」が92.3%と最も高くなっている。次いで「町内会などが行う資源回収に協力している」が67.4%、「食品の適量購入、使い切り、食べきりなど食品ロスの削減に取り組んでいる」が65.3%となっている。

性別にみると、男性、女性とも「マイバッグなどを利用して、レジ袋の削減や過剰包装を抑えるよう努めている」の割合が最も高くなっており、男性が88.0%、女性が95.7%で、女性が7.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、全ての年齢層で「マイバッグなどを利用して、レジ袋の削減や過剰包装を抑えるよう努めている」の割合が最も高くなっている。

【環境に配慮した具体的な行動】



【環境に配慮した具体的な行動（複数回答）】（性別、年齢層別）

		マイバッグなど を利用して、レ ジ袋の使用や 過剰包装を抑 えるよう努め ている	町内会などが 行う資源回収 に協力している	食品の適量購 入、使い切り、 食べきりなど 食品ロスの削 減に取り組ん でいる	適切な冷暖房 温度の設定や 節電など、省 エネに努めて いる	生ごみの堆肥 化など、ごみ の再資源化に 取り組んでい る	自動車の使用 を抑え、公共 交通機関や自 転車を利用し ている	環境にやさし い製品(エコマ ーク製品など) を購入するよう にしている	環境学習会や 地域の美化活 動に参加して いる	その他	無回答
性別	全体 (N= 1,200)	92.3	67.4	65.3	58.8	17.9	17.2	12.6	8.3	1.3	0.3
	男性 (N= 500)	88.0	71.0	60.8	53.2	17.2	16.0	9.0	10.2	1.6	0.2
	女性 (N= 675)	95.7	65.2	69.0	63.3	18.1	17.8	15.0	6.7	1.0	0.1
	回答しない (N= 14)	100.0	35.7	57.1	50.0	14.3	35.7	14.3	14.3	0.0	0.0
	無回答 (N= 11)	72.7	81.8	54.5	45.5	45.5	9.1	27.3	18.2	0.0	9.1
年齢層別	18～19歳 (N= 6)	83.3	16.7	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 (N= 52)	88.5	17.3	63.5	57.7	5.8	21.2	17.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (N= 69)	97.1	37.7	73.9	44.9	4.3	8.7	7.2	4.3	1.4	0.0
	40～49歳 (N= 134)	93.3	47.0	66.4	49.3	11.2	10.4	6.0	3.0	0.7	0.0
	50～59歳 (N= 198)	94.9	66.2	72.7	59.6	10.1	14.1	12.1	5.6	0.5	0.0
	60～64歳 (N= 99)	93.9	69.7	60.6	53.5	19.2	15.2	8.1	6.1	3.0	0.0
	65～69歳 (N= 131)	91.6	71.8	65.6	61.1	21.4	12.2	17.6	11.5	3.1	0.0
	70～74歳 (N= 168)	92.3	83.3	63.1	63.7	22.0	17.9	14.3	12.5	0.6	0.6
	75歳以上 (N= 338)	90.2	80.5	62.1	63.6	26.0	24.0	14.5	11.5	1.2	0.6
	無回答 (N= 5)	80.0	80.0	60.0	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0

- 各項目の中で最も高い割合
 - 各項目の中で2番目に高い割合
 - 各項目の中で3番目に高い割合
- ※「無回答」項目を除く

Ⅱ-9 災害時や緊急時への備えについて

1 「避難場所」や「避難所」の認知状況

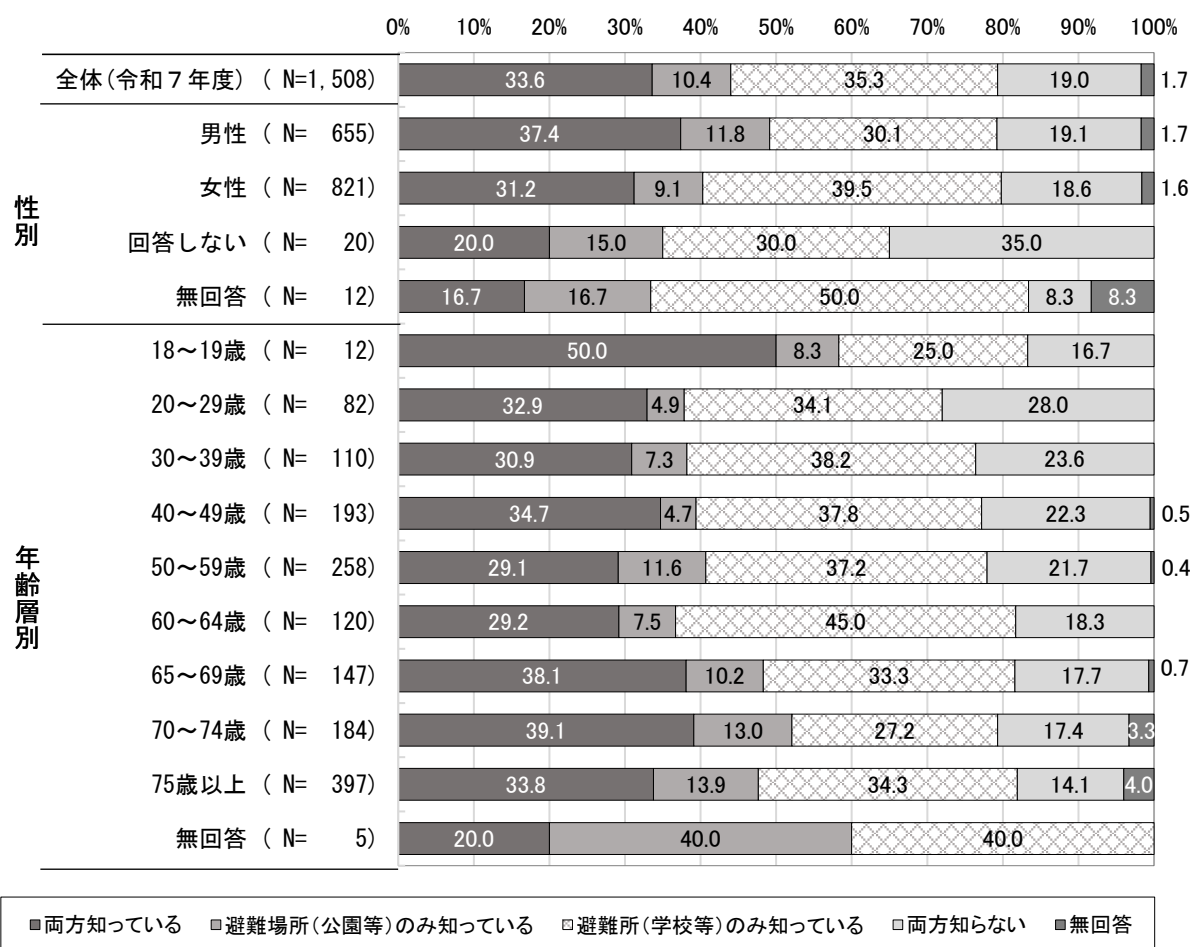
問1 災害に備え、一時的な「避難場所」に公園を、冬季など屋外避難が不可能なときや家屋が被災したときの「避難所」に学校などが指定されていますが、あなたは避難場所や避難所がどこにあるかを知っていますか。(○は1つ)

「避難場所」や「避難所」の認知状況について、全体では、「避難所（学校等）のみ知っている」が35.3%で最も高く、「両方知っている」が33.6%、「避難場所（公園等）のみ知っている」が19.0%、「両方知らない」が10.4%となっている。

性別にみると、「両方知っている」は男性が37.4%、女性が31.2%で男性が6.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「両方知っている」の割合が最も高いのは18～19歳の50.0%で、「両方知らない」の割合が最も高いのは20～29歳で34.1%となっている。

【「避難場所」や「避難所」の認知状況】（性別、年齢層別）



2 災害に備えた備蓄状況

問2 災害に備え、食料品や生活必需品を備蓄していますか。項目ごとにあてはまる番号（数字1～4）に○を1つ付けてください。

（1）項目別分析

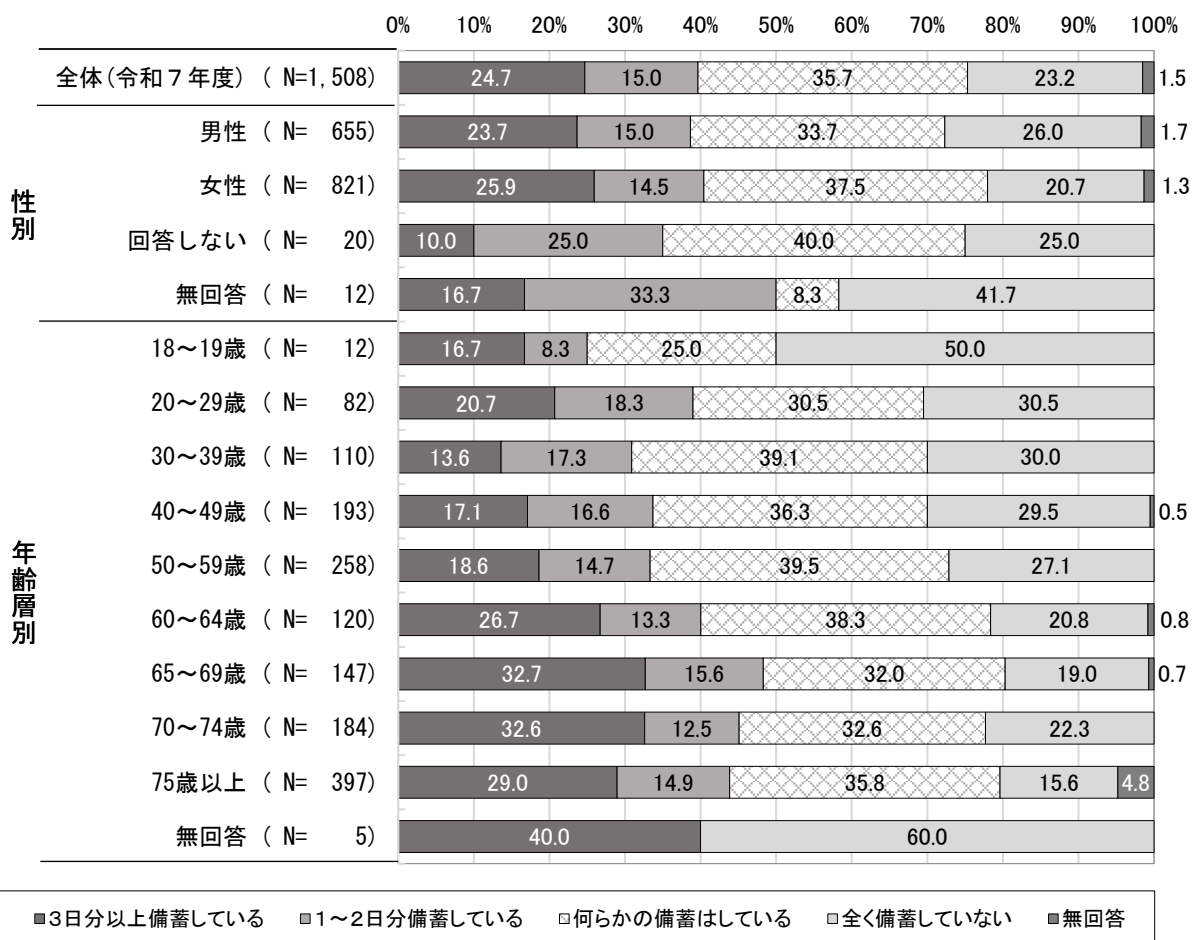
（1）食料品について

食料品について、全体では「何らかの備蓄はしている」が35.7%と最も高く、次いで「3日以上備蓄している」が24.7%となっている。

性別にみると「3日以上備蓄している」と「1～2日分備蓄している」を合わせた割合は、男性が38.7%、女性が40.4%で、女性が1.7ポイント上回っている。

年齢層別にみると、「3日以上備蓄している」と「1～2日分備蓄している」を合わせた割合は、60歳以上の年齢層で40%以上となっている。一方、18～19歳が25.0%と最も低くなっている。

【食料品について】（性別、年齢層別）



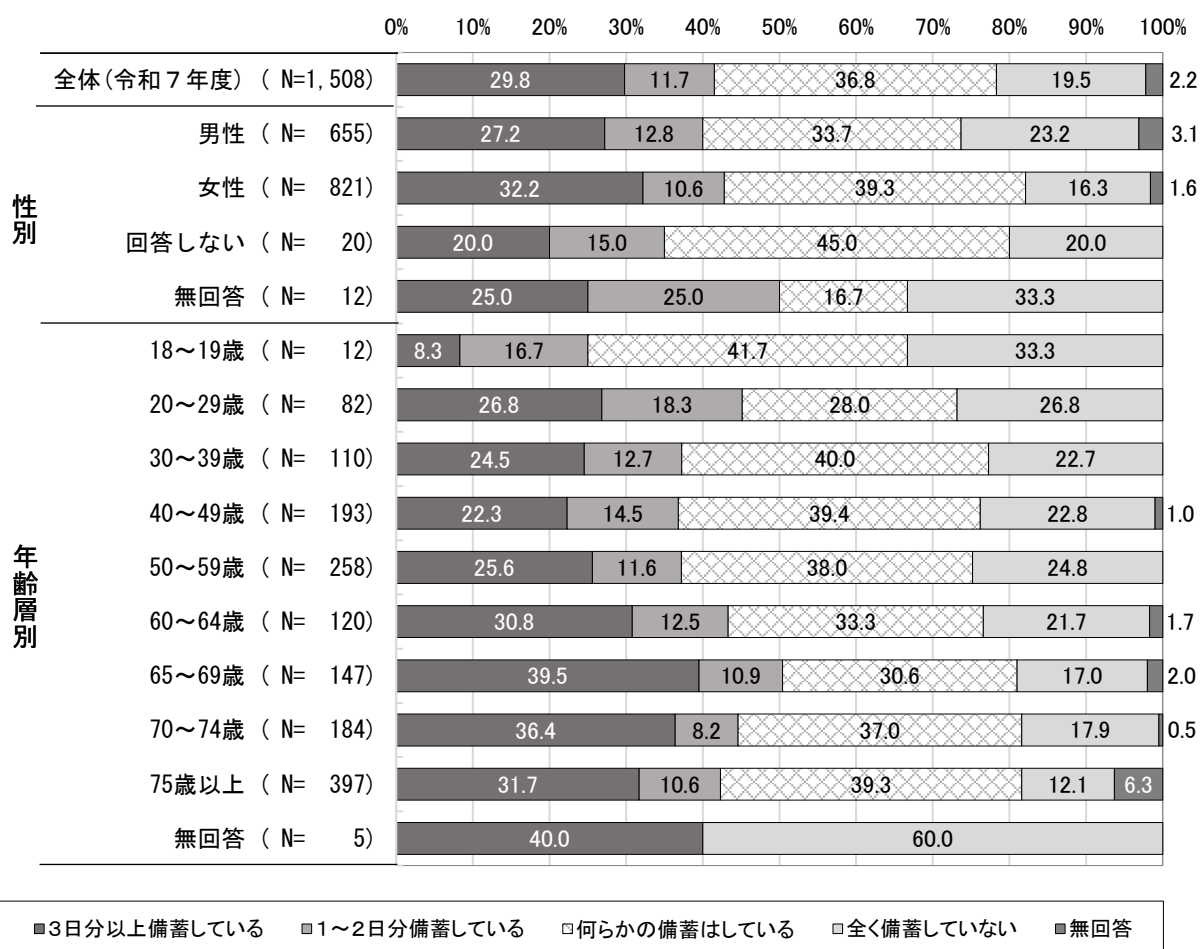
(2) 生活必需品について

生活必需品について、全体では、「何らかの備蓄はしている」が、36.8%と最も高く、次いで「3日以上備蓄している」が29.8%となっている。

性別にみると、「3日以上備蓄している」と「1～2日分備蓄している」を合わせた割合は、男性が40.0%、女性が42.8%で、女性が2.8ポイント上回っている。

年齢層別にみると、「3日以上備蓄している」と「1～2日分備蓄している」を合わせた割合が最も高いのは65～69歳で50.4%となっている。一方、18～19歳が25.0%と最も低くなっている。

【生活必需品について】（性別、年齢層別）



Ⅱ-10 旭川市役所の印象と市政情報の提供について

1 市役所の印象

問1 あなたは、市役所に対してどのような印象を持っていますか。項目ごとにあてはまる番号（数字1～6）に○を1つ付けてください。

（1）項目別分析

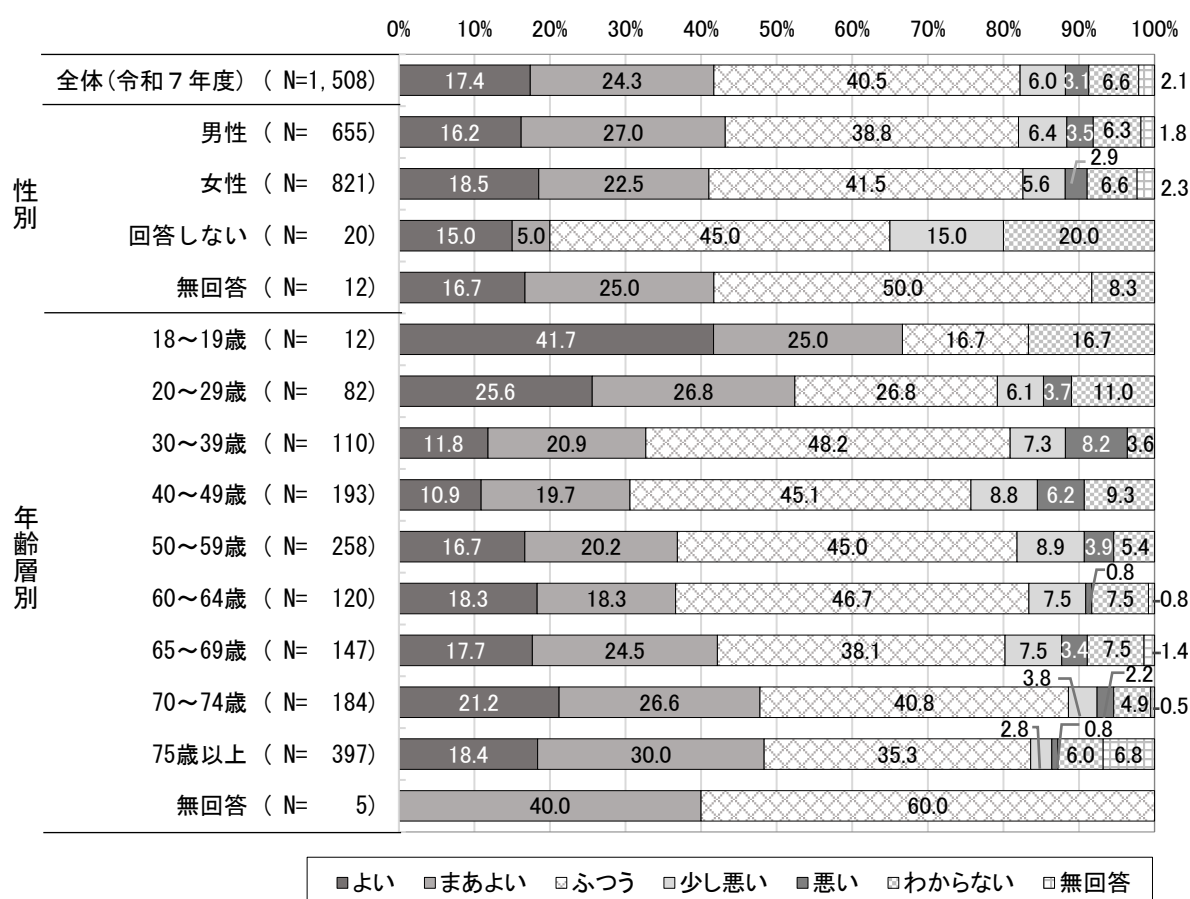
（1）訪れた職場全体の雰囲気（挨拶、態度など）

市役所を訪れた時の職場全体の雰囲気について、全体では、「ふつう」が40.5%と最も高く、「よい」の17.4%と「まあよい」の24.3%を合わせた「良い方」は41.7%、「悪い」の3.1%と「少し悪い」の6.6%を合わせた「悪い方」は9.7%となっており、「良い方」が「悪い方」を32.6ポイント上回っている。

性別にみると、男性、女性ともに「良い方」が「悪い方」を上回っており、「良い方」では男性が43.2%、女性が41.0%で、男性が2.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳で「良い方」が66.7%と最も高く、次いで20～29歳が52.4%となっている。一方、40～49歳では30.6%と最も低くなっている。

【訪れた職場全体の雰囲気（挨拶、態度など）】（性別、年齢層別）



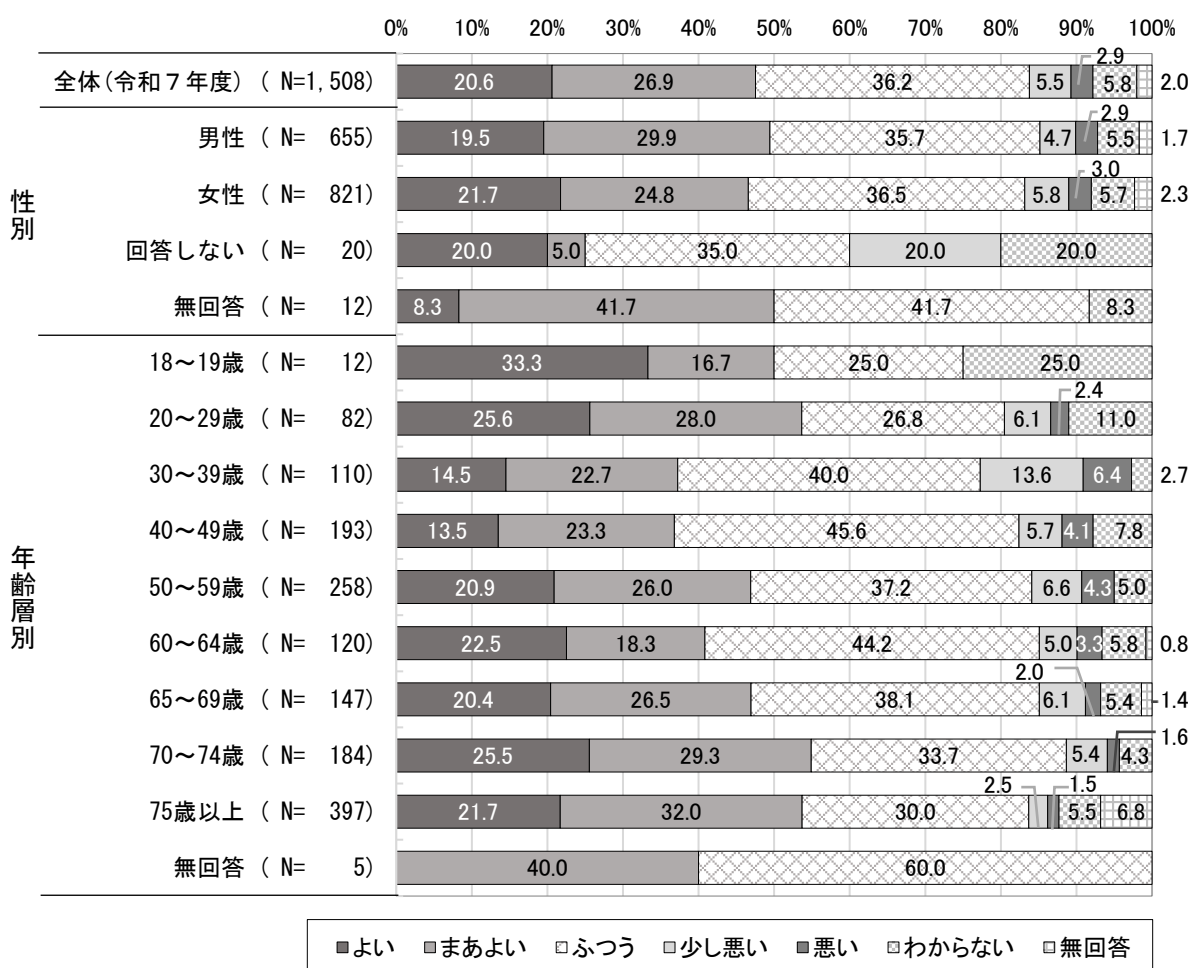
(2) 応対した職員の感じ

応対した職員の感じについて、全体では、「ふつう」が36.2%と最も高く、「よい」の20.6%と「まあよい」の26.9%を合わせた「良い方」は47.5%、「悪い」の2.9%と「少し悪い」の5.5%を合わせた「悪い方」は8.4%となっており、「良い方」が「悪い方」を39.1ポイント上回っている。

性別にみると、「良い方」は男性が49.4%、女性が46.5%で、男性が2.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、70～74歳以上で「良い方」が54.8%と最も高く、次いで75歳以上の53.7%、20～29歳の53.6%となっている。一方、40～49歳では36.8%と最も低くなっている。

【応対した職員の感じ】（性別、年齢層別）



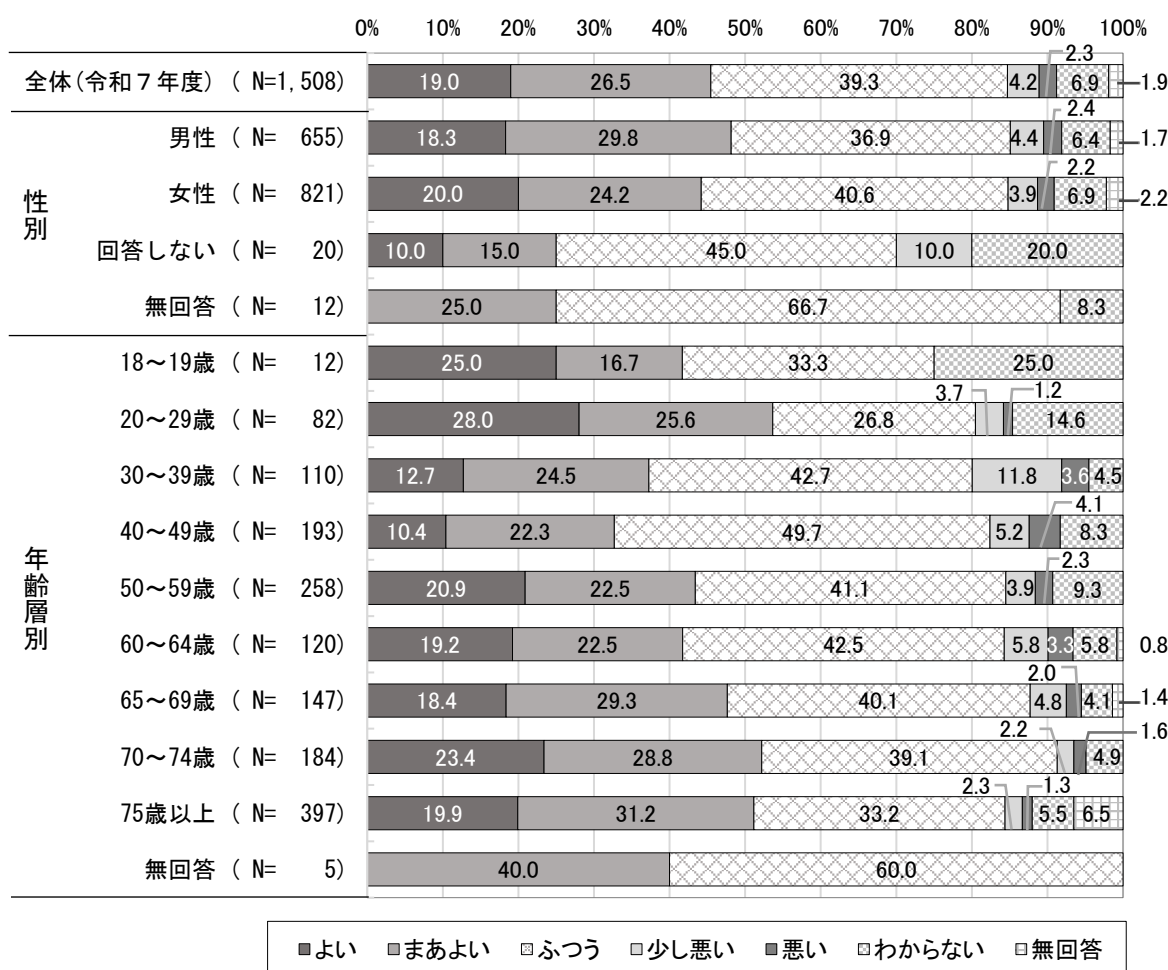
(3) 市役所の窓口サービス

市役所の窓口サービスについて、全体では、「ふつう」が39.3%と最も高く、「よい」の19.0%と「まあよい」の26.5%を合わせた「良い方」は45.5%、「悪い」の2.3%と「少し悪い」の4.2%を合わせた「悪い方」は6.5%となっており、「良い方」が「悪い方」を39.0ポイント上回っている。

性別にみると、男性、女性ともに「良い方」が「悪い方」を上回っており、「良い方」は男性が48.1%、女性が44.2%で、男性が3.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、20～29歳「良い方」が53.6%と最も高く、次いで70～74歳の52.2%、75歳以上の51.1%となっている。一方、40～49歳では32.7%と最も低くなっている。

【市役所の窓口サービス】（性別、年齢層別）



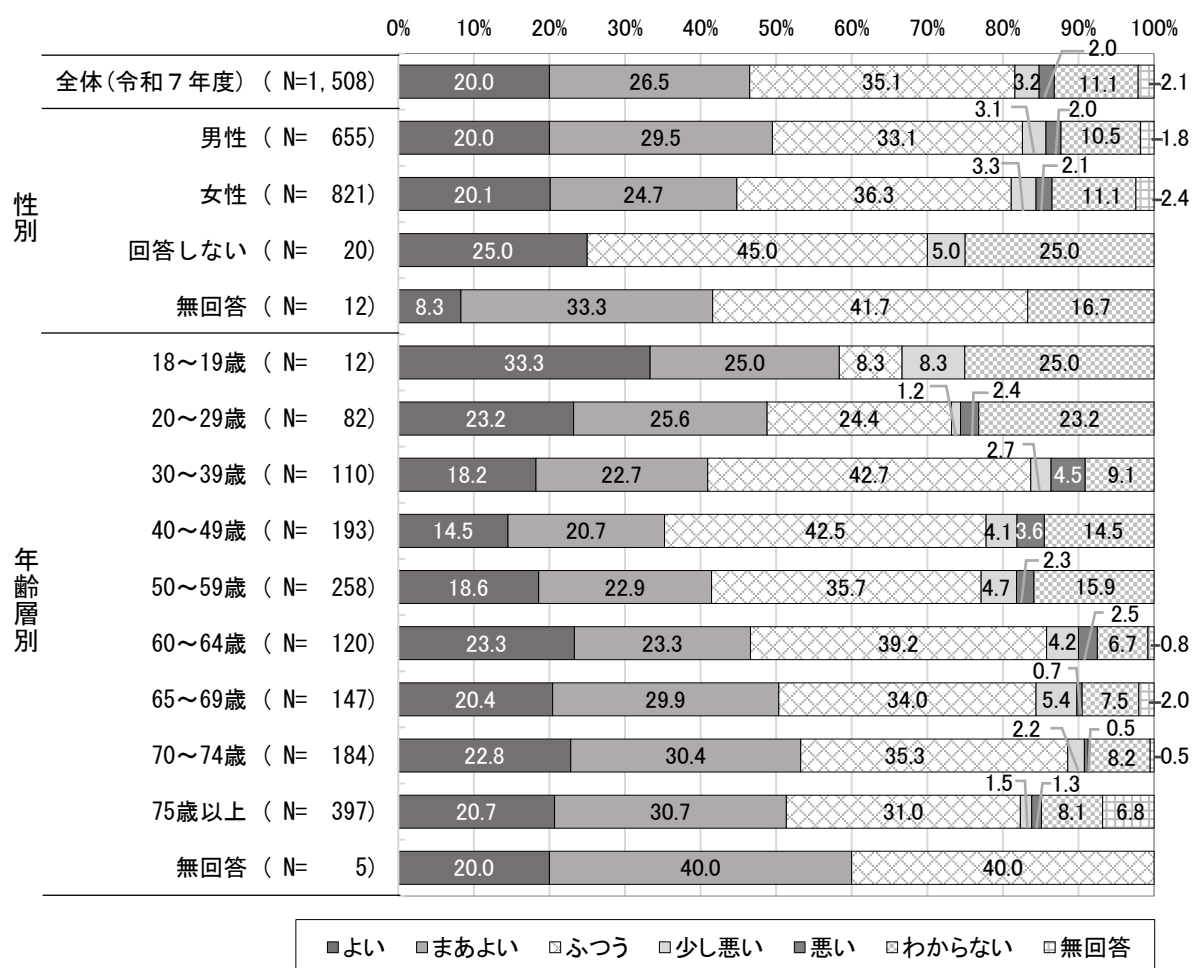
(4) 以前と比較した全体的な印象

以前と比較した全体的な印象について、全体では、「ふつう」が35.1%と最も高く、「よい」の20.0%と「まあよい」の26.5%を合わせた「良い方」は46.5%、「悪い」の2.0%と「少し悪い」の3.2%を合わせた「悪い方」は5.2%となっており、「良い方」が「悪い方」を41.3ポイント上回っている。

性別にみると、男性、女性ともに「良い方」が「悪い方」を上回っており、「良い方」は男性が49.5%、女性が44.8%で、男性が4.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳で「良い方」が58.3%と最も高く、次いで70～74歳の53.2%、75歳以上の51.4%となっている。一方、40～49歳では35.2%と最も低くなっている。

【以前と比較した全体的な印象】（性別、年齢層別）



(2) 令和5年度調査との比較

「訪れた職場全体の雰囲気」については、「良い方」は10.8ポイント増加し、「悪い方」は5.3ポイント減少している。

「応対した職員の感じ」については、「良い方」は7.1ポイント増加し、「悪い方」は3.2ポイント減少している。

「以前と比較した全体的な印象」については、「良い方」は10.9ポイント増加し、「悪い方」は3.0ポイント減少している。

【市役所の印象】（前回〔令和5年度調査〕との比較）

		よい	まあよい	良い方 (よい＋ まあよい)	ふつう	少し悪い	悪い	悪い方 (悪い＋ 少し悪い)	わからない・無回答
訪れた職場全体の 雰囲気	令和7年度(N=1,508)	17.4	24.3	41.7	40.5	6.0	3.1	9.1	8.7
	令和5年度(N=1,524)	11.3	19.6	30.9	48.5	9.3	5.1	14.4	6.3
応対した職員の 感じ	令和7年度(N=1,508)	20.6	26.9	47.5	36.2	5.5	2.9	8.4	7.8
	令和5年度(N=1,524)	14.2	26.2	40.4	41.8	7.2	4.4	11.6	6.3
市役所の窓口 サービス	令和7年度(N=1,508)	19.0	26.5	45.5	39.3	4.2	2.3	6.5	8.8
	令和5年度(N= —)								
以前と比較した 全体的な印象	令和7年度(N=1,508)	20.0	26.5	46.5	35.1	3.2	2.0	5.2	13.2
	令和5年度(N=1,524)	12.2	23.4	35.6	43.2	4.9	3.3	8.2	13.0

2 デジタル化による市役所の手続きの便利さ

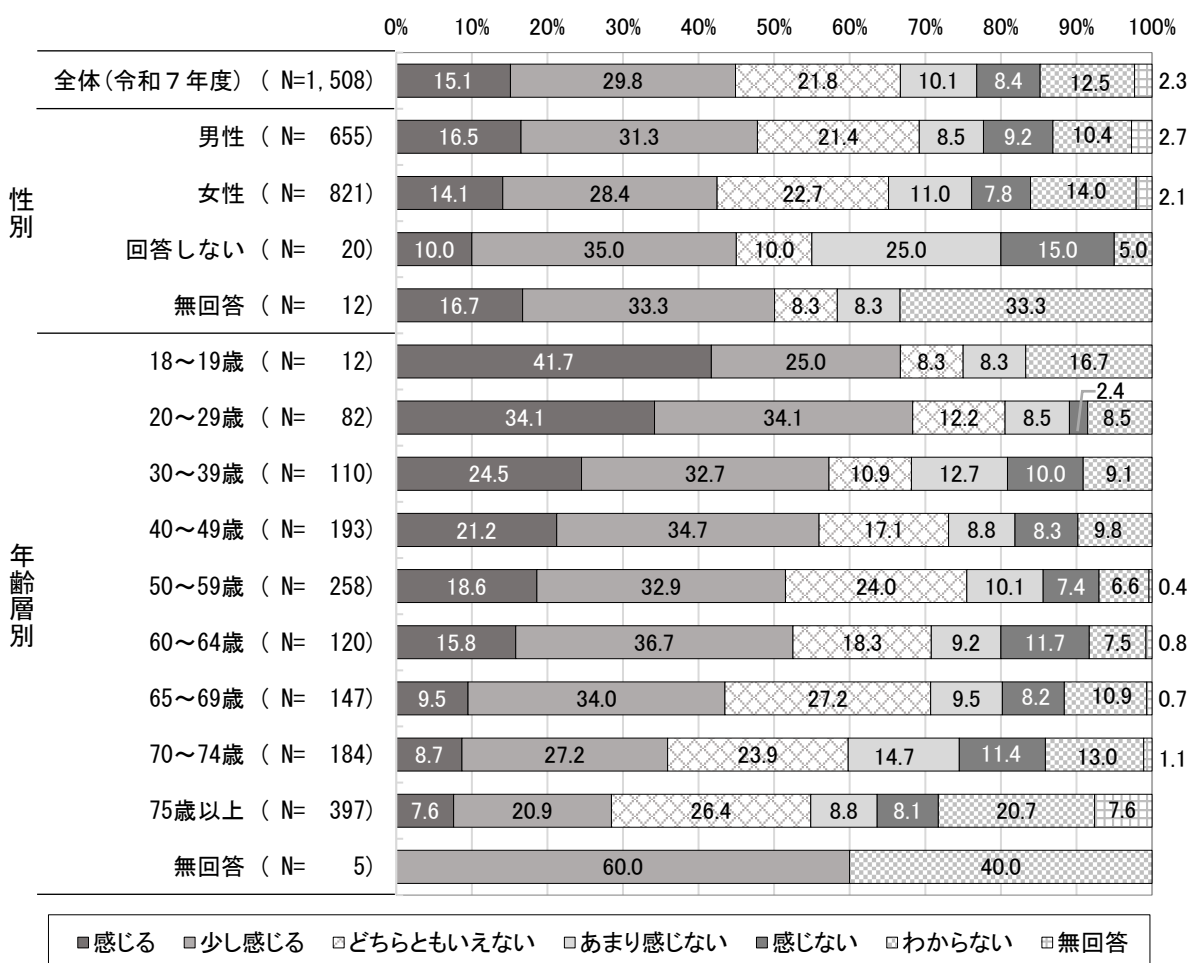
問2 あなたは、電子申請やコンビニ交付、キャッシュレス決済など、デジタル化によって市役所の手続きが便利になったと感じますか。(○は1つ)

デジタル化による市役所の手続きの便利さについて、全体では、「少し感じる」が29.8%と最も高く、「感じる」の15.1%と合わせた「良い方」は44.9%、「感じない」の8.4%と「あまり感じない」の10.1%を合わせた「悪い方」は18.5%となっており、「良い方」が「悪い方」を26.4ポイント上回っている。

性別にみると、男性、女性ともに「良い方」が「悪い方」を上回っており、「良い方」は男性が47.8%、女性が42.5%で、男性が5.3ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、20～29歳で「良い方」が68.2%と最も高く、次いで18～19歳の66.7%となっている。一方、75歳以上では28.5%と最も低くなっている。

【デジタル化による市役所の手続きの便利さ】(性別、年齢層別)



3 広報誌を読んでいるか

問3 あなたは、旭川市の広報誌「あさひばし（こうほう旭川市民）」を読んでいますか。
（○は1つ）

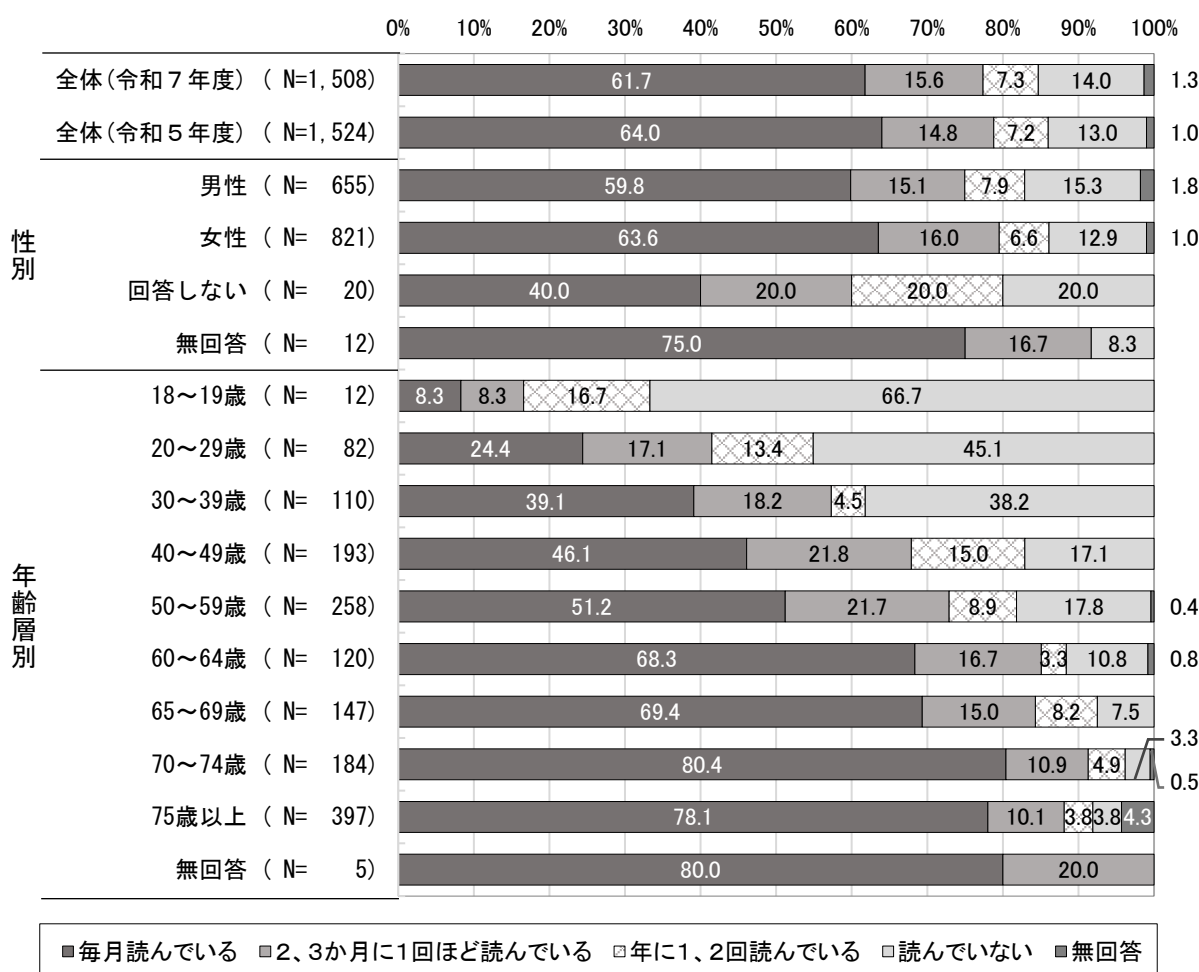
広報誌を読んでいるかどうかについて、全体では、「毎月読んでいる」が61.7%と最も高く、これに「2、3か月に1回ほど読んでいる」の15.6%、「年に1、2回読んでいる」の7.3%を合わせた「読んでいる」は84.6%となっている。

性別にみると、「読んでいる」は男性が82.8%、女性が86.2%と、女性が3.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、70～74歳で「読んでいる」が96.2%と最も高く、年齢層が低くなるにつれて「読んでいない」割合が高くなる傾向がある。

令和5年度調査と比較すると、「読んでいる」が1.4ポイント減少し、「読んでいない」が1.0ポイント増加している。

【広報誌を読んでいるか】（前回〔令和5年度調査〕との比較、性別、年齢層別）



4 旭川市のホームページの閲覧状況

問4 あなたは、旭川市のホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

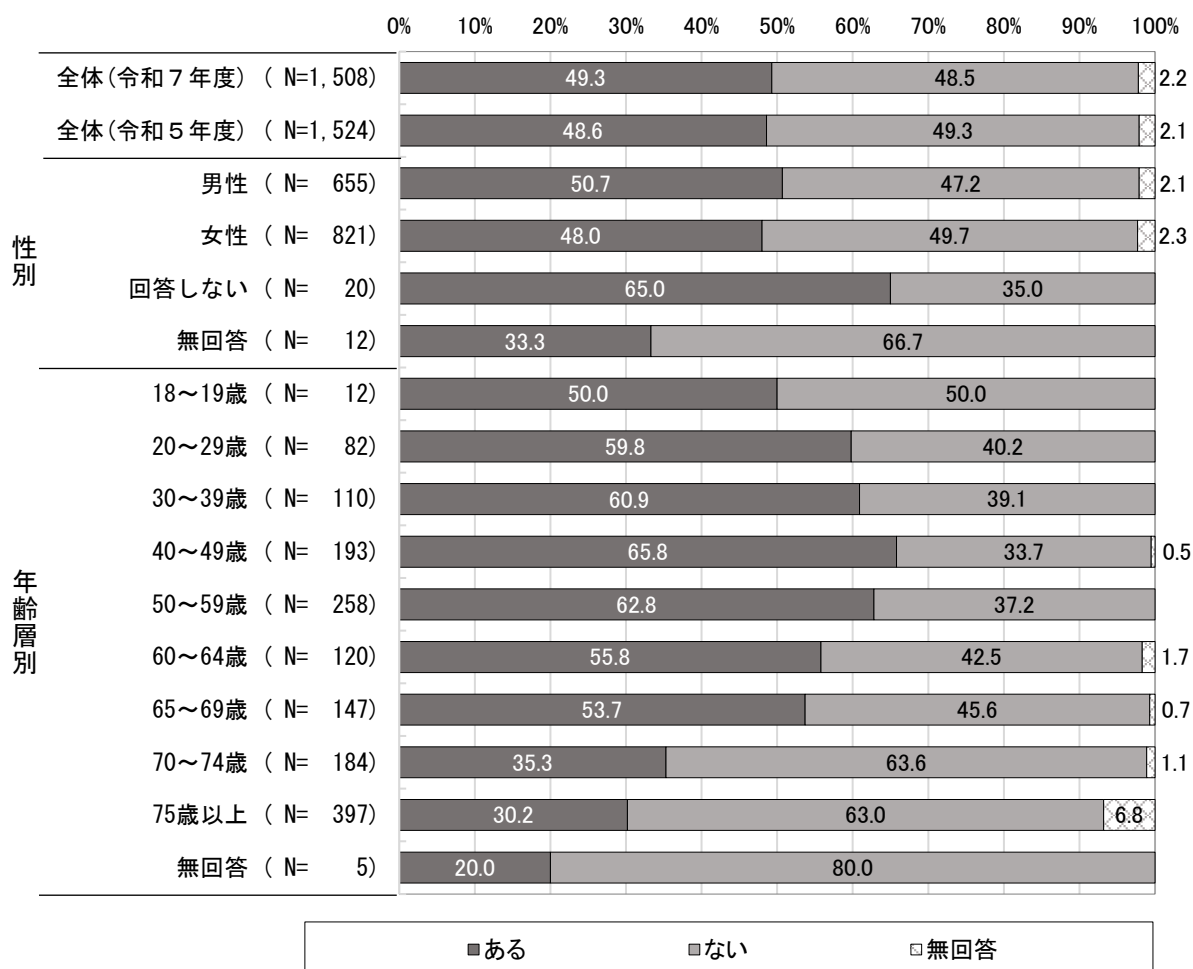
旭川市のホームページの閲覧状況について、全体では、見たことが「ある」が49.3%、「ない」が48.5%となっている。

性別にみると、「ある」は男性が50.7%、女性が48.0%と、男性が2.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、40～49歳で「ある」が65.8%と最も高くなっている。一方、75歳以上では30.2%と最も低くなっている。

令和5年度調査と比較すると、見たことが「ある」が0.7ポイント増加し、見たことが「ない」が0.8ポイント減少している。

【旭川市のホームページの閲覧状況】（前回〔令和5年度調査〕との比較、性別、年齢層別）



5 市政情報のわかりやすい発信

問5 あなたは、旭川市が市政情報を市民にわかりやすく発信していると感じますか。

(○は1つ)

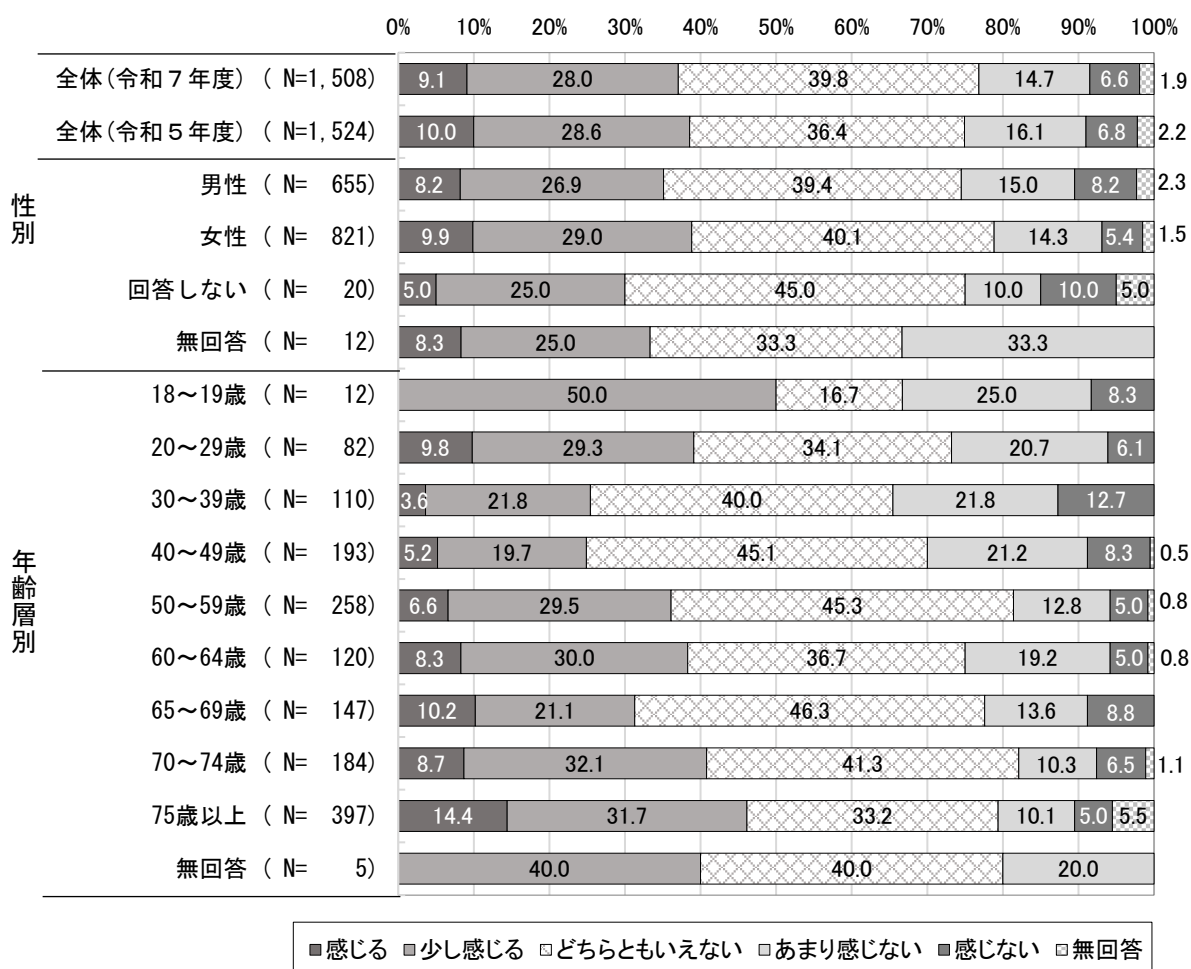
市政情報をわかりやすく発信しているかについて、全体では、「どちらともいえない」が39.8%と最も高く、「感じる」の9.1%と、「少し感じる」の28.0%を合わせると37.1%で、「感じない」の6.6%と「あまり感じない」の14.7%を合わせた21.3%を15.8ポイント上回っている。

性別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は、男性が35.1%、女性が38.9%で、女性が3.8ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合は、18～19歳が50.0%と最も高くなっている。一方、40～49歳が24.9%と最も低くなっている。

令和5年度調査と比較すると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた割合が1.5ポイント減少し、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた割合も1.6ポイント減少している。

【市政情報のわかりやすい発信】（前回〔令和5年度調査〕との比較、性別、年齢層別）



6 旭川市から提供してほしい情報

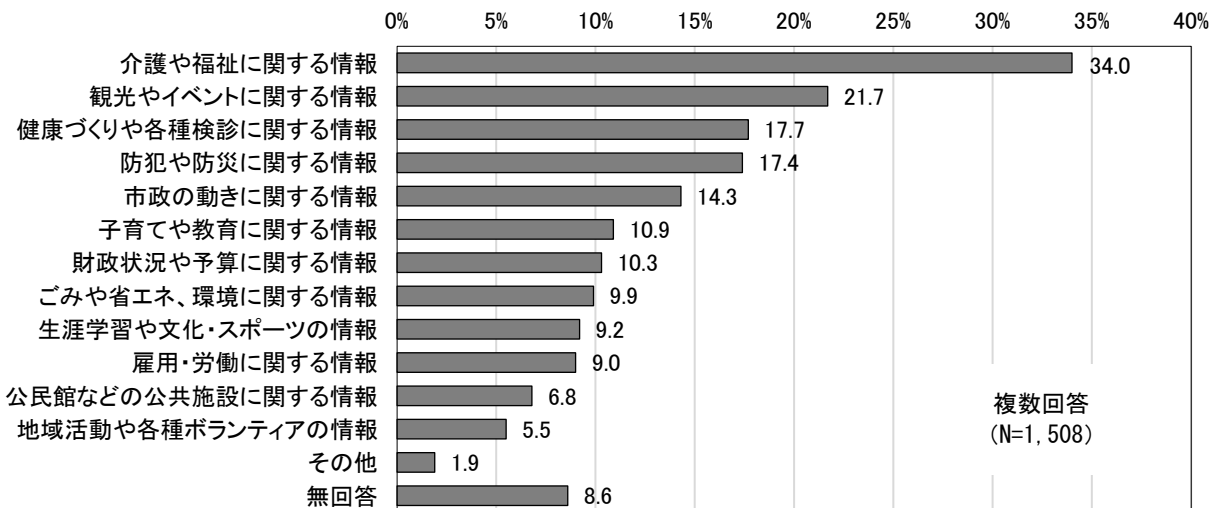
問6 あなたは、旭川市からどのような情報を提供してほしいですか。(○は2つまで)

旭川市から提供してほしい情報について、全体では、「介護や福祉に関する情報」が34.0%と最も高く、次いで「観光やイベントに関する情報」が21.7%、「健康づくりや各種検診に関する情報」が17.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「介護や福祉に関する情報」が最も高くなっており、男性が28.5%、女性が37.9%で、女性が9.4ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、18～19歳、20～29歳、40～49歳では「観光やイベントに関する情報」、30～39歳では「子育てや教育に関する情報」、50～59歳以上の年齢層では「介護や福祉に関する情報」が最も高くなっている。

【旭川市から提供してほしい情報】



【旭川市から提供してほしい情報（複数回答）】（性別、年齢層別）

		介護や福祉に関する情報	観光やイベントに関する情報	健康づくりや各種検診に関する情報	防犯や防災に関する情報	市政の動きに関する情報	子育てや教育に関する情報	財政状況や予算に関する情報	ごみや省エネ、環境に関する情報	生涯学習や文化・スポーツの情報	雇用・労働に関する情報	公民館などの公共施設に関する情報	地域活動や各種ボランティアの情報	その他	無回答
性別	全体 (N= 1,508)	34.0	21.7	17.7	17.4	14.3	10.9	10.3	9.9	9.2	9.0	6.8	5.5	1.9	8.6
	男性 (N= 655)	28.5	20.2	18.6	16.6	19.7	8.1	14.8	9.6	10.7	9.5	5.5	6.0	2.3	8.9
	女性 (N= 821)	37.9	22.9	17.2	17.9	10.2	13.2	6.7	10.2	8.3	8.5	7.8	5.4	1.7	8.3
	回答しない (N= 20)	40.0	25.0	10.0	20.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0
年齢層別	無回答 (N= 12)	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	18～19歳 (N= 12)	0.0	41.7	0.0	0.0	33.3	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0
	20～29歳 (N= 82)	12.2	37.8	12.2	22.0	17.1	18.3	13.4	3.7	6.1	9.8	6.1	4.9	0.0	8.5
	30～39歳 (N= 110)	4.5	34.5	9.1	14.5	9.1	47.3	9.1	6.4	14.5	15.5	7.3	4.5	2.7	4.5
	40～49歳 (N= 193)	19.2	30.6	11.4	14.5	13.5	28.5	10.4	7.8	10.9	13.0	6.7	1.6	2.6	6.7
	50～59歳 (N= 258)	28.3	26.7	14.0	20.9	17.1	8.5	12.8	8.1	11.2	15.1	5.8	6.2	1.9	4.3
	60～64歳 (N= 120)	32.5	25.8	15.8	19.2	13.3	4.2	8.3	12.5	10.8	13.3	7.5	6.7	3.3	8.3
	65～69歳 (N= 147)	27.9	20.4	19.0	13.6	19.0	3.4	12.2	11.6	16.3	8.8	4.8	10.2	4.1	7.5
	70～74歳 (N= 184)	53.8	14.7	26.1	21.2	10.9	0.5	6.5	11.4	6.0	4.3	8.7	3.3	0.0	10.3
	75歳以上 (N= 397)	51.4	8.8	23.2	16.1	13.6	1.3	10.1	12.6	4.8	2.0	7.3	5.8	1.5	13.6
	無回答 (N= 5)	80.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

- 各項目の中で最も高い割合
- 各項目の中で2番目に高い割合
- 各項目の中で3番目に高い割合

※「無回答」項目を除く

7 市政情報の提供方法で今後力を入れていくべきこと

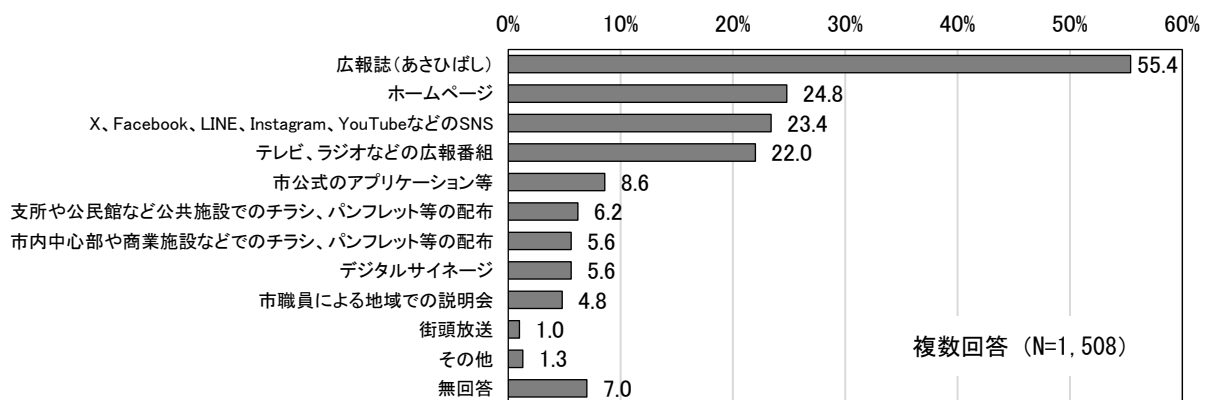
問7 あなたは、市政情報の提供方法について、今後、旭川市がどのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(○は2つまで)

市政情報の提供方法で今後力を入れていくべきことについて、全体では、「広報紙（あさひばし）」が55.4%と最も高く、次いで「ホームページ」が24.8%、「X、Facebook、LINE、Instagram、YouTubeなどのSNS」（以下「SNS」という。）が23.4%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「広報紙（あさひばし）」が最も高く、次いで、男性は「ホームページ」、女性「SNS」となっている。

年齢層別にみると、18歳～49歳までは「SNS」の割合が最も高く、50歳以上では「広報紙（あさひばし）」の割合が最も高くなっている。

【市政情報の提供方法で今後力を入れていくべきこと】



【市政情報の提供方法で今後力を入れていくべきこと（複数回答）】（性別、年齢層別）

		広報紙(あさひばし)	ホームページ	X、Facebook、LINE、Instagram、YouTubeなどのSNS	テレビ、ラジオなどの広報番組	市公式のアプリケーション等	支所や公民館など公共施設でのチラシ、パンフレット等の配布	市内中心部や商業施設などでのチラシ、パンフレット等の配布	デジタルサイネージ	市職員による地域での説明会	街頭放送	その他	無回答
性別	全体 (N=1,508)	55.4	24.8	23.4	22.0	8.6	6.2	5.6	5.6	4.8	1.0	1.3	7.0
	男性 (N= 655)	56.8	27.6	21.5	22.7	8.1	5.3	4.7	6.1	7.0	1.1	1.1	6.1
	女性 (N= 821)	54.1	22.0	24.8	21.9	9.0	6.7	6.6	5.4	3.2	1.0	1.5	7.7
	回答しない (N= 20)	55.0	35.0	30.0	10.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0
年齢層別	無回答 (N= 12)	66.7	41.7	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3
	18～19歳 (N= 12)	8.3	16.7	66.7	41.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳 (N= 82)	23.2	31.7	56.1	17.1	12.2	3.7	2.4	7.3	1.2	4.9	1.2	3.7
	30～39歳 (N= 110)	35.5	27.3	54.5	11.8	10.0	1.8	9.1	7.3	0.9	1.8	0.9	6.4
	40～49歳 (N= 193)	39.9	31.6	47.2	15.0	11.9	5.7	6.2	10.9	1.0	1.0	1.0	2.1
	50～59歳 (N= 258)	46.5	34.1	31.0	19.8	13.6	3.5	5.4	7.8	3.5	0.8	1.2	4.7
	60～64歳 (N= 120)	60.0	31.7	17.5	25.0	9.2	4.2	7.5	6.7	3.3	0.0	2.5	3.3
	65～69歳 (N= 147)	57.8	34.0	13.6	23.8	6.8	5.4	5.4	6.8	6.8	0.7	2.0	8.2
	70～74歳 (N= 184)	74.5	19.0	9.8	21.7	6.5	10.9	5.4	1.6	7.6	2.2	0.0	6.0
	75歳以上 (N= 397)	70.5	10.3	2.3	29.0	4.0	8.6	5.0	2.0	8.1	0.0	1.5	13.1
	無回答 (N= 5)	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 各項目の中で最も高い割合
 - 各項目の中で2番目に高い割合
 - 各項目の中で3番目に高い割合
- ※「無回答」項目を除く

Ⅱ-1 1 まちづくりについての自由意見

1 自由意見の概要

旭川市のまちづくりについて、御意見・御提案を自由に記入してください。

(1) 記入者の内訳

アンケートの最後に、旭川市のまちづくりについての意見や提案を求めた。

回答者数1,508人のうち、「特になし」などの記入を除き、504人(33.4%)が意見を記入した。

性別でみると、男性は回答者655人のうち206人(31.5%)、女性は回答者821人のうち291人(35.4%)が意見を記入している。

年齢層別にみると、記入率は、20～29歳が41.5%と最も高く、次いで40～49歳(40.9%)、30～39歳(39.1%)の順となっている。

【記入者の内訳】(性別、年齢層別)

性別 年齢層	男性			女性			回答しない			無回答			合計		
	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)
18～19歳	5	0	0.0	7	0	0.0	0	0	-	0	0	-	12	0	0.0
20～29歳	32	12	37.5	45	19	42.2	4	3	75.0	1	0	0.0	82	34	41.5
30～39歳	40	14	35.0	69	29	42.0	1	0	0.0	0	0	-	110	43	39.1
40～49歳	69	35	50.7	120	43	35.8	3	1	33.3	1	0	0.0	193	79	40.9
50～59歳	112	33	29.5	141	45	31.9	5	2	40.0	0	0	-	258	80	31.0
60～64歳	54	14	25.9	62	26	41.9	3	0	0.0	1	0	0.0	120	40	33.3
65～69歳	68	24	35.3	76	29	38.2	1	0	0.0	2	1	50.0	147	54	36.7
70～74歳	77	23	29.9	106	34	32.1	0	0	-	1	0	0.0	184	57	31.0
75歳以上	197	50	25.4	195	66	33.8	3	0	0.0	2	0	0.0	397	116	29.2
無回答	1	1	100.0	0	0	-	0	0	-	4	0	0.0	5	1	20.0
合計	655	206	31.5	821	291	35.4	20	6	30.0	12	1	8.3	1508	504	33.4

(2) 意見・提案の内訳

意見・提案については、一人が複数の内容を記入している場合があり、それらを項目別に集計すると、504人の記入者から813件の回答が得られた。以降、分類別の構成比は、記入者数(504)に対する意見数の割合として算出する。

分野別にみると、「子育て、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ」に関することが193件(38.3%)、「産業、交通、観光」に関することが190件(37.7%)、「都市機能、環境、安全・安心」に関することが192件(38.1%)、「まちづくり、市政」に関することが123件(24.4%)となっている。

各分野でみると、「子育て、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ」の中では「(2)子どもが健やかに成長できる環境の充実」に関すること(37件、7.3%)、「産業、交通、観光」の中では「(17)まちの活性化と公共交通網の充実」に関すること(94件、18.7%)、「都市機能、環境、安全・安心」の中では「(22)除排雪体制の充実強化」に関すること(78件、15.5%)、「まちづくり、市政」の中では「(33)信頼に応える市政の推進」に関すること(45件、8.9%)が最も高い割合を示している。

【分野・分類の内訳】

N=504[複数回答(「無回答」、「特になし」等を除く。)]

分野	分類	意見数 (件)	構成比 (%)
子育て、保健・医療・福祉、 教育・文化・スポーツ	(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	15	3.0
	(2) 子どもが健やかに成長できる環境の充実	37	7.3
	(3) 健幸福祉都市の実現	5	1.0
	(4) 安心して医療を受けられる体制の推進	11	2.2
	(5) 安全な衛生環境の確保	3	0.6
	(6) 適切な福祉サービスの提供	20	4.0
	(7) 互いに支え合う地域福祉の充実	7	1.4
	(8) 社会で自立し、活躍できる力を培う教育の推進	5	1.0
	(9) 安全・安心な教育環境の整備	15	3.0
	(10) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進	10	2.0
	(11) いじめ防止対策の推進	20	4.0
	(12) 生涯を通じた学びの振興	4	0.8
	(13) 個性豊かな北国らしい文化の振興	15	3.0
	(14) スポーツ・レクリエーションの推進	26	5.2
	小計	193	38.3
産業、交通、観光	(15) 魅力の活用、発信と競争力の強化	48	9.5
	(16) 地域産業の持続的発展	19	3.8
	(17) まちの活性化と公共交通網の充実	94	18.7
	(18) 四季を通じた観光の振興	22	4.4
	(19) 多様な交流と国際化の推進	7	1.4
	小計	190	37.7
都市機能、環境、安全・安心	(20) 市民生活を支える都市機能の維持	41	8.1
	(21) 暮らしやすい都市環境の充実	18	3.6
	(22) 除排雪体制の充実強化	78	15.5
	(23) 自然共生社会の形成	14	2.8
	(24) 循環型社会の形成	7	1.4
	(25) ゼロカーボンの推進	1	0.2
	(26) 危機対応力の強化	4	0.8
	(27) 交通安全と防犯体制の充実	29	5.8
	小計	192	38.1
まちづくり、市政	(28) 市民主体のまちづくりの推進	4	0.8
	(29) 地域主体のまちづくりの推進	14	2.8
	(30) 誰もが輝く社会の形成	2	0.4
	(31) 国内外へ向けた広報広聴の強化	36	7.1
	(32) 広域自治体ネットワークの強化	2	0.4
	(33) 信頼に応える市政の推進	45	8.9
	(34) 効率的で効果的な行財政運営の推進	20	4.0
	小計	123	24.4
その他	(35) その他	115	22.8
	合計	813	

2 意見・提案

意見・提案の一部を、要約などして掲載しています。

(1) 子育て、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ（193件）

- ・今年初めて出産をして、子育てのしづらさを感じた。検診が少なく困りごとをあまり相談できない。友達に教えてもらって1回1,000円で助産師に相談できる制度を使ったが、母子手帳をもらうときの説明だけでは利用しづらい。市で伝えたからいいのではなく、産婦人科等と連携して使いやすくしたらいいと思う。すごく良い制度なのでもったいない。あと、保育園の料金が高すぎて働きづらい。働きながら子育てをして高い保育園料金を払い、保育園料金のために働いていると考えるくらい大変だ。保育園料金の無償化が一番欲しい制度、きっと同じ思いの人がたくさんいると思う。是非検討してほしい。 【女性、20～29歳】
- ・私の子どもは肢体不自由児で立つこと、歩くことができない。幼稚園、保育園探しは子育てガイドブックを見て特別支援のある園を見学したが、受入れが難しいと言われ近くの園に通うことができなかった。同じ境遇の母親たちも同じような経験をしている。小さな子どもを連れて何件も見学に行く負担や断られたときの悲しさが軽減されるよう、市から情報提供があれば障がい児を育てる母親も安心だと思う。 【女性、40～49歳】
- ・いじめ防止対策に力を入れるべき。旭川といえば「いじめ」のように感じている気がして悲しい。学校などの人間関係に悩む学生の自殺防止のために、学校は無理に行かなくてもいいという一つの選択も伝えてほしい。 【女性、30～39歳】
- ・北海道第2の都市としてのスポーツ・文化等の施設がない。一流と言われる人たちのパフォーマンスが生で見られず、札幌や東京に行かなければならない。活気のあるまちづくりは、そういうモノが不可欠と思う。旭川市民も自慢のできる施設が欲しい。 【女性、70～74歳】

(2) 産業、交通、観光（190件）

- ・旭川市は自然災害が大変少なく、企業としても安心安全に働くことができると感じている。もっともっと企業の誘致をするべきと思う。 【男性、75歳以上】

- ・市内中心部のビルが老朽化し、解体した後の開発はほとんどが駐車場。民間の所有なので行政が関わるのが難しいかもしれないが、民間と行政が連携又は行政がイニシアチブを取って民間同士をつなげていくことが必要と感じる。 【男性、60～64歳】
- ・高齢化に伴い交通の手段を公共のバス等に変えたいと思うが、以前に比べ時刻・便数がすごく不便になった気がする。もっと気軽に利用できる何か（システムや情報）があればいいと思う。 【女性、60～64歳】
- ・現在の旭川道の駅をやめて、新たに国道40号線沿いかつ高速道路インター付近の適地に、温泉宿泊施設を含む、地域の特産物の販売など市民が楽しく集える一大観光拠点として検討していただきたい。温泉の確保や大規模駐車場を含む施設用地の確保が課題。 【男性、70～74歳】

（３）都市機能、環境、安全・安心（１９２件）

- ・幹線道路の除雪はここ数年良くなっている気がするが、その分、生活道路の除雪が悪くなっている。除雪車はただ走って雪を踏み固めていくだけ。暖気で雪がザクザクになると踏み固められた雪が崩れて車がよく埋まる。そんなことは以前住んでいた町ではなかった。生活道路の等級が違うから除雪状況が違うというのは納得できない。生活道路の除雪状況の改善を望む。 【男性、50～59歳】
- ・地域の高齢者でカラスやきつねなど野生動物にエサをあげている人がいる。市にも対応をお願いしているが、全く変わらない。なぜその行為がダメなのか、その人の家族にも理解してもらう必要があると思うが、そのような市の対応が不足している。 【男性、40～49歳】
- ・ヒグマが大変増えている。以前は定期的に行っていた駆除をやめたせいで増加しているから不安で仕方ない。かわいそうだが何かの対策を考えないと大変なことになる。どうにかしてほしい。 【女性、50～59歳】
- ・全体的に街灯が少ない。夜道が怖い。子どもが犯罪に巻き込まれないためにも街を明るくしてほしい。 【女性、30～39歳】

(4) まちづくり、市政(123件)

- ・共働きをしながら無理のない生活を送ることができ、安心して子どもを産めるよう男女ともに産休を取得し、減給されずに働き続けられる職場を作るべき。収入がないと子育てできないし、働き続けると無理がある。個別ではなく、そのような社会を希望する。

【女性、75歳以上】

- ・旭川は北海道の中心にあり、災害は比較的少ないと思うが、道内での災害発生時は避難者の受入れや支援者へ拠点となり得る備えが必要だと考える。 【男性、30～39歳】

- ・高齢者が増える中、数年、数十年後には人口が激減するだろうから、収入源の下がったときの財政を見越して市政を進めていただきたい。 【男性、50～59歳】

- ・いろいろな手続きがインターネットでできるようになり大変便利と思う。一方で、スマートフォンを持っていない、使うことのできない高齢者もいまだに存在することを忘れないでほしい。紙媒体とWebの両方をうまく活用してほしい。 【女性、65～69歳】